

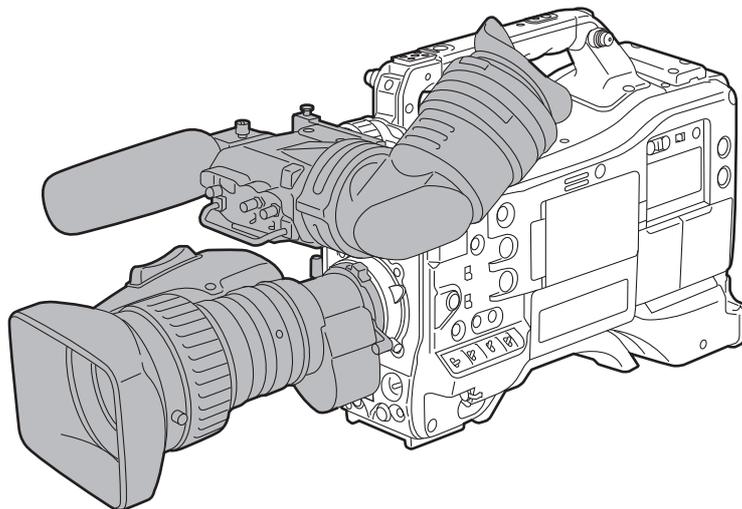
Panasonic®

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AJ-HPX3100G**

P2HD



AVC INTRA

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

	安全上のご注意.....	5
	危険.....	5
	警告.....	5
	注意.....	7
	ご使用の前に.....	8
<hr/>		
はじめに	カメラ部の特長.....	10
	再生・記録部の特長.....	10
	入出力部の特長.....	13
	その他の特長.....	13
	寸法図.....	14
	ご使用地域への設定（フレーム周波数等の設定）.....	15
	システム構成.....	16
<hr/>		
各部の名称と機能	電源部およびアクセサリ取り付け部.....	17
	音声機能部（入力系）.....	19
	音声機能部（出力系）.....	21
	撮影・記録/再生機能部.....	22
	メニュー操作部.....	26
	タイムコード関連部.....	27
	警告/状態表示部.....	28
	表示窓内表示.....	29
	液晶モニター部.....	30
	ビューファインダー部.....	31
<hr/>		
記録と再生	P2カードについて.....	33
	P2カード記録データの取り扱いについて.....	35
	基本手順.....	36
	通常の記録.....	38
	PRE RECORDING 機能.....	39
	LOOP REC 機能.....	40
	INTERVAL REC 機能.....	40
	ONE CLIP REC 機能.....	43
	REC REVIEW 機能.....	45
	通常再生および変速再生.....	46
	テキストメモ機能.....	46
	ショットマーク機能.....	47
	記録設定と動作モード.....	47

<hr/>	
記録のための調整と設定	マルチフォーマット.....48
	ホワイトバランス/ブラックバランスの調整.....50
	電子シャッターの設定.....54
	USER ボタンへの機能割り付け.....56
	音声入力の選択と録音レベルの調整.....58
	外部基準信号の選択とゲンロックの設定.....62
	タイムデータの設定.....63
	ビューファインダーの状態表示.....76
	液晶モニターの調整と設定.....88
	映像出力信号の選択.....89
	データの取り扱い.....91
	色収差補正機能 (CAC).....105
<hr/>	
準備	電源の供給.....109
	レンズの取り付けおよびフランジバック調整と ホワイトシェーディング調整.....112
	音声入力の準備.....115
	三脚への取り付け.....116
	ショルダーベルトの取り付け.....117
	レインカバーの取り付け.....117
	F.AUDIO LEVEL つまみの取り付け.....118
	DC OUT 端子と外部REC スタート/ストップスイッチの接続.....118
<hr/>	
クリップのサムネール操作	サムネール操作について.....119
<hr/>	
外部機器との接続	USB2.0 端子での接続機能.....137
	SDI IN 端子での接続.....143
	リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続.....144
	エクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) の接続.....146
<hr/>	
保守・点検	撮影前の点検.....147
	メンテナンス.....149
	警告システム.....154
<hr/>	
メニュー	メニュー構成.....159
	メニュー一覧.....163
<hr/>	
本機搭載ファームウェアのアップデート200

保障とアフターサービス（よくお読みください）.....	201
定 格.....	202
さくいん	205

- SDロゴは、登録商標です。
 - SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
 - MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。
 - Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、および各国における商標、または登録商標です。
 - Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - Appleは、Apple Inc.の米国、および各国における商標、または登録商標です。
 - Unislotは池上通信機株式会社の登録商標です。
 - Use of DCF Technologies under license from Multi-Format, Inc.
 - その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
 - 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00ページ）のように示しています。

用語について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、どちらもSDメモリーカードと記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード（別売のAJ-P2C064AGなど）を「P2カード」と記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。

危険

	<ul style="list-style-type: none">■ バッテリーの端子部(+-)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない■ バッテリーは、分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない■ バッテリーは、電子レンジやオーブンなどで加熱しない■ バッテリーは、炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。) ⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。 ⇒ バッテリーは、本機と接続検証済みのものを推奨します。 バッテリーに付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。(接続検証済みバッテリーについては、109ページを参照してください。) ⇒ バッテリーは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。
	<ul style="list-style-type: none">■ 充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する (指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。) ⇒ 充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。

警告

異常、故障時には直ちに使用を中止する	
	<ul style="list-style-type: none">■ 異常があった時は、直ちにバッテリーを外す [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 外部DC電源で使っている場合は、DCコードを外してください。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。

(次ページにつづく)

⚠ 警告 (続き)



■ DCコードのプラグは、根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。)

⇒ 傷んだプラグは使用しないでください。

(DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)

■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする

(火災の原因になります。)

⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する

(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

■ 外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する

(誤ってGND端子に12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。)

⇒ 詳しくは111ページを参照してください。

(DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)

■ 外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する

(不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。)

⇒ 詳しくは111ページを参照してください。

⇒ 外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

⇒ 外部DC電源は、電気用品安全法のマークの付いたものをご使用ください。

■ レンズの取り付け・締め付けは確実にを行う

(落下すると事故の原因になります。)



■ 本機の放熱を妨げない

[押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない]

(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)

■ DCコードが破損するようなことはしない

[傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]

(傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。)

⇒ DCコードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)

■ 乗り物を運転しながら使わない

(事故の誘発につながります。)

⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

■ 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

(火災の原因になります。)

⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない

(ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)

■ メモリーカード(別売品)や付属品(F.AUDIO LEVELつまみ、つまみ用ネジ、AUDIOコネクター

キャップ、XLRコネクターキャップ、GPSコネクターキャップ)は、乳幼児の手の届く所に置かない

(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)

⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告 (続き)

 分解禁止	■ ワイヤレススロット以外のカバーは外さない (火災や感電の原因になります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
	■ 分解や改造をしない (感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 水場 使用禁止	■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)

⚠ 注意

	■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
	■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。)
	■ イヤホン使用時は音量を上げすぎない (イヤホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)
	■ レンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない (レンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
	■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。)
	■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
	■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。) ⇒ 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人など(高齢者)は、低温やけどになりやすい傾向があります。
	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す (火災の原因になります。)
	■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する (コードが傷つき、火災の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)
	■ 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。) ⇒ 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。
	■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどを (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)

ご使用の前に

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH
Ni-Cd
Li-ion

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

レーザー光線についてのご注意

レーザー光線がCCDに照射されると、CCDを破壊する恐れがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機およびP2カードの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。
- ファンの異常などにより、ファンが停止した状態で動作を続けると、カメラ映像出力/記録/再生が正常に行われな場合があります。
- 強電界環境下（電波塔直下など）では、まれに映像信号にビートが混入することがありますので、ご注意ください。

メモリーカードを破棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。
<http://panasonic.biz/sav/>
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。
2. 本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
3. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
4. 本製品には、OpenBSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
5. This product includes PHP, freely available from <<http://www.php.net/>>.
6. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

これらの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダーを参照してください（原文（英文）で記載しております）。

USB ドライバーインストール時のご注意

本機（AJ-HPX3100G）付属のCD-ROMから、USBドライバーをパーソナルコンピュータにインストールするときは、“AJ-HPX3100”を選択してください。

はじめに

お願い

本機を初めてご使用になる時は、下記の2項目の設定をお願いします。

- 本機を初めてご使用になるときは、最初にブラックバランスの設定を行ってください。(53 ページ参照)
- 本機は使用地域が未設定の状態です。ご使用地域に合わせて15 ページに記載の手順でフレーム周波数等の設定変更を行ってください。

本機はインターレース/プログレッシブ駆動(全画素読み出し)に対応した2/3型220万画素を搭載したカメラ部と、AVC-Intra100、AVC-Intra50、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV各圧縮フォーマットに対応した記録・再生部を一体化したCCDカメラレコーダーです。

本機は下表に示すHD方式、SD方式に対応しています。また、本機は制作用途のカメラレコーダーとして、CAC(レンズの倍率色収差を補正する色収差補正機能)、スキャンリバース(アナモレンズやフィルム用レンズ使用時に画像を補正する機能)、フィルムライクガンマ機能などを搭載しています。

記録部は、AVC-Intra100、AVC-Intra50、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DVの圧縮・記録方式が選択できます。特にAVC-Intra100圧縮ではカメラからの画像をほとんど損ねることなく記録することができるため、高品質の画像を得ることができます。

■対応フォーマット

モード	SYSTEM MODE	撮影・記録方式	
HD	1080-59.94i	AVC-Intra100	59.94i 29.97P (Native) 23.98P (Native)
		AVC-Intra50	
		DVCPRO HD	59.94i 29.97P Over 59.94i 23.98P Over 59.94i (2-3プルダウン) 23.98PA Over 59.94i (2-3-3-2プルダウン)
	1080-50i	AVC-Intra100	50i
		AVC-Intra50	25P (Native)
		DVCPRO HD	50i 25P over 50i
SD	480-59.94i	DVCPRO50 DVCPRO DV	59.94i 29.97P Over 59.94i 23.98P Over 59.94i (2-3プルダウン) 23.98PA Over 59.94i (2-3-3-2プルダウン)
	576-50i	DVCPRO50 DVCPRO DV	50i 25P Over 50i

カメラ部の特長

■ マルチフォーマット

本機は220万画素CCDをインターレース駆動/プログレッシブ 駆動（全画素読み出し）することにより、各映像方式を実現しています。（49 ページ参照）

■ 色収差補正機能

光の波長によりレンズでの屈折率が異なることに起因する、レンズの倍率色収差（以降、色収差と記載します）を補正する機能を搭載しています。
この機能を使用すれば、レンズの周辺で発生する色収差を補正することができるため、高品位な映像信号を得ることができます。ただし、色収差補正に対応したレンズを使用する必要があります。（105 ページ参照）

■ スキャンリバース機能

本機はキャノン製・アンジェニー製のHDレンズアダプター使用時の画像反転をキャンセルするスキャンリバース機能を標準装備し、メニュー設定で容易に切り替えることができます。（163 ページ参照）

■ フィルムライクガンマ機能搭載

Varicam（AJ-HDC27シリーズ）で培ったフィルムトーンを容易に得られるよう、Varicamとほぼ同じFILM-RECガンマを搭載しました。

■ 2ディスク4枚構成光学フィルター

CCフィルターは3200K・4300K・5600K・6300Kを装備しています。屋外撮影でよく使用される5600Kを標準装備しています。（22 ページ参照）

■ 14ビットA/D変換デジタル信号処理

標準化周波数74MHz、14ビットA/D変換器により映像信号をデジタル化しており、より繊細で高画質な映像再現を可能にしています。

■ 蓄積型高感度機能搭載（DS. GAIN）

CCDをプログレッシブ駆動させることにより、蓄積型のゲインアップ機能を実現しています。
低照度の環境下でもノイズを増やすことなく、明るい映像を得ることが可能です。通常のゲインアップから更に最大34 dBの高感度化が可能になります。
また、この機能を映像効果として用いることが可能です。（186 ページ参照）
なお、この機能は59.94i、50iの状態で撮影されているとき動作します。このとき、SHUTTERモードは強制OFFになります。

■ DRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能

通常の撮影では白トビする、高輝度な部分の映像信号レベルをコントラストを保ちながら圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。（56 ページ参照）

■ レンズファイル機能

本機には、8個のレンズファイルを備えています。
SDメモリーカードを使用すると、64個のレンズファイルを記憶することが可能になります。（100 ページ参照）

■ フォーカスアシスト機能

撮像映像のピント合わせを補助するマーカーを表示する機能を備えており、ピント合わせを視覚的に手助けします。（56 ページ参照）

■ データ管理機能

本機には1個のユーザーデータと4個のシーンファイルデータを登録することが可能です。
また、セットアップカードとしてSDメモリーカードを使用することで、最大8個のセットアップデータを保存することが可能になります。（91 ページ参照）

■ カラーバー

本機には通常のフルカラーバーのほかに、SMPTEカラーバー、ARIBカラーバー、SNG（Satellite News Gathering）用スプリットカラーバーを備えています。カラーモニターの調整などに有効です。（185 ページ参照）

再生・記録部の特長

■ マルチスロット記録機能

P2カードスロットを2つ装備しています。P2カードを2枚装填して連続記録できるほか、メモリーカードならではの新しい記録機能を実現しています。

● ホットスワップREC機能

記録中でも他のカードが交換できるホットスワップ機能を装備しています。カードを順次交換し続けることで連続記録が可能になります。

● LOOP REC機能

指定した記録領域内で順次ループ記録することにより常に過去一定時間の収録を保持することができます。

● INTERVAL REC/ONE SHOT REC機能

最短1フレーム間隔で間欠記録を行う機能を搭載しています。
特に科学・自然番組の撮影に効果を発揮します。また、ワンショット記録を使用すれば、ひとコマ撮りが簡単にできます。

● PRE RECORDING機能

スタンバイ状態でカメラに入る映像・音声を8秒まで常時メモリーしていますので、PRE RECORDING機能をONにすれば、記録をスタートした時点から、設定した秒数をさかのぼって記録されます。決定的な瞬間の撮り逃しをリカバーできます。DVCPRO、DVの場合、最大15秒までのリカバーが可能です。

● ONE CLIP REC機能

1回の記録（REC開始から終了まで）を1つのクリップとするのではなく、複数回の記録をひとまとめの連結されたクリップとして記録することができます。連結クリップはサムネール操作や編集時に1つのクリップとして扱えるため、転送やコピーなどでの取り扱いが簡単です。最大99回の記録まで、1つに連結できます。

● データの保護

P2カードのデータはファイル消去やカードの初期化を行わない限り上書きによって消去することはありません。収録はカードの空き領域のみに行われます。

■ HD : AVC-I 100/AVC-I 50/DVCPRO HD /

SD : DVCPRO50/DVCPRO/DVスイッチャブル

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮のPCM記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

HDモードではDVCPRO HDの他にISO/IEC 14496-10規格のAVC (Advance Video Coding) 圧縮を選択することも可能です。本機はフレーム内圧縮を行っています。

SDモードでも、画質を優先させる場合はDVCPRO50に、経済性を優先させる場合はDVCPROにと用途に応じた記録フォーマットの選択が可能です。

◆ NOTE:

メニューで選択したものと異なるフォーマットのクリップを再生するとき、フォーマットの切替のため映像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

■ 全フォーマット4ch デジタルオーディオ収録

HD (1080i) モードは4チャンネルデジタルオーディオ記録を行います。なお、AVC-Intra フォーマット選択時は24 bitでの記録が可能です。

またSDモードでも、高音質 (48 kHz/16 bit) の4チャンネルデジタルオーディオの収録が可能です。

■ クリップサムネール機能

● サムネールの自動生成

記録カット（クリップ）ごとのサムネール画像を自動生成します。これはノンリニア編集やサーバーへのアップ後だけでなく、本機でも利用できます。

● LCDモニターへのサムネール表示

本機側面に装備された3.2型カラー液晶モニターに、クリップサムネールを12画マルチスクリーン表示が可能です。選択したクリップへ瞬時にアクセスして再生できます。

● 選択クリップのシームレス再生

複数のクリップをサムネール画面から指定して、シームレスな映像として連続再生・送付が可能です。

◆ NOTE:

記録フォーマットが異なるクリップ間を連続再生する場合、シームレス再生ができません。

● クリップ情報の表示

クリップを選択して、録画した時間やテキストメモ、ショットマーク、メタデータなどのクリップに付加された情報を確認することができます。

■ テキストメモ&ショットマーク

各クリップには、サムネールをタイムコードに関連づけて付けられるテキストメモや、OKカット/NGカットなどの区別を容易にするショットマークを付加することができます。

どちらも収録中はもちろん、収録後にクリップを選択して行うこともでき、収録後の作業をサポートします。また、テキストメモ区間単位でのコピー機能を利用すると、1つのクリップから必要な部分だけを抜き出すことができます。

■ FRONT 音声レベル調整ボリューム機構搭載

本機の前面部に、音声記録レベルの微調整用ボリュームを装備しています。特に、一人での撮影時における音声レベルの調整に有効です。なお、このボリュームを無効にする事も可能です。(20 ページ参照)

■ Unislotワイヤレス内蔵機構対応

本機は、別売りのスロットインワイヤレスレシーバーに対応した構造になっております。(115、192 ページ参照) 2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーにも対応可能です。

■ REC REVIEW機能

記録した最後の約2~10秒間を、自動的に戻って再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

■ タイムコードジェネレーター/リーダー内蔵

専用の領域にタイムコード情報を記録し、再生することができます。

■ メタデータ対応

本機は、メタデータのUMID情報として、GPSユニットAJ-GPS910G（別売品）からの位置情報（緯度・経度・標高）を記録する事が可能です。また、SDメモリーカードにあらかじめ登録した撮影者名やリポーター名、プログラム名などの情報を記録することが可能です。クリップの情報管理としても有効です。なおSDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>（23 ページ）も参照してください。

■ 本機で使用できるP2カード

本機では、別売のAJ-P2C064AG（64 GB）、AJ-P2E032XG（32 GB）などの4 GBから64 GBのP2カードが使用できます。（2010年10月現在）

◆ NOTE:

- AJ-P2C002SG（2 GB）は使用できません。
- P2カードの種類によっては、本機搭載のファームウェアをアップデートする必要があります。
→ 「本機搭載ファームウェアのアップデート」（200ページ）参照
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。
日本語：<http://panasonic.biz/sav/>
英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

■ P2カードの記録時間（64 GBカード1枚使用時）

HDモード

映像方式	記録方式と記録時間		
	DVCPRO HD	AVC-Intra100	AVC-Intra50
1080-59.94i/50i ^{*1}	約64分	約64分	約128分
1080-30PN/25PN (Native)	—	約64分	約128分
1080-24PN (Native)	—	約80分	約160分

*1 DVCPRO HDの30P、24P、25P ブルダウン時を含む

SDモード

映像方式	記録方式と記録時間		
	DVCPRO 50	DVCPRO ^{*2}	DV ^{*2}
480-59.94i/576-50i ^{*3}	約128分	約256分	約256分

*2 オーディオ2ch記録時

*3 30P、24P、25P ブルダウン時を含む

◆ NOTE:

32 GBのP2カードは上記の各値を1/2に、16 GBのP2カードは1/4に、8 GBのP2カードは1/8に換算してください。

■ P2カードに記録されるクリップの分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が一定量（下表に示す時間）を越えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。このようなクリップはP2機器でサムネール操作（表示、削除、修復、コピーなど）を行う場合、1つのクリップとして操作可能です。ただしノンリニア編集ソフトやパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録方式（Nativeを除く）	連続記録時間
DVCPRO HD	約5分
AVC-Intra100	
AVC-Intra50	約10分
DVCPRO50	
DVCPRO	約20分
DV	

入出力部の特長

■ 独立2系統HD SDI出力標準装備

SDI OUT 端子と MON OUT 端子から出力される HD SDI 信号はそれぞれ独立しています。HD SDI 出力にはエンベディッドオーディオなどが重畳されています。また SD モードでも、SDI OUT 端子と MON OUT 端子から独立2系統の SD SDI 信号が出力できます。

■ USB2.0 端子 (HOST/DEVICE) 搭載

外部パーソナルコンピューターなどと USB2.0 で接続し、本機に挿入した P2 カードをマストレージとして扱うことが可能です。また、USB ホスト機能を搭載し、USB2.0 で接続された外部ハードディスクに P2 カードのデータを保存したり、ハードディスクに保存されているクリップの閲覧や P2 カードへの書き戻しが可能です。(137 ページ参照)

■ ダウンコンバーター出力標準装備

HD モード時、MON OUT 端子はダウンコンバーター信号 (SD SDI 信号またはアナログコンポジット信号) が出力できます。

■ リモートコントロール端子

別売のリモートコントロールユニット (AJ-RC10G) またはエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) を接続すると、本機をリモート制御することが可能になります。(144 ページ参照)

■ リターンビデオ信号の確認

本機の GENLOCK IN 端子に供給されたリターンビデオ信号 (アナログ HD-Y 信号)、または SDI IN 端子に入力された HD SDI 信号をビューファインダーで確認することが可能です。プログラムの確認に使用することが可能です。同じ記録フォーマットの映像信号だけが確認できます。なお、SD モードでは SDI IN 端子に入力された SD SDI 信号のみ確認可能となります。

■ DC OUT 端子

本機の DC OUT 端子からは、1.5 A の電流を取り出すことが可能です。この端子に外部スイッチを接続すると、REC スタート/ストップの制御が可能になります。また、LED を接続すると、タリーランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。(118 ページ参照)

■ HD/SD SDI 入力装備

SDI IN 端子より入力した SDI 信号を記録できます。ただし記録できるのは、本機と同じ記録フォーマットの SDI 信号に限られます。

■ ライト端子

アントンバウアー製のウルトラライト 2 を接続することができます。50 W までの電球 (バルブ) を使用することが可能です。バッテリーによっては、電力不足で点灯しない場合もありますので電力に十分余裕のあるバッテリーをご使用ください。

その他の特長

■ ビューファインダー接続

本機のビューファインダー接続コネクターからは、1080/59.94i または 1080/50i の信号が出力されています。別売のビューファインダー (AJ-HVF21KG、AJ-CVF100G) を接続することで、マルチフォーマットに対応した映像を確認することが可能になります。(31 ページ参照)

■ ユーザーボタン

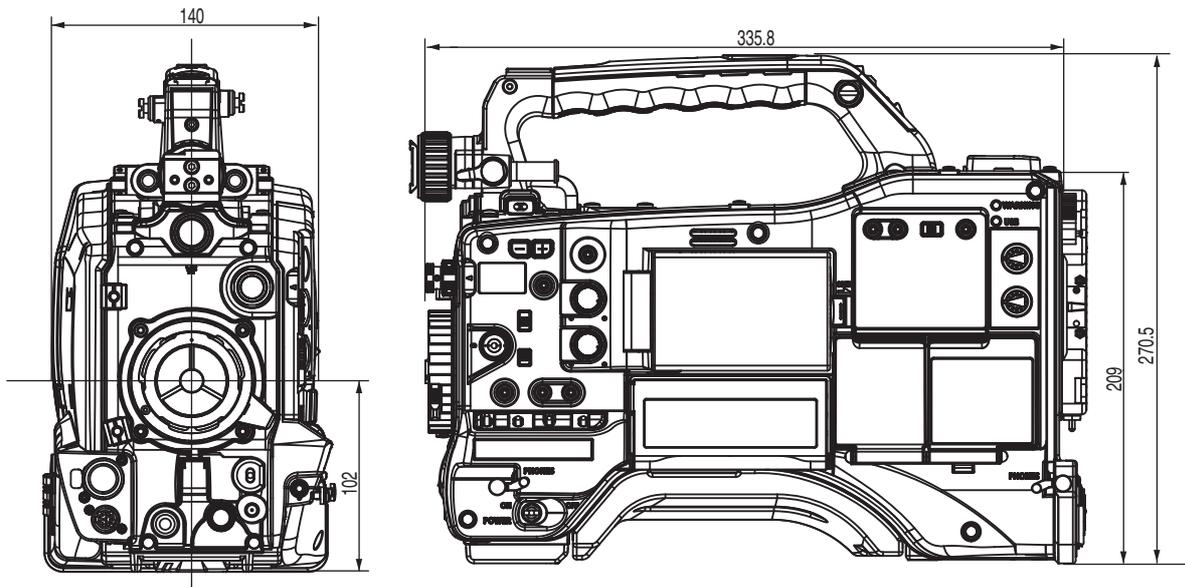
本機の側面には、5 個のユーザーボタン (USER MAIN/USER 1/USER 2/SHOT MARK/TEXT MEMO) が配置されています。各ユーザーボタンには、スロットセレクトや Y ゲットなど本機の多くの機能の中から、使用頻度の高い機能の ON/OFF を簡単に割り付けることができます。(56 ページ参照)

■ カメラ延長システム

本機は別売品のカメラアダプター (AG-CA300G)、およびベースステーション (AG-BS300) と組み合わせ、カメラ延長システムとしての運用が可能です。これらの機器との接続については、各機器の取扱説明書に記載されている接続方法や注意事項を参照の上、AJ-HPX3000G に準じてご使用ください。なお本機は HD ビューファインダーに対応していますので、SYSTEM MODE 項目を "480-59.94i"、"576-50i" に設定し VF インターフェースボックス (AG-YA500G) を接続したシステムでは、ビューファインダーでリターンビデオ映像を確認することはできません。SYSTEM MODE 項目は、SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面から選択できます。

寸法図

単位：mm

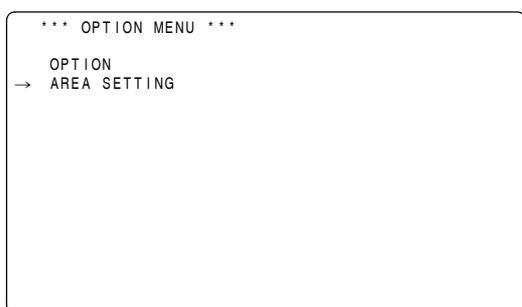


ご使用地域への設定 (フレーム周波数等の設定)

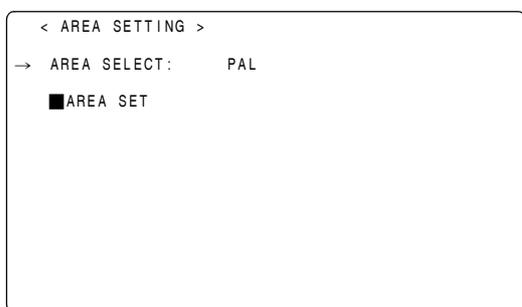
本機は使用地域が未設定の状態出荷されています。本機をご使用になる際には、下記手順でご使用地域のフレーム周波数に設定を変更してください。

1 本機に電源を接続して電源をONにした後、**LIGHT SW**を押しながら、**MENU SW**を押す
OPTION MENU画面が現れます。

2 JOGダイヤルボタンを回し、**AREA SELECT**項目にカーソル(矢印)を移動させ、**JOG**ダイヤルボタンを押す
AREA SELECT項目はOPTION MENUページの<AREA SETTING>画面から選択します。



3 JOGダイヤルボタンを回し、**NTSC/NTSC(J)/PAL**の中から使用する地域を選択する
地域を選択した後、JOGダイヤルボタンを押します。



4 JOGダイヤルボタンを回し、カーソル(矢印)を**■ AREA SET**に移動させ、**JOG**ダイヤルボタンを押す
下記画面が現れます。



5 YESに→移動させ、**JOG**ダイヤルボタンを押す
3で選択した設定がFACTORYおよびCURRENT DATAに反映されます。

6 本機の電源を一旦OFFして、再度、電源を投入する

◆ NOTE:

- AREA SELECTでNTSC/NTSC(J)/PALを設定しても、SETを実行しないと、設定は確定されません。
- AREA SELECTを変更すると“■ AREA SET”が点滅します。
- 本機を初めてご使用の状態での設定を行なうと、本機は下記の項目のみ変更されます。下記項目以外のMENU設定値は工場出荷状態となります。

	工場出荷状態	NTSC	NTSC(J)	PAL
SYSTEM MODE	1080-59.94i	1080-59.94i	1080-59.94i	1080-50i
REC FORMAT	AVC-I 100/60i	AVC-I 100/60i	AVC-I 100/60i	AVC-I 100/50i
CAMERA MODE	60i	60i	60i	50i
SET UP*1	7.5%A	7.5%A	0%	0%
SET UP (D/C)*2	7.5%	7.5%	0%	0%
REAR LINE IN LVL	+4dB	+4dB	+4dB	0dB
AUDIO OUT LVL	+4dB	+4dB	+4dB	0dB
HEAD ROOM	20dB	20dB	20dB	18dB
GUIメタデータ言語表示	アメリカ英語	アメリカ英語	日本語/日本向け	アメリカ英語
LANGUAGE*3	無表示	無表示	ENGLISH JAPANESE	無表示
DATE FORMAT*4	MDY	MDY	YMD	DMY

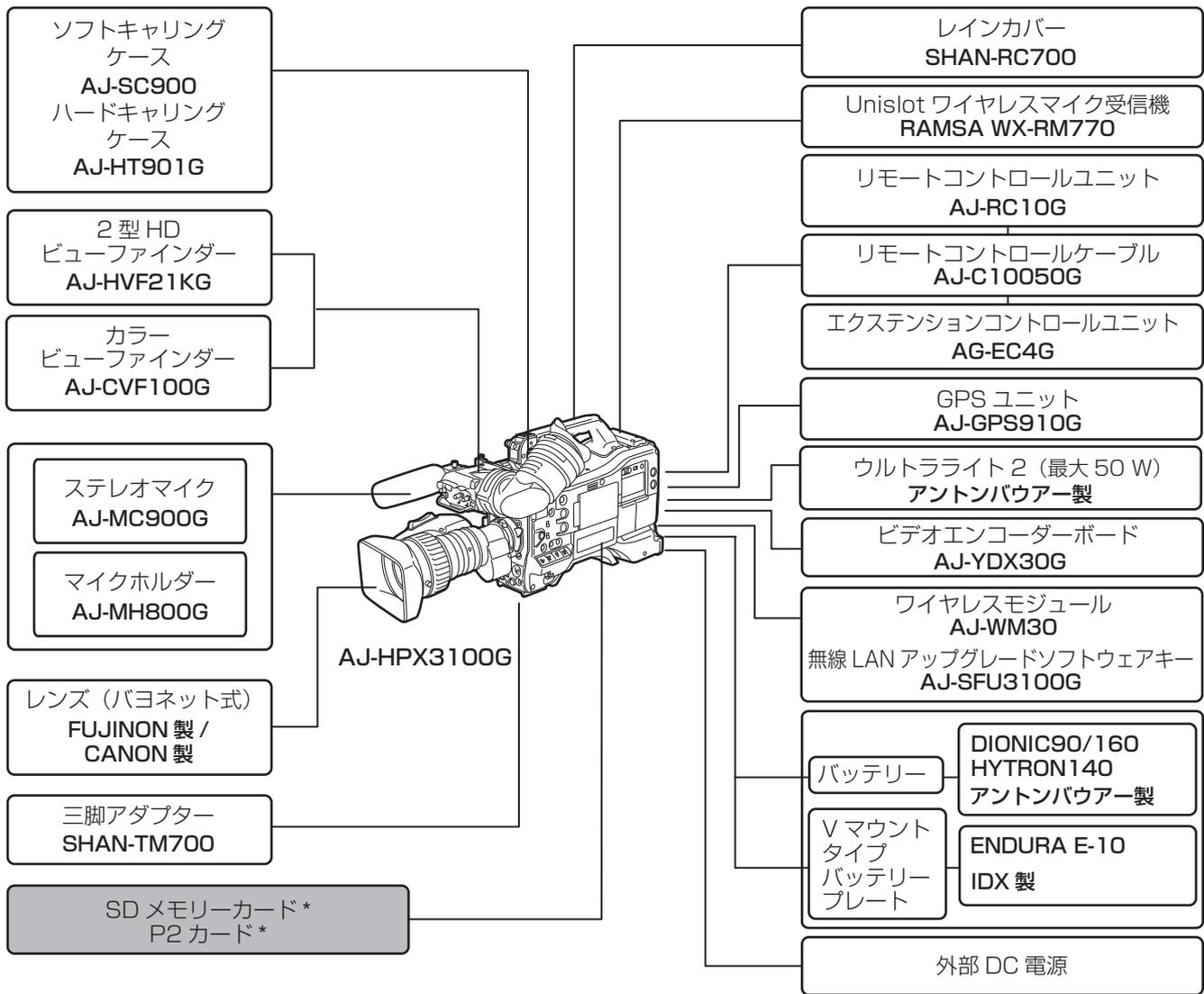
*1 SYSTEM MODEメニューのSET UP (480-59.94i時のみ有効)

*2 DOWNCON SETTINGメニューのSET UP (1080-59.94i時のみ有効)

*3 サムネールメニューからMETA DATA → LANGUAGEと選択してください。
→ 「メタデータの表示言語設定」(131ページ)参照

*4 サムネールメニューから THUMBNAIL → SETUP → DATE FORMATと選択してください。
→ 「サムネールの表示設定」(133ページ)参照

システム構成



◆ NOTE:

このシステム構成図に掲載された本機を除く機器およびオプション品はすべて別売となっております。ご使用の際にはそれぞれの取扱説明書をご確認ください。

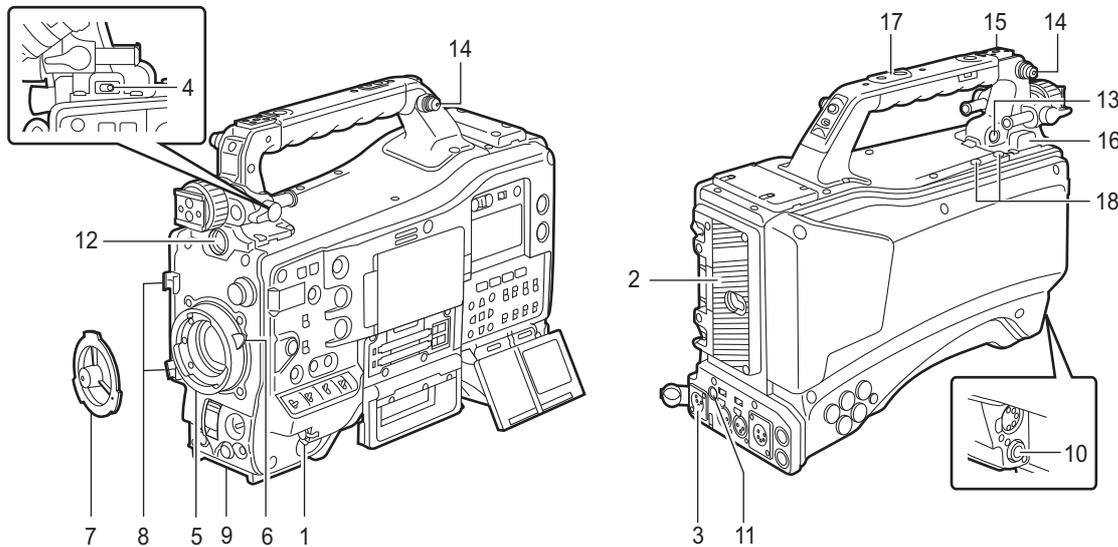
* P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

各部の名称と機能

電源部およびアクセサリ取り付け部



1. POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。

2. バッテリーマウント

アンソンパワー製のバッテリーパックを取り付けます。

→「バッテリーの取り付けおよび設定」(110ページ)参照

3. DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)

外部DC電源と接続します。

→「外部DC電源の使用」(111ページ)参照

4. ライトスイッチ

16. ライト端子に接続したビデオライトのON/OFFのしかたを選択します。

AUTO: ビデオライトのPOWERスイッチをONにしておくと、本機の記録開始と同時にライトが点灯し、記録停止と同時にライトが消灯します。

MANUAL: ビデオライトのPOWERスイッチのON/OFFに従ってライトが点灯します。

5. レンズマウント (バヨネット2/3型)

レンズを取り付けます。

→「レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整」(112ページ)参照

6. レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。

→「レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整」(112ページ)参照

7. レンズマウントキャップ

6. レンズ固定レバーを押し上げてキャップを取り外します。

レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。

8. レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ

レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。

→「レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整」(112ページ)参照

9. 三脚マウント

本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。

→「三脚への取り付け」(116ページ)参照

10. LENS 端子 (12ピン)

レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書をお読みください。

11. DC OUT (DC 電源) 出力端子

DC 12 Vの出力端子です。最大1.5 Aの電流を取り出すことができます。

この端子に外部スイッチを接続すると、RECスタート/ストップの制御が可能になります。またLEDを接続すると、タリーランプとして使用することが可能です。

→「DC OUT端子と外部RECスタート/ストップスイッチの接続」(118ページ)参照

◆ NOTE:

外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

12. VF端子 (20ピン)

ビューファインダー (AJ-HVF21KG、AJ-CVF100G・別売品) を取り付けます。

→「ビューファインダー部」(31ページ) 参照

◆ NOTE:

本機のシステムモードを480/59.94iまたは576/50iに設定した場合、ビューファインダー画面上に表示される映像品位と、実際に記録および本機から出力される映像の品位は異なりますので、ご理解の上、ご使用ください。

13. GPS端子

別売のGPSユニットAJ-GPS910Gからのコネクタを接続します。

14. ショルダーベルト取付金具

ショルダーベルトを取り付けます。

→「ショルダーベルトの取り付け」(117ページ) 参照

15. ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。取り付け穴サイズは、1/4-20UNC (ネジ長さ6 mm以下) です。

16. ライト端子

アントンバウアー製のウルトラライト2、または同等品で50 W以下のビデオライトが接続できます。なお、ライトを点灯時はバッテリー残量が急激に減少します。ライト使用時には90 Wh以上のバッテリーの使用をお勧めします。

17. アクセサリー取り付け穴

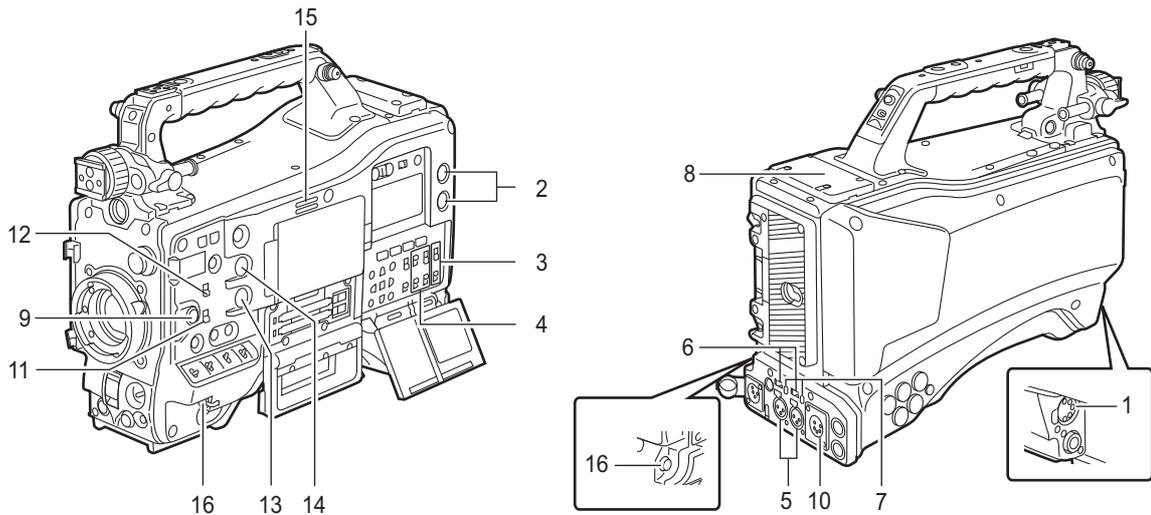
アクセサリーを取り付けます。アクセサリー取り付け以外の用途では使用しないでください。

取り付け穴サイズには、1/4-20UNC (ネジ長さ10 mm以下) と3/8-16UNC (ネジ長さ10 mm以下) の2種類があります。

18. マイクホルダー取り付けビス

マイクホルダー AJ-MH800G (別売品) や、VFインターフェイスボックスAG-YA500G (別売品) を取り付けるためのビスです。

音声機能部（入力系）



1. MIC IN（マイク入力）端子（XLR、5ピン）

マイクロホン（別売品）を接続します。マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントムマイクが使用可能です。ただし使用する際には、FRONT MIC POWER項目で、電源をONに設定してください。FRONT MIC POWER項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択します。
→「音声入力の準備」（115ページ）参照

2. AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4（音声チャンネル1/3 / 2/4録音レベル調整）つまみ

3.AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4（音声チャンネル1/3 / 2/4自動 / 手動レベル調整切り替え）スイッチを「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャンネル1/2（メニュー設定により3/4）の録音レベルが調整できます。

なお、つまみのロック機構を設けていますので、調整する時はつまみを押し込みながら回して調整してください。

3. AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4（音声チャンネル1/3 / 2/4自動 / 手動レベル調整切り替え）スイッチ

音声チャンネル1/2（メニュー設定により3/4）の録音レベルを調整する方法を選びます。

AUTO： 自動調整をします。

MAN： 手動調整をします。

4. AUDIO IN（音声入力切り替え）スイッチ

音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選びます。

FRONT: 1.MIC IN（マイク入力）端子に接続したマイク入力信号を録音します。

W.L. (WIRELESS)：

スロットインワイヤレスからの入力信号を録音します。

REAR: 5.AUDIO IN CH1/3 / CH2/4（音声入力チャンネル1/3 / 2/4）端子に接続したオーディオ機器からの音声入力信号を録音します。

◆ NOTE:

ステレオマイク（AJ-MC900G・別売品）を使用する場合、CH1、CH2（メニュー設定によりCH3、CH4）の両方を「FRONT」にしてください。L CHはCH1（メニュー設定によりCH3）に、R CHはCH2（メニュー設定によりCH4）にそれぞれ記録されます。

5. AUDIO IN CH1/3 / CH2/4（音声入力チャンネル1/3 / 2/4）端子（XLR、3ピン）

オーディオ機器または、マイクロホンを接続します。
→「オーディオ機器を使用する場合」（116ページ）参照

6. LINE/MIC（ライン入力/マイク入力）切り替えスイッチ

5.AUDIO IN CH1/3 / CH2/4（音声入力チャンネル1/3 / 2/4）端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE: ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC: マイクからの音声入力信号

7. マイク入力+48V ON/OFFスイッチ

5.AUDIO IN CH1/3 / CH2/4 (音声入力チャンネル1/3 / 2/4) 端子に接続されたマイクに電源の供給をON/OFFするスイッチです。

+48V: マイクに+48 V電源を供給します。

OFF: マイクに+48 V電源を供給しません。

◆ NOTE:

REAR MIC POWER項目が“ON”に設定されていない場合は、スイッチの位置にかかわらず電源を供給しません。REAR MIC POWER項目はMAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択します。

8. ワイヤレススロット

Unislot ワイヤレスレシーバー (別売品) を取り付けることができます。

9. F.AUDIO LEVEL (音声録音レベル調整)

つまみ

音声チャンネル1/3および2/4の録音レベルが調整できます。ただし3.AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4 (音声チャンネル1/3 / 2/4自動/手動レベル調整切り替え) スwitchの位置が「AUTO」のときは自動調整になり、このつまみと2.AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4 (音声チャンネル1/3 / 2/4録音レベル調整) つまみは動作しません。

なお、FRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目 (メニュー設定によりFRONT VR CH3項目とFRONT VR CH4項目) で、このつまみの操作を、有効にするか無効にするかを設定できます。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択します。

音声機能部（出力系）

10. AUDIO OUT 端子（XLR、5ピン）

音声チャンネル1/2、または音声チャンネル3/4に記録された音声信号を出力します。
出力される信号は、11.MONITOR SELECT（音声チャンネル選択）CH1/2／CH3/4切り替えスイッチで選択します。

11. MONITOR SELECT（音声チャンネル選択）

CH1/2／CH3/4切り替えスイッチ

スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH1/2： 音声チャンネル1および2の信号を出力します。

CH3/4： 音声チャンネル3および4の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、表示窓とビューファインダー内のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

12. MONITOR（音声選択）CH1/3／ST／CH2/4

切り替えスイッチ

MONITOR SELECTスイッチに連動して、スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子からの音声出力を選択します。

CH1/3： 音声チャンネル1か、音声チャンネル3の信号を出力します。

ST： 音声チャンネル1と2のステレオ音声信号か音声チャンネル3と4のステレオ音声信号が出力されます。なおメニュー設定で、ステレオ音声をMIX信号に変更が可能です。

CH2/4： 音声チャンネル2か、音声チャンネル4の信号を出力します。

MONITOR スイッチ	MONITOR SELECTスイッチ	
	CH1/2	CH3/4
CH1/3	音声チャンネル1	音声チャンネル3
ST	音声チャンネル1と2のステレオ*	音声チャンネル3と4のステレオ*
CH2/4	音声チャンネル2	音声チャンネル4

* MONITOR SELECT項目でSTEREOかMIXの切り替えが可能です。MONITOR SELECT項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択します。

13. MONITOR（音量調整）つまみ

15.スピーカー、または16.PHONES（イヤホン）端子に接続したイヤホンからの音量を調節します。

14. ALARM（警告アラーム音量調節）つまみ

15.スピーカー、または16.PHONES（イヤホン）端子に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。

最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。

15. スピーカー

記録中はEE 音声を、再生中は再生音をモニターできます。

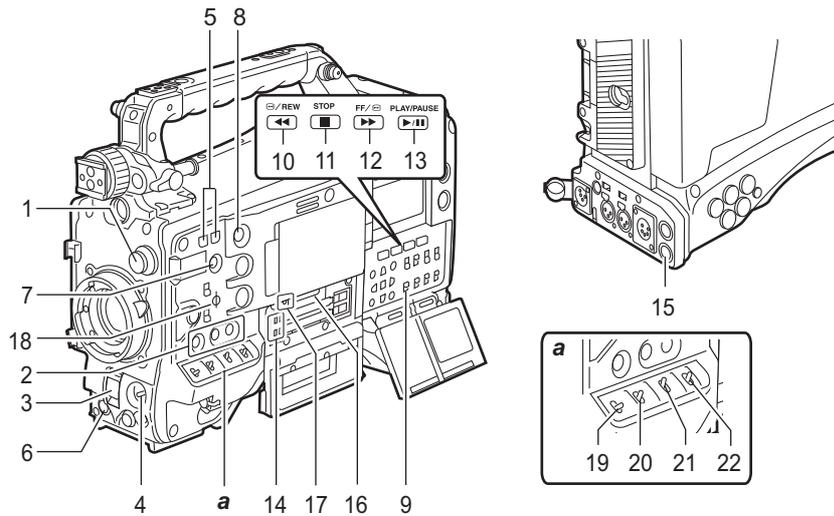
警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。

16.PHONES（イヤホン）端子にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。

16. PHONES（イヤホン）端子（ミニジャック）

オーディオモニター用イヤホン（ステレオ）端子です。出力する音声は両端子（フロント側、リア側）とも同じです。

撮影・記録/再生機能部



1. CC/ND FILTER (フィルター切替) つまみ

被写体の照度や色温度に合わせてフィルターを選択します。

CC FILTERつまみ (外形、大径)

A : 3200K B : 4300K
C : 5600K D : 6300K

ND FILTERつまみ (内形、小径)

1 : CLEAR (素通し) 2 : 1/4 ND
3 : 1/16 ND 4 : 1/64 ND

撮影条件	CCフィルター	NDフィルター
日の出、日没、スタジオ内	A (3200 K)	1 (CLEAR)
晴天の屋外	B (4300 K) または C (5600 K) または D (6300 K)	2 (1/4 ND) または 3 (1/16 ND)
曇天・雨天の屋外	D (6300 K)	1 (CLEAR) または 2 (1/4 ND)
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	B (4300 K) または C (5600 K) または D (6300 K)	3 (1/16 ND) または 4 (1/64 ND)

2. USER MAIN、USER1/USER2 ボタン

メニュー操作で、ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り付けることができます。ボタンを押すことで、割り付けられた機能の動作をします。
→「USER ボタンへの機能割り付け」(56ページ) 参照

3. SHUTTERスイッチ

電子シャッターのON/OFF切り替えスイッチです。

OFF : 電子シャッターは動作しません。
ON : 電子シャッターが動作します。
SEL : 電子シャッターの速度を変更するときに、使用します。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作するごとに、シャッタースピードが変化します。
→「電子シャッターの設定」(54ページ) 参照

4. AUTO W/B (WHITE/BLACK) BALスイッチ

AWB: ホワイトバランスを自動調整します。

側面のWHITE BALスイッチを「A」または「B」の位置にして、このスイッチを操作すると、調整された値がメモリーに記録されます。ただし、「PRST」の位置のときは動作しませんのでご注意ください。

ABB: ブラックバランスを自動調整します。

また、メニュー操作でSHD.ABB SW CTL項目を「ON」に設定するとブラックシェーディングの自動調整機能をこのスイッチに割り付けることができます。(185 ページ参照) SHD.ABB SW CTL項目は、CAM OPERATIONページの<SW MODE>画面から選択できます。

◆ NOTE:

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度「AWB」側や「ABB」側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

5. SYNCHRO SCAN調整スイッチ

3.SHUTTERスイッチを「ON」にし、シンクロスキャンが選択されているときに有効です。シンクロスキャンの速度を調整するスイッチです。-のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、+のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。パソコンモニターを撮影する場合などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

6. REC ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。このボタンは、ハンドル部の27.RECボタンや、レンズ側のVTRボタンと同じ働きをします。

7. SHOT MARKER ボタン

記録中に押すと、そのクリップのサムネールにショットマークをつけることができます。また液晶モニターでサムネールを選択し、このボタンを押してショットマークをつけることもできます。

→「ショットマーク機能」(47ページ) 参照

また、メニュー設定でUSER3ボタンとして使用することができます。

→「USER ボタンへの機能割り付け」(56ページ) 参照

8. TEXT MEMO ボタン

記録/再生中、または再生の一時停止中に押すと、テキストメモを記録できます。

→「テキストメモ機能」(46ページ) 参照

また、メニュー設定でUSER4ボタンとして使用することができます。

→「USER ボタンへの機能割り付け」(56ページ) 参照

9. MON OUT CHARACTER スイッチ

MON OUT 端子から出力される映像へのキャラクターの重畳を制御します。

ON : キャラクターを重畳します。

OFF : キャラクターを重畳しません。

→「MON OUT 端子から出力する信号の設定」(90ページ) 参照

10. REW (早戻し) ボタン

停止中に押すと高速逆再生になります。

再生中に押すと約4倍速の高速逆再生になります。また、再生の一時停止状態のときに押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

11. STOP (停止) ボタン

再生を停止するときに押します。

また、インターバル記録、ワンショット記録を停止するときや、ONE CLIP RECモード時にクリップ連結をいったん終了するときに押します。

12. FF (早送り) ボタン

停止中に押すと高速再生になります。

再生中に押すと約4倍速の高速再生になります。

また、再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

13. PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン

ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。

再生中に押すと、再生モードでの一時停止(PLAY/PAUSE)になります。

14. P2カードアクセスLED

各カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(34ページ) 参照

15. REMOTE (リモートコントロール) 端子

リモートコントロールユニットAJ-RC10G(別売品)を接続します。

→「リモートコントロールユニット(AJ-RC10G)の接続」(144ページ) 参照

また、エクステンションコントロールユニットAG-EC4G(別売品)を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることもできます。

→「エクステンションコントロールユニット(AG-EC4G)の接続」(146ページ) 参照

16. SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード(別売品)の挿入口です。SDメモリーカードは、本機の設定メニューやレンズファイルの記録/呼び出し、メタデータのアップロードなどで使用します。

◆ NOTE:

<SDメモリーカード使用上の注意>

- 本機には、SD規格またはSDHC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。
- MMC (Multi Media Card) は、使用できません。(撮影することができなくなることがありますのでご注意ください)
- mini SD/micro SDカードを本機で使用する場合は、必ず、mini SD/micro SDカード専用のアダプターを装着してご使用ください。(mini SD/micro SDアダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ずメモリーカードを入れてご使用ください)
- 当社製のSDメモリーカードおよびmini SD/micro SDカードをご使用いただくことをおすすめします。またフォーマットは、必ず本機で行ってください。
- 本機では、8 MBから2 GBのSDメモリーカードおよび32 GBまでのSDHCメモリーカードが使用できます。
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語 : <http://panasonic.biz/sav/>

英語 : <http://pro-av.panasonic.net/>

- SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。

17. BUSY (動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

◆ NOTE:

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。SDメモリーカードを破損する恐れがあります。

18. 焦点マーク (φ)

CCDセンサーの焦点位置を示します。

被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。

19. MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCEL スイッチ

MARKER 選択と MODE CHECK/MENU CANCEL を兼ねた跳ね返りスイッチです。

本体側に押しごとにビューファインダーに表示されるマーカーが変わります。メニューで設定された A、B の 2 種類のマーカー情報表示画面を、このボタンを本体側に押しごとに A (A マーカー表示) → B (B マーカー表示) → OFF (マーカー表示なし) と切り替えます。なお、電源 ON 時は電源 OFF する直前の状態で表示します。

→ 「マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT 機能)」(87 ページ) 参照

手前に引くと、カメラの設定状態として 6 つの画面表示 (STATUS 画面表示、!LED 画面表示、FUNCTION 画面表示、AUDIO 画面表示、CAC 画面表示、USER SW 画面表示) がビューファインダー上で順番に切り替わります。

カメラの出力信号には影響ありません。表示は約 5 秒で消えます。選択された画面が表示されている際、このボタンを押し続けるとその間表示が継続されます。メニュー表示中は、変更した設定値をキャンセルするスイッチとして動作します。

20. GAIN 切り替えスイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

L、M、H の設定に対するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。

出荷時の設定は L=0 dB、M=6 dB、H=12 dB です。

21. OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

CAM. AUTO KNEE ON :

カメラで撮影している映像が出力されます。AUTO KNEE 回路が動作します。

また、AUTO KNEE 機能の代わりに DRS (ダイナミックレンジストレッチャー) 機能を割り付けることも可能です。

CAM. AUTO KNEE OFF :

カメラで撮影している映像が出力されます。

MANUAL KNEE になります。

BARS :

カラーバー信号が出力されます。AUTO KNEE 回路は動作しません。

カラーバー信号は、4 種類の中から選択することができます。

→ 「COLOR BARS」(185 ページ) 参照

◆ NOTE:

出荷状態では、OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「BARS」に設定した場合、AUDIO IN スイッチの CH1 を「FRONT」に設定すると、オーディオ 4CH すべてに TEST TONE が出力されます。

なお、TEST TONE の出力方法は TEST TONE 項目 で変更することができます。

→ 「TEST TONE」(191 ページ) 参照

AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときに AUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE 機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・ 晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・ 車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- ・ コントラストの強い場面を撮るとき

22. WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

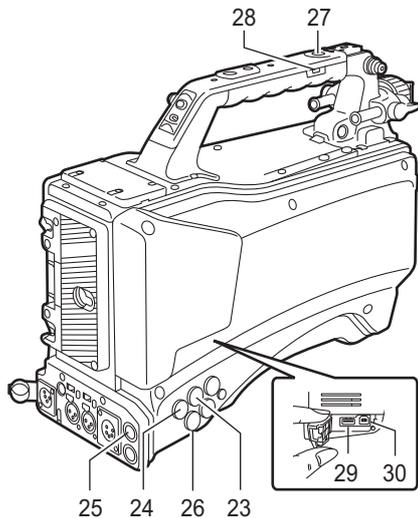
PRST : ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。工場出荷時は、3200K に設定しています。また、メニュー設定で任意の色温度に変更が可能です。

→ 「マニュアルでの色温度の設定」(52 ページ) 参照

A または B : 4. AUTO W/B BAL スイッチを「AWB」側に押しとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー B に記憶されます。

また、メニュー設定で自動追尾方式のオートトラッキングホワイトバランス (ATW) を B に割り当てることも可能です。

→ 「ホワイトバランスの調整」(50 ページ) 参照



23. GENLOCK IN 端子

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに、基準信号を入力します。

また、HD-Y信号を入力し、かつRETURN SIGNAL項目で“HD-Y”を選択しているとき、ビューファインダー画面でリターンビデオ信号が確認できます。

RETURN SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択できます。

→「外部基準信号の選択とゲンロックの設定」(62ページ) 参照

24. SDI IN (入力) 端子

HD/SD SDI 信号を入力することができます。

REC SIGNAL項目で“SDI”を選択することにより、この入力端子からの信号を記録することができます。

REC SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

また、メニューで、この入力信号を基準として、ゲンロックをかけることもできます。

→「外部基準信号の選択とゲンロックの設定」(62ページ) 参照

◆ NOTE:

HD SDI信号入力時は5C-FB以上のケーブルをご使用ください。

25. SDI OUT (出力) 端子

SDI専用の出力端子です。システムモードと同じ信号形式で出力されます。ダウンコンバートおよびアップコンバートには対応していません。

キャラクターの重畳は26.MON OUT (モニター出力) 端子とは独立して設定することができます。

→「SDI OUT端子から出力する信号の設定」(89ページ) 参照

◆ NOTE:

HD SDI信号出力時は5C-FB以上のケーブルをご使用ください。

26. MON OUT (モニター出力) 端子

モニター用映像の出力端子です。MONITOR OUT MODE項目に従い、SDI OUTとは独立した映像が出力できます。またメニュー設定により、HD-SDIもしくはダウンコンバートしたSD-SDI、またはVBSが選択できます。アップコンバートには対応していません。

MONITOR OUT MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

キャラクターの重畳は、25.SDI OUT (出力) 端子とは独立して、9.MON OUT CHARACTERスイッチで設定することができます。

→「MON OUT端子から出力する信号の設定」(90ページ) 参照

◆ NOTE:

HD SDI信号出力時は5C-FB以上のケーブルをご使用ください。

27. REC ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。

このボタンは、6.RECボタンやレンズ側のVTRボタンと同じ働きをします。

このボタンは28.REC禁止スイッチで、操作を無効にすることができます。

28. REC 禁止スイッチ

ハンドル部の27.RECボタンの操作を禁止するスイッチです。

ON： RECボタンの操作が有効

OFF： RECボタンの操作が無効

29. USB 2.0 端子 (HOST)

30. USB 2.0 端子 (DEVICE)

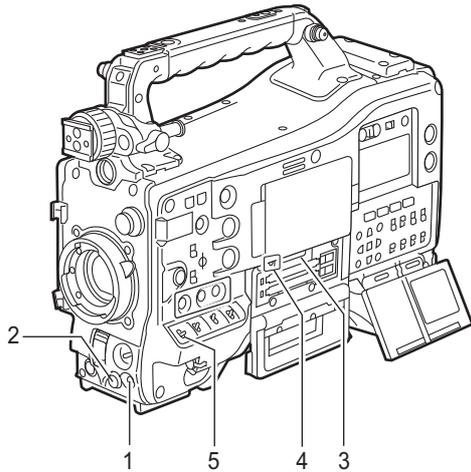
USB 2.0ケーブルを接続します。

PC MODE項目を“ON”に設定していると、USB 2.0を使ったデータ転送が可能になります。また、このとき本機で記録再生や、クリップの操作は制限されます。

PC MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

→「USB 2.0端子での接続機能」(137ページ) 参照

メニュー操作部



1. MENU ボタン

メニューのON/OFF切り替えボタンです。

2. JOGダイヤルボタン

メニューを開いている状態で、メニューのページ移動、項目の選択や設定を行います。

→「メニューの基本操作」(161ページ) 参照

3. SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード(別売品)の挿入口です。メニューデータやレンズファイルの書き込み/保存をするとき使います。

4. BUSY (動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

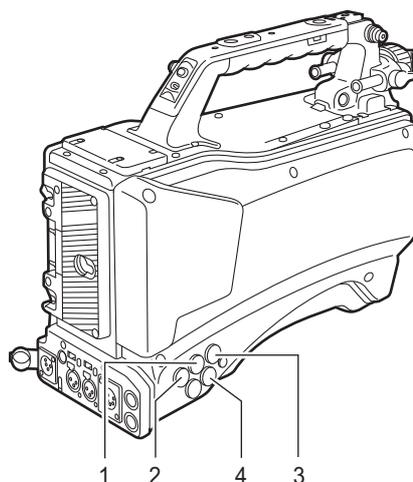
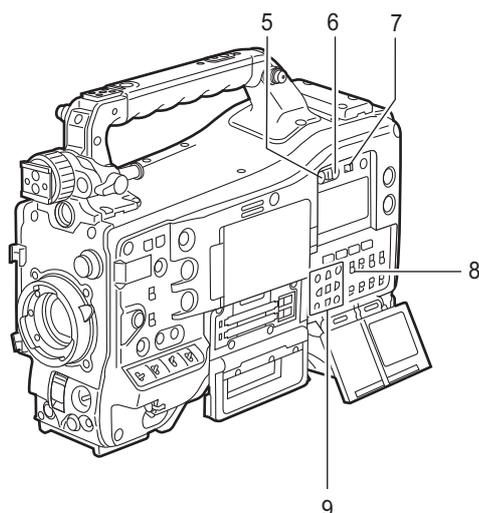
◆ NOTE:

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。SDメモリーカードを破損する恐れがあります。

5. MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCEL スイッチ

メニュー項目設定を変更している途中で手前に引くと、変更前の値に戻すことができます。

タイムコード関連部



1. GENLOCK IN 端子 (BNC)

カメラ部に GENLOCK をかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に基準信号を入力します。
→ 「タイムコードを外部ロックさせる」(69ページ) 参照

2. SDI IN 端子 (BNC)

カメラ部に GENLOCK をかける時、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。
→ 「タイムコードを外部ロックさせる」(69ページ) 参照

◆ NOTE:

入力する SDI 信号は、必ず本機のシステムモードメニューで選択したフォーマットと同じにしてください。

3. TC IN 端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。
→ 「タイムコードを外部ロックさせる」(69ページ) 参照

4. TC OUT 端子 (BNC)

外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。
→ 「タイムコードを外部ロックさせる」(69ページ) 参照

5. HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。

あるシーンを撮影したタイムコード、またはカウンタ表示部のタイムデータ (CTL) を知りたいときなどに使用します。

6. RESET ボタン

カウンタ表示部のタイムデータ (CTL) を “00:00:00:00” にリセットします。
また、8.TCG (タイムコード切り替え) スイッチを「SET」の位置にして、このボタンを押すと、タイムコードデータ、ユーザーズビットデータをそれぞれ0にリセットし、リアルタイムデータを初期値に戻します。

7. DISPLAY (カウンタ表示切り替え) スイッチ

このスイッチと8.TCG (タイムコード切り替え) スイッチ設定位置に応じて、CTL、タイムコード、ユーザーズビットを表示窓のカウンタ表示部に表示させます。
また、5.HOLD ボタンを押すと、DATE/TIME/タイムゾーンを表示することもできます。

UB : ユーザーズビット/DATE/TIME/タイムゾーンを表示します。

TC : タイムコードを表示します。

CTL : CTLを表示します。

8. TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定します。

F-RUN : P2カード記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。
タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

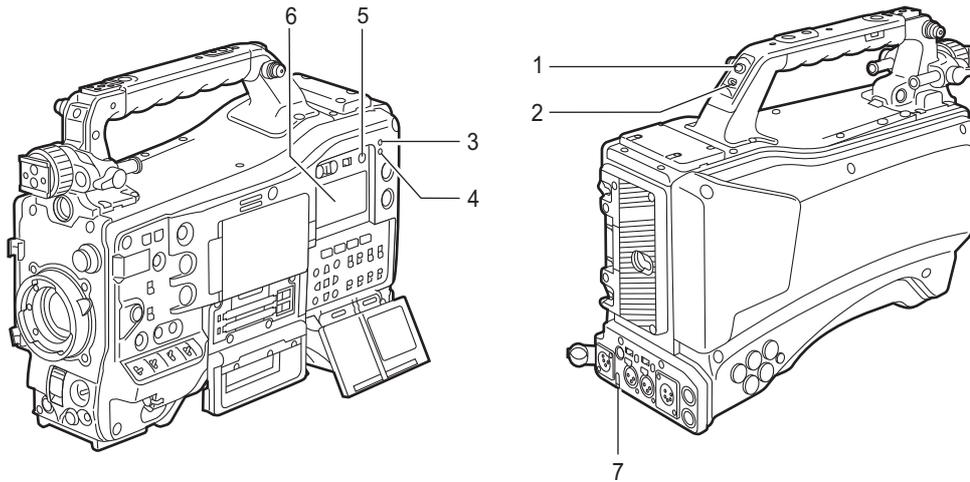
SET : タイムコードやユーザーズビットを設定するときに使用します。

R-RUN : 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。
つなぎ撮りをしたP2カード上のタイムコードは、連続して記録されます。

9. カーソル・SET ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定に使用します。4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。
→ 「タイムデータの設定」(63ページ) 参照

警告/状態表示部



1. バックタリーランプ

2.バックタリースイッチを「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。

2. バックタリースイッチ

1.バックタリーランプと7.リアタリーランプの働きをコントロールします。

ON : バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。

OFF :バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。

3. WARNINGランプ

メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。

4. USBランプ

本機がUSBモードのときに点灯します。

5. LIGHT ボタン

表示窓の照明をコントロールします。

押すごとに6.表示窓の照明の点灯/消灯を切り換えます。

6. 表示窓

メモリー記録部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。

◆NOTE:

バッテリーを装着したままにしていると、電源をOFFにしても、各データを表示します。表示を消し、バッテリーの消耗を抑えるときはP.OFF LCD DISPLAY項目を“OFF”に設定してください。P.OFF LCD DISPLAY項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択できます。

7. リアタリーランプ

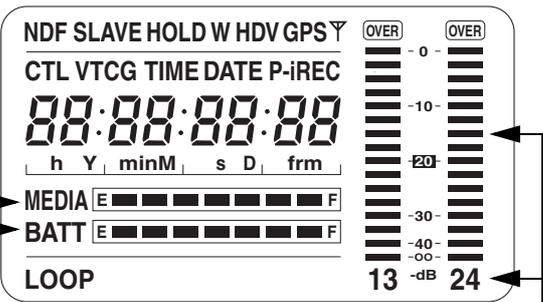
2.バックタリースイッチを「ON」に設定すると、バックタリーランプと同様に動作します。

表示窓内表示

P2カード・バッテリー残量、音声レベルの表示

MEDIA 残量表示バー

P2カード残量を7個のセグメントで表示します。1個のセグメントが示すP2カード残量時間は、CARD REMAIN/■項目で3分または5分に設定します。設定された時間ごとに、セグメントが1個ずつ消えていきます。CARD REMAIN/■項目は、MAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。



バッテリー残量表示バー

デジタル表示(%表示)のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が70%以上のときにFの位置までセグメントが7個点灯します。バッテリー残量が70%未満より10%減るごとに、セグメントが1個ずつ消えます。BATT REMAIN FULL項目で“100%”を選択すると100%でセグメントを7個点灯する設定にすることも可能です。BATT REMAIN FULL項目は、MAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。

音声チャンネルレベルメーター

MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4スイッチを「CH1/2」に設定すると、音声チャンネル表示数字1と2を表示し、CH1とCH2の音声レベルを表示します。「CH3/4」に設定すると、音声チャンネル表示数3と4を表示し、CH3とCH4の音声レベルを表示します。

メモリー記録部の動作/状態に関する表示

エラーコード表示

→ 詳しくは「警告システム」(154ページ)参照

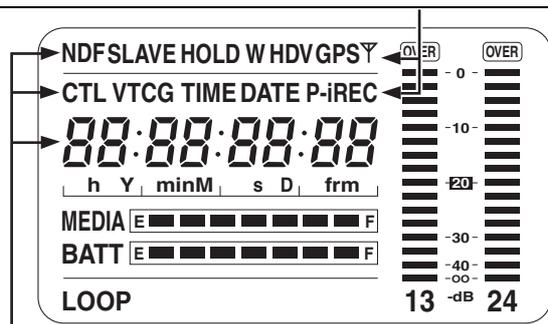


情報表示

LOOP: LOOP RECモード時に点灯します。
→ LOOP RECモードについては「LOOP REC機能」(40ページ)参照

モード表示

W: SDモード(480-59.94i, 576-50i)で動作中に、16:9モード時に点灯
HD: HDモード(1080i)で動作中に点灯
DV: 記録/再生フォーマットがDVのときに点灯
GPS: GPS動作中、GPSの電波を受信できていないときに点灯
GPS Y: GPS動作中、GPSの電波を受信しているときに点灯
P-REC: PRE REC MODE項目の設定がONのときに点灯し、記録のタリランプ消灯後、記録継続中は点滅
PRE REC MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。
iREC: INTERVAL RECモードで記録中は点灯し、記録待機中は点滅します。
i: INTERVAL RECモードを選択中に点滅します。



タイムコードに関する表示

NDF: タイムコードがノンドロップフレーム時に点灯
DF: タイムコードがドロップフレーム時に点灯
SLAVE: タイムコードが外部ロック時に点灯
HOLD: タイムコードジェネレーター/リーダー値をホールドした時に点灯
CTL: DISPLAYスイッチで「CTL」を選択し、CTLカウンタ値を表示しているときに点灯
TCG: DISPLAYスイッチで「TC(もしくはUB)」を選択し、TC(もしくはUB)ジェネレーター値を表示時に点灯
TC: DISPLAYスイッチで「TC(もしくはUB)」を選択し、TC(もしくはUB)リーダー値を表示時に点灯
VTCG: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUBジェネレーター値を表示時に点灯
VTC: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUBリーダー値を表示時に点灯
TIME: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの時分秒値を表示時に点灯
DATE: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの年月日値を表示時に点灯
無表示: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムのタイムゾーン時分値を表示時は、VTCG、TIME、DATEは消灯します。

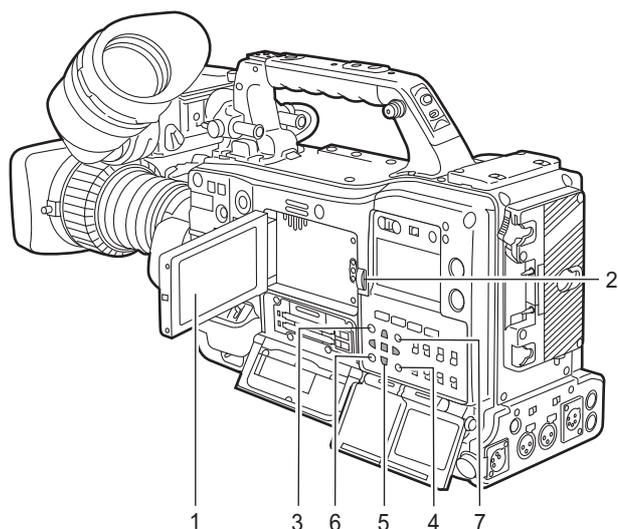
タイムカウンター表示:

タイムコード、ユーザーズビット、CTL、リアルタイムを表示

◆NOTE:

DISPLAYスイッチでUBを選択時、HOLDボタンを押すことに、VTCG(VTC)→DATE→TIME→無表示(タイムゾーン)→TCG(TC)を繰り返します。

液晶モニター一部



1. 液晶モニター

ビューファインダー内の映像を表示します。
また、P2カードのクリップを、サムネール表示することもできます。
サムネール表示時は、4.THUMBNAIL MENU ボタンや5.カーソル・SETボタンを使って、クリップの操作や削除、またP2カードのフォーマットなどができます。

◆NOTE:

- このモニターに表示される映像品位と、本機に実際に記録/出力される映像品位は異なります。特に本機のSYSTEM MODE項目を“480/59.94i”または“576/50i”に設定している場合はご注意ください。SYSTEM MODE項目は、SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。
- SYSTEM MODE項目を“480/59.94i”または“576/50i”に設定し、カメラ映像と再生映像を切り換えた場合にモニターの映像が一瞬乱れますが故障ではありません。
- 電源を入れた状態でバッテリーをはずしたり、外部DC電源プラグを抜いたりすると、液晶画面にしばらく画像が残る場合がありますが、故障ではありません。そのまま放置しておくと消えてなくなります。
- 低温時に残像が増えて見えることがありますが、故障ではありません。

2. OPEN ボタン

液晶モニターを開くときに使用します。

3. THUMBNAIL ボタン

1.液晶モニターの映像を、ビューファインダー内の映像からクリップのサムネール表示に切り替えます。もう一度押すと元のビューファインダー内の映像に戻ります。
ただし、記録・再生中には切り替わりません。

4. THUMBNAIL MENU ボタン

サムネール表示中に押すとサムネールメニューを表示し、クリップの削除などが可能になります。

5. カーソル・SET ボタン

4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。
サムネールの選択やサムネールメニューの操作に使用します。
→「クリップのサムネール操作」(119ページ) 参照

6. EXIT/CANCEL ボタン

サムネールメニューやプロパティ画面を表示中、表示を前の状態に戻すときに使用します。
またSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、キャンセルとして働きます。クリップ選択状態を一括で解除する場合などに便利です。

7. SHIFT ボタン

他のボタンと同時に押し使用します。

- SHIFT ボタン+カーソルボタン (△/▽)
サムネール画面で、先頭または最後のクリップのサムネールにポインターを移動します。
- SHIFT ボタン+SET ボタン
直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択します。
- SHIFT ボタン+EXIT/CANCEL ボタン
キャンセル機能として働きます。
→「6.EXIT/CANCEL ボタン」参照

SHIFT ボタンを押した状態での動作は、各ボタンの下側に表示しています。

ビューファインダー部

本機にはHDビューファインダーが使用できます。別売のAJ-HVF21KG、AJ-CVF100G（59.94/50 Hz切り替え）のご使用をおすすめします。

記録モード	ビューファインダー映像	HDビューファインダー
HD	カメラ映像	○
	再生	○
	リターン映像 (HD-Y)	○
	HD SDI入力	○
SD	カメラ映像	○ ^{*1}
	再生	○ ^{*2}
	リターン映像 (VBS)	×
	HD-SDI入力 (SD ^{*3})	○

ビューファインダーに表示できるリターン信号、およびSDI入力信号は本機に設定されている記録フォーマットの信号になります。

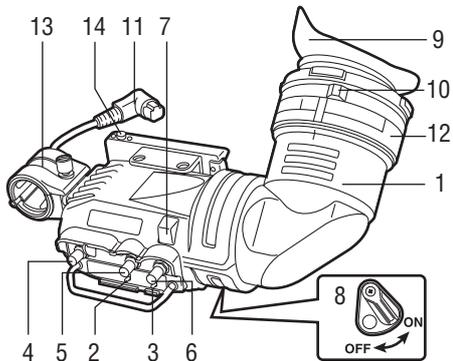
*1：HD信号になります。

*2：SYSTEM MODE項目で“480-59.94i”または“576-50i”を選択し、カメラ映像と再生映像を切り換えた場合にビューファインダーの映像が一瞬乱れますが、故障ではありません。SYSTEM MODE項目はSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

*3：SYSTEM MODE項目で“480-59.94i”または“576-50i”を選択し、かつGENLOCK項目で“INT”を選択している際、ビューファインダーでSDI入力信号のリターンビデオ映像を確認した場合、映像が垂直方向に乱れることがあります。この現象は故障ではありませんが、GENLOCK項目で“SDI IN”を選択することで、乱れをなくすることができます。GENLOCK項目はSYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択できます。

詳しくは各ビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

AJ-HVF21KGの場合



1. ビューファインダー (別売品)

記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ（セーフティゾーンマーカ、センターマーカ）なども見ることができます。

2. ZEBRA (ゼブラパターン) スイッチ

ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。

- ON：ゼブラパターンを表示します。
- OFF：ゼブラパターンは表示しません。

3. タリースイッチ

7. フロントタリーランプをコントロールします。

- HIGH：フロントタリーランプが明るくなります。
- OFF：フロントタリーランプが消灯します。
- LOW：フロントタリーランプが暗くなります。

4. PEAKING (ピーキング) つまみ

ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

5. CONTRAST (濃淡) つまみ

ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

6. BRIGHT (明るさ) つまみ

ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

7. フロントタリーランプ

3. タリースイッチが「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。

点灯時の明るさは、TALLY スイッチ（「HIGH」または「LOW」）で切り替えることができます。

8. バックタリーランプ

撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。レバーを「OFF」側にすると、バックタリーランプが隠れます。

9. アイピース

◆ NOTE:

アイピースを太陽に向けたままにしないでください。内部の機器が損傷する恐れがあります。

10. 視度調整リング

カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面上の映像が最もはっきり見えるように調整します。ビューファインダーの視度調整範囲は以下の通りです。

品番	視度調整範囲
AJ-HVF21KG	-0.9 D ~ -4.4 D

老視用の接眼レンズについては、販売店にご相談ください。

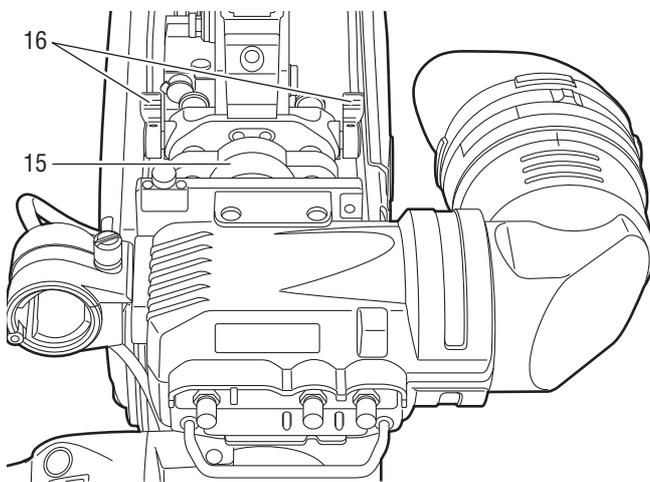
11. 接続プラグ

12. ロックリング

13. マイクホルダー

14. ビューファインダーストッパー

ビューファインダーの取り付け、取り外しに使用します。



15. ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの左右の位置を調整するとき使用します。

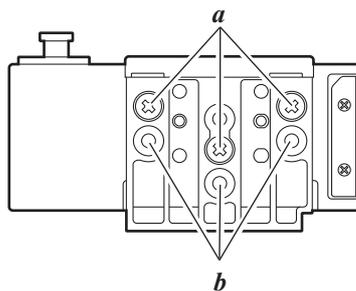
16. ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの前後の位置を調整するとき使用します。

◆ NOTE:

詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

大型レンズ取り付け時に、レンズ上面とビューファインダー底面との間に余裕がない場合、ビスを付け替えることによって、スライドレールの位置をやや上寄りにすることができます。



a: 通常のビス止め位置

b: ビス3個を付け替えて、こちらに固定することでスライドレールの位置が約8 mm上側になります。

記録と再生

P2カードについて

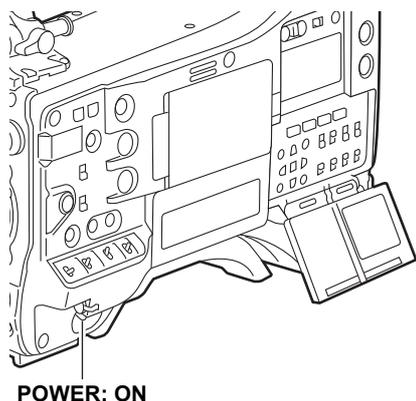
P2カードを入れる

◆ NOTE:

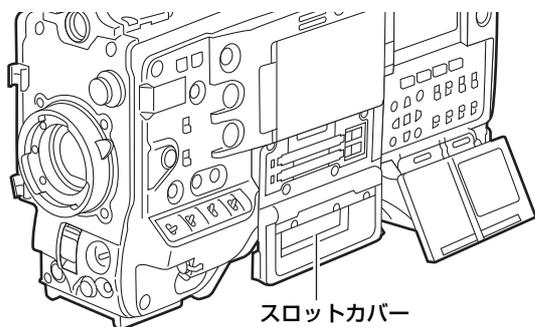
本機を最初に使用する時には、必ず時刻の設定を先に行ってください。

→ 時刻の設定方法については「タイムデータの設定」(63 ページ) 参照

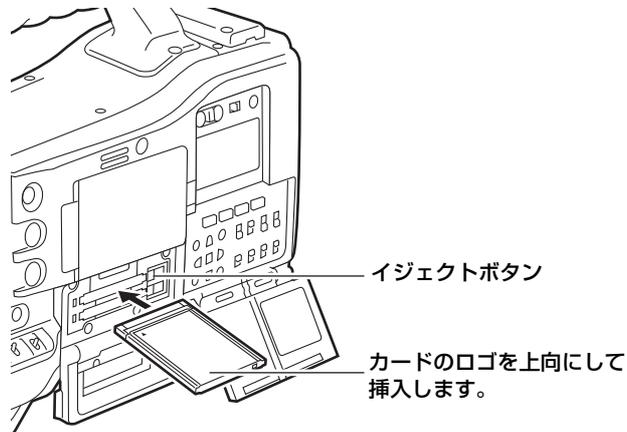
1 POWERスイッチをONにする



2 スロットカバーを開ける



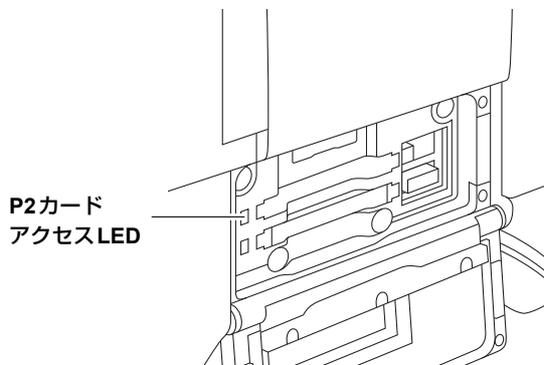
3 P2カードスロットにP2カードを挿入し、イジェクトボタンが飛び出てくるまで押し入れる



4 飛び出たイジェクトボタンを右に倒す

本機にP2カードを挿入すると、スロットのP2カードアクセスLEDにP2カードの状態を表示します。

→ 「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(34 ページ) 参照



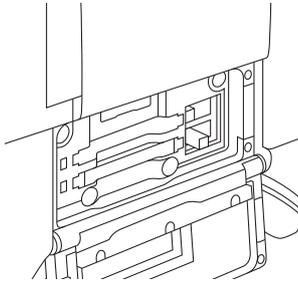
5 スロットカバーを閉める

◆ NOTE:

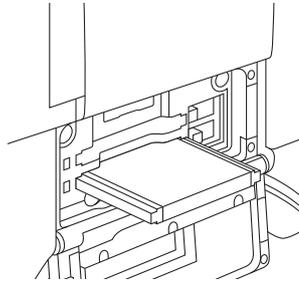
- 落下防止、防塵・静電気防止のため、スロットカバーを開けた状態のまま、本機を移動しないでください。
- P2カードは必ず、P2機器でフォーマットしてください。

P2カードを取り出す

- 1 スロットカバーを開ける
- 2 イジェクトボタンを起こす
- 3 イジェクトボタンを押し込んで、P2カードを取り出す



イジェクトボタンを起こします。



起こしたイジェクトボタンを押し込むと、P2カードが出てきます。

◆ NOTE:

- P2カードの故障の原因になりますので、アクセス中や、挿入後、認識中（P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅）に、P2カードは取り出さないでください。ただし、P2カードアクセスLEDを点灯しない設定でご使用の場合は、記録/再生を停止したあと、PRE RECORDINGが終了していることを確認の上、取り出しを行ってください。
- 万が一、アクセス中のP2カードを取り出した場合、ビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示され、アラーム、WARNING LEDなどで警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。
 - 警告表示については「警告システム」（154 ページ）参照
- アクセス中に取り出されたP2カードは、クリップが不正規の状態になることがあります。クリップをご確認のうえ、修復を行ってください。
 - クリップの修復については「クリップの修復」（127 ページ）参照
- フォーマット中のP2カードを抜いた場合、抜いたP2カードのフォーマットは保証されません。また、このときビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示されます。一度電源を切り、再度ONしてから、P2カードのフォーマットをやり直してください。
- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入しても認識されず、P2カードアクセスLEDは点灯しません。再生が終了してから、P2カードの認識を始めます。
- 記録中、空きスロットにP2カードを挿入しても、下記の期間中はすぐに認識されません。
 - ◆ PRE RECORDINGの直後
 - ◆ 2つ以上のカードに連続記録（ホットスワップ記録）を行う場合の、記録するP2カードが切り替わる前後。

<参考>

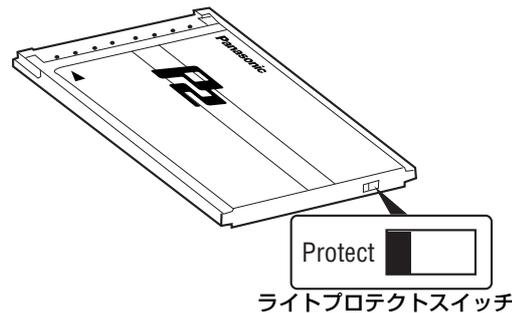
P2カードアクセスLEDは、ACCESS LED項目で、常に消灯する設定にできます。ACCESS LED項目は、SYSTEM SETTINGページの<OPTION MODE>画面から選択できます。

誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードのライトプロテクトスイッチを「Protect」側にします。

◆ NOTE:

ライトプロテクトスイッチは、記録中や再生中など、アクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が変わるまで効果は現れません。



ライトプロテクトスイッチ

P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	MODE CHECK表示*	P2カードの状態
緑色に点灯	ACTIVE	書き込み/読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	ACTIVE	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録（LOOP RECを含む）の対象になっています。
オレンジ色の点滅	ACCESSING	現在、書き込み/読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	INFO READING	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	FULL	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
	PROTECTED	P2カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	NOT SUPPORTED	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	FORMAT ERROR	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	NO CARD	P2カードが挿入されていません。

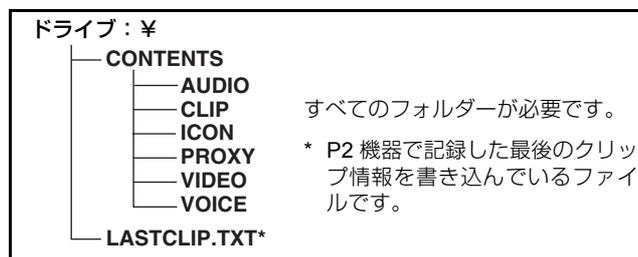
* MODE CHECKはビューファインダー内に表示します。
→ 「ビューファインダー画面の状態表示の構成」（77 ページ）を参照してください。

P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器“DVCPRO P2シリーズ”の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- DVCPRO P2フォーマットおよびAVC-Intraの記録データはファイル形式のため、PCとの親和性に優れていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけではなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成で関連付けられています。

これらの情報が一部でも変更、もしくは削除されると、P2データとして認識できない、もしくはP2カードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



- P2カード内のデータをPCなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。なお、P2ビューアーの動作環境については、同ウェブサイトのサポートデスクを参照してください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

- Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してPCに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2ビューアーを使用してください。

- ◆ CONTENTSフォルダーとLASTCLIP.TXTファイルごとに行ってください。CONTENTSフォルダー以下は操作しないでください。コピーする際はCONTENTSフォルダーと同時に、LASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- ◆ 複数のP2カードをPCに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダーを作成してください。
- ◆ P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- ◆ フォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2ビューアーで行ってください。

基本手順

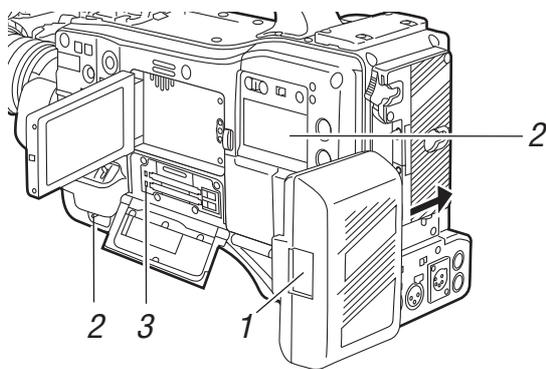
ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

* 点検のしかたについては、「撮影前の点検」(147 ページ)をお読みください。

電源の準備からP2カードを入れるまで

- 1 充電済みのバッテリーパックを入れる
- 2 POWERスイッチをONにし、バッテリー残量表示バーが5個以上点灯していることを確認する
バッテリー残量表示バーが5個以上点灯していないときは、まずバッテリー設定を確認し、設定が正しければ完全に充電したバッテリーと交換します。
- 3 P2カードを挿入し、P2カードアクセスLEDがオレンジ色、または緑色に点灯しているのを確認して、スロットカバーを閉める
P2カードスロットに2枚のP2カードが挿入されている場合、スロット番号の小さいP2カードから順番に記録されます。ただしP2カードを後から挿入すると、そのP2カードが記録対象になるのは、スロット番号にかかわらず、それまでに挿入されたP2カードより後になります。

例：2つのスロット両方にP2カードを挿入すると、スロット番号1→2の順で記録対象のP2カードになります。しかし、一度スロット番号1のP2カードを取り出して再び挿入した場合、スロット番号2→1の順で記録対象のP2カードになります。



なお、電源をOFFした後も記録対象のP2カード番号は保持され、次に電源をONにしたときは、電源をOFFする前と同じP2カードに続けて記録できます。

◆ NOTE:

P.ON REC SLOT SEL項目で“SLOT1”を選択すると、電源をONにするたびにスロット番号の小さいP2カードから順に記録します。P.ON REC SLOT SEL項目は、SYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。

各スイッチ設定まで

電源を準備し、P2カードを入れた後、各スイッチを次のように設定してから操作を始めてください。

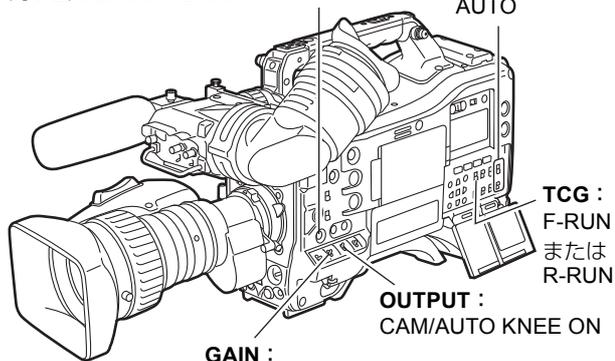
撮影・記録のためのスイッチの設定

USER MAIN :

工場出荷時は、SLOT SEL機能が割り当てられています。

AUDIO SELECT

CH1/3, CH2/4 :
AUTO



GAIN :

通常は0dB。暗すぎるときには適切なゲインに設定します。

◆ NOTE:

- USER MAIN ボタンは、工場出荷時、SLOT SEL機能が割り当てられており、複数挿入されたP2カードから、記録対象のP2カードを切り替えることができます。また、記録対象のP2カードが切り替わると、記録対象になったP2カードが挿入されたP2カードスロットの番号を、ビューファインダー内のP2カード残量表示部に表示します。
→ ビューファインダー内の表示については「ビューファインダー画面の状態表示の構成」(77 ページ)参照
- 記録中もSLOT SEL機能は有効です。記録対象のP2カード切り替えが完了するまでの間、ビューファインダーに“SLOT SEL”の表示が点滅します。なお、記録開始直後や記録対象のP2カード切り替えを行った直後などでSLOT SELが行えなかった場合は“SLOT SEL INVALID”と表示します。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには、以下の手順で操作します。

- 1 照明条件に合わせてフィルターを選ぶ
- 2 ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき

WHITE BALスイッチを「A」または「B」にします。

ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされておらず、ホワイトバランスを調整する時間のないとき

WHITE BALスイッチを「PRST」にします。

FILTERつまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

その場でホワイトバランスを調整するとき

WHITE BALスイッチを「A」または「B」にして画面中央で白い被写体を撮影し、次の手順でホワイトバランスを調整します。

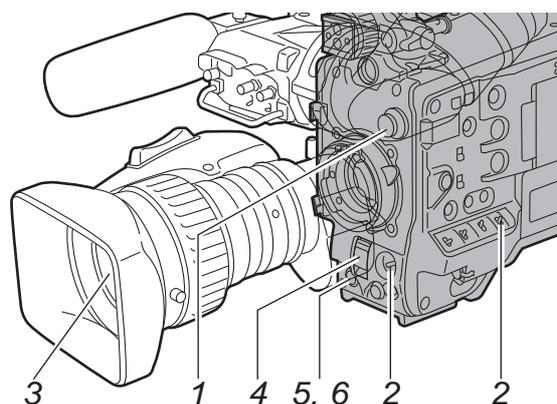
1. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、ホワイトバランスを調整します。
2. AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押して、ブラックバランスを調整します。
3. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、再度ホワイトバランスを調整します。

調整の仕方については、「ホワイトバランスの調整」(50 ページ) および「ブラックバランスの調整」(53 ページ) を参照してください。

- 3 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整する
- 4 電子シャッターを使用する場合は、シャッター速度/動作モードを設定する
詳しくは、「電子シャッターの設定」(54 ページ) をお読みください。
- 5 REC ボタンを押して記録を開始する
記録中は、ビューファインダー内のRECランプが点灯します。
- 6 停止するときは、再度RECボタンを押す
ビューファインダー内のRECランプが消えます。

操作ボタンについて

記録中は、操作ボタン (REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP) は動作しません。



通常の記録

REC ボタンを押すと、P2カードに映像・音声の記録を始めます。

一回の撮影で生成される画像・音声、およびメタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータをクリップといいます。

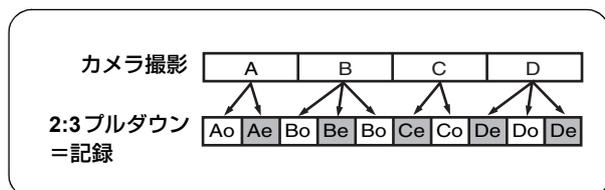
通常記録と Native 記録

本機はカメラの撮影フレームレートのまま記録する Native 記録方式と、59.94 または 50 フレームにプルダウンして記録する通常記録方式が選択可能です。

通常記録（プルダウン記録）

24P（23.98P：以下24Pと表記）は2:3プルダウンし、30P（29.97P：以下30Pと表記）は2:2プルダウンしたまま59.94i（以下60iと表記）として記録します。また、25Pは2:2プルダウンしたまま50iとして記録します。24PA（2:3:3:2アドバンスドプルダウン）にも対応しています。なお、AVC-Intraでは、プルダウン記録に対応していません。

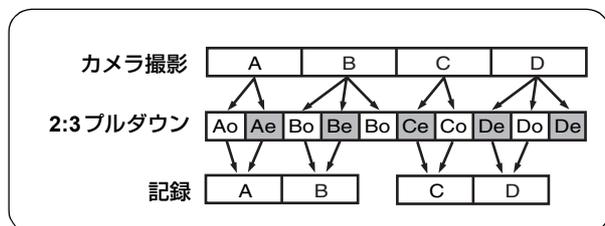
24P Over 60iの例



Native 記録

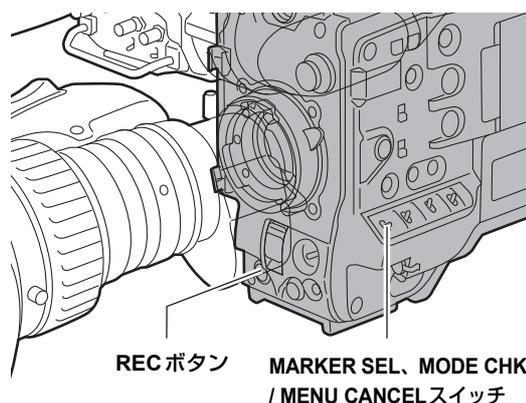
1080iのAVC-Intra記録で撮影のフレームレートに応じて、有効フレームのみを抜き出して記録する方式です。なお、Native記録のときでも、カメラ映像の出力や再生映像の出力はプルダウンされた59.94iまたは50iになります。

1080-24PN（Native）の例



◆ NOTE:

- 24P/24PAのときは5フレーム周期、24PNative記録では4フレーム周期の先頭から記録が開始されます。そのため、記録周期の異なるモードのクリップに続けて記録すると、タイムコードが不連続になることがあります。
- P2カードを挿入後、あるいは電源をONした直後に記録を開始した場合でも、本機の内部メモリーを使用して記録が開始されません。この場合、P2カードの認識が終わるまで、記録を停止できません。ただし挿入されたカードを、記録可能なP2カードではないと認識した場合は、その時点で内部メモリーの記録を破棄し、ビューファインダーに“CANNOT REC”と表示します。P2カードの状態は、MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引き、ビューファインダーに表示されるP2CARD STATUSでご確認ください。



PRE RECORDING 機能

本機の内部メモリーを利用して、カメラで撮影する映像、音声データを常に数秒間分貯えておくことにより、RECボタンを押して記録を開始した時、その数秒前からの映像、音声を記録することができます。

本機能を使用するためには、メニュー操作でPRE REC MODE項目をONにする必要があります。内部メモリーへの蓄積時間は、同じくメニュー操作でPRE REC TIME項目より設定が可能です。

各項目は、SYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。

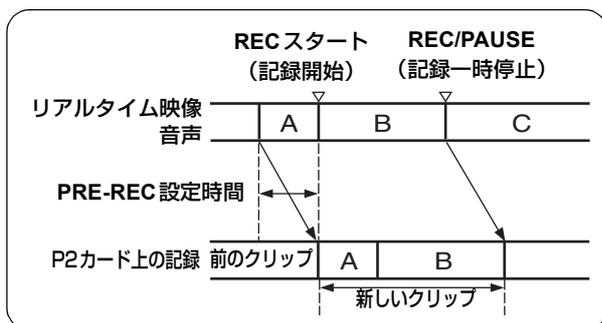
また、USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW項目、SHOT MARK (USER3) SW項目、TEXTMEMO (USER4) SW項目でPRE REC MODEをそれぞれのUSERボタンに割り付けることができます。

各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択できます。

以下がPRE REC TIME項目の設定内容です。

- 1～8SEC
(HDモードまたはSDモードのDVCPRO50で記録時)
- 1～15SEC
(SDモードのDVCPROまたはDVで記録時)

RECボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間を設定します。



◆ NOTE:

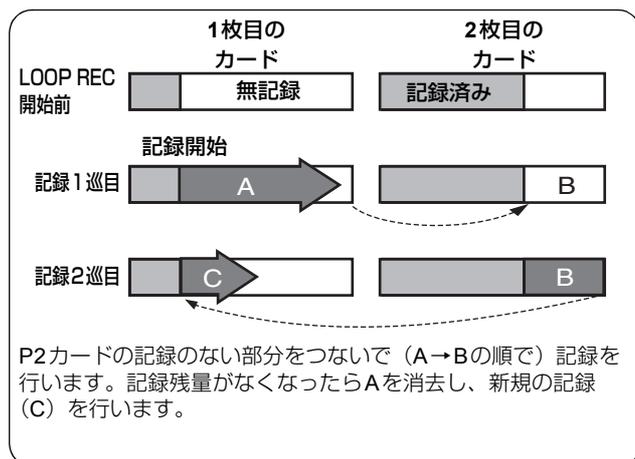
- PRE REC MODE項目をOFFに設定時の「P-REC」表示について
本機はPRE REC MODE項目をOFFに設定していても、記録を停止した後、P2カードに完全に映像・音声を記録し終えるまでの間、「P-REC」表示を行います。
→ 「P-REC」表示については「29.INTERVAL REC/PRE RECORDINGなどの情報表示」(82ページ)参照
なお、この表示はP-REC/i-REC項目の設定によって消すことができます。P-REC/i-REC項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。
- 電源ON直後や、メニュー操作でPRE REC TIME項目を選択したり、設定時間を変えたりした直後は、内部メモリーの内容が不定になっていますので、操作後すぐにRECボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声は記録はできません。
- P2カードをスロットに挿入した直後は、カードの認識に時間がかかりますので、挿入後すぐにRECボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声は記録できない場合があります。
- 再生やレックレビューを行っている間は、内部メモリーに映像・音声を貯えないため、再生やレックレビューを行った間の映像・音声はさかのぼって記録することはできません。
- 記録を開始したとき、P2カードの認識が終了するまでの間、タイムコード(TCG)表示がホールド表示になることがあります。
- SDI入力信号を記録時、およびINTERVAL REC機能、LOOP REC機能が動作中は、PRE RECORDING機能は働きません。

LOOP REC 機能

P2カードスロットに2枚のP2カードが挿入されているとき、順次カードを切り替えながら記録する機能です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行いますので、継続的な記録が可能です。

本機能を使用するには、LOOP REC MODE項目を“ON”にする必要があります。

LOOP REC MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。



◆ NOTE:

- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
 - LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスLEDが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでご注意ください。
 - LOOP REC MODE項目がONのときは、ビューファインダー内、および表示窓に“LOOP”と表示します。ただしLOOP REC MODE項目がONのときでも、カードが一枚しか挿入されていないか、カードの記録残量が1分未満だとLOOP RECができません。この場合、ビューファインダー内、および表示窓の“LOOP”表示が点滅します。
 - LOOP REC MODE項目が“ON”のとき、P2カード残量は記録フォーマットに応じた標準的な記録時間を表示します。古い記録を消去した直後にLOOP RECを停止した場合、実際の残量は表示された時間より少なくなることがあります。
 - 以下の場合にはLOOP REC機能は働きません。
 - ◆ INTERVAL REC MODE項目が“ON”または“ONE SHOT”に設定されている場合
 - ◆ ONE CLIP REC MODE項目が“ON”に設定されている場合
 - ◆ REC FORMAT項目やCAMERA MODE項目でNative記録モードまたは24P、24PAモードが選択されている場合
 - ◆ REC SIGNAL項目が“SDI”に設定されている場合
- 「記録設定と動作モード」(47ページ) 参照

LOOP RECモードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにする。
- メニュー操作で、LOOP REC MODE項目を“OFF”に設定する。

INTERVAL REC 機能

本機の内部メモリーを利用して、最短で1フレーム単位の間欠記録をすることができます。

本機能を使用するためには、INTERVAL REC MODE項目でインターバル記録モードの選択、記録時間 (REC TIME)、間欠の待機時間 (PAUSE TIME)、撮影に要する時間 (TAKE TOTAL TIME) を設定する必要があります。設定が完了すると、収録に必要なP2カードのトータル記録時間 (TOTAL REC TIME) が自動的に計算され、表示します。INTERVAL REC MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。

以下がINTERVAL REC MODE項目の設定内容です。

OFF:

インターバル記録をしません。

ON:

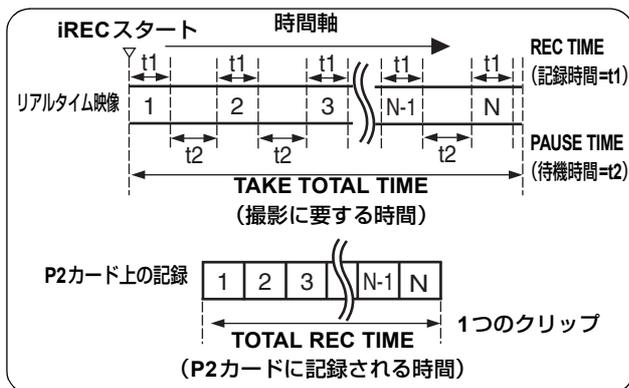
インターバル記録を行います。

ONE SHOT:

RECボタンを押すたびにREC TIMEで設定された時間を1回だけ記録します。

INTERVAL REC のON モードでの撮影手順

- 1 「基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定する
- 2 表示枠内に「i」が点滅し、インターバル記録モードが選択されていることを確認する
- 3 本機のRECボタンを押す
 インターバル記録が始まります。設定されたTAKE TOTAL TIME が終了すると自動的に記録を終了し、全体を1つのクリップとして生成します。
 インターバル記録モードが選択されると、表示枠内に「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。記録待機中は「iREC」が点滅します。
 なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様です。
 記録中はタリーランプが点灯します。また待機時間が2分以上の設定の場合、5秒おきにタリーランプが点滅し、待機中であることを知らせます。このとき記録に入る3秒前にも、タリーランプは点滅します。



途中で記録を中止するには

STOP ボタンを押します。記録は中止されます。このとき、その瞬間までメモリーに貯えられた映像を記録するため、P2カードにアクセスし、インターバル記録開始からSTOP ボタンを押すまでの記録を、1つのクリップとして生成します。

続けて記録する場合は

再度RECボタンを押します。再び、インターバル記録が開始されます。

インターバル記録モードを終了するには

- メニュー操作で、INTERVAL REC MODE項目を“OFF”に設定する。

なお、INTERVAL REC HOLD項目を「OFF」の設定している場合、本機のPOWERスイッチをOFFにすると、通常の記録モードに戻ります。INTERVAL REC HOLD項目を「ON」に設定していると、POWERスイッチをOFFにしてもインターバル記録モードのまま保たれます。

インターバル記録のONE SHOTモードでの撮影手順

インターバル記録のONE SHOTモードの設定が終了したのち、以下の手順で撮影を行います。

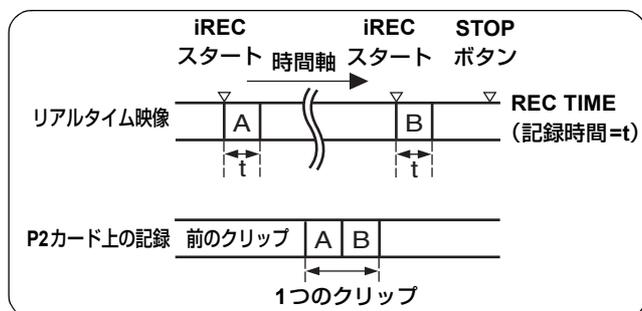
1 「基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定する

2 本機のRECボタンを押す

- 設定された REC TIME が終了すると自動的に ONE SHOTモードの待機状態になります。
- REC ボタンを押すたびに、設定された REC TIME だけ記録を行い、ONE SHOTモードの待機状態に戻ります。

3 STOPボタンを押します。

それまでに記録された映像が1つのクリップとして生成されます。



途中でクリップを分ける、または記録するP2カードを交換するには

ONE SHOTモードでも、STOPボタンを押すまではP2カードにクリップが生成されていません。STOPボタンを押し、ONE SHOTモードの動作を停止させてください。P2カードを交換する場合は、アクセスLEDなどでアクセスが終了していることを確認してから、P2カードを取り出してください。

インターバル記録のONE SHOTモードを終了するには

- メニュー操作で、INTERVAL REC MODE を“OFF”に設定する。

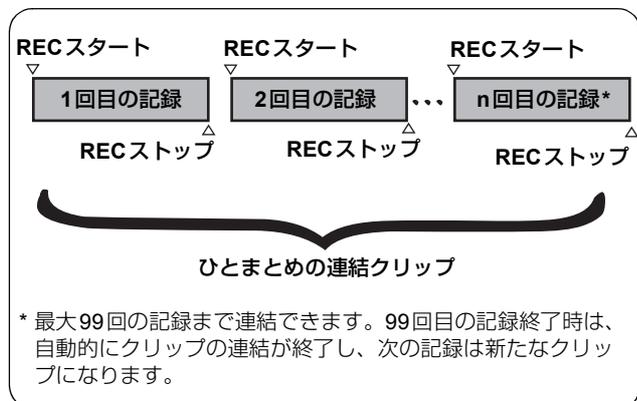
なお、INTERVAL REC HOLD項目を「OFF」の設定している場合、本機のPOWERスイッチをOFFにすると、通常の記録モードに戻ります。INTERVAL REC HOLD項目を「ON」に設定していると、POWERスイッチをOFFにしてもインターバル記録のONE SHOTモードのまま保たれます。

インターバル記録モードでの共通の注意事項

- **音声について**
インターバル記録では音声を記録しません。
- **記録／再生操作ボタンについて**
インターバル記録モードで動作中は、STOP 以外の操作ボタン (REW、FF、PLAY/PAUSE) は働きません。
- **記録中に本機のPOWERスイッチをOFFにした場合**
インターバル記録モードで動作中に本機のPOWERスイッチをOFFにした場合、その瞬間までメモリーに貯えられた映像をP2カードに記録してから、自動的に電源が切れます。
- **タイムコード表示について**
記録を開始したときは、P2カードの認識が終了するまでの間、タイムコード (TCG) 表示がホールド表示になることがあります。
- **カードの取り出しについて**
インターバル記録モードで動作中は、記録対象となっているスロットのP2カードアクセスLEDは、オレンジ色に点滅します。このP2カードは取り出さないでください。万が一抜いてしまったときは、クリップの修復を行ってください。ただし修復を行った場合でも、記録した最後の3～4秒間、P2カードをまたいだ記録中に取り出した場合は最大10秒間ほどの映像が失われることがあります。クリップの修復について、詳しくは「クリップの修復」(127 ページ) を参照してください。
- **動作モードの制限について**
以下の場合にはINTERVAL REC機能は働きません。
 - ◆ LOOP REC MODE項目が“ON”に設定されている場合
 - ◆ ONE CLIP REC MODE項目が“ON”に設定されている場合
 - ◆ REC FORMAT項目やCAMERA MODE項目でNative記録モードまたは24P、24PAモードが選択されている場合
 - ◆ REC SIGNAL項目が“SDI”に設定されている場合
→ 「記録設定と動作モード」(47 ページ) 参照
- **サムネール動作とメニュー操作**
インターバル記録モードで動作中はサムネールの操作はできません。サムネールの操作はSTOPボタンを押して動作を停止させてから行ってください。また待機時間を1分以上に設定しているか、あるいはONE SHOTモードの場合、待機中にメニュー操作を行うことはできませんが、以下の制限があります。
 - ◆ SYSTEM MODE、REC SIGNAL、REC FORMAT、CAMERA MODE、AUDIO SMPL RES、25M REC CH SEL、PC MODE項目は変更できません。
 - ◆ SD CARD READ/WRITE、LENS FILE CARD R/W、READ USER DATA、READ FACTORY DATA、SCENE FILEの読み込み、CAC FILE CARD READの各項目を実行することはできません。

ONE CLIP REC機能

1回の記録（REC開始から終了まで）を1つのクリップとするのではなく、複数回の記録をひとまとめの連結されたクリップとして記録することができます。



本機能を使用するには、ONE CLIP REC MODE項目を“ON”に設定します。ONE CLIP REC MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。

ONE CLIP RECモードが選択されるとビューファインダーおよび液晶モニター右下に「1-CLIP」と表示されます。

本機のRECボタンを押すと、最初の記録が開始され、「START 1*CLIP」と表示されます。

以後、記録する度にクリップは自動的に連結され、最大で99回の記録まで1つにまとめられます。

新たなクリップとして記録するには

新しい別のクリップとして分けたい場合は、次のどちらかの操作により、クリップの連結を一度終了します。

- 記録一時停止中にSTOPボタンを約2秒間押し続けます。（記録一時待機中に操作する場合）

または

- 記録中にRECボタンを約2秒間押し続けて記録を終了させます。（記録中に操作する場合）

上記操作により、クリップ連結を終了し「END 1-CLIP」と表示され、次の記録からは新しい別のクリップになります。

◆ NOTE

- 前述の操作以外でも、以下の場合はクリップ連結を終了し、次の記録からは新たなクリップになります。
 - 電源をOFFにしたとき
 - 直前に記録したP2カードを取り出したとき
 - P2カードのフォーマットや、クリップの削除を行ったとき（連結元クリップが存在しないとき）
- メニューやサムネール表示中は、STOPボタンを押してもクリップ連結を終了することはできません。
- リモートコントロールユニット（AJ-RC10G）、またはエクステンションコントロールユニット（AG-EC4G）のSTOPボタンを押しても、クリップ連結を終了することはできません。

ONE CLIP RECモードを終了するには

メニュー操作で、ONE CLIP REC MODE項目を“OFF”に設定します。

クリップの連結部分の頭出しをするには

記録開始のたび、記録開始点にテキストメモを自動付加して再生時に頭出しをしたり、その位置のサムネールを確認することができます。

記録開始点にテキストメモを自動付加するには、START TEXT MEMO項目を“ON”に設定します。START TEXT MEMO項目は、SYSTEM SETTINGページの<OPTION MODE>画面から選択できます。

付加したテキストメモのポイントを確認、再生するには、サムネールメニューから THUMBNAIL → TEXT MEMO CLIPSを選択し、対象のクリップにカーソルを合わせます。→「テキストメモ位置からの再生」（125ページ）参照
また、再生時にテキストメモ位置を頭出しするには、<OPTION MODE>画面のSEEK SELECT項目を“CLIP&T”に設定しておき、再生一時停止中にFFボタンまたはREWボタンを押します。SEEK SELECT項目は、SYSTEM SETTINGページの<OPTION MODE>画面から選択できます。

ONE CLIP RECモードでの注意事項

- INTERVAL REC機能やLOOP REC機能との併用はできません。
- REC SIGNAL項目で“SDI”を選択しているときは動作しません。REC SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。
- クリップ連結を継続中は、メニュー操作やサムネール操作に以下の制限があります。これらは、STOPボタンを約2秒間押してクリップ連結を終了させてから操作してください。
 - ◆ 次のメニュー項目は変更できません。
SYSTEM MODE、REC SIGNAL、REC FORMAT、CAMERA MODE、AUDIO SMPL RES、PC MODE、25M REC CH SEL
 - ◆ SDメモリーカードの読み込み/書き出しや設定ファイルの読み出しに関する以下のメニュー項目を実行することはできません。
SD CARD READ/WRITE、LENS FILE CARD R/W、READ USER DATA、READ FACTORY DATA、SCENE FILEの読み込み、CAC FILE CARD READ
 - ◆ サムネールメニューのOPERATION→COPY項目を選択して操作することはできません。
- 次の記録でクリップの連結を可能にするため、記録の終了処理時間が通常記録より多少かかる場合があります。
- 再生時、クリップ内の記録の連結点で、不連続な音声に対してフェード処理は働きません。
- 連結数の多いクリップをノンリニア編集ソフトなどで使用する場合、ソフトウェアの種類によっては正常に動作できないことがあります。(2010年10月現在)
動作確認済みソフトウェアの最新情報は、下記ウェブサイトよりP2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

REC REVIEW機能

記録を一時停止し、レンズのRETボタンを押すと、記録したばかりのクリップの最後の2秒間が自動的に頭出しされ、その部分の再生画像をビューファインダーに表示します。これにより記録が正しく行われたかどうかを確認できます。再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。

RETボタンを押し続けると、最大10秒前までの再生が可能です。ただしクリップが短い場合、クリップの先頭まで戻ると、それ以上RETボタンを押し続けても、それ以前のクリップは再生されません。

USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW項目、SHOT MARK (USER3) SW項目、TEXT MEMO (USER4) SW項目で、RETボタン機能をそれぞれUSERボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択します。

また、記録を一時停止した状態からPLAY/PAUSEボタンを押すと、最後に記録したクリップをはじめから再生します。再生終了後、本機は記録開始待ちの状態になります。



◆ NOTE:

- RET SW項目を“R.REVIEW”に設定してください。RET SW項目はCAM OPERATIONページの<SW MODE>画面から選択できます。
- SDI OUT MODE項目や、MONITOR OUT MODE項目が“MEM”になっている場合、REC REVIEW動作の間、ビューファインダーだけでなく、映像出力端子（SDI OUT端子、MON OUT端子）にもREC REVIEWの画像が出力されます。バックアップ機器を接続して、バックアップ画像を記録中の場合、このREC REVIEWの画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。各項目はSYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。
- ONE CLIP RECモードでは、REC REVIEWの最大戻り位置、および記録一時停止状態からの再生開始位置は、クリップの先頭ではなく最後に記録開始した位置になります。

通常再生および変速再生

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画を、液晶モニターでカラーの再生画を見ることができます。同時に本機のSDI OUT 端子、MON OUT 端子にカラービデオモニターを接続するとカラーの再生画を見ることができます。

SDI OUT 端子からはSDIでの再生画を見することもできますが、SDI OUT MODE 項目を“MEM” に設定する必要があります。SDI OUT MODE 項目はSYSTEM SETTING ページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

変速再生

FF、REW ボタンを使うと、32 倍速や4 倍速の高速再生/高速逆再生が可能です。

再生一時停止状態からFF ボタンを押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

再生一時停止状態からREW ボタンを押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

◆ NOTE:

- SYSTEM MODE が異なるクリップは再生できません。本機の SYSTEM MODE をクリップのフォーマットに合わせてから再生してください。
- P2 カードを抜き差しした直後や、電源を ON した直後に再生を行うと、クリップ情報を読み出すために時間がかかることがあります。その間、ビューファインダーには“UPDATING” と表示します。また、P2 カードの認識中に再生ボタンが押された場合は、“CANNOT PLAY” と表示します。
- 再生中に別のカードスロットに P2 カードを挿入しても、そのカードのクリップは再生できません。再生中に挿入した P2 カードの認識は、再生を停止したのちに行われます。

テキストメモ機能

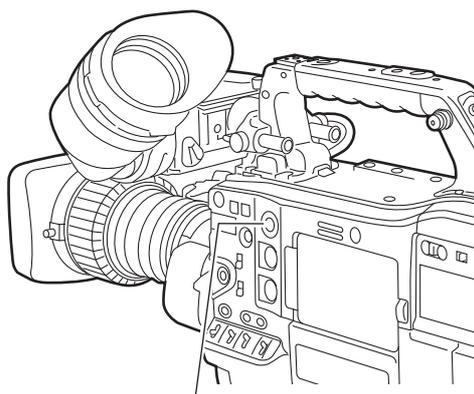
テキストメモとは、クリップを記録/再生中に、任意の映像ポイントにタイムコードの付いたサムネールを付加する機能です。

TEXT MEMO ボタンを押すと、そのポイントにテキストメモ情報が記録されます。また P2 ビューアーを使用して、付加したテキストメモの編集を行うこともできます。サムネール画面で、テキストメモのポイントを選んで再生したり、必要な部分だけを選んでコピーすることができます。

→ 「テキストメモ」(125 ページ) 参照

◆ NOTE:

- テキストメモはひとつのクリップにつき 100 個まで記録できません。
- テキストメモの記録は、液晶モニターでサムネール表示しながらでも可能です。この場合テキストメモはカーソルが合わせられたクリップの位置（通常は先頭）にのみ、付加されます。
- AJ-SPX800 などのカメラレコーダーで、すでにボイスメモが付加されたクリップの場合、テキストメモはボイスメモと合わせて 100 個まで記録可能です。ボイスメモについては AJ-SPX800 などの取扱説明書を参照してください。
- カラーバー出力中と、LOOP REC モードおよび INTERVAL REC モード時は、テキストメモの記録はできません。



TEXT MEMO ボタン

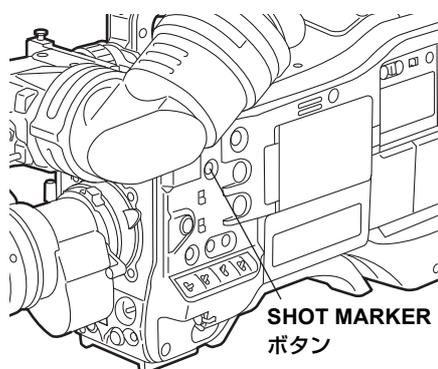
ショットマーク機能

ショットマークとは、他のクリップと区別するためにクリップのサムネールにつける目印です。液晶モニターでショットマークをつけたクリップのみを表示したり、再生することも可能です。

また、クリップのサムネール操作でもショットマークの付加/消去が可能です。
→「ショットマーク」(124 ページ) 参照

ショットマークをつけるには

映像を記録中、SHOT MARKER ボタンを押してください。ビューファインダーに“MARK ON”と表示され、記録中のクリップのサムネールにショットマークがつきます。もう一度押すとショットマークを消すことができます。また、記録の一時停止 (REC PAUSE) 中にSHOT MARKER ボタンを押すと、直前に記録したクリップにショットマークがつきます。もう一度押すとショットマークを消すことができます。



◆ NOTE:

- カラーバー出力中と LOOP REC モード、および INTERVAL REC モード時は、ショットマークの付加/削除はできません。
- 不完全クリップ (121 ページ参照) にはショットマークを付加できません。
- 複数の P2 カードにまたがって記録されたクリップや、P2 カード内で分割されたクリップ (12 ページの NOTE 参照) の場合、先頭のクリップにのみショットマークが付加されます。

記録設定と動作モード

本機の記録モードは、メニューおよびスイッチの設定によって、下表の優先順で動作します。

機能動作モード	システム / 記録関連メニュー				各種機能の制限			
	REC SIGNAL	INTERVAL REC MODE	LOOP REC MODE	ONE CLIP REC MODE	REC FORMAT CAMERA MODE	プリレック	テキストメモの記録	ショットマーク
SDI 入力記録	SDI	無効	無効	無効	無効 (記録は 60i または 50i になる)	不可	可	可
INTERVAL REC	CAM	ON または ONE SHOT	OFF	OFF	60i、50i 30P (Over60i) 25P (Over50i) のみ可	不可	不可	不可
LOOP REC		OFF	ON	OFF		不可	不可	不可
ONE CLIP REC		OFF	OFF	ON	すべて可 (制限なし)	可 1s ~ 8s/15s	可*	可*
通常の記録		OFF	OFF	OFF			可*	可*

* カラーバーのときは不可

記録のための調整と設定

マルチフォーマット

映像方式と記録フォーマット

本機はインタレース/プログレッシブスキャン（全画素読み出し）切り替え方式のCCDを採用しています。SYSTEM MODE項目とCAMERA MODE項目の組み合わせでHD（1080i）、SDを含む12種類の映像方式を選択することができます。REC SIGNAL項目で“SDI”を選択すると、SDI IN端子から入力される外部信号の記録が可能です。各項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

記録信号と記録方式の選択

SYSTEM MODE項目

システム周波数（59.94 Hz、50 Hz）と、信号方式（1080i、480i、576i）を組み合わせで選択できます。SYSTEM MODE項目を変更すると、ビューファインダーに「TURN POWER OFF」と表示します。本機のPOWERスイッチをOFFにして一度電源を切り、5秒以上経過してから、再度ONにしてください。

REC SIGNAL項目

CAM カメラ信号を記録します。CAMERA MODE項目でカメラの動作モード（フレーム方式）を選択できます。

SDI SDI IN端子からの信号を記録します。

◆ NOTE:

SDIを選択した場合、SDI入力信号に重畳されているタイムコードやUMIDを記録することはできません。

CAMERA MODE項目

REC SIGNAL項目が“CAM”のとき、カメラの動作モードを選択します。

→ 各設定の動作については、「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」（49ページ）参照

◆ NOTE:

- 60i、30Pから24P、24PAに切り替えたとき、ブルダウンの5フレーム周期を合わせるため、映像の乱れが一瞬生じますが、異常ではありません。
- AVC-I 100、AVC-I 50を選択しているときはCAMERA MODE項目は選択できません。

REC FORMAT項目

記録モードを選択します。REC FORMAT項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

HDモード（1080i）時 AVC-I 100

AVC-Intra100フォーマットで記録を行います。30PN、24PN、25PNはNative記録になります。

AVC-I 50

AVC-Intra50フォーマットで記録を行います。30PN、24PN、25PNはNative記録になります。

DVCPRO HD

DVCPRO HDフォーマットで記録を行います。

SDモード（480i、576i）時 DVCPRO50

DVCPRO50フォーマット（50Mbps）で記録します。

DVCPRO

DVCPROフォーマット（25Mbps）で記録します。

DV

DVフォーマットで記録します。

ASPECT項目

SDモード（480i、576i）時の画面比を選択します。ASPECT項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

16：9 画面比16：9で記録します。

4：3 画面比4：3で記録します。

AUDIO SMPL RES項目

HDモード（1080i）時のオーディオのビット数を選択します。AUDIO SMPL RES項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

16BIT 16ビットで記録します。

24BIT 24ビットで記録します。

◆ NOTE:

DVCPRO HDモードではこの項目は表示されず、16ビット記録になります。

記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット

CCDからの信号および外部入力信号をP2カードに記録するときのフォーマットと、各端子から出力される信号のフォーマットを下記に示します。

メニュー設定				記録および出力状態					
SYSTEM MODE 項目	REC SIGNAL 項目	REC FORMAT 項目	CAMERA MODE 項目	記録 ^{*3}		出力 HD SDI (1080i) ^{*4}		出力 SD SDI (480i、576i) ^{*5}	
				ビデオ	オーディオ	ビデオ	オーディオ	ビデオ	オーディオ
1080-59.94i	CAM	AVC-I 100/60i AVC-I 50/60i	60i	1080-59.94i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	1080-59.94i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	480-59.94i	4ch 48 kbps 16 bit
		AVC-I 100/ 30PN AVC-I 50/ 30PN	30P	1080-29.97P Native		1080-29.97PsF Over59.94i 2:2		480-29.97PsF Over59.94i 2:2	
		AVC-I 100/ 24PN AVC-I 50/ 24PN	24PN	1080i-23.98P Native		1080-23.98PsF Over59.94i 2:3		480-23.98PsF Over59.94i 2:3	
		DVCPRO HD/60i	60i	1080-59.94i		1080-59.94i		480-59.94i	
	30P		1080-29.97P Over59.94i 2:2	1080-29.97PsF Over59.94i 2:2	480-29.97PsF Over59.94i 2:2				
	24P		1080-23.98P Over59.94i 2:3	1080-23.98PsF Over59.94i 2:3	480-23.98PsF Over59.94i 2:3				
		24PA	1080-23.98P Over59.94i 2:3:3:2	1080-23.98PsF Over59.94i 2:3:3:2	480-23.98PsF Over59.94i 2:3:3:2				
SDI	すべての 選択肢	無関係	1080-59.94i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	1080-59.94i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	480-59.94i	4ch 48 kbps 16 bit	
1080-50i	CAM	AVC-I 100/50i AVC-I 50/50i	50i	1080-50i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	1080-50i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	576-50i	4ch 48 kbps 16 bit
		AVC-I 100/ 25PN AVC-I 50/ 25PN	25P	1080-25P Native		1080-25PsF Over50i 2:2		576-25PsF Over50i 2:2	
		DVCPRO HD/50i	50i	1080-50i		1080-50i		576-50i	
	25P		1080-25P Over50i 2:2	1080-25PsF Over50i 2:2	576-25PsF Over50i 2:2				
	SDI	すべての 選択肢	無関係	1080-50i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	1080-50i	4ch 48 kbps 16 bit/24 bit ^{*1}	576-50i	4ch 48 kbps 16 bit
480-59.94i	CAM	DVCPRO50/ 60i DVCPRO/60i DV/60i	60i	480-59.94i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit	-	-	480-59.94i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit
			30P	480-29.97P Over59.94i 2:2				480-29.97PsF Over59.94i 2:2	
			24P	480-23.98P Over59.94i 2:3				480-23.98PsF Over59.94i 2:3	
			24PA	480-23.98P Over59.94i 2:3:3:2				480-23.98PsF Over59.94i 2:3:3:2	
	SDI	すべての 選択肢	無関係	480-59.94i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit	-	-	480-59.94i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit
576-50i	CAM	DVCPRO50/ 50i DVCPRO/50i DV/50i	50i	576-50i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit	-	-	576-50i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit
			25P	576-25P Over50i 2:2				576-25PsF Over50i 2:2	
	SDI	すべての 選択肢	無関係	576-50i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit	-	-	576-50i	4ch (2ch) ^{*2} 48 kbps 16 bit

*1 AVC-Intra フォーマット選択時は、AUDIO SMPL RES項目で16 bitか24 bitを選択できます。

*2 DVCPRO50は4ch、DVCPROとDVは25M REC CH SEL項目で4chか2chを選択できます。

*3 タイムコード、ユーザズビット、UMIDを記録します。

*4 タイムコード、ユーザズビット、UMID (ON/OFFが可能) を出力します。

*5 EDH (ON/OFFが可能)、UMID (ON/OFFが可能) を出力します。タイムコード、ユーザズビットは出力しません。

◆ NOTE:

● DVフォーマットの記録再生ではUMIDは出力されません。

● 再生時、同じSYSTEM MODE内のクリップは、自動的にフォーマットを切り替えて再生されます。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

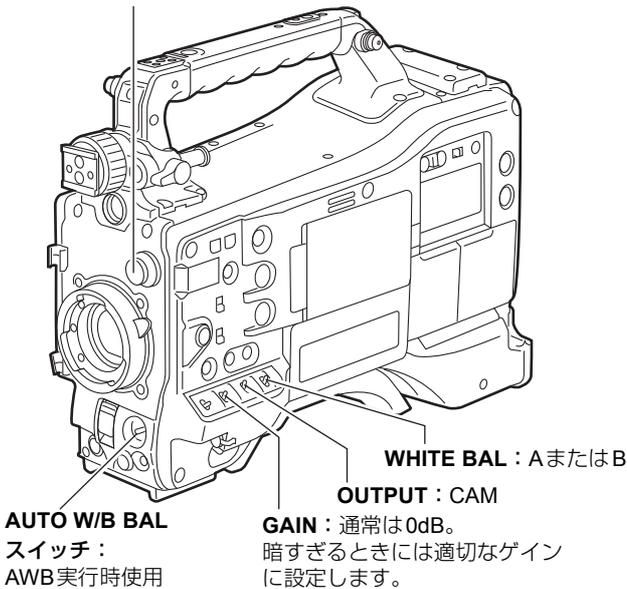
本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。なお、より高画質を得るためには、AWB（ホワイトバランスの調整）→ABB（ブラックバランスの調整）→AWB（ホワイトバランスの調整）の順に行うことを推奨します。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。
以下の手順でホワイトバランスを自動調整します。

1 図のようにスイッチを設定する

CC/ND FILTERつまみ



2 照明条件に合わせて、CC/ND FILTERつまみの設定を切り替える

→ CC/ND FILTERつまみの設定例については「撮影・記録/再生機能部」（22ページ）参照

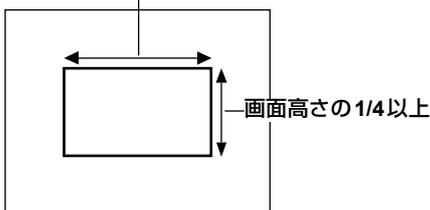
3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す

- 被写体近くの白い物（白布、白壁）で代用することもできます。
- 必要な白の大きさは、図の通りです。

◆NOTE:

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 白い物は、画面の中心に写してください。

画面幅の1/4以上



4 レンズの絞りを調整する

5 AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押し上げて、スイッチを離す

- スイッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

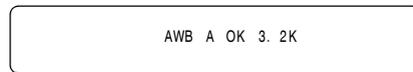
◆NOTE:

ホワイトバランスの自動調整を行っているとき（“AWB ACTIVE”とビューファインダーに表示されます）に、再度AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に切り替えると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

- 調整中、ビューファインダー画面には、次のようなメッセージが表示されます。

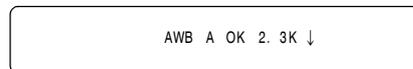


- 数秒で調整が完了し、下図のようなメッセージが表示されます。
調整値は、ステップ1で設定したメモリー（「A」または「B」）に自動的に記憶されます。

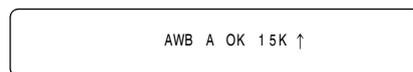


- 被写体の色温度が、2300Kよりも低い場合や15000Kよりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。
矢印のうち、下向きの矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。

例1：2300Kよりも低い場合



例2：15000Kよりも高い場合

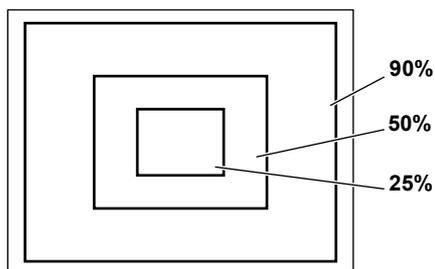


ホワイトバランスの検出領域について

AWB AREA項目でホワイトバランス検出領域を90%、50%、25%から選択できます。

工場出荷設定は、25%です。

AWB AREA項目は、CAM OPERATIONページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。



ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BALスイッチを「PRST」にします。

CC/ND FILTERつまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージを表示します。下記のエラーメッセージを表示した場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し試みてもエラーメッセージを表示する場合は内部点検が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP. HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選択する。
COLOR TEMP. LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選択する。
LOW LIGHT	光量が不足している。	光量を多くする。または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。または、ゲインを下げる。
CHECK FILTER	フィルター切り替えつまみの設定位置がずれている。	フィルター切り替えつまみを確認する。
TIME OVER	時間内でAWBが終了しなかった。	撮影条件が不安定な可能性があります。フリッカーであればシャッターを入れ、安定した条件下で再度実行する。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも再度ホワイトバランスをとるまで保存されます。ホワイトバランスのメモリーはA、Bの2系統があります。

FILTER INH項目の設定が“ON”の場合（初期設定）、A、B各系統のメモリー数はそれぞれ1個に限定されています。この場合、メモリーの内容はフィルターには連動しません。FILTER INH項目を“OFF”にした場合、WHITE BALスイッチの設定（AまたはB）に対応するメモリーに、各フィルターごとの調整値を自動的に記憶させることもできます。本機は4つのフィルターを内蔵していますので、合計8個（4×2）の調整値を記憶します。

FILTER INH項目は、CAM OPERATIONページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

また、S.GAIN（スーパーゲイン）機能動作時はAWBスイッチは動作せず、メッセージ（AWB UNABLE /S.GAIN MODE）が表示されます。

オートトラッキングホワイトバランス（ATW）の設定について

本機は、照明条件に応じて画像のホワイトバランスを自動追尾させるオートトラッキングホワイトバランス（ATW）機能を備えています。

このATW機能は、WHITE BALスイッチの「B」に設定できます。AWB B項目で“ATW”を選択してください。

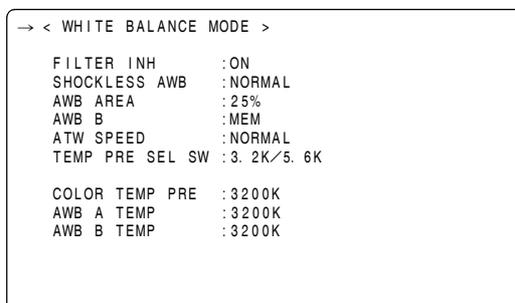
AWB B項目は、CAM OPERATIONページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

また、USER MAIN/USER1/USER2ボタンにATW機能を割り当てることもできます。

→「USERボタンへの機能割り付け」（56ページ）参照

オートトラッキングホワイトバランスを解除するには

ATWを割り付けたUSERボタンを再度押すか、WHITE BALスイッチを切り替えます。ただしWHITE BALスイッチの「B」にATWを設定している場合は、USERボタンでは解除されません。



◆ NOTE:

本機能は、ホワイトバランスの精度を100%保証する機能ではありません。照明条件の変化に対する追従性およびホワイトバランスの引き込み精度には、多少余裕を持たせていますので、本機能の取り扱いにはご注意ください。

マニュアルでの色温度の設定

ホワイトバランスを、色温度設定により手動で調整することができます。マニュアルの色温度設定は、WHITE BAL スイッチのPRST、A、Bそれぞれの位置に対して設定可能です。

色温度の設定は、COLOR TEMP PRE 項目、AWB A TEMP 項目と、AWB B TEMP 項目で設定します。各項目は、CAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

COLOR TEMP PRE の色温度調整は、VAR と 3.2K/5.6K 切り替えの2種類があります。

VAR: 2300K ↓ ~ 15000K ↑ まで設定できます。

3.2K/5.6K:

3200K もしくは 5600K に設定できます。

◆NOTE:

手動で色温度を設定していても、ホワイトバランスの自動調整 (AWB) を行うと、行ったときの色温度が AWB を行ったときの WHITE BAL スイッチの位置に記録されます。また CC フィルターの位置を切り替えると、色温度の値が変わります。

```
→ < WHITE BALANCE MODE >
FILTER INH      :ON
SHOCKLESS AWB  :NORMAL
AWB AREA       :25%
AWB B          :MEM
ATW SPEED      :NORMAL
TEMP PRE SEL SW :3.2K/5.6K

COLOR TEMP PRE :3200K
AWB A TEMP     :2600K
AWB B TEMP     :3200K
```

ホワイトバランス関連の ビューファインダー表示について

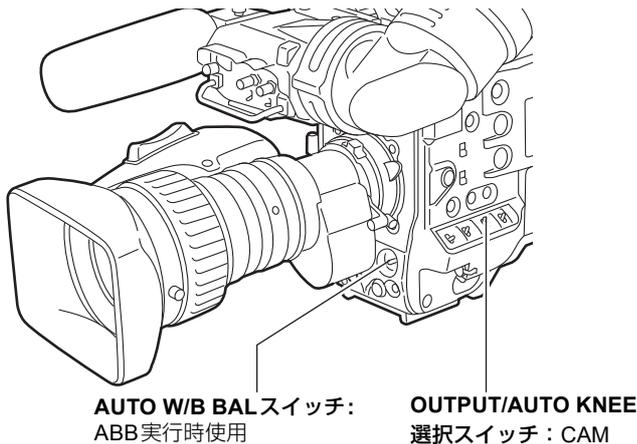
→ 「ビューファインダーの状態表示」(76 ページ) 参照

ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用するとき
- ゲイン切り替え値を変更したとき
- USER MAIN/USER1/USER2 ボタンを使用して S.GAIN (スーパーゲイン) の設定をしたとき
- メニューの USER SW GAIN 画面で、DS.GAIN の割り付けを変更したとき

1 図のようにスイッチを設定する



2 AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に倒し、スイッチを離す

- スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。
- 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます。



◆ NOTE:

調整中はレンズ絞りが自動的に CLOSE になります。

- 数秒で調整が完了し、図のようなメッセージが表示されます。



調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

◆ NOTE:

- レンズコネクタが接続されていること、レンズ絞りが CLOSE になっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- オートブラックバランス動作が終了した後も、ブラックシェーディングが気になる場合は、DETECTION (DIG)項目でカーソル(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押して、ブラックシェーディング調整を実行してください。DETECTION (DIG)項目は、MAINTENANCE ページの <BLACK SHADING>画面から選択できます。SHD. ABB SW CTL項目を“ON”に設定し、AUTO W/B BALスイッチを8秒以上長押しすると、ビューファインダーに「B-SHD READY」と表示され、オートブラックバランス動作に続いてブラックシェーディングの自動調整を行うことができます。ブラックシェーディング調整を実行中は、ビューファインダーに「B-SHD ACTIVE」と表示されます。その後、ビューファインダーに「B-SHD OK」と表示されるまでレンズの絞りは必ず絞ったままにしてください。SHD. ABB SW CTL項目は、CAM OPERATION ページの <SW MODE>画面から選択できます。ただしリモートコントロールユニット (AJ-RC10G: 別売品)、またはエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G: 別売品) を接続しているときは、ABBスイッチの長押しを行っても、ブラックシェーディングの自動調整を行うことはできません。
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき(“ABB ACTIVE”とビューファインダーに表示します)に、再度 AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押し下げると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターに関する説明、設定および操作方法について示します。

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次の通りです。

固定したシャッタースピードを使用する

- 照明などによるフリッカーを除去したい場合
- 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合

SYNCHRO SCANのシャッタースピードを使用する

- モニター画面の撮影時に、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
- 被写体の動きに効果をつけて撮影したい場合

ハーフシャッタースピード (HALF) を使用する

- フィルム撮影を行ったような効果をつけて撮影したい場合

◆ NOTE:

- 電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。

モード	映像方式	CAMERA MODE	シャッタースピード	ハーフシャッタースピード	SYNCHRO SCANの可変範囲	
HD	1080-59.94i	60i	1/100、1/120、 1/250、1/500、 1/1000、1/2000、 HALF 180deg、172.8deg、 144.0deg、120.0deg、 90.0deg、45.0deg	1/120	1/61.7～1/7200	3 deg～350 deg (1.0 degステップ)
	1080-29.97P	30P		1/60	1/30.9～1/3600	
	1080-23.98P	24P		1/48	1/24.7～1/2880	
	1080-23.98PA	24PA		1/48	1/24.7～1/2880	
SD	480-59.94i	60i	180deg、172.8deg、 144.0deg、120.0deg、 90.0deg、45.0deg	1/120	1/61.7～1/7200	3 deg～350 deg (1.0 degステップ)
	480-29.97P	30P		1/60	1/30.9～1/3600	
	480-23.98P	24P		1/48	1/24.7～1/2880	
HD	1080-50i	50i	1/60、1/120、 1/250、1/500、 1/1000、1/2000、 HALF	1/100	1/51.4～1/6000	3 deg～350 deg (1.0 degステップ)
	1080-25P	25P		1/50	1/25.7～1/3000	
SD	576-50i	50i	180deg、172.8deg、 144.0deg、120.0deg、 90.0deg、45.0deg	1/100	1/51.4～1/6000	
	576-25P	25P		1/50	1/25.7～1/3000	

シャッターモード/スピードの設定

シャッターモードでのシャッタースピードは、SHUTTERスイッチを切り替えて設定します。

SYNCHRO SCANモードでのシャッタースピードは、サイドパネルのSYNCHRO SCAN調整スイッチ (+/-) で簡単に変更できます。

なお<SHUTTER SPEED>画面と<SHUTTER SELECT>画面から、シャッタースピードの選択範囲を必要な範囲にあらかじめ制限したり、SYNCHRO SCANモードを使用するかどうかあらかじめ選択したりすることができます。

→ 「CAM OPERATION」 (182 ページ) 参照

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切ったあとも保持されます。

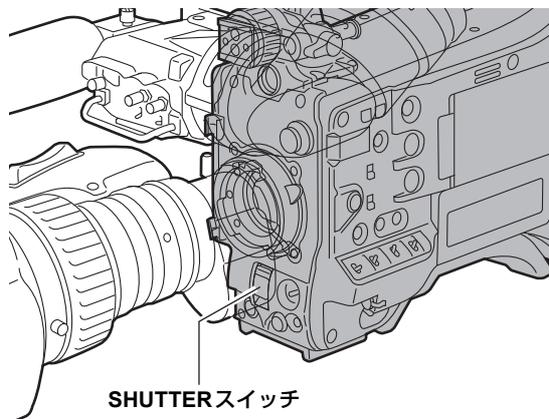
→ < SHUTTER SPEED >

```
SYNCHRO SCAN :ON  
POSITION1 :ON  
POSITION2 :ON  
POSITION3 :ON  
POSITION4 :ON  
POSITION5 :ON  
POSITION6 :ON
```

→ < SHUTTER SELECT >

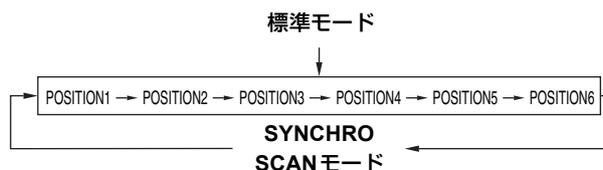
```
POSITION1 SEL :1/100  
POSITION2 SEL :1/120  
POSITION3 SEL :1/250  
POSITION4 SEL :1/500  
POSITION5 SEL :1/1000  
POSITION6 SEL :1/2000
```

1 SHUTTERスイッチを、「ON」の位置から「SEL」側に押す



2 もう一度、SHUTTERスイッチを「SEL」側に押し、希望のモードまたはスピードをビューファインダー上に表示するまで、この操作を繰り返す

全てのモードとスピードを表示する場合は、以下の順序で表示が切り替わります。



シャッター関連のビューファインダー画面表示について

「ビューファインダーの状態表示」 (76 ページ) を参照してください。

◆ NOTE:

DS.GAIN動作中は、SHUTTERモードは強制OFFになります。

シンクロスキャンモードの設定

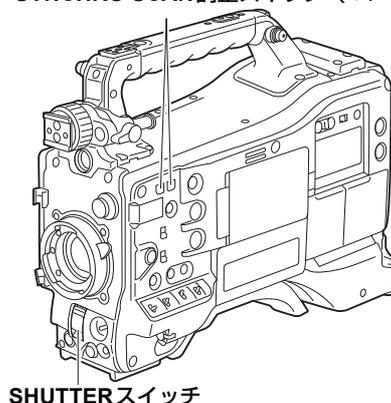
SHUTTERスイッチを「ON」から「SEL」側に押し、SYNCHRO SCANモードに設定します。

● SYNCHRO SCANモード時は、SYNCHRO SCAN調整スイッチ (+/-) を操作して連続的に切り替えることができます。

● シンクロスキャンモード時のシャッタースピード表示は秒、または角度に切り替えることができます。

→ 「SYNCHRO SCAN DISP」 (178 ページ) 参照

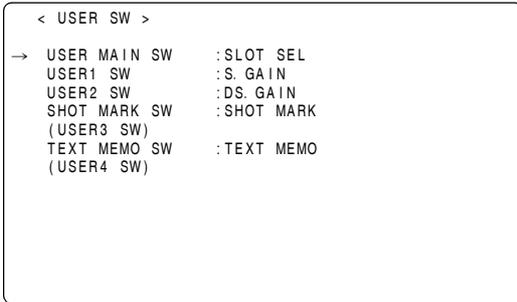
SYNCHRO SCAN調整スイッチ (+/-)



USERボタンへの機能割り付け

USER MAIN、USER1、USER2、SHOT MARK (USER3)、TEXT MEMO (USER4) ボタンに選択した機能を割り当てることができます。

USER MAIN SW項目、USER1 SW項目、USER2 SW項目、SHOT MARK SW (USER3 SW) 項目、およびTEXT MEMO SW (USER4 SW) 項目で、各々に割り当てる機能を設定します。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択します。



選択可能な機能について

- INH :** 機能を割り付けません。
- S.GAIN :** S.GAIN機能を割り付けます。S.GAIN機能がONになっている間はAWBは機能しません。
- DS.GAIN :** DS.GAIN機能を割り付けます。

◆ NOTE:

- DS.GAIN機能は59.94i、50iの状態では撮影時のみ動作します。また動作中はSHUTTERモードが強制OFFになります。
- DS.GAIN機能をONまたはOFFした瞬間の映像は、不連続になります。

- S.IRIS :** スーパーアイリス機能を割り付けます。逆光補正を行う時に有効です。
- I.OVR :** アイリスオーバーライド機能を割り付けます。
- オートアイリスモードでの目標値（基準値）を変更します。
- 目標値を変更するには、本モードに設定してから、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が可能になります。JOGダイヤルボタンを左右に回し、目標値を変更します。ビューファインダー画面左側のアイリス表示部の左側に+、++、-または--を表示します。変更したい位置でJOGダイヤルボタンの回転を止め、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が確定します。
- なお、このモードを解除した時や、一度電源OFFにすると基準値に戻ります。

- + : 絞りを0.5程度開きます。
- ++ : 絞りを1程度開きます。
- : 絞りを0.5程度閉じます。
- : 絞りを1程度閉じます。

無表示: 基準値です。

- S.BLK :** スーパーブラック機能を割り付けます。黒レベルをペダスタルレベル以下にする機能です。

- B.GAMMA :** BLACK GAMMA機能を割り付けます。黒の階調を強調する機能です。BLACK GAMMA項目で設定された値に関わらず、BLACK GAMMA: +3が設定されず。BLACK GAMMA項目は、PAINTページの<LOW SETTING>画面、<MID SETTING>画面、<HIGH SETTING>画面のいずれかから選択できます。

- D.ZOOM :** デジタルズーム機能を割り付けます。画角を縦横2/3/4倍にズームアップします。
- ATW :** 自動追尾式のホワイトバランス機能を割り付けます。

- ATW LOCK :** ATW機能が動作しているときに押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW機能の動作を再開します。

- Y GET :** センターマーカ一部の輝度レベルを表示させる機能を割り付けます。

- DRS :** ダイナミックレンジストレッチャーの機能を割り付けます。高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、低輝度な部分の映像レベルを伸張することでダイナミックレンジを拡大する機能です。PAINTページの<KNEE LEVEL>画面で圧縮レベルを可変することができます。

◆ NOTE:

- DRS機能は、高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、低輝度な部分の映像レベルを伸張するので、DRS機能をON/OFFすることにより、発色に若干の差が生じることがあります。
- DRS機能をONにしているときは、KNEE機能やBLACK GAMMA機能が動作しません。

- ASSIST :** フォーカスアシスト表示のON/OFFを切り替える機能を割り付けます。

◆ NOTE:

ASSISTをONにすると、ビューファインダー画面と液晶モニター画面の右下にグラフを表示します。グラフをより右に表示するよう、レンズのフォーカスリングを調整してください。

- C.TEMP :** 色温度をJOGダイヤルボタンで変更するモードに切り替える機能を割り付けます。ホワイトバランスをとった後に、色温度を意図的に変化させたいときに有効です。色温度を変更するには、本機能を割り付けたユーザーボタンを押し、さらにJOGダイヤルボタンを押します。ビューファインダー画面の色温度表示が反転・点滅し、色温度を変更可能なモードになります。点滅中にJOGダイヤルボタンを回して色温度を変更します。このときWHITE BALスイッチが設定されている位置 (PRST/A/B) の設定値が合わせて変更されます。

AUDIO CH1/3 :

音声チャンネル1または音声チャンネル3 (MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面にあるVR SELECT項目で切り替え可能)の入力信号を切り替える機能を割り付けます。
押すごとにFRONT→REAR→W.L.の順番で切り替わります。このときAUDIO INスイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

AUDIO CH2/4 :

音声チャンネル2または音声チャンネル4 (MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面にあるVR SELECT項目で切り替え可能)の入力信号を切り替える機能を割り付けます。
押すごとにFRONT→REAR→W.L.の順番で切り替わります。このときAUDIO INスイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

REC SW : RECボタンの機能を割り付けます。

RET SW : レンズのRETボタンの機能を割り付けます。

PRE REC : PRE RECORDINGのON/OFFを切り替える機能を割り付けます。

SLOT SEL : P2カードを複数挿入しているとき、記録対象のカードを切り替える機能を割り付けます。

PC MODE : USBデバイスモード、またはUSBホストモードのON/OFFを切り替える機能を割り付けます。USBデバイスモードとUSBホストモードの切り替えはPC MODE SELECT項目

で行います。PC MODE SELECT項目はSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

SHOT MARK : 押すとショットマークを付加、もう一度押すと消去する機能を割り付けます。ショットマーク機能について、詳しくは「ショットマーク機能」(47 ページ)を参照してください。この機能はSHOT MARK (USER3) ボタンにのみ割り付け可能です。他のUSERボタンには割り付けできません。

TEXT MEMO : 押した時点のフレームにテキストメモを記録する機能を割り付けます。テキストメモ機能について、詳しくは「テキストメモ機能」(46 ページ)を参照してください。この機能はTEXT MEMO (USER4) ボタンにのみ割り付け可能です。他のUSERボタンには割り付けできません。

LCD B.L. : 液晶モニターのパックライトの輝度を切り替えます。BACK LIGHT項目の設定値と連動します。BACK LIGHT項目はSYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択できます。

◆ NOTE:

- リモートコントロールユニット (AJ-RC10G : 別売品)、またはエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G : 別売品) を接続し、AJ-RC10G、AG-EC4G側のUSERボタンにI.OVRやC TEMPを割り付けた場合、本機のJOGダイヤルボタンの操作は無効になります。
- 以下の機能は、本機の電源をOFFにすると機能もOFFになります。I.OVR/S.BLK/B GAMMA/Y GET/DRS/ASSIST/C.TEMP/ATW/ATW LOCK/D.ZOOM/S.GAIN/DS.GAIN
ただしC.TEMPについては、可変した色温度は保持されます。

USER SW GAIN の切換えの設定

本機は、L/M/Hの標準的なゲインとは別に、30dB以上のアナログゲインアップS.GAIN (スーパーゲイン) モード、ブロードレッシュ駆動を利用した蓄積型のゲインアップDS.GAIN (デジタルスーパーゲイン) モードが使用できます。本機能の選択は、S.GAIN項目とDS.GAIN項目でそれぞれ使用するGAINをあらかじめ設定します。各項目は、CAM OPERATIONページから<USER SW GAIN>画面から選択できます。

例えば、USER MAINボタンかUSER1ボタンかUSER2ボタンいずれかにS.GAINとDS.GAIN機能を割り付けた場合、各USERボタンとの組み合わせでのゲインアップが可能となります。

1) ノイズ感を増さずにゲインアップしたい場合

DS.GAIN機能を使用します。

2) 通常のアナログのゲインアップをしたい場合

(ノイズ感は増します)

S.GAIN機能のみを使用します。

◆ NOTE:

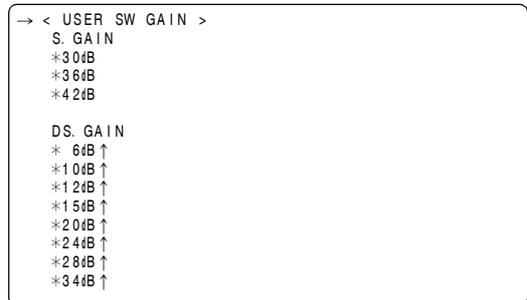
ノイズが増すため、AUTO IRIS、ホワイトバランス、ブラックバランスの精度に影響が出ますのでご注意ください。

3) 超高感度モードとして使用したい場合

S.GAIN機能とDS.GAIN機能を組み合わせて使用します。

ただし、DS.GAINのゲインアップの値が大きい程、動きのある被写体では残像が目立ちますので取り扱いには十分ご注意ください。

動きのある被写体では、DS.GAIN機能で12dB ↑ 以下でご使用ください。

**設定項目と設定内容について**

S.GAIN : * マークのあるアナログゲインアップが有効となり、* マークのないアナログゲインアップは機能しません。

DS.GAIN : * マークのある蓄積型のゲインアップが有効となり、* マークのない蓄積型のゲインアップは機能しません。

音声入力の選択と録音レベルの調整

本機はすべての記録フォーマットで音声独立4チャンネル記録が可能です。

AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4 スイッチを「AUTO」にすると、音声チャンネル1/2（メニュー設定により3/4）に録音されるレベルは自動的に調整されます。また「MAN」側にするとAUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4 つまみやF.AUDIO LEVEL つまみを用いて手動で調整することもできます。なお、音声チャンネル3/4（メニュー設定により1/2）に録音されるレベルは、メニューにより自動調整か手動調整（メニュー設定値で調整を行います）かを選択できます。

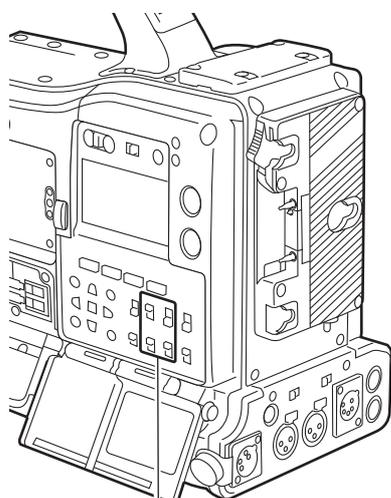
◆ NOTE:

- 本機はAUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4 つまみでチャンネル1/2の音声レベルを調整するか、チャンネル3/4の音声レベルを調整するかを選択できます。出荷状態ではレベル調整つまみはチャンネル1/2の音声を調整するように設定されています。
- HDモード（1080i）でもP2カードに記録される音声チャンネルは4チャンネルになります。
- SDIの入力信号を記録するときはここでの設定は無効になり、常にSDI IN端子からのオーディオ信号が記録されます。

音声入力信号の選択

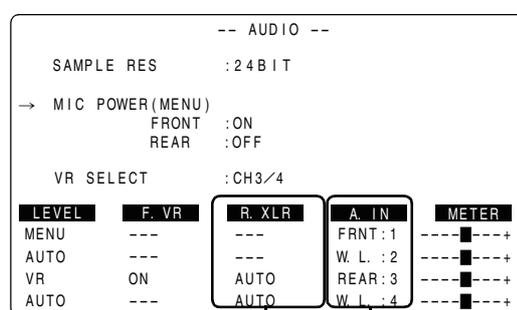
AUDIO INスイッチで音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選択します。

→ 「音声機能部（入力系）」（19ページ）参照



AUDIO INスイッチ

入力の選択状態はMODE CHECKのAUDIO画面で確認できます。



REAR XLR AUTO
（リアXLR端子入力自動切換え）が選択されているかどうかを表示

CH1～4の各入力信号の系統を表示

なお、REAR XLR AUTO CH1/2項目およびREAR XLR AUTO CH3/4項目を“ON”に設定すると、背面にあるAUDIO IN CH1/3 / 2/4端子にXLRコネクタを挿入した時点で、自動的に入力信号の選択が「REAR」に切り替わります。このとき該当チャンネルのAUDIO INスイッチは無効になります。

SDモード（480i、576i）のDVCPROまたはDVフォーマットで使用する場合、出荷状態では音声チャンネル3と4は記録を行わないように設定されています。4チャンネル記録を行うときは、25M REC CH SEL項目を“4CH”に設定してください。

各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。

録音レベルの調整

本機は調整つまみ/メニュー項目による調整/自動調整の3つから、録音レベル調整方法が選択できます。

VR SELECT項目でCH1/2とCH3/4のどちらの2チャンネルを調整つまみに割り当てるかを選択します。VR SELECT項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。

選択されない2チャンネルは自動調整になりますが、メニュー項目での調整を選択することも可能です。出荷状態では、CH1/2が調整つまみに割り当てられています。

レベル調整方法の選択

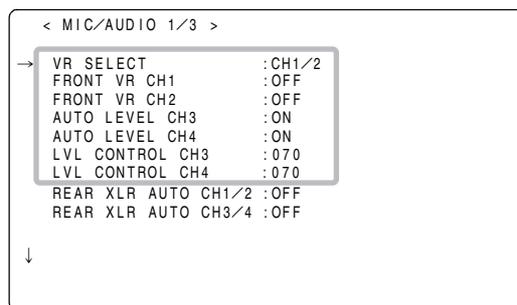
VR SELECT項目で、AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみをCH1/2とCH3/4のどちらに割り当てるかを選択します。

CH1/2: AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみをチャンネル1/2に割り当てます。
AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4スイッチも、チャンネル1/2に対して有効になります。
またチャンネル3/4は自動調整になりますが、AUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目を“OFF”に設定することで自動調整が解除され、LVL CONTROL CH3項目、LVL CONTROL CH4項目でレベル調整を行うことも可能です。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。

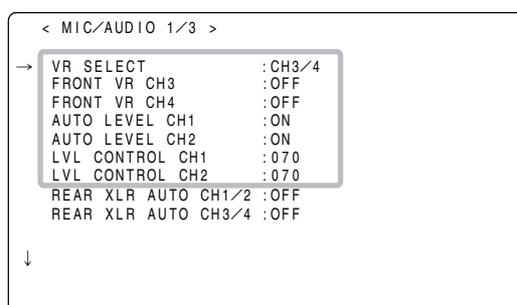
CH3/4: AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみをチャンネル3/4に割り当てます。
AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4スイッチも、チャンネル3/4に対して有効になります。
またチャンネル1/2は自動調整になりますが、AUTO LEVEL CH1項目とAUTO LEVEL CH2項目を“OFF”に設定することで、自動調整が解除され、LVL CONTROL CH1項目、LVL CONTROL CH2項目でレベル調整を行うことも可能です。

オーディオレベル調整関連メニュー

VR SELECT項目でCH1/2を選択



VR SELECT項目でCH3/4を選択



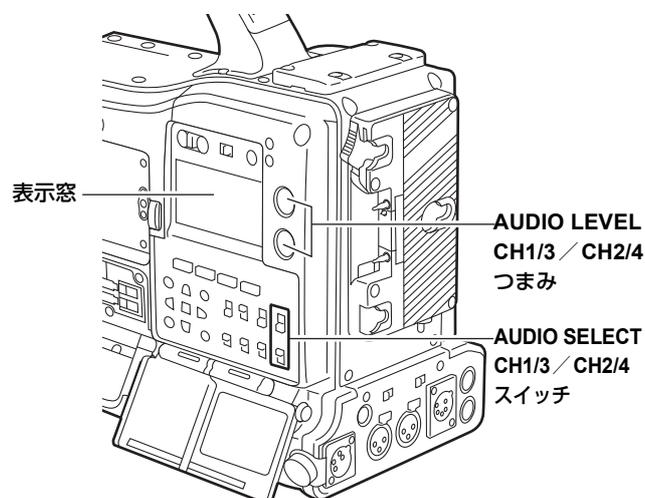
◆ NOTE:

VR SELECT項目を変更したとき、上記メニュー画面の各項目の値は引き継がれます。例えば、AUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH1項目の値は互いに引き継がれます。

レベル調整つまみをCH1/2に割り当てたとき

チャンネル1と2のレベル調整の選択

チャンネル1と2のレベル調整方法を、AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4スイッチで、「AUTO」（自動調整）か、「MAN」（調整つまみによる手動調整）かで選択します。「MAN」を選択した場合は、AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみでチャンネル1と2の音量を調整します。

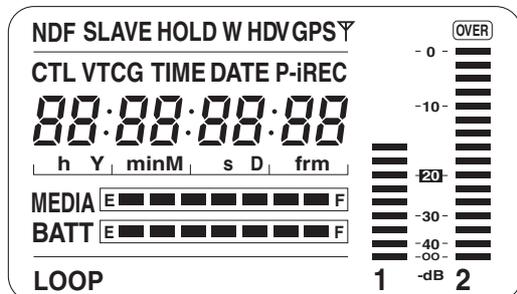


AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみでの調整

表示窓の音声チャンネルレベルメーター、または液晶モニターのオーディオレベルメーター表示を見ながら、AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみを調整します。

なお、最上段のバー（0dB）を超えるとOVER表示が点灯し、入力音量が過大であることを示します。最大でも0 dBまで表示しないように調整する必要があります。

表示窓オーディオレベルメーター表示



ビューファインダー内オーディオレベルメーター表示



F.AUDIO LEVELつまみでの調整

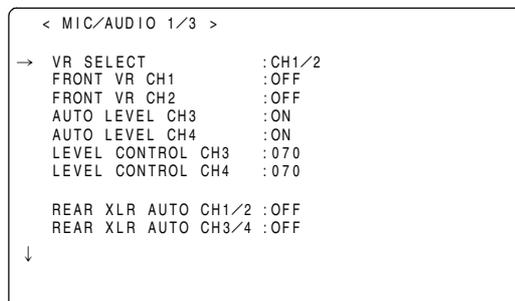
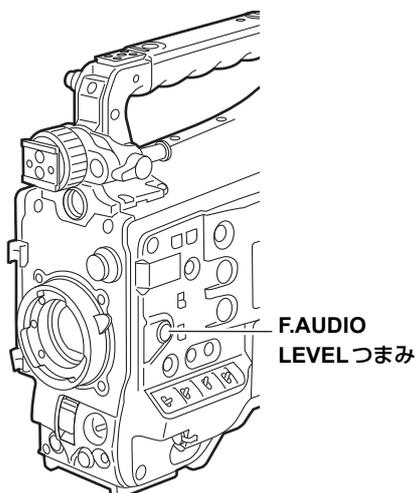
本機を一人で操作する場合、音声レベルの調整にはF.AUDIO LEVELつまみのご使用を推奨します。

あらかじめ調整したいオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面内のレベルメーターを見ながら、過大入力にならないよう、F.AUDIO LEVELつまみで調整します。

なお、F.AUDIO LEVELつまみでの録音レベル調整をする場合は、FRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、各チャンネルの入力信号として選択された系統に対して有効にするかどうかを設定します。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。

FRONT VR CH1、CH2

- OFF** : 無効
- FRONT** : 入力信号に FRONT が選択されている場合に有効
- W.L.** : 入力信号にワイヤレスが選択されている場合に有効
- REAR** : 入力信号に REAR が選択されている場合に有効
- ALL** : 全ての入力系統に対して有効



チャンネル3/4のレベル調整

AUTO LEVEL CH3項目およびAUTO LEVEL CH4項目を“ON”にすると、自動調整が有効となります。

またこれらの項目を“OFF”にすると、自動調整は動作停止し、LVL CONTROL CH3項目およびLVL CONTROL CH4項目で音声レベル調整が可能です。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。

レベル調整つまみをCH3/4に割り当てたとき

チャンネル3と4のレベル調整の選択

チャンネル3と4のレベル調整方法を、AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4スイッチで、「AUTO」（自動調整）か、「MAN」（調整つまみによる手動調整）かで選択します。「MAN」を選択した場合は、AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみでチャンネル3と4の音量を調整します。

AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみでの調整

レベル調整つまみをCH1/2に割り当てたときと同様、AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4つまみで調整が可能です。

チャンネル1/2のレベル調整

AUTO LEVEL CH1項目およびAUTO LEVEL CH2項目を“ON”にすると、自動調整が有効となります。

またこれらの項目を“OFF”にすると、自動調整は動作停止し、LVL CONTROL CH1項目およびLVL CONTROL CH2項目で音声レベル調整が可能です。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。

調整方法の選択表

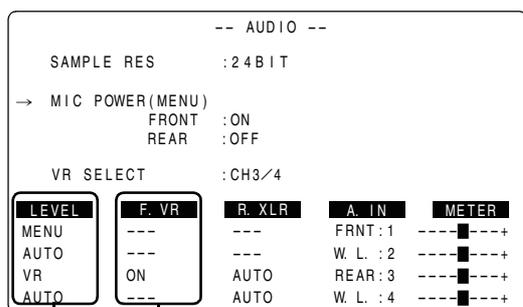
VR SELECT項目で“CH1/2”を選択時

CH1、CH2		CH3、CH4	
AUDIO SELECT CH1/3スイッチ AUDIO SELECT CH2/4スイッチ	調整方法	AUTO LEVEL CH3メニュー項目 AUTO LEVEL CH4メニュー項目	調整方法
MAN	調整つまみで手動調整	OFF	LVL CONTROL CH3項目、 LVL CONTROL CH4項目での 手動調整
AUTO	自動調整	ON	自動調整

VR SELECT項目で“CH3/4”を選択時

CH1、CH2		CH3、CH4	
AUTO LEVEL CH1メニュー項目 AUTO LEVEL CH2メニュー項目	調整方法	AUDIO SELECT CH1/3スイッチ AUDIO SELECT CH2/4スイッチ	調整方法
OFF	LVL CONTROL CH1項目、 LVL CONTROL CH2項目での 手動調整	MAN	調整つまみで手動調整
ON	自動調整	AUTO	自動調整

オーディオレベル調整方法の選択状態はMODE CHECKのAUDIO画面で確認できます。



レベル調整の選択状態を表示します。

VR： 調整つまみによる調整

MENU：メニューによる調整

AUTO：自動調整

F.AUDIO LEVELつまみが各チャンネルに対して有効になっているかどうかを表示します。

OFF：F.AUDIO LEVELつまみが無効です。

ON：F.AUDIO LEVELつまみが有効です。

---：つまみによるレベル調整は選択されていません。
(自動調整またはメニューによる調整が選択されています)

外部基準信号の選択とゲンロックの設定

映像信号を外部基準信号にロックさせる

外部から供給された基準信号に本機から出力される映像信号をロックさせることができます。

本機は外部基準信号を下記2個の端子から受けることができます。

- GENLOCK IN端子（アナログ信号専用）
- SDI IN端子（SDI信号専用）

GENLOCK IN端子から供給された基準信号にゲンロックさせる

GENLOCK IN端子にシステムのフレーム周波数と合ったHD-Y信号、もしくはコンポジット信号を供給します。

GENLOCK IN端子に入力された基準信号を有効とするには、GENLOCK項目で“GL IN”を選択する必要があります。入力された基準信号にロックさせる出力信号は、GL PHASE項目で選択します。（1080-59.94i、1080-50i時のみ）

基準信号と出力信号の水平位相の調整は、H PHASE COARSE項目、およびH PHASE FINE項目で行います。各項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択できます。

◆ NOTE:

本機のコンポジット信号のサブキャリアは、基準信号のサブキャリアにロックしません。

SDI IN端子から供給された基準信号にゲンロックさせる

SDI IN端子にシステムのフレーム周波数と合ったSDI信号を供給します。

SDI IN端子に入力された基準信号を有効とするには、GENLOCK項目で“SDI IN”を選択する必要があります。なおREC SIGNAL項目で“SDI”が選択されている場合は、GENLOCK項目の選択状態にかかわらずSDI IN端子に入力された基準信号に同期します。このとき出力信号の位相は、SDI IN端子に供給された基準信号と同じになります。基準信号と出力信号の水平位相の調整は、H PHASE COARSE項目および、H PHASE FINE項目で行います。REC SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

外部基準信号の選択とゲンロックの設定によって、出力の状態は以下のようになります。

記録フォーマット	外部基準信号の選択		ゲンロックの設定	出力信号の状態 (外部基準信号との位相関係)
	GENLOCK *	入力信号と入力端子	GL PHASE *	
1080i	SDI IN	HD SDI : SDI IN端子	HD SDI	HD SDI出力はHD SDI入力信号と一致します。 VBS出力はHD SDI入力信号より約90 H遅れます。
			COMPOSIT	VBS出力はHD SDI入力信号と一致します。 HD SDI出力はHD SDI入力信号より約90 H進みます。
		SD SDI : SDI IN端子	HD SDI	HD SDI出力はHD SDI入力信号にロックしません。
			COMPOSIT	VBS出力はHD SDI入力信号にロックしません。
	GL IN	HD-Y : GENLOCK IN端子	HD SDI	HD SDI出力はHD-Y入力信号と一致します。 VBS出力はHD-Y入力信号より約90 H遅れます。
			COMPOSIT	VBS出力はHD-Y入力信号と一致します。 HD SDI出力はHD-Y入力信号より約90 H進みます。
		VBS : GENLOCK IN端子	HD SDI	HD SDI出力はVBS入力信号と一致します。 VBS出力はVBS入力信号より約90 H遅れます。
			COMPOSIT	VBS出力はVBS入力信号と一致します。 HD SDI出力はVBS入力信号より約90 H進みます。
INT	—	—	出力は入力信号に対して非同期です。	
480i/576i	SDI IN	SD SDI : SDI IN端子	—	SD SDI出力はSD SDI入力信号と一致します。 VBS出力はSD SDI入力信号と一致します。
		HD SDI : SDI IN端子	—	SD SDI出力はSD SDI入力信号にロックしません。 VBS出力はSD SDI入力信号にロックしません。
	GL IN	VBS : GENLOCK IN端子	—	SD SDI出力はSD SDI入力信号と一致します。 VBS出力はSD SDI入力信号と一致します。
		HD-Y : GENLOCK IN端子	—	SD SDI出力はHD-Y入力信号にロックしません。 VBS出力はHD-Y入力信号にロックしません。
	INT	—	—	出力は入力信号に対して非同期です。

* GENLOCK項目およびGL PHASE項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択します。

タイムデータの設定

本機はタイムデータとしてタイムコード、ユーザーズビット、日時（リアルタイム）データを備え、映像と同期してフレームごとに記録するとともにクリップメタデータファイルのデータとしても記録されます。また、CTLカウンター、カメラIDを内蔵しています。

タイムデータの概要

タイムコード

TCGスイッチでレックランとフリーランに切り替えることができます。

フリーラン: 常に歩進し、電源を切っても歩進が行われ、時刻と同様に扱うことができます。また、TC IN端子に入力されたタイムコードにスレーブロックして記録することができます。

レックラン: P2カードに記録されたクリップのタイムコードにリジェネして連続値として記録できます。

ユーザーズビット

以下の2種類のユーザーズビットを内蔵しています。

LTC UB: LTCとして記録し、TC OUT端子から出力されます。また、HD SDI信号のLTCとしても出力されます。

VITC UB: VITCとして記録（DVCPROではVIDEO AUX領域に記録）されます。またHD SDI信号のVITCとして出力されます。

ユーザー設定値、時刻、年月日、タイムコードと同じ値、カメラ撮影のフレームレート情報、TC IN端子からの外部信号の入力値などを、それぞれ別々に選択して記録することができます。

◆ NOTE:

- ユーザー設定値は1種類のみ記録されます。
- 1080iや480iモードの24P/24PA撮影時は、VITC UBがフレームレート情報に固定されます。
- NativeモードではVITC UBはフレームレート情報に固定されません。

日時（リアルタイム）

内蔵の時計により、年、月、日、時刻を計測しています。また、GPSユニットAJ-GPS910Gを取り付けることにより、GPSからの正確な日時で内蔵時計を補正することができます。

内蔵時計はフリーランタイムコードの電源オフ中の計測や、ユーザーズビットの時刻、年月日データとして使用されるだけでなく、クリップを記録時にファイル生成時刻の基準になり、サムネールの並びや再生順序が決まります。またクリップメタデータや、UMID（Unique Material Identifier）の生成にも使用されます。

CTLカウンター

CTLカウンターは、記録時はリセットしてからのトータルの記録時間を計測します。また、再生時は再生可能なクリップの先頭を基準としてカウントする値です。現在の再生位置を相対的に知る手段として使用できます。

カメラID

カメラIDは10文字×3行で設定でき、カラーバー映像に重畳して記録できます。日時データと同時に重畳して記録することも可能です。

タイムコードおよびユーザズビットの記録

入力信号や、SYSTEMモードやカメラモードの設定によって以下のようになります。

REC SIGNAL	SYSTEM MODE	記録フレーム方式*8	LTC	VITC	記録とプリセット時のTCのフレーム数	出力TCのフレーム数	表示TCのフレーム数	LTC UB	VITC UB
CAM	1080-59.94i	60i, 30P (Over 60i)	TC MODEに従う*3	TC MODEに従う*3	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*5	VITC UB MODEに従う
		24P (Over 60i) 24PA (Over 60i)	ノンドロップフレーム固定*4	ノンドロップフレーム固定*4					フレームレート情報固定*2
		30PN (Native)	TC MODEに従う*3	TC MODEに従う*3			30	UB MODEに従う*5	フレームレート情報固定*6
		24PN (Native)	ノンドロップフレーム固定*4	ノンドロップフレーム固定*4	24	記録: 24 固定 再生: 30/24切替可			
	1080-50i	50i, 25P (Over 50i)	—*3	—*3	25	25	25	UB MODEに従う*5	VITC UB MODEに従う
		25PN (Native)	—*3	—*3					フレームレート情報固定*6
	480-59.94i	60i, 30P (Over 60i) 24P (Over 60i) 24PA (Over 60i)	TC MODEに従う*3	TC MODEに従う*3	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*5	VITC UB MODEに従う
			ノンドロップフレーム固定*4	ノンドロップフレーム固定*4					フレームレート情報固定*2
		576-50i	50i, 25P (Over 50i)	—*3	—*3	25	25	25	UB MODEに従う*5
	SDI*1	1080-59.94i 480-59.94i	無関係	TC MODEに従う*3	TC MODEに従う*3	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*5
1080-50i 576-50i		—*3		—*3	25	25	25		

- *1 SDI IN端子に入力されたTC、UB値にスレーブしません。
- *2 FRAME RATE UB項目を“MENU”にすると UB MODEまたはVITC UB MODEに従って記録することが可能ですが、この場合、編集機器（パソコンの編集ソフト）で必要な情報が記録できません。FRAME RATE UB項目は、OPTION MENUページの<OPTION>画面から選択できます。
- *3 フリーランではTC IN端子に入力されたタイムコードにスレーブします。
- *4 フリーランではTC IN端子に入力されたタイムコードがノンドロップフレームの場合にスレーブします。
- *5 UB MODE項目が“EXT”に設定されていると、TC IN端子に入力されたユーザズビットにスレーブします。UB MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択できます。
- *6 メニュー設定にかかわらず、いかなる場合もフレームレート情報が記録されます。再生ではプルダウンされたフレームレート情報に変換して出力されます。
- *7 UB MODE項目を“FRM RATE”に設定している場合、再生時にはVITC UBから読み出したプルダウンフレームレート情報が出力されます。
- *8 この項目について、詳しくは「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」（49 ページ）を参照してください。

ユーザーズビットの設定

LTC UBをUB MODE項目で、VITC UBをVITC UB MODE項目で選択します。各項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択できます。

USER (UB MODEのみ)

内蔵しているユーザー値を記録します。ユーザー値は、表示窓を利用して入力できます。記録されたユーザー値は、電源を切っても保持されます。

→ 入力方法については「ユーザー値の入力方法」(65ページ)参照

TIME

内蔵時計で計測している時刻を記録します。

DATE

内蔵時計で計測している年、月、日、時刻の「時」の桁を記録します

EXT (UB MODEのみ)

TC IN端子に入力されているユーザーズビット値を記録します。

内蔵しているユーザー値もこの入力値に変わります。

TCG

タイムコード値が記録されます

FRM RATE

カメラ撮影のフレームレート情報が記録されます。

→ 「ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報」(65ページ)参照

REGEN

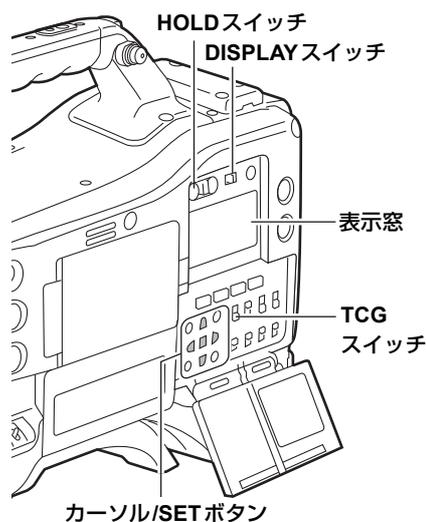
現在記録対象となっているP2カードに最後に記録されたユーザーズビットを読み出し、その値をそのまま記録します。

USER/EXT (VITC UB MODEのみ)

内蔵しているユーザー値をVITC UBとして記録します。

UB MODE項目を“USER”または“EXT”にしているときに表示するユーザーズビットと同値です。

ユーザー値の入力方法



1 DISPLAYスイッチを「UB」にする

2 TCGスイッチを「SET」にする

左の桁が点滅し、数値が変更可能になります。

3 カーソルボタンでユーザーズビットを設定する

▷ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。

◁ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。

△ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。

▽ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

4 TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にする

5 MAIN OPERATIONページから<TC/UB>画面を開き、UB MODE項目で“USER”を選択する

◆ NOTE:

- TCGスイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。
- VITC UBを確認するにはHOLDスイッチを押し、表示窓にVTCGを表示させます。

ユーザーズビットのメモリー機能について

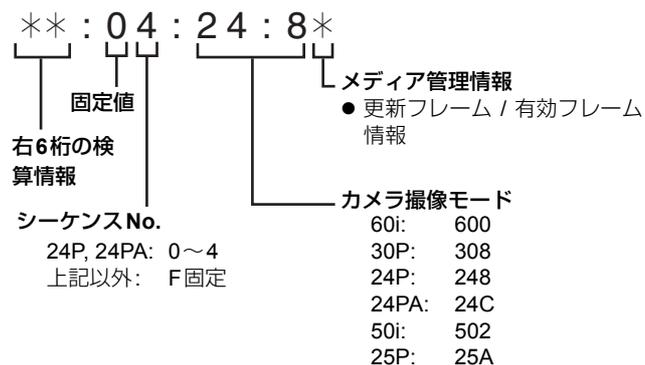
ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報

CAMERA MODE項目で設定されるフレームレートに従って記録される映像情報をユーザーズビットに記録しておき、編集機器(パソコンの編集ソフトなど)で利用できます。通常、1080iとSDモードではVITC UBのフレームレート情報が利用されます。CAMERA MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

フレームレート情報

フレームレートおよび映像のプルダウンと、タイムコード・ユーザーズビットの関係は以下のようになっています。



フレームレート : 24P Over 60i (2:3)

■更新フレームの先頭フィールド

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	...	Co	De	Do	Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

シーケンスNo.

0	1	2	3	4	0	1	...	3	4	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	01	00	10	10	...	01	00	10	10	01	01	00
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート : 24PA Over 60i (2:3:3:2)

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	...	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

シーケンスNo.

0	1	2	3	4	0	1	...	3	4	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	00	10	10	10	...	00	10	10	10	01	00	10
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート : 30P Over 60i (2:2) 25P Over 50i (2:2)

タイムコードフレーム桁

00	01	02	...
----	----	----	-----

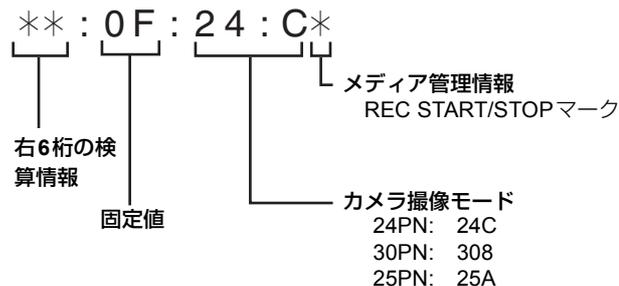
映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	...
----	----	----	----	----	----	-----

更新フレーム情報

10	10	10	...
----	----	----	-----

また、Native記録時のユーザーズビットのフレームレート情報は以下のようにになっています。



◆ NOTE:

Native記録されたクリップの再生では、ユーザーズビットのフレームレート情報は、映像のプルダウンにあわせて変換して出力されます。

例：記録

**** : 0F : 24 : C ***

再生

**** : 0# : 24 : 8 ***

#はシーケンスNo.0~4

内蔵時計の日付 / 時刻の設定

- 1 DISPLAYスイッチを「UB」にする
- 2 HOLD ボタンを押し表示窓にDATEを表示させる
- 3 TCGスイッチを「SET」にする
- 4 カーソルボタンで年月日 (Y/M/D) を設定する
なお、年の設定の上限は2037年です。
▷ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。
◁ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。
△ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
▽ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。
- 5 HOLD ボタンを押し、表示窓にTIMEを表示する
- 6 カーソルボタンで時分秒 (h/min/s) を設定する
- 7 TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にする
スイッチを切り替えた時から内蔵時計が動作を開始します。
- 8 HOLD ボタンを押し、表示窓にTIME ZONE (世界標準時からの時差) を表示する
- 9 TCGスイッチを「SET」にする
- 10 △ ボタン、▽ ボタンで時分 (h/min) と世界標準時からの進み (無表示) / 遅れ (‘-’ 表示) を設定する

例) 時差5:00遅れ(New York)の場合
“05:00 -” と設定

タイムゾーンは日付/時刻とともに常にメタデータとして記録されます。

右表を参考に現地時刻に合わせて設定してください。

- 11 TCGスイッチを、「F-RUN」または「R-RUN」にしてタイムゾーンを確定する

◆ NOTE:

- 本機を初めて使用する前には、必ず本設定を行ってください。また、途中で設定変更を行わないでください。
- TCGスイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。

時 差	地 域	時 差	地 域
00:00	グリニッジ	- 12:00	クワジャリン
+ 00:30		- 11:30	
+ 01:00	中央ヨーロッパ	- 11:00	ミッドウェイ諸島
+ 01:30		- 10:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ	- 10:00	ハワイ
+ 02:30		- 09:30	マルケサス諸島
+ 03:00	モスクワ	- 09:00	アラスカ
+ 03:30	テヘラン	- 08:30	
+ 04:00	アブダビ	- 08:00	ロスアンジェルス
+ 04:30	カブール	- 07:30	
+ 05:00	イスラマバード	- 07:00	デンバー
+ 05:30	ボンベイ	- 06:30	
+ 06:00	ダッカ	- 06:00	シカゴ
+ 06:30	ラングーン	- 05:30	
+ 07:00	バンコク	- 05:00	ニューヨーク
+ 07:30		- 04:30	
+ 08:00	北京	- 04:00	ハリファックス
+ 08:30		- 03:30	ニューファンドランド島
+ 09:00	東京	- 03:00	ブエノスアイレス
+ 09:30	ダーウィン	- 02:30	
+ 10:00	グアム	- 02:00	中部大西洋
+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド	- 01:30	
+ 11:00	ソロモン諸島	- 01:00	アゾレス諸島
+ 11:30	ノーフォーク島	- 00:30	
+ 12:00	ニュージーランド		
+ 12:45	チャタム諸島		
+ 13:00			

◆ NOTE:

- ステップ4で年月日を設定後、TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にしても、スイッチを切り換えたときから内蔵時計が動作を開始します。
年月日、時分秒、タイムゾーンの設定中に設定をキャンセルしたい場合は、SET ボタンを押しながらTCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。正確な時刻を必要とする場合は、電源ON時に、時刻確認、再設定を行ってください。
なお、GPSユニットAJ-GPS910Gを装着して時刻を受信できているときは、受信時刻(世界標準時)とタイムゾーンから、内蔵時計の時刻(現地の日時)を正確に保ちます。DATE、TIME表示が現地時刻とずれているときは、タイムゾーンの設定がずれている可能性があります。再度タイムゾーンの設定を確認してください。(DATE、TIMEを再設定する必要はありません)
- 内蔵時計は、本機に内蔵されたリチウム電池で数年間動作します。リチウム電池の容量がなくなると、電源ON時に「BACKUP BATT EMPTY」とビューファインダーに表示します。
→ 「メンテナンス」(149ページ) 参照

タイムコードの設定

1 DISPLAYスイッチを「TC」にする

2 TCGスイッチを「SET」にする

3 TC MODE項目で“DF”または“NDF”に切り換える

ドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは“DF”に、ノンドロップフレームモードで歩進させるときは“NDF”に設定します。ただし24P、24PA、24PN（Native）では常にNDFで動作します。TC MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択できます。

◆ NOTE:

“DF”と“NDF”の切り替えは、本機のシステム周波数が59.94 Hzに設定しているときに有効です。

4 カーソルボタンでタイムコードを設定する

タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29（59.94 Hz）、23:59:59:23（24PN）または23:59:59:24（50 Hz）です。

▷ ボタン：設定を行う（点滅している）桁が右に移ります。

◁ ボタン：設定を行う（点滅している）桁が左に移ります。

△ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。

▽ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

5 TCGスイッチを切り替える

タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。

◆ NOTE:

- 24Pまたは24PAでご使用時は、タイムコードの設定は5フレーム単位に、24PN（Native）では4フレーム単位に調整されます。また24P、24PA、24PN（Native）では記録中にタイムコードの設定はできません。
- TCGスイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。

タイムコードのリジエネについて

TCGスイッチをR-RUNに設定すると、P2カードに最後に記録されたクリップ（記録日時が最も新しいクリップ）の最後のフレームに記録されているタイムコードを読み出し、その値を継続して記録することができます。

またFIRST REC TC項目で“REGEN”を選択し、P2カードを抜き差ししたり、USERボタンのSLOT SEL機能で記録対象カードを変更した場合、記録対象になったP2カードの最後に記録されたクリップに、タイムコードが継続して記録されます。記録されたクリップがない場合は、本機のTCジェネレーター値から記録されます。FIRST REC TC項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択できます。

REC REVIEWによるリジエネ機能

FIRST REC TC項目で“PRESET”を選択しているときや、タイムコードを設定/リセットしたり、またはタイムコードをフリーランからレックランに切り替えた後に、P2カードに記録されたクリップの最後のタイムコードにリジエネすることが可能です。

なおこの動作を行うときは、RET SW項目を“R.REVIEW”に、REC REVIEW REGEN項目を“ON”に、それぞれ設定してください。RET SW項目は、CAM OPERATIONページの<SW MODE>画面から、REC REVIEW REGEN項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面からそれぞれ選択できます。

1 記録対象になっているP2カードを確認する

複数のP2カードを挿入している場合、最後に記録したクリップのタイムコードにリジエネさせるには、THUMBNAILボタンを押してサムネール画面を開きません。

2 画面の最後に表示するクリップを記録したP2カードを確認し、そのP2カードで記録するよう、SLOT SEL機能を割り付けたUSERボタンでスロットを切り換える

3 レンズのRETボタンを押す

- ビューファインダーに“TC REGEN”と表示されます。
- 次に記録を行うとき、記録対象カードに最後に記録されたクリップのタイムコードにリジエネします。

◆ NOTE:

- 記録対象カードを変更すると、変更したP2カードに最後に記録したクリップのタイムコードにリジエネします。
- 記録中やフリーラン時は、この機能は使えません。

バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、動作を続けます。

なおSYSTEM MODEを変更した場合、フリーランのタイムコードがずれる場合があります。電源を再投入後、タイムコードを確認し、必要に応じて設定しなおしてください。

◆ NOTE:

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

タイムコードを外部ロックさせる

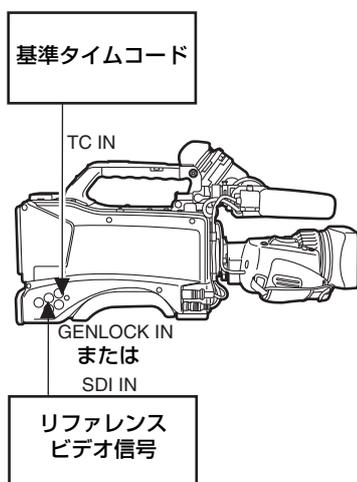
本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部のタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

外部ロックさせる為の接続例

図のように、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。リファレンス信号とゲンロックについては「外部基準信号の選択とゲンロックの設定」(62 ページ)を参照してください。

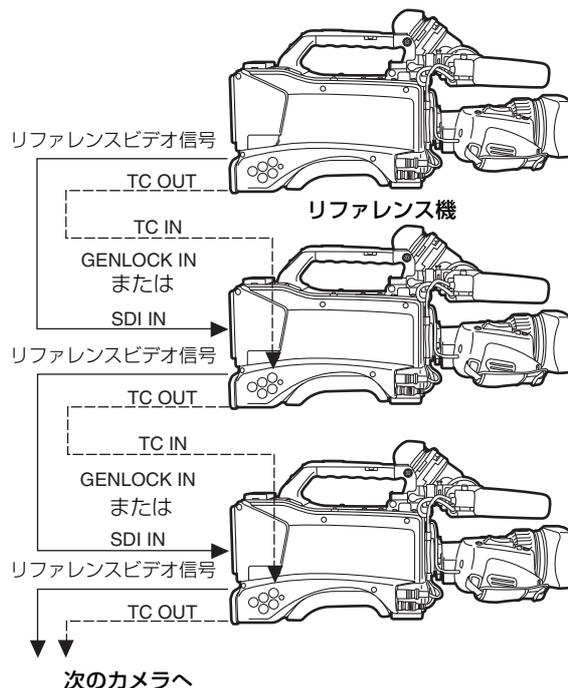
例1:

外部の信号にロックさせる場合



例2:

本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



◆ NOTE:

複数台でシステムを組む場合、入力と出力は全てのカメラを同じ設定にしてください。異なる設定が混在すると、撮像タイミングが一致しくなくなります。

本機は、撮像素子でとらえた映像をプログレッシブ信号からインターレース信号に変換する処理などで、カメラ内部で映像信号の遅延が起きます。
 また、24Pフレームから2：3プルダウンする処理時間が必要なため、カメラ内部で映像信号の遅延が起きます。
 遅延なく収録できる機器と本機を並列に接続して記録する場合、タイムコードのタイミングを合わせる必要があります。このタイミングは、TC VIDEO SYNCHRO項目で設定します。TC VIDEO SYNCHRO項目は、MAIN OPERATIONページの<TC UB>画面から選択できます。接続例を参考に設定を行ってください。

TC VIDEO SYNCHRO項目の設定

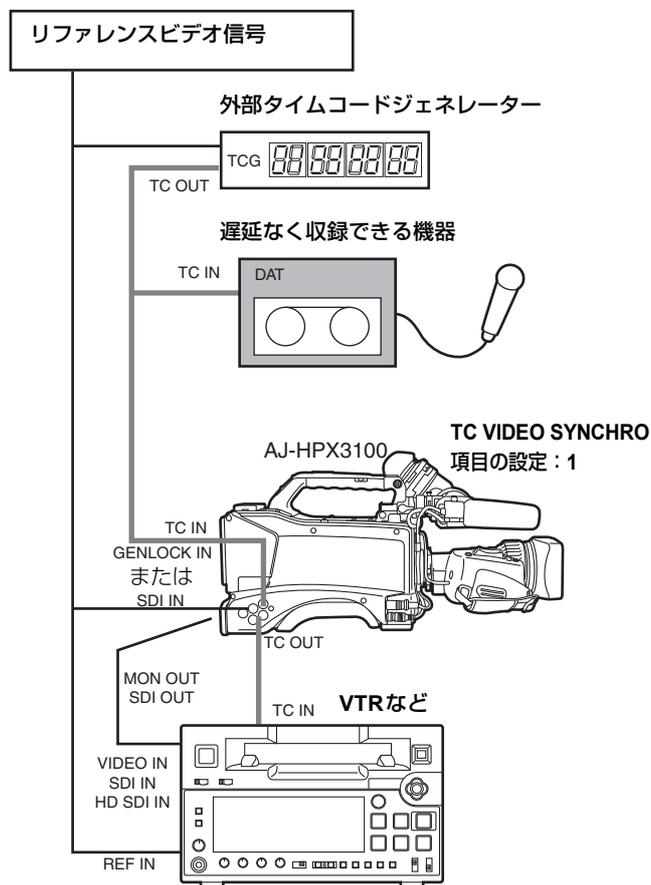
項目	可変範囲	備考
TC VIDEO SYNCHRO	0 1 2 3	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0: 補正しません。 1: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2: 映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。

◆ NOTE:

この設定はプログレッシブ撮影時（CAMERA MODEが24P、30P、25Pのとき）、およびスキャンリバース機能が動作時、有効です。通常の撮影時（CAMERA MODEが60i、50iのとき）は、この設定は不要です。

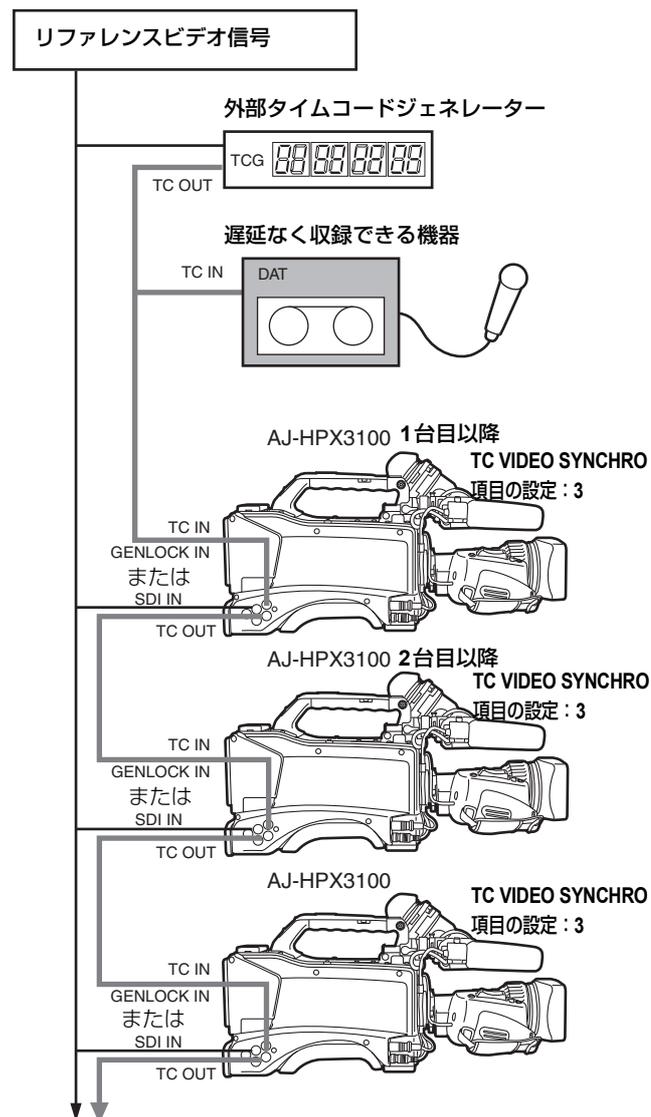
例3：

本機と外部機器を外部の外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機のTC OUT出力信号を使用して同時記録を行う場合。



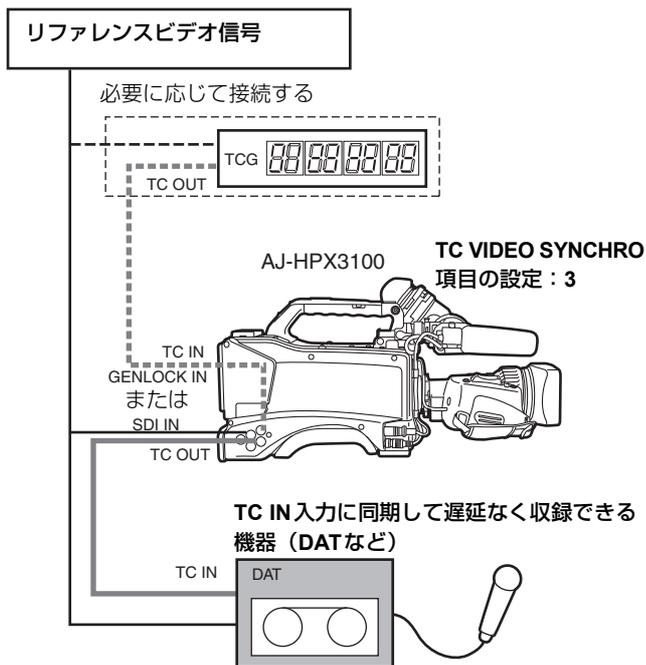
例4：

本機と外部機器を外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機を複数台カスケード接続する場合。



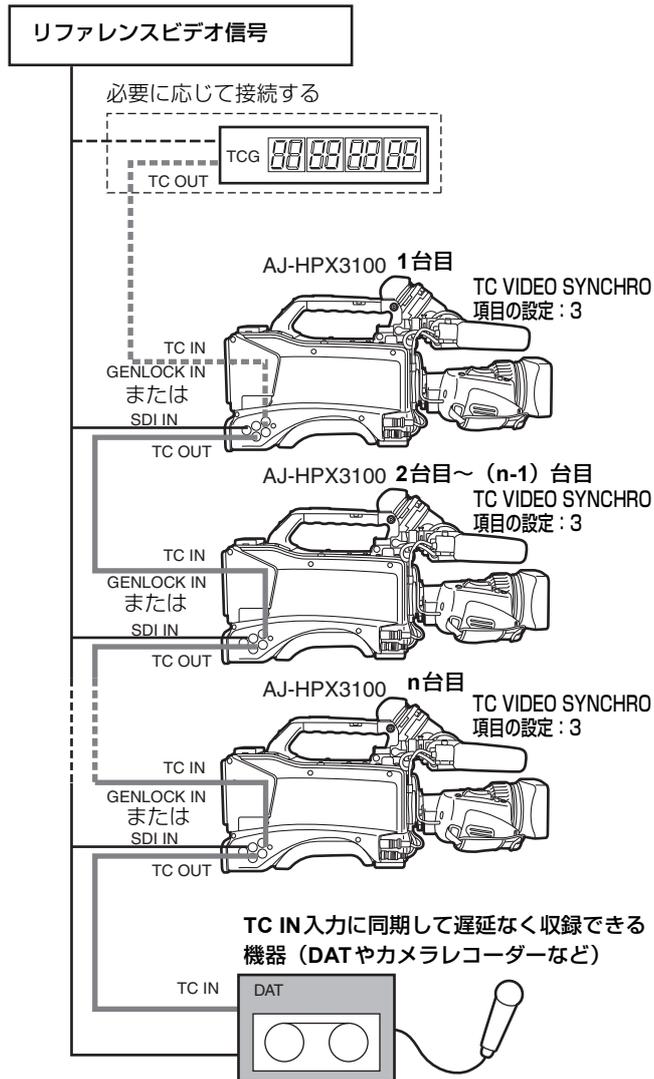
例5：

本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



例6：

カスケード接続した本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



外部ロックの操作手順

以下の手順で、外部ロックさせます。

- 1 POWERスイッチをONにする
- 2 TCGスイッチを「F-RUN」にする
- 3 DISPLAYスイッチを「TC」にする
- 4 GENLOCK項目を“GL IN”または“SDI IN”に設定する
GENLOCK項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択します。
- 5 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子またはSDI IN端子へそれぞれ供給する

これで内蔵タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。
ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

◆NOTE:

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。なお、タイムコードはTC IN端子信号にロックします。SDI IN端子から入力されるHD SDI信号のタイムコードにはロックしません。
- 24P、24PA、24PN (Native) で外部ロックさせるときは、必ずノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。ドロップフレームでは外部ロックできません。また外部ロックした瞬間、画像が乱れることがあります。5フレーム周期を合わせるためであり、異常ではありません。
- 24P、24PAおよびNativeモードで記録中は、タイムコードを外部ロックすることはできません。記録前にロックしてください。また、これらのモードで、かつPRE REC MODEを“ON”でご利用の場合、記録直前にタイムコードをREC RUNからFREE RUNに切り替えたり、スレーブロックさせると乱れた映像や停止したタイムコードが記録されることがあります。

外部ロック時のユーザーズビットの設定について

TCGスイッチをF-RUNに設定した場合、タイムコードのみが外部からのタイムコードにロックされます。
ユーザーズビットを外部からの入力値にロックさせるには、UB MODE項目で“EXT”、およびVITC UB MODE項目で“USER/EXT”を選択します。各項目は、MAIN OPERATIONページの<TC UB>画面から選択できます

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCGスイッチを「R-RUN」に設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替える時の注意

タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、GENLOCK IN端子またはSDI IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はGENLOCKがかかります。

◆NOTE:

- 本機をマスター機として複数台に外部ロックさせる場合は、本機のカメラモードと同一モードにする必要があります。インターレースとプログレッシブ混在等のシステムでは映像・タイムコードの連続性が保証されませんのでご注意ください。
- 本機のMON OUT端子やSDI OUT端子をリファレンスビデオ信号として使用する場合は、MONITOR OUT MODE項目またはSDI OUT MODE項目を“CAM”に設定してご使用ください。各項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

タイムコードのスーパーインポーズについて

撮影・再生中にビューファインダーや液晶モニターにタイムコードを表示させるには、メニュー<VF INDICATOR 3/3>画面のTC項目を“TCG”、“TCR”、または“TCG/TCR”に設定します。
これらのタイムコード表示をMONITOR OUTやSDI OUT出力にも表示させるには、サイドパネルのMON OUT CHARACTERスイッチを「ON」側に、またMONI OUT CHARA項目を“ON”に、またSDI OUT CHARACTERスイッチを「ON」に設定します。MONI OUT CHARA項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。
なお、カラーバー表示中にタイムコードを表示させるには、TC ON COLOR BAR項目を“ON”に設定します。TC ON COLOR BAR項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。

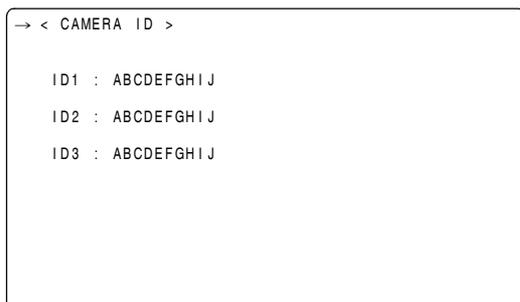
カメラ ID の設定

カメラIDの設定は、<CAMERA ID>画面で設定します。10文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

◆ NOTE:

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラIDは表示しません。

- 1 CAM OPERATION ページから<CAMERA ID>画面を開き、JOGダイヤルボタンを回して、「ID 1：～3：」の項目に矢印（カーソル）を移動する



- 2 JOGダイヤルボタンを押す

矢印（カーソル）がID入力エリアに移動して入力モードになります。

- 3 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回す

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース： □



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、文字を確定する

- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、3～4の操作を繰り返して、文字を設定する

- 一度入力した文字を変更する場合は、JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を修正したい文字に移動して3～4の操作を行ってください。
- 文字の入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「：」の位置に移動する
- JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「ID 1：～3：」の項目に戻ります。

- 6 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押す

◆ NOTE:

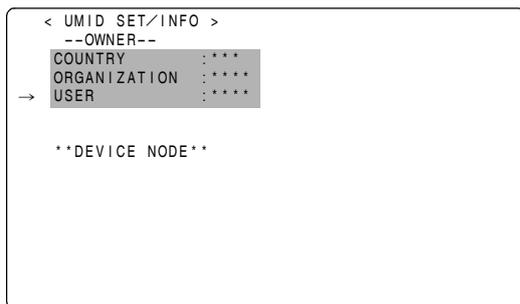
- CAMERA ID項目を“BAR”に設定すると、カメラIDがカラーバー信号と同時に記録されます。CAMERA ID項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。
- ID POSITION項目でカメラIDをカラーバーに重畳する位置が選択できます。ID POSITION項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。
- TIME/DATE項目を“ON”に設定すると、カメラIDとともに日時情報をカラーバーに重畳して記録することが可能です。TIME/DATE項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。
- TC ON COLOR BAR項目を“ON”に設定すると、カラーバー出力時にタイムコードが表示されますが、タイムコードは記録されません。TC ON COLOR BAR項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。

UMID 情報の設定

本機はメタデータのUMID (Unique Material Identifier) に対応しています。UMID情報として最初にユーザーの属する国名(3文字以内)と、組織名あるいは会社名(4文字以内)と、ユーザー名(4文字以内)を設定する必要があります。国名はISO3166 Country Code*1を元に入力してください。

ここではユーザー名を例に説明します。

*1 例：中国 CHN
アメリカ USA
カナダ CAN
日本 JPN



6 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押す

1 MAIN OPERATIONページから<UMID SET/INFO>画面を開き、JOGダイヤルボタンを回して、「USER」の項目に矢印(カーソル)を移動する

2 JOGダイヤルボタンを押す
矢印(カーソル)がUSER入力エリアに移動して入力モードになります。

3 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回す

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース： □



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

◆ NOTE:

COUNTRY項目のみ、選択できるのはスペースとアルファベットのみです。

4 JOGダイヤルボタンを押し、文字を確定する

5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を次の位置(右)に移動し、3～4の操作を繰り返して、文字を設定する

- 一度入れた文字を変更する場合は、2の操作からやり直してください。
- 最後の文字まで設定してJOGダイヤルボタンを押すと、矢印(カーソル)が「USER」の項目に戻ります。

CTL カウンタの設定と表示

DISPLAYスイッチをCTLにすると、LCD表示窓のタイムカウンター表示部にCTLカウンター値を表示します。カウンター値は、ノンドロップフレームの±12時間表示です。

なお、P2カードに記録されたクリップの再生順序は、VTRのようにリニアではなく、サムネール操作やP2カードの一部入れ替えなどによってそのつど再編成され、今まで記録したクリップの位置づけが変わります。したがって記録モードと再生モードでは別々のカウンター値を表示します。

記録モードでのCTLカウンター（記録CTL）

記録モード（REC、REC/PAUSE、STOP、およびREC REVIEW）では記録CTLカウンター値を表示し、前回の記録終了点の値に連続してカウントします。電源オフ後も記録CTLカウンター値は保持され、次に電源をONにした後、前の値に連続してカウントしていきます。

◆ NOTE:

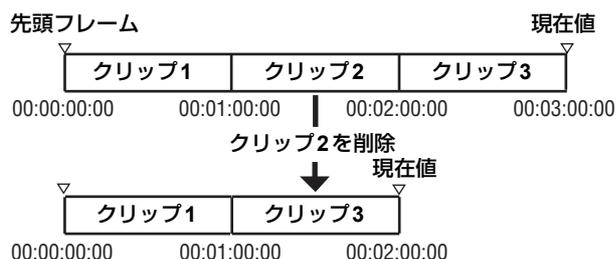
- 記録CTLカウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、記録CTLカウンター値のみリセットされます。ただし、REC REVIEW中はリセットできません。
- 24PN（Native）モードでは24フレームカウントします。

再生モードでのCTLカウンター（再生CTL）

再生モード（PLAY、FF、REW、PLAY/PAUSE状態）では再生CTLカウンター値を表示します。

再生CTLカウンター値は、クリップの再生順序が変更される（記録日時順にクリップを並べ替える）たびに、今までの再生CTLカウンター値を無効にして、最初のクリップの先頭フレームを基準値として再計算して表示します。

例：



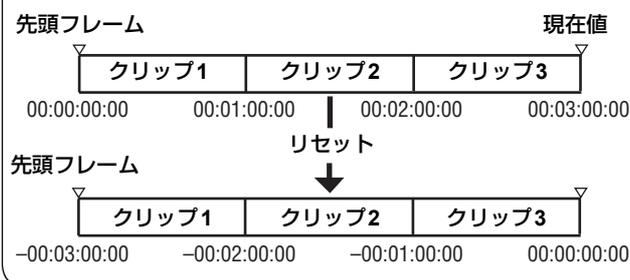
なお、クリップ再生順序の変更には、次の場合があります。

- クリップの削除、コピー、修復、P2カードのフォーマットを行った場合
- サムネール表示の切り替えを行った場合（詳しくは「サムネール表示の切り替え」（123ページ）を参照してください）
- P2カードを挿入したり、または引き抜いた場合

また、基準値（最初のクリップの先頭フレームの値）の変更には、次の場合があります。

- 電源をONした場合、先頭フレームは0になります。
- 再生CTLカウンター値をリセットした場合、現在の再生位置を0として、基準値だった箇所はマイナスの数値になります。

例：



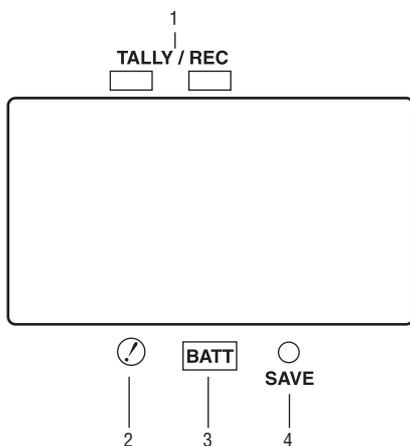
◆ NOTE:

- 再生CTLカウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、再生CTLカウンター値のみリセットされます。
- 24PN（Native）モードの再生では、プルダウン映像に合わせて30フレームカウントになります。

ビューファインダーの状態表示

ビューファインダー内では、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すランプや文字、メッセージ、センターマーカ、セーフティゾーンマーカ、カメラIDなどを表示します。

ビューファインダーのランプ表示



表示例はAJ-HVF21KGの表示です。(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください)

1. TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に赤く点灯します。また、異常が発生したときには点滅します。

→「警告システム」(154 ページ) 参照

2. (変則動作状態警告) ランプ

メニューの<!LED>画面で“ON”に設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。

→ ランプ表示の対象となる項目の選択については、「!LED」(181 ページ) 参照

3. BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。

→「警告システム」(154 ページ) 参照

4. SAVE ランプ

通常時

消灯しています。

SAVE LED項目を“P2CARD”に設定時

SAVE LED項目を“P2CARD”に設定していると、P2カードの残量が少なくなったときに点滅します。SAVE LED項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。

→「警告システム」(154 ページ) 参照

状態確認画面の表示 (MODE CHK 機能)

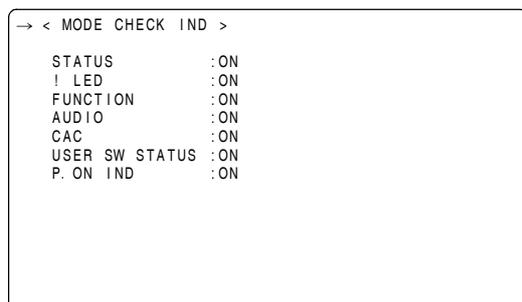
本機の各設定や状態が確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機のMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引くたびに、6つの画面表示が切り替わります。

STATUS画面表示→!LED画面表示→FUNCTION画面表示
→AUDIO画面表示→CAC画面表示→USER SW STATUS画面表示→無表示

なお、各々の画面の表示時間は約5秒です。表示中にMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引くと次の画面に移行します。

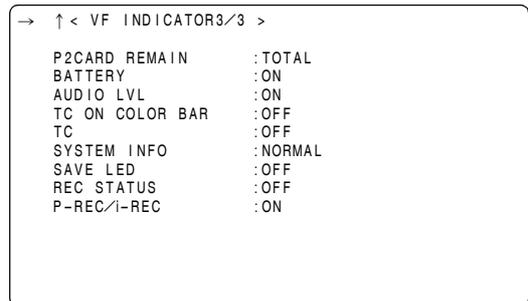
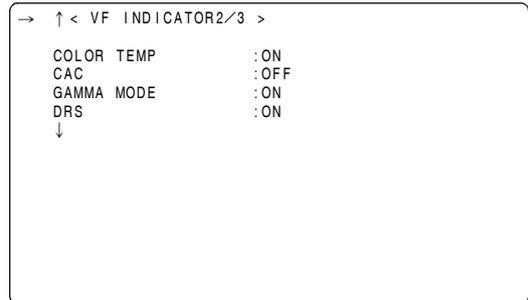
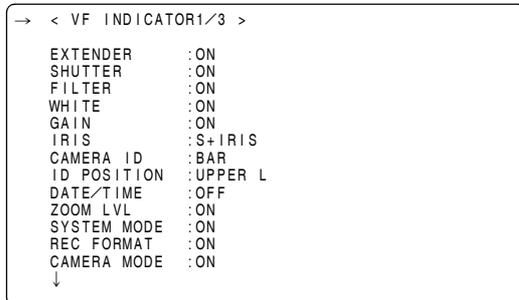
またメニュー操作で、VFページの<MODE CHECK IND>画面から、各画面表示のON/OFFを選択することができます。



ビューファインダー画面の表示項目の選択

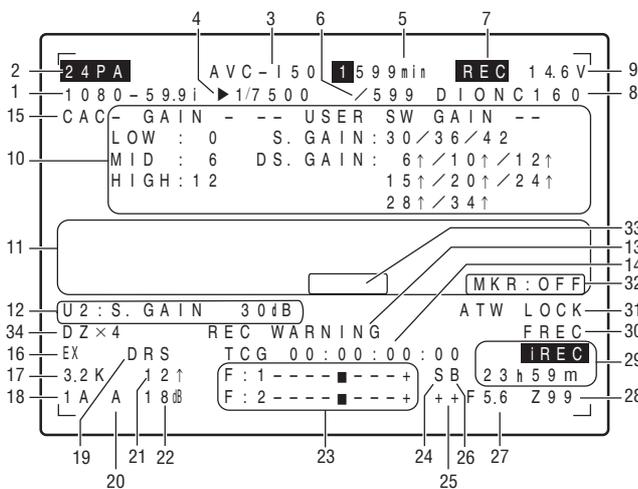
ビューファインダー画面に表示項目の選択は、VFページから<VF INDICATOR>画面を開き、各々の項目で表示のON/OFFまたは種類を切り替えます。

→ 操作方法については「メニューの基本操作」(161ページ) 参照



ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できるすべての項目は、下の図のように配置されています。



詳しくは次ページ以降をご覧ください。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
1. システムモード	1080-59.9i 1080-50i 480-59.9i 576-50i	本機が動作しているモードを表示します。 1080-59.94 インターレースモード 1080-50 インターレースモード 480-59.94 インターレースモード 576-50 インターレースモード
2. カメラモード	60i 30P 24P 24PA 50i 25P	CCDから出力される信号をP2カードに記録するときや、映像信号として出力するときの映像方式を表示します。 1080-59.94iまたは480-59.94i 1080-29.97Pまたは480-29.97P 1080-23.98Pまたは480-23.98P (2-3プルダウン) 1080-23.98Pまたは480-23.98P (2-3-3-2プルダウン) 1080-50iまたは576-50i 1080-25Pまたは576-25P ◆NOTE: AVC-Intraフォーマットでは、30P、24P、25PのときはNative記録になります。
3. REC FORMAT	AVC-I 100 AVC-I 50 DVCPROHD DVCPRO50 DVCPRO DV	記録方式を表示します。
4. シャッタースピード /モード	▶1/**.*または▶***.*d 1/60 (1/100) ~ 1/2000、 HALF、***.*d	シャッタースピードがSYNCHRO SCANに設定されています。 固定のシャッタースピードが設定されています。
5. P2カード残量	***min END WP LOOP INFO P2 */*	通常時は“***min”が点灯し、ニアエンド中は点滅します。 カードエンド時には“END”が点滅します。 P2カードにライトプロテクトがかけられているときに点灯します。 LOOP RECモードに設定されているとき点灯します。また、P2カードの残量がないなどの理由でLOOP RECできない場合は点滅します。 P2カードを認識中に表示します。 MODE CHECK時はそのとき挿入されているP2カードを合計した残量/容量を表示します。 ◆NOTE: P2CARD REMAIN項目を“ONE CARD”に設定すると、現在記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と、記録残量を表示します。 P2CARD REMAIN項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。 →「P2カード残量/容量表示」(84 ページ) 参照
6. P2カード残量 (MODE CHECK時)	1 ***min	MODE CHECK時に、記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と、記録残量を表示します。LOOP RECモード時は標準的な記録時間(40ページの「LOOP REC機能」を参照)を表示します。また、USERボタンで記録の対象になるP2カードを切り替えたときにも表示します。
7. 本機のREC表示	REC	REC TALLY項目を“CHAR”に設定することで表示します。REC TALLY項目は、SYSTEM SETTINGページの<OPTION MODE>画面から選択できます。 または、REC STATUS項目を“ON”に設定することで表示します。REC STATUS項目は、VFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。
8. バッテリーの種類 (MODE CHECK時)	DIONIC90~AC ADPT	メニューでセレクトされているバッテリー種類を表示します。また外部DC電源を接続している場合は、AC ADPTと表示します。
9. バッテリー残量/電圧	***.V ***% EMP MAX	バッテリー残量を0.1V単位で表示します。 残量表示機能のあるバッテリーの残量を%で表示します。 残量表示機能のあるバッテリーの残量がないときに表示します。 残量表示機能のあるバッテリーがFULL充電時、表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
10. ゲインスイッチ割り当て情報 (MODE CHECK時)	LOW/MID/HIGH - 6~30 S.GAIN 30/36/42 DS.GAIN 6↑/10↑/12↑/15↑/ 20↑/24↑/28↑/34↑	マスターゲインの設定値を表示します。 例) LOW : 0 S.GAINとDS.GAINのゲイン値を表示します。 これらはMODE CHCK時のみ表示されます。
11. カメラ警告、 通報表示エリア (AWB、ABB、および スイッチ操作 関連)	AWB A ACTIVE AWB B ACTIVE AWB A OK *.*K AWB B OK *.*K AWB BREAK *.*K AWB NG COLOR TEMP LOW COLOR TEMP HIGH LEVEL OVER LOW LIGHT TIME OVER ATW MODE AWB PRESET *.*K AWB UNABLE S.GAIN MODE CHECK FILTER ABB ACTIVE ABB OK ABB BREAK ABB NG B-SHD READY B-SHD ACTIVE B-SHD OK B-SHD BREAK B-SHD NG	AchでAWB動作時に表示します。 BchでAWB動作時に表示します。 AchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 BchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 AWB動作を強制的に終了したときに表示します。 AWB動作が正常に終了しなかったときに表示します。2行目にその状態を表示します。 色温度が低すぎることを警告しています。 色温度が高すぎることを警告しています。 輝度が高すぎることを警告しています。 輝度が低すぎることを警告しています。 動作時間内に処理が実行できなかったことを警告しています。 ATW動作中のため、AWBが実行できないときに表示します。 WHITE BALスイッチがPRSTに設定されており、AWB動作が実行できない場合に表示します。 AWB動作が実行できない場合に表示します。2行目にその状態を表示します。 スーパーゲインが動作しているときに表示します。 電源投入時およびAWB動作時、フィルター切り替えつまみの位置の再確認を警告しています。 ABB動作時に表示します。 ABB動作が正常に終了したときに表示します。 ABB動作を強制的に終了したときに表示します。 ABB動作が正常に終了しなかったときに表示します。 ABB動作中、AUTO W/B BALスイッチの長押しでブラックシェーディング動作を受け付けるときに表示します。 ブラックシェーディング動作時に表示します。 ブラックシェーディング動作が終了したときに表示します。 ブラックシェーディング動作を強制終了したときに表示します。 ブラックシェーディング動作が正常に終了しなかったときに表示します。
(スイッチ切り換え 表示)	WHITE: # *.*K ATW MODE AUTO KNEE: ON/OFF DRS:ON/OFF GAIN:***dB+**↑ SS: 1/*****または***.*deg SS: ▶ 1/*****または ▶***.*d CC: ***** *K ND: * EXTENDER: ON/OFF IRIS: ** F *.*	WHITE BALスイッチを切り替えたとき、表示します。#にはA/B/ PRSTのいずれかが表示されます。 設定されている色温度を表示します。 ATW動作が設定されているとき表示します。 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチをONまたはOFFに割り付け、AUTO KNEE スイッチをON/OFFしたときに表示します。 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチにDRSに割り付け、AUTO KNEE スイッチをON/OFFしたときに表示します。 GAIN切り替えスイッチやUSERボタンでGAINを切り替えたときに表示します。DS GAINの動作時は、同時にその値を表示します。 シャッタースピードを切り替えたとき、その値を表示します。 シャッタースピードがシンクロスキャンを選択したときに表示します。 CCフィルターを切り替えたときに表示します。 NDフィルターを切り替えたときに表示します。 レンズエクステンダがON/OFFされたときに表示します。 アイリスオーバーライドの補正値を変化させるときに表示します。
(LOW LIGHT警告 表示)	LOW LIGHT	輝度が低下したとき、表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
12. USER ボタンの 割り当て情報 UM: USER MAIN ボタン U1: USER1 ボタン U2: USER2 ボタン U3: SHOT MARK (USER3) ボ タン U4: TEXT MEMO (USER4) ボ タン	INH S.GAIN **dB/OFF DS.GAIN **↑/OFF S.IRIS ON/OFF I.OVR ON/OFF S.BLK - **/OFF B.GAMMA ON/OFF D.ZOOM ×2/×3/×4/OFF ATW ON/OFF ATW LOCK ON/OFF AUD CH1/3 AUD CH2/4 REC SW Y GET ON RET SW SLOT SEL PRE REC USB HOST/DEVICE/OFF DRS ON/OFF ASSIST ON/OFF C.TEMP ON/OFF LCD B.L SHOT MARK TEXT MEMO	USER ボタンを動作させないとき、INH を表示します。 選択された S.GAIN を表示します。 選択された DS.GAIN を表示します。 S.IRIS の ON/OFF を表示します。 IRIS OVERRIDE 設定が可能 (ON) なとき、表示します。 SUPER BLACK の ON/OFF を、また ON 時は設定値も表示します。 BLACK GAMMA (黒レベルの階調補正) の ON/OFF を表示します。 デジタルズームの倍率を表示します。 ATW 動作の ON/OFF を表示します。 ATW 動作のロックが ON か OFF かを表示します。 音声チャンネル1 に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 音声チャンネル2 に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 USER ボタンが REC スイッチとして機能しているとき、表示します。 Y GET 機能が ON のとき表示します。 USER ボタンが RET スイッチとして機能しているとき、表示します。 記録対象カードを切り替えるスイッチに設定されているとき、表示します。 PRE RECORDING モードが切り替えられたときに表示します。 USB の動作状態を切り替えたときに表示します。 ダイナミックレンジストレッチャー機能の ON/OFF を表示します。 フォーカスアシスト機能の ON/OFF を表示します。 色温度を JOG ダイヤルボタンで変更するモードの ON/OFF を表示します。 液晶モニターのパックライトの輝度を切り替えたとき、表示します。 ショットマークを付加/消去したとき、表示します。 テキストメモを記録したとき、表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
13. システム情報、 および警告	SYSTEM ERROR-** TURN POWER OFF CARD ERR * REC WARNING OVER MAX# CLIPS TEMPORARY PAUSE BACKUP BATT EMPTY FAN STOP WIRELESS-RF EOM BOS EOS CANNOT REC CANNOT PLAY COMM ERROR TEXT MEMO TEXT MEMO INVALID MARK ON/OFF SHOT MARK INVALID UPDATING USB DEVICE USB HOST THUMBNAIL OPEN CLIP DISCONTINUED TC REGEN SLOT SELECT SLOT SELECT INVALID DIR NG CARD SLOT1/2 RUN DOWN CARD SLOT1/2 REAR XR AUTO	内部マイコンの通信や基準信号などの異常が発生したときに表示します。以後、記録・再生はできません。**にはエラーコードを表示します。詳しくは「エラーコード」(156 ページ)を参照してください。 記録/再生中やフォーマット中など、P2カードにアクセス中にP2カードを取り出し、それ以降の動作ができなくなった場合に表示します。 記録/再生中にP2カードにエラーが発生した場合に表示します。*には、エラーが発生したP2カードのスロット番号を表示します。 記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示します。 P2カード内に記録できるクリップ数の最大値(1000個)を超えて記録しようとしたときに表示します。 GENLOCK入力中など、基準信号が乱れ、記録を一時中断しているときに表示します。 バックアップ電池の交換時期です。 ファンがロックし、停止しているときに表示します。 ワイヤレスからのRF信号が低下しています。 P2カードの記憶容量がないときに表示します。 再生位置が全クリップの先頭にあるときに表示します。 再生位置が全クリップの最後にあるときに表示します。 電源をONにした直後やP2カード挿入後など、P2カードに記録ができないときに表示します。詳しい情報はMODE CHECKのFUNCTION画面で確認できます。 →「MODE CHECK専用画面での表示」(83 ページ)参照 クリップがP2カード上にない、P2カードが挿入されていないなどで、再生できないときに表示します。 マイコン間の通信が、一定時間以上不通になったときに表示します。 テキストメモを記録したときに表示します。 テキストメモを記録できなかったときに表示します。 ショットマークを付加/消去したときに表示します。ショットマークについては「ショットマーク機能」(47 ページ)を参照してください。 ショットマークが付加できないときに表示します。 再生のためのクリップ情報を更新中で、再生動作を受け付けられない状態のときに表示します。 USBデバイスモードに設定されているときに表示します。通信できていないときには点滅します。 USBホストモードに設定されているときに表示します。外部ハードディスクが正常に認識できていないときには点滅します。 サムネール操作中に表示します。 ONE CLIP RECモードでの記録時、連続クリップとしての整合性がとれず、次の記録操作でクリップの連結ができない場合に表示します。 レンズのRETボタンを押して、タイムコードがP2カードに記録された最後のクリップのタイムコードにリジェネしたときに表示します。 SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押し、P2カードの記録スロット切り替え処理を行っている間に点滅します。 SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押したとき、P2カードの記録スロット切り替えができないうちに点滅します。 ディレクトリ配置が不正規のP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。 規定の書き換え回数を超えたP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。 オーディオの入力が自動でリアのXLR端子になっているため、AUDIO INスイッチが無効になっているとき、表示します。
14. タイムコード表示	TCG 12:59:59:20 TCR 12:59:59:20 (V)UBG AB CD EF 00 (V)UBR 12 34 56 78 CTL — 1:59:59:20	TCG(タイムコードジェネレーター値)を表示します。 TCR(タイムコードリーダー値)を表示します。 UBG VUBG(ユーザーズビットジェネレーター値)表示を表示します。 UBR VUBR(ユーザーズビットリーダー値)を表示します。 CTLカウンタ値を表示します。
15. 色収差補正	CAC	色収差補正が動作しているときに表示します。
16. エクステンダ	EX	レンズエクステンダが使用されているときに表示します。
17. 色温度	*.*K	WHITE BALスイッチのA、B、PRSTに割り付けられた色温度を表示します。(AWB実行時のメモリー値の場合と、メニュー設定値の場合があります)ATW MODEのときは表示しません。
18. フィルター ポジション	1~4 A~D ■(点滅)	NDフィルターの位置を表示します。 CCフィルターの位置を表示します。 フィルターポジションが正規の位置に設定されていません。
19. ダイナミックレンジ ストレッチャー モード	DRS	高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能が選択されたときに表示します。
20. WHITE BAL スイッチポジション	A B P T	WHITE BALスイッチが「A」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「B」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「PRST」に設定されています。 ATWモードに設定されています。ただし輝度、および色が動作範囲外のときは点滅します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
21. 蓄積ゲイン表示	6 ↑ /10 ↑ /12 ↑ /15 ↑ /20 ↑ /24 ↑ / 28 ↑ /34 ↑	蓄積GAIN (DS.GAIN) が働いているとき、その値を表示します。
22. ゲイン値	**dB	現在のGAIN値を表示します。
23. AUDIO入力系統と レベルメーター	----■-----+ F W R	選択したチャンネルとそのオーディオレベルを表示します。 AUDIO INスイッチがFRONTのときに表示します。 AUDIO INスイッチがW.L. (ワイヤレス) のときに表示します。 AUDIO INスイッチがREARのときに表示します。
24. スーパーアイリスON	S	スーパーアイリスがONの時に表示します。
25. アイリスオーバーラ イド表示	++ + --- — (無表示)	アイリスオーバーライドが働いている時、その補正段階を表示します。 ++ : 1絞程度開く + : 0.5絞程度開く + : 1絞程度閉じる — : 0.5絞程度閉じる 無表示 : 基準状態
26. スーパーブラックON	B	スーパーブラックがONの時に表示します。 ◆NOTE: IRIS項目で「S+IRIS」または「S」が選択されているときに表示します。 IRIS項目はVFページの<VF INDICATOR>画面から選択できます。
27. アイリス、F値	NC OPEN F1.7～F16 CLOSE	レンズケーブルが接続されていないときに表示します。 レンズの絞りが開放されているときに表示します。 レンズの絞り値を表示します。 レンズの絞りが閉じているときに表示します。 ◆NOTE: 絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されます。また、 アイリスオーバーライド可変中は点滅します。
28. ズーム表示	Z00～Z99	ズーム量を表示します。ただし、ズームポジションのリターンがないレンズ の場合、表示設定がONになっていても、この項目は表示しません。
29. INTERVAL REC/ PRE RECORDING などの情報表示	I i REC (点滅) i REC (点滅) **h**m/**s P-REC (点滅) P-REC (点灯) 1-CLIP 1*CLIP START 1*CLIP END 1-CLIP	INTERVAL RECモード時、動作スタート前/終了後に表示します。 INTERVAL REC実行中に表示します。 INTERVAL REC待機中、次の記録までの待機時間を表示します。 記録停止したあと、P2カードに完全に映像・音声記録が終わるまでの間、 表示します。完全に点滅表示が消えるまでは、P2カードの抜き取りや電源 OFFなどは行わないでください。 ◆NOTE: 「P-REC」点滅はPRE RECORDING機能の設定に関わらず表示されます。 PRE RECORDING機能をONに設定時、MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引くと点灯します。またPRE RECを割り 当てたUSERスイッチを押して、PRE RECORDINGモードに切り替えたと き、その状態を表示します。 ONE CLIP RECモードがONで、新たなクリップがこれから記録される状態 のときに表示します。 ONE CLIP RECモードがONで、前のクリップに連結して記録が可能な状態 のときに表示します。 ◆NOTE: P2カードを抜いたり、クリップを削除したりして、連結元のクリップがな くなった場合は、次回記録は、新たなクリップが記録される状態となりま す。このような場合、表示は「1*CLIP」のままとなることがあります。 ONE CLIP RECモードで新たなクリップを記録開始したときに表示します。 ONE CLIP RECモードでクリップの連結を終了したときに表示します。
30. ガンマモード表示	HD/SD/FLK1/FLK2/FLK3/ FREC/VREC	GAMMA MODE SEL項目で選択されているガンマモードを表示します。 GAMMA MODE SEL項目は、PAINTページの<GAMMA>画面から選択できま す。
31. ATWのロック状態	ATW LOCK	ATW動作中に、ATW LOCK機能を割り当てたUSERスイッチを押して、色温 度が固定されているときに表示します。
32. マーカーの種類	MKR: A/B/OFF	現在表示しているマーカーの種類を表示します。
33. Y GETの値	***.*%	Y GET ON時、センターマーカー付近の出力輝度レベルをパーセントで表示 します。
34. デジタルズーム	DZ×2/×3/×4	デジタルズームモード時、その倍率を表示します。

MODE CHECK専用画面での表示

表示画面と項目		表示したときの状態
!LED画面		!LED点灯要因となる表示項目を表示します。 ● !LEDメニューで選択されている項目には「!」マークが付きます。 ● 現在!LED点灯の対象になっている項目には「■■」マークが付きます。
	GAIN (0 dB) DS.GAIN SHUTTER WHITE PRE. EXTENDER B.GAMMA MATRIX COLOR COR. FILTER ATW	GAIN状態を表示します。 DS.GAIN値を表示します。 シャッターの状態を表示します。 ホワイトバランスの状態を表示します。 エクステンダーの状態をEX2/OFFで表示します。 ブラックガンマの状態をON/OFFで表示します。 MATRIXの状態をA/B/OFFで表示します。 COLOR CORRECTIONの状態をON/OFFで表示します。 フィルターの状態を表示します。 ATWの状態を表示します。
FUNCTION画面		ビデオ出力状態や、記録メディアの情報を表示します。
SDI OUT	OUTPUT TYPE CHAR	SDI OUT端子から出力される信号の状態を表示します SDI OUT MODE項目で選択されたMEM/CAMの状態を表示します。SDI OUT MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。 SDI OUT端子から出力している信号形式をHD-SDI/SD-SDIで表示します。 SDI OUT CHAR項目で選択されたキャラクターの重畳状態をON/OFFで表示します。SDI OUT CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。
MON OUT	OUTPUT SELECT CHAR	MON OUT端子から出力される信号の状態を表示します MONITOR OUT MODE項目で選択されたMEM/CAMの状態を表示します。 MONITOR OUT MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。 MONITOR OUT項目で設定した信号形式をHD-SDI/SD-SDI/VBSで表示します。 MONITOR OUT項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。 MON OUT CHARACTERスイッチのポジションをON/OFFで表示します。
P2CARD STATUS	TOTAL SLOT1 SLOT2	P2カードスロットに挿入されたP2カードの状態と、記録残量と総容量を表示します。 表示するカードの状態には下記の種類があります。 ACTIVE/ACCESSING/INFO READING/FULL/PROTECTED/ NOT SUPPORTED/FORMAT ERROR/NO CARD → 「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(34ページ)参照 スロット1と2の合計の記録残量/総容量 スロット1のP2カードの状態および記録残量/容量 スロット2のP2カードの状態および記録残量/容量
AUDIO画面		オーディオの設定や各記録チャンネルの選択状態を表示します
SAMPLE RES		音声記録ビット数を表示します。
MIC POWER (MENU)	FRONT REAR	マイクへの電源供給のメニュー設定状態を表示します。 FRONT MIC POWER項目で選択している、フロントマイクへの電源供給状態をON/OFFで表示します。FRONT MIC POWER項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。 REAR MIC POWER項目で、リア部のAUDIO IN端子のマイクに電源を供給しない設定にしているかどうかを表示します。 OFF: 電源を供給しません。 ON: スイッチをMICで+48 V ONにしている場合は電源を供給します。
VR SELECT		VR SELECT項目で、オーディオレベル調整つまみがCH1/2とCH3/4のどちらに対して有効になるよう選択されているかを表示します。VR SELECT項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。
LEVEL	CH1/2/3/4	各チャンネルに選択されている記録レベル調整方法を表示します。 VR: 調整つまみによる手動調整 MENU: メニュー LVL CONTROL CH#項目(#はチャンネル番号)による手動調整 AUTO: 自動調整
F.VR	CH1/2/3/4	上記でVR(調整つまみによる手動調整)が選択されているチャンネルに対して、F.AUDIO LEVELつまみが有効かどうかをON/OFFで表示します。
R.XLR	CH1/2/3/4	リア部のAUDIO INのXLR端子にコネクタが接続された場合に、自動的にリア入力を選択するREAR XLR AUTO CH1/2、REAR XLR AUTO CH3/4項目の選択状態をON/OFFで表示します。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択できます。
A. IN	CH1/2/3/4	各チャンネルの入力状態をFRONT(フロント)/REAR(リア)/W.L.(ワイヤレス)で表示します。
METER	CH1/2/3/4	各チャンネルの記録レベルを表示します。

表示画面	表示項目	表示したときの状態
CAC INFO画面		CACの動作状態や情報を表示します。
	CAC CONT	CACの動作状態をON/STOP/OFFで表示します。 ON: メニュー<CAC ADJ>画面のCAC CONTROL項目が“ON”で、CACが動作しています。 STOP: メニューはONを選択していますが、データやレンズの条件で、CAC動作は停止しています。 OFF: メニューでOFFを選択され、CACは動作していません。
	CAC MODE	CACの動作モードを表示します。 AUTO: 自動でCACファイルを選択します。 MANUAL: メニューでCACファイル番号を選択します。
	CONNECT LENS TYPE	接続しているデジタルレンズのレンズIDを表示します。
	SELECT FILE TYPE	動作中のCACファイル名を表示します。 CAC動作がOFFの場合は、CAC FILE NAME項目で選択された番号のファイル名を表示します。CAC FILE NAME項目は、MAINTENANCEページの<CAC ADJ>画面から選択できます。
	CAC WARNING	CACが動作停止のときその警告を表示します。 CAC LENS DATA INVALID: レンズからの応答データに対応できない場合などに表示します。 LENS INITIALIZE NOT COMPLETED: レンズの初期化が完了できない場合などに表示します。
USER SW画面		各USERスイッチの割り当て状態を表示します。 → 「USERボタンの割り当て情報」(80ページ)参照
	USER MAIN (UM)	USER MAIN (UM)の割り当てを表示します。
	USER1 (U1)	USER1 (U1)の割り当てを表示します。
	USER2 (U2)	USER2 (U2)の割り当てを表示します。
	SHOT MARK (U3)	SHOT MARK (U3)の割り当てを表示します。
	TEXT MEMO (U4)	TEXT MEMO (U4)の割り当てを表示します。

P2カード残量/容量表示

本機の状態	記録状態	P2CARD REMAIN項目*	5.P2カード残量の表示	6.P2カード残量 (MODE CHECK時)の表示
通常時	LOOP RECモード以外	TOTAL	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量を表示します。(単位は分) 例: 30min	表示しません。
		ONE CARD	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量を表示します。(単位は分) 例: 1 8min	表示しません。
		OFF	表示しません。	表示しません。
	LOOP RECモード	TOTAL/ONE CARD	「LOOP」と表示します。	表示しません。
		OFF	表示しません。	表示しません。
MODE CHECK中	LOOP RECモード以外	TOTAL/ONE CARD/OFF	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量/合計容量を表示します。(単位は分) 例: 20/40	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量を表示します。(単位は分) 例: 1 8min
	LOOP RECモード		「LOOP」と表示します。	標準的な記録時間を表示します。(単位は分) 例: 7min

* P2CARD REMAIN項目はVFページの<VF INDICATOR>画面から選択します。

ビューファインダー画面の表示選択

	メニューで表示/ 非表示を選択	該当の状態に なった時 状態を表示	MODE CHECK で表示*	表示を消すこと ができる	再生時表示する
1. システムモード	○	—	●	○	—
2. カメラモード	○	—	●	○	—
3. REC FORMAT	○	—	●	○	—
4. シャッタースピード/モード	○	○	●	○	—
5. P2カード残量	○	—	●	○	—
6. P2カード残量 (MODE CHECK時)	—	—	●	○	—
7. 本機のREC表示	○	○	—	○	—
8. バッテリーの種類 (MODE CHECK時)	—	—	●	○	—
9. バッテリー残量/電圧	○	—	●	○	—
10. ゲインスイッチ割り当て情報 (MODE CHECK時)	—	—	○	○	—
11. カメラ警告、通報表示エリア	—	○	○	○	—
12. USER ボタンの割り当て情報	—	○	○	○	—
13. システム情報、および警告	○	○	●	○	○
14. タイムコード表示	○	—	●	○	○
15. 色収差補正	○	○	●	○	—
16. エクステンダ	○	○	●	○	—
17. 色温度	○	○	●	○	—
18. フィルターポジション	○	—	●	○	—
19. ダイナミックレンジストレッチャーモード	○	—	●	○	—
20. WHITE BAL スイッチポジション	○	—	●	○	—
21. 蓄積ゲイン表示	○	—	●	○	—
22. ゲイン値	○	—	●	○	—
23. AUDIO入力系統とレベルメーター	○	—	4ch全入力情報	○	—
24. スーパーアイリスON	○	○	●	○	—
25. アイリスオーバーライド表示	○	○	●	○	—
26. スーパーブラックON	○	○	●	○	—
27. アイリス、F値	○	—	●	○	—
28. ズーム表示	○	—	●	○	—
29. INTERVAL REC/PRE RECORDING などの 情報表示	○	○	●	—	—
30. ガンマモード表示	○	○	●	○	—
31. ATWのロック状態	○	○	●	○	—
32. マーカーの種類	—	—	●	○	—
33. Y GETの値	—	○	●	○	—
34. デジタルズーム	—	○	●	○	—

* ○: VFページの<MODE CHK IND>画面のSTATUS項目をOFFに設定していると、表示しません。
●: メニューの設定にかかわらず、表示します。

表示モードと設定変更 / 調整結果メッセージ

ビューファインダーに表示する、設定変更の内容や調整結果を知らせるメッセージは、DISP MODE 項目の設定によって、表示する項目を一部に絞るか、全くしないかなどの表示方法を選択できます。DISP MODE 項目は、VF ページの <VF DISPLAY> 画面から選択できます。

→ 操作方法については「メニューの基本操作」(161 ページ) 参照

```

-> < VF DISPLAY >

DISP CONDITION      :NORMAL
DISP MODE           :3
VF OUT              :Y
VF DTL              :0.5
ZEBRA1 DETECT       :0.70%
ZEBRA2 DETECT       :0.85%
ZEBRA2              :SPOT
LOW LIGHT LVL       :3.5%
RC MENU DISP.       :OFF
MARKER/CHAR LVL     :5.0%
SYNCHRO SCAN DISP. :sec
    
```

設定変更 / 調整結果メッセージと DISP MODE 項目の設定

メッセージを表示する状況	メッセージ	DISP MODE 項目の設定		
		1	2	3
CC フィルター / ND フィルターの選択を変更したとき	FILTER : n (n=1, 2, 3, 4)、m (m=A, B, C, D)	×	×	○
ゲインの設定を変更したとき	GAIN : n dB (n= -6, -3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30)	×	×	○
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE : n (n=A, B, PRE)	×	×	○
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」または、「OFF」に設定したとき	AUTO KNEE : ON (または OFF)	×	○	○
シャッタースピード / モードの設定を変更したとき	SS : 1/100 (または 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, ▶1/**.* または ▶***.0d)	×	○	○
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB A OK 3.2 K	×	○	○
ブラックバランスを調整したとき (ABB)	例) ABB OK	×	○	○
エクステンダが選択されたとき	例) EXTENDER ON	×	×	○
USER ボタンが選択されたとき	例) UM : S.GAIN 30 dB	×	○	○
MARKER SELECT 機能が選択されたとき	例) MKR : A	×	×	○
IRIS OVERRIDE 状態になったとき	例) ++ F 5.6	×	○	○
CAC レンズをつないだとき、あるいは外したとき	例) CAC LENS DATA INVALID	×	○	○

○ : 表示します。
× : 表示しません。

マーカー表示の設定

センターマーカー、セーフティゾーンマーカー、セーフティゾーンエリア、フレームマーカーの表示のON/OFFおよび種類を選択します。選択は、VFページから<VF MARKER>画面を開き、各項目で表示モードを選択します。
→ 操作方法については「メニューの基本操作」(161ページ) 参照

→ < VF MARKER >		MKR: A
TABLE	: A	
CENTER MARK	: 1	
SAFETY MARK	: 2	
SAFETY AREA	: 90%	
FRAME MARK	: OFF	
FRAME SIG	: 4:3	
FLAME LVL	: 15	

◆ NOTE:

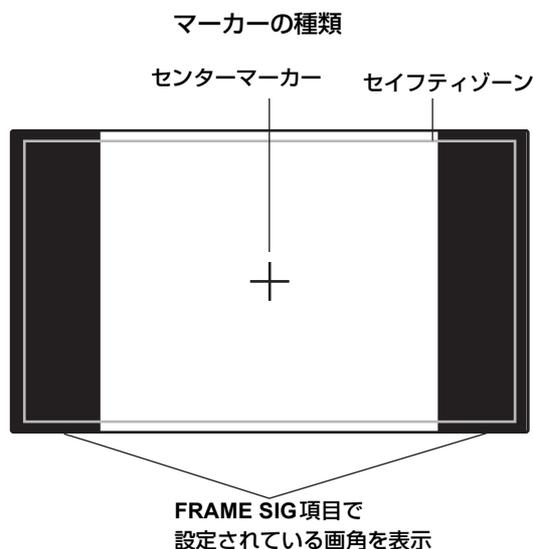
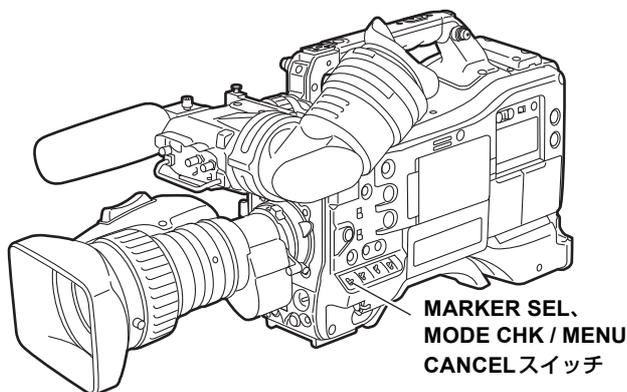
右上のMKR:A表示が現在の表示状態を示します。TABLE Bを確認するときはMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを本体側に押し、MKR:Bにすると、その設定条件が確認できます。

マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT 機能)

本機のマーカー状態が確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機のMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを本体側に押すごとに、Aマーカー表示→Bマーカー表示→無表示と、表示が切り替わります。

例えば、Aのマーカー情報としてFRAME SIG項目を16:9に設定し、Bのマーカー情報としてFRAME SIG項目を4:3に設定すると、必要に応じてこのボタン操作で16:9の画角と4:3の画角の確認等が簡単にできます。FRAME SIG項目は、VFページの<VF MARKER>画面から選択できます。



リターンビデオ信号のビューファインダーでの確認

レンズのRETボタンを押している間、GENLOCK IN端子またはSDI IN端子に入力されたリターンビデオ信号をビューファインダー上で見ることができます。本機能を動作させるには、RET SW項目で“CAM RET”を選択します。

HD (1080i) モードでは、RETURN SIGNAL項目でSDI IN端子からのHD SDI信号か、GENLOCK IN端子からのHD-Y信号を選択できます。SDモードでは、SDI IN端子からのSD SDI信号のみ見ることができます。

RETURN SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から、RET SW項目は、CAM

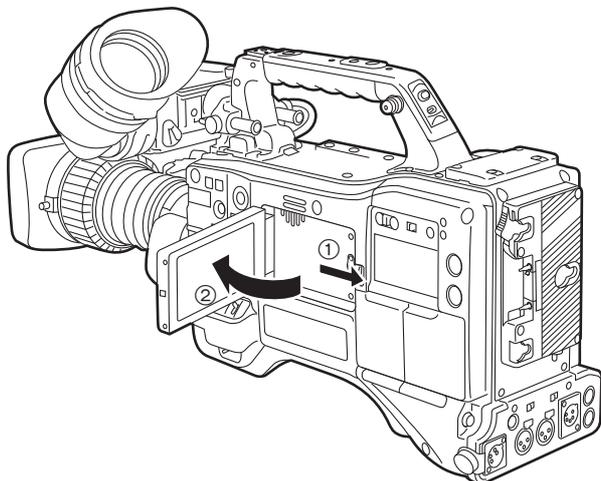
OPERATIONページの<SW MODE>画面から選択できます。

< SW MODE >	
→ RET SW	: R. REVIEW
S. BLK LVL	: -10
AUTO KNEE SW	: ON
SHD. ABB SW CTL	: ON
COLOR BARS	: SMPTE
S. GAIN OFF	: L/M/H
DS. GAIN OFF	: DS. GAIN
D. ZOOM ×2	: ON
D. ZOOM ×3	: ON
D. ZOOM ×4	: ON
RC CHECK SW	: R. REVIEW

液晶モニターの調整と設定

液晶モニターを使う

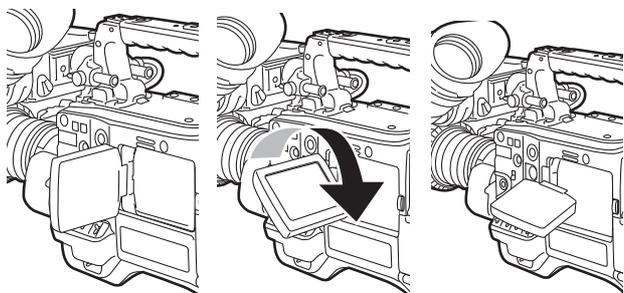
- 1 本機のPOWERスイッチをONにする
- 2 OPENボタンを矢印①の方向に押し液晶モニターを矢印②の方向に開く



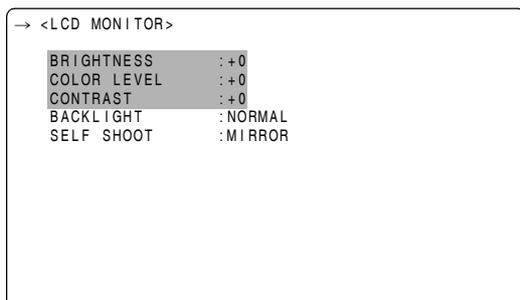
- 3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にする
レンズ方向に180° 手前方向に90° まで回転します。

◆ NOTE:

開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。

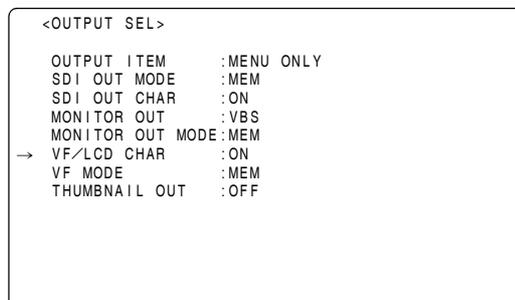


- 4 BRIGHTNESS項目で画面の明るさを、COLOR LEVEL項目で画面の色濃度を、CONTRAST項目で画面のコントラストを表示する
各項目は、SYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択できます。



- 5 VF/LCD CHAR項目で、液晶モニターにビューファインダーと同じキャラクター表示をするかどうかを設定する

VF/LCD CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。



◆ NOTE:

- 液晶モニターを閉じるときは、確実に閉じてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

対面撮影について

液晶モニターをレンズ側に180°回転させて撮影を行うとき、SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択すると、液晶モニターの映像を左右反転して表示します。鏡を見ているイメージでの撮影が可能になります。ただし、左右反転されるのは液晶モニターの表示のみです。記録は正常どおり行われます。SELF SHOOT項目は、SYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択できます。

◆ NOTE:

SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択した状態で液晶モニターを180°回転させた場合、VF/LCD CHAR項目の設定にかかわらず、液晶モニターにはビューファインダーと同様の状態表示は行いません。

映像出力信号の選択

本機は、映像出力用の端子として、SDI OUT端子とMON OUT端子を備えています。

SDI OUT 端子から出力する信号の設定

SDI OUT端子からの出力信号の種類は、SYSTEM MODE項目の選択に従います。また、SDI OUT MODE項目でSDI OUT端子から出力する信号を切り替えます。

SYSTEM MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から、SDI OUT MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

項目	可変範囲	備考
SDI OUT MODE	MEM CAM	MEM: 記録などEE時は、カメラ映像を出力し、再生時はP2カードの再生信号を出力します。 CAM: 常にカメラ映像を出力します。

OUTPUT ITEM項目とSDI OUT CHAR項目で、SDI OUT端子から出力する信号にスーパーインポーズするキャラクターを設定します。各項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

項目	可変範囲	備考
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	SDI OUT端子とMON OUT端子の出力信号に、スーパーインポーズするキャラクター内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの操作を行っているときだけ、メニュー画面をスーパーインポーズします。通常は、何も表示しません。 TC: タイムコードをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。) STATUS: ビューファインダー画面にスーパーインポーズしているキャラクターと同じものをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。)
SDI OUT CHAR	OFF ON	SDI OUT端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。 OFF: 重畳しません。 ON: 重畳します。 ◆NOTE: 重畳されるキャラクターの内容は、MON OUT端子の映像に重畳されるキャラクターと同一になります。

MON OUT 端子から出力する信号の設定

MON OUT端子からはHD SDI信号、ダウンコンバートされたSD SDI信号またはアナログ信号が出力されます。MONITOR OUT項目で、MON OUT端子から出力する映像信号を設定します。MONITOR OUT項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

項目	可変範囲	備考
MONITOR OUT	HD SDI SD SDI VBS	MON OUT端子から出力する映像信号を設定します。 HD SDI: HD SDI信号を出力します。 (1080i時のみ) SD SDI: SD SDI信号を出力します。 VBS: アナログコンポジット信号を出力します。

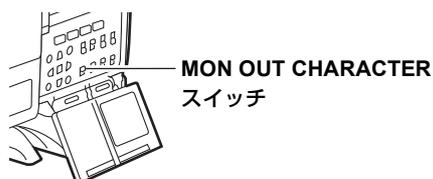
MONITOR OUT MODE項目で、MON OUT端子から出力する信号を切り替えます。MONITOR OUT MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

項目	可変範囲	備考
MONITOR OUT MODE	MEM CAM	MON OUT端子から出力する映像信号を切り替えます。 MEM: 記録モードなど EE 時はカメラ映像を出力し、再生時は再生映像を切り替えます。 CAM: 常にカメラ映像を出力します。

MON OUT CHARACTERスイッチで、MON OUT端子から出力する信号にキャラクターをスーパーインポーズするかどうかを設定します。

- ON :**
スーパーインポーズします。
- OFF :**
スーパーインポーズしません。

→ 「MON OUT CHARACTERスイッチ」(23 ページ) 参照



なお、OUTPUT ITEM項目はSDI OUT端子の出力とともに、MON OUT端子の出力にスーパーインポーズするキャラクターの内容も設定します。OUTPUT ITEM項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。

データの取り扱い

設定データファイル構成

本機には、6個のファイルデータ領域があります。

FACTORYデータ：

工場出荷状態を記憶しています。
メニュー操作により書き換えることができません。

USERデータ：

メニュー操作により設定した値を記憶する領域です。
工場出荷の時点では、FACTORYデータが記憶されています。

CURRENTデータ：

本機の動作状態を記憶しています。
メニュー操作により、この領域の設定値を変更します。

SCENEファイル：

4個のシーンファイルを備えています。

LENSファイル：

8個のレンズファイルを備えています。

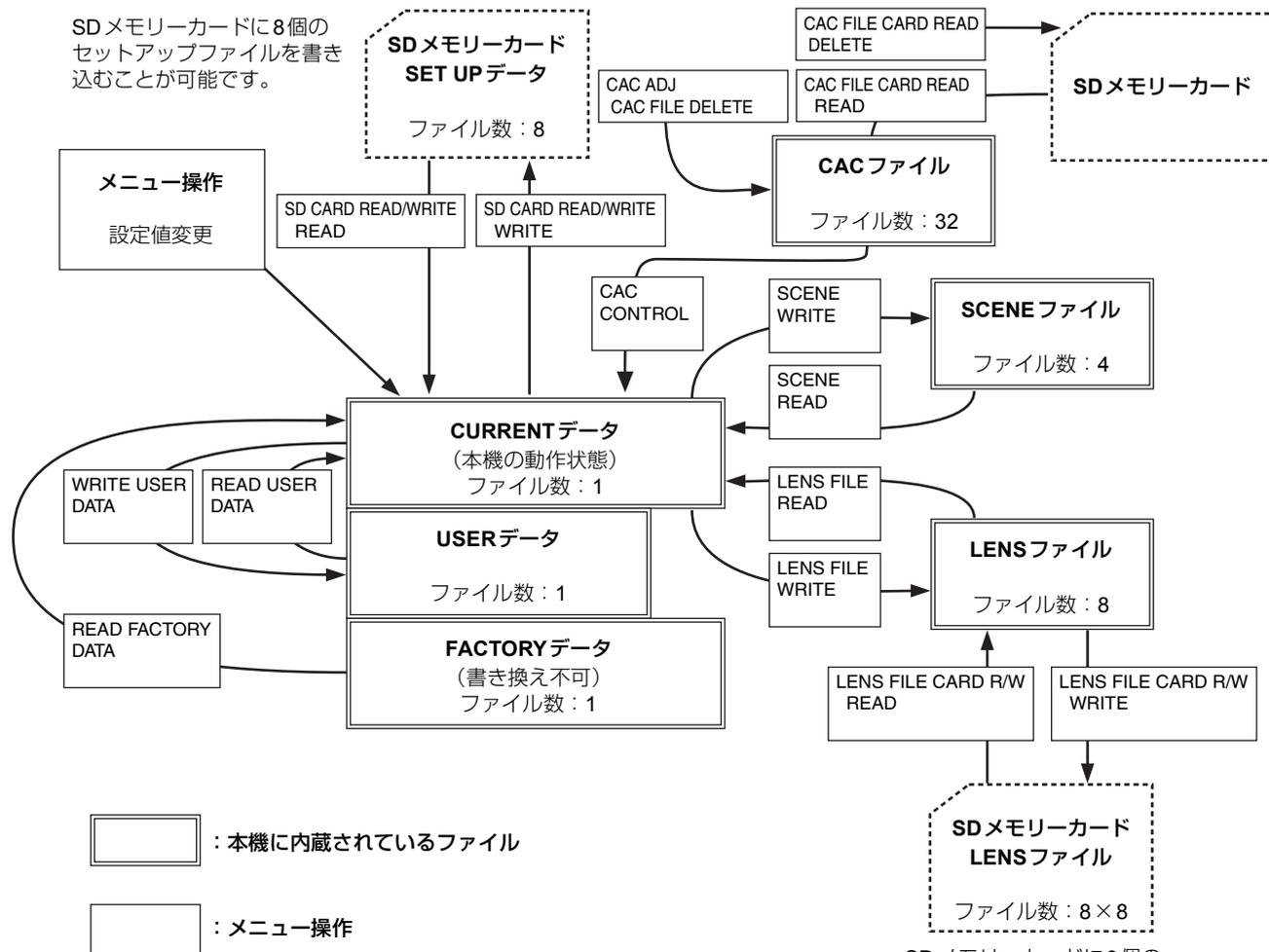
CACファイル：

32個の色収差補正データ領域を備えています。

→ 各領域からの読み出し、または各領域への記憶が可能なメニュー項目については「メニュー」(159ページ) 参照

◆ NOTE:

- 本項目でのメニュー操作については「メニューの基本操作」(161ページ)を参照してください。
- 各設定データファイルの操作はPC MODE項目を“OFF”に設定してから行ってください。本機をUSB DEVICEモードで使用時に各設定データファイルの操作を行うと、エラーになる恐れがあります。PC MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。



SDメモリーカードに8個のレンズファイルを8タイトル書き込むことが可能です。

SDメモリーカードによるセットアップ

SDメモリーカード（別売品）をセットアップカードとして使用し、設定メニューの内容を8ファイルまで記憶させることができます。

このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

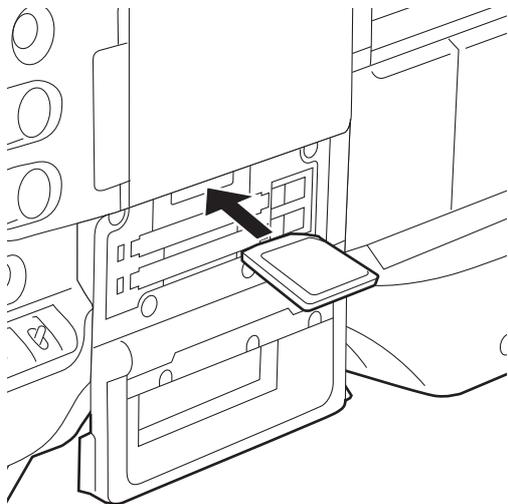
→ <SDメモリーカード使用上の注意>（23 ページ）参照

SDメモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードは、電源を入れる前でも入れた後でも出し入れすることができます。

SDメモリーカードを入れるには

スロットカバーを開け、SDメモリーカード（別売品）のおもて面を上にして、SDメモリーカード挿入口に差し込み、スロットカバーを閉めます。



SDメモリーカードを取り出すには

スロットカバーを開け、BUSYランプが点灯していないことを確認してからSDメモリーカードを更に本体側へ押し込みます。SDメモリーカードが挿入口から浮いてきますので、SDメモリーカードをつかみ引き抜き、スロットカバーを閉めます。

使用時、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

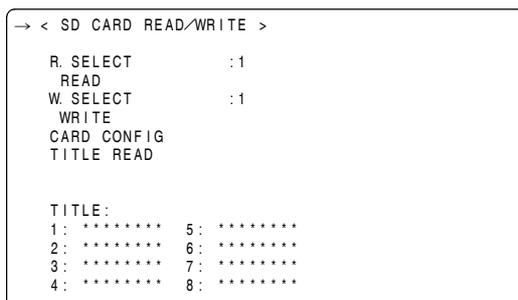
SDメモリーカードは、本機に挿入してふたを閉めた状態で保存してください。

◆NOTE:

SDメモリーカードの向きが正しいことを確認してからSDメモリーカードを入れてください。入れる際に抵抗があって入りにくいときは、SDメモリーカードが裏向きになっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

SDメモリーカードの操作

SDメモリーカードのフォーマットや、設定データのSDメモリーカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、メニュー操作でFILEページから<SD CARD READ/ WRITE>画面を開いて行います。



本機以外の機器でSD規格およびSDHC規格以外のフォーマットを行ったSDメモリーカードを挿入すると、画面右

上に“FORMAT ERROR”と表示します。この場合は、以下の手順でフォーマットしてください。なお、本メニューページを開いたまま、SDメモリーカードを入れ替えても“FORMAT ERROR”表示は消えません。SDメモリーカードを入れ替えた場合は、TITLE READを実行してください。

SDメモリーカードをフォーマットするには

◆ NOTE:

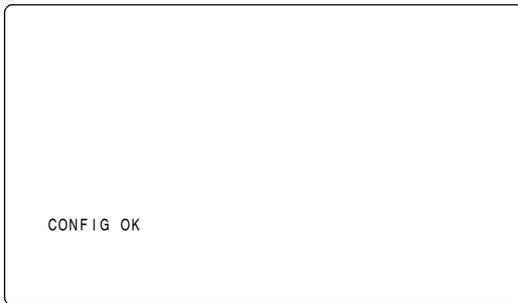
SDメモリーカードは、サムネール画面からもフォーマットが可能です。

→ 「SDメモリーカードのフォーマット」(132 ページ) 参照

- 1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開く
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をCARD CONFIG項目に移動する
- 3 JOGダイヤルボタンを押す
次のようなメッセージを表示します。



- SDメモリーカードのフォーマットを行う場合は、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
- SDメモリーカードのフォーマットが終わると、次のようなメッセージを表示します。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
CONFIG NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
CONFIG NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度フォーマットを行ってください。

4 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押す

設定メニューが消え、本機の現在の状態を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

◆ NOTE:

- フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。
- <SD CARD READ/WRITE>画面が開いている状態でSDメモリーカードを挿入、または取り出したときは、データのタイトルを更新できません。TITLE READ項目に矢印（カーソル）を移動し、JOGダイヤルボタンを押してください。データのタイトルを更新します。

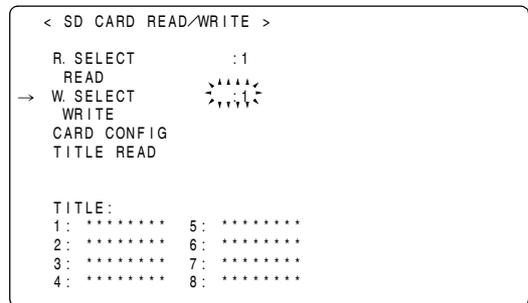
設定したデータをSDメモリーカードに書き込むには

あらかじめ<SD CARD R/W SELECT>画面で、書き込むメニュー種類を選択しておき、次の手順でSDメモリーカードに書き込みを行います。

1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開く

ファイルNo. を選択するには

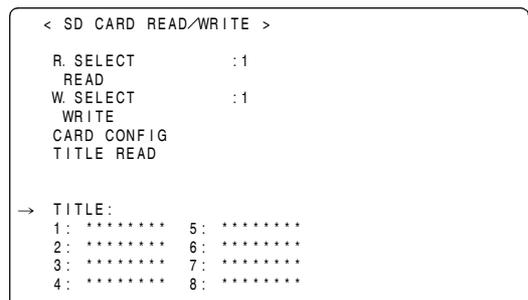
2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をW. SELECT項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押す



3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

選択したファイルNO.にタイトルを付けるには

4 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をTITLE:項目に移動する



5 JOGダイヤルボタンを押す

タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

```
< SD CARD READ/WRITE >
R. SELECT      :1
READ
W. SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
↓
TITLE:
1: ***** 5: *****
2: ***** 6: *****
3: ***** 7: *****
4: ***** 8: *****
```

6 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回す

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

7 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定する

8 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、6～7の操作を繰り返して、文字を設定する（8文字以内）

選択したファイルNo.にデータを書き込むには

9 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動する

```
< SD CARD READ/WRITE >
R. SELECT      :1
READ
W. SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
↓
TITLE:
1: ***** 5: *****
2: ***** 6: *****
3: ***** 7: *****
4: ***** 8: *****
```

10 JOGダイヤルボタンを押す

矢印（カーソル）がTITLE:項目に戻ります。

11 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITE項目に移動する

12 JOGダイヤルボタンを押す

次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE?
YES
→ NO
TITLE:
```

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません。

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換します。
WRITE NG ERROR (書き込みができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
WRITE NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
WRITE NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度書き込みを行ってください。
WRITE NG CARD FULL (記録残量がありません)	SDメモリーカードに記録残量がなく、書き込みができません。不要なファイルを消去するか、新しいSDメモリーカードと交換してください。

13 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す

データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE OK
```

14 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押す

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

◆ NOTE:

- 本機で新しく設定したセットアップファイルを、本機以外の他の機器で設定したセットアップファイルに上書きすることができます。上書きを行った場合、他の機器で設定したセットアップファイルは失われますのでご注意ください。
- それぞれの機器ごとで、SD メモリーカードを管理することをお勧めします。

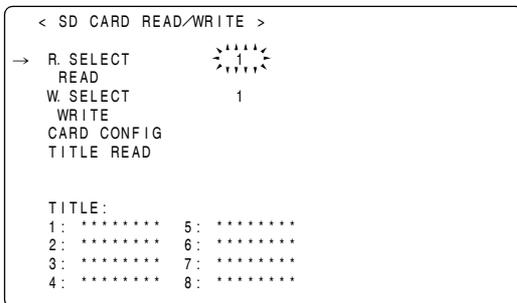
SDメモリーカードに書き込まれているデータを読み出すには

あらかじめ<SD CARD R/W SELECT>画面で、読み出すメニュー種類を選択しておき、次の手順でSDメモリーカードから読み出します。

1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/ WRITE>画面を開く

ファイルNo.を選択するには

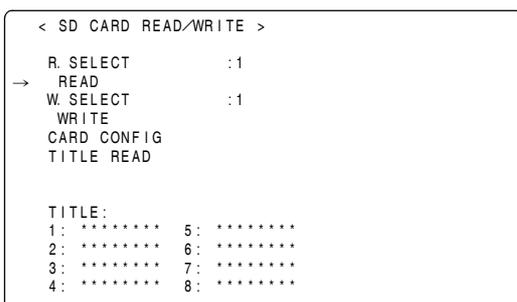
2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をR. SELECT項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押す



3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

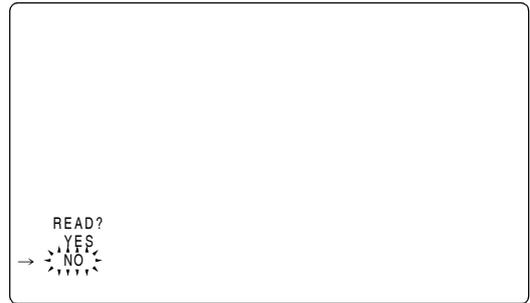
選択したファイルNo.のデータを読み出すには

4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREAD項目に移動する



5 JOGダイヤルボタンを押す

次のようなメッセージを表示します。



6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す

データの読み出しが終了すると、次のようなメッセージを表示します。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込みます。
READ NG ERROR (読み出しができません)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。
READ NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度読み出しを行ってください。

7 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押す

設定メニューが消え、本機の状態表示に戻ります。

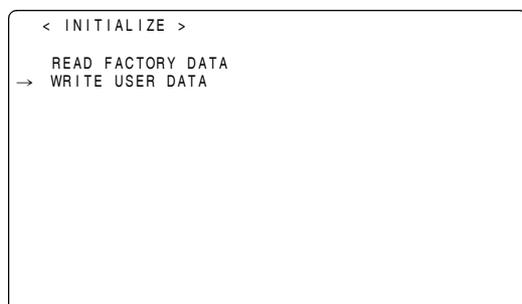
ユーザーデータの使い方

本機の内部メモリーのユーザーエリアに、設定データの内容の書き込みや書き込まれたデータの読み出しをすることができます。
このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

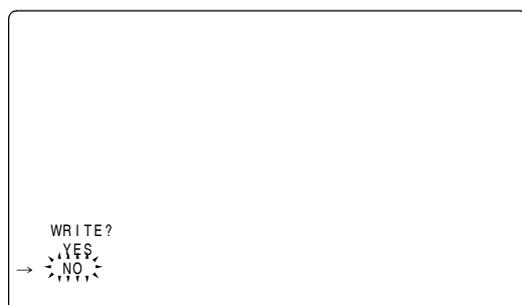
データの書き込み操作は、メニュー操作でFILEページから<INITIALIZE>画面を開いて行います。また、書き込まれたユーザーデータの読み出しは、メニュー操作でFILEページから<SCENE>画面を開いて行います。

設定データをユーザーエリアに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<INITIALIZE>画面を開く
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITE USER DATA項目に移動する



- 3 JOGダイヤルボタンを押す
次のようなメッセージを表示します。



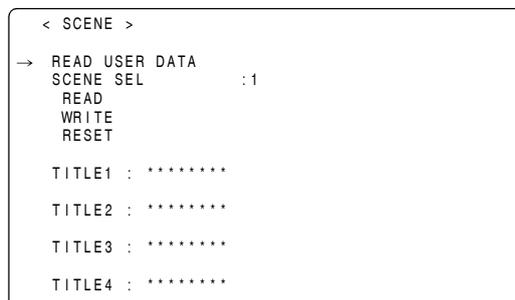
- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す
設定したデータが本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれます。

- 5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押す

書き込まれたユーザーデータを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開く

- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREAD USER DATA項目に移動する



- 3 JOGダイヤルボタンを押す
次のようなメッセージを表示します。

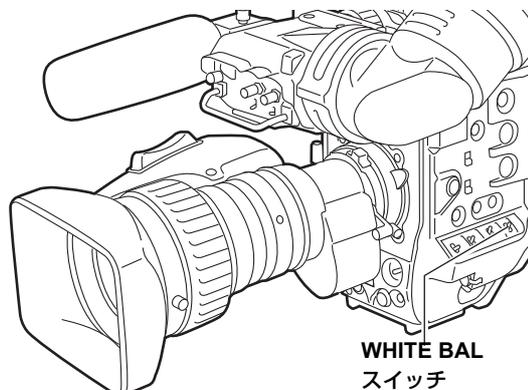


- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す
本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれたデータが読み出され、設定が完了します。

- 5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押す

登録したユーザーデータを、メニュー操作をなしに読み出すことも可能です。

- 1 POWERスイッチをOFFにする
- 2 WHITE BALスイッチを「PRST」の位置にする



- 3 AUTO W/B BALスイッチを押し上げながら、POWERスイッチをONにする
USERメニューの各項目の設定が、一度に標準のUSER DATAに戻ります。

シーンファイルデータの使い方

本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。なお、シーンファイルは、4種類登録可能です。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

操作は、メニュー操作でFILEページからSCENE画面を開いて行います。

シーンファイル用設定データを書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、SCENE画面を開く
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をSCENE SEL項目に移動する
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅するので、JOGダイヤルボタンを回して記録するシーンファイルを選択する

```

< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****

```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確定する
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITE項目に移動する

```

< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
  READ
→ WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****

```

- 6 JOGダイヤルボタンを押す
次のようなメッセージを表示します。

```

WRITE?
  YES
→ NO
  *****
TITLE:

```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す
設定したデータが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。

- 8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押す

シーンファイル用設定データを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開く
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をSCENE SEL項目に移動する
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅するので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すシーンファイルを選択する

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認する
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREAD項目に移動する

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
→ READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押す
次のようなメッセージを表示します。

```
READ?
YES
→ NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す
本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押す

シーンファイル用設定データを工場出荷状態にするには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開く
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をSCENE SEL項目に移動する
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅するので、JOGダイヤルボタンを回してリセットするシーンファイルを選択する

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認する
- 5 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をRESET項目に移動する

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
→ READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押す
次のようなメッセージを表示します。

```
RESET?
YES
→ NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す
本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータがリセットされて工場出荷状態に戻ります。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押す

シーンファイル用設定データにタイトルをつけるには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開く
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をタイトルをつけるシーンファイルのTITLE 1～4項目に移動する

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
→ TITLE1 : .....
TITLE2 : .....
TITLE3 : .....
TITLE4 : .....
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押す
矢印（カーソル）がタイトル入力エリアに移動して入力モードになります。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
↓
TITLE1 : .....
TITLE2 : .....
TITLE3 : .....
TITLE4 : .....
```

- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回す

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

- 5 JOGダイヤルボタンを押し、文字を確定する
- 6 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定する（8文字以内）
- 7 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動する
- 8 JOGダイヤルボタンを押す
矢印（カーソル）がTITLE 1～4項目に戻ります。
- 9 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をWRITE項目に移動する

- 10 JOGダイヤルボタンを押す
次のようなメッセージを表示します。

```
WRITE?
YES
→ > NO <
TITLE:
```

- 11 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す
タイトルが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。

- 12 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押す

メニュー設定状態の工場標準設定値への復帰方法

本機のメニューの設定状態を工場出荷の標準設定値の状態に戻すことができます。

操作は、メニュー操作でFILEページから<INITIALIZE>画面を開きREAD FACTORY DATA項目を選択し、実行します。すべてのメニューの設定値が、工場出荷時の設定に戻ります。

◆NOTE:

シーンファイルやレンズファイル、およびユーザーデータとして保存しているデータは、この操作を行っても削除されません。

```
< INITIALIZE >
→ READ FACTORY DATA
   WRITE USER DATA
```

レンズファイル

本機の内蔵メモリーには、8個のレンズファイルが記憶されています。

SDメモリーカードには、8個のレンズファイルを1タイトルとして、8タイトル（計64個）のレンズファイルを書き込むことができます。

レンズファイルには、下記のデータが記録されます。

- タイトル名
- ホワイトシェーディング補正值
- フレア補正值
- RBゲインオフセット補正值

レンズファイルの作成方法

ホワイトシェーディングの調整

ホワイトシェーディングの調整は、「レンズのホワイトシェーディング調整」（113 ページ）を参照してください。

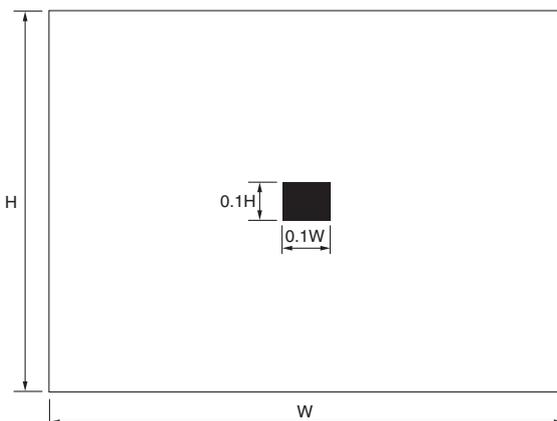
フレアの調整

LENS R FLARE 項目、LENS G FLARE 項目、LENS B FLARE 項目でフレアの調整を行います。各項目は、MAINTENANCEページの<LENS FILE ADJ>画面から選択できます。

```
→ < LENS FILE ADJ >
LENS FILE ADJ MODE:ON
LENS R GAIN OFFSET:+000
LENS B GAIN OFFSET:+000

LENS R FLARE      :000
LENS G FLARE      :000
LENS B FLARE      :000
```

フレア調整用チャートの例



RBゲインオフセット

レンズを交換したときに生じる、ホワイトバランスの変化を補正します。

- 1 レンズファイルを作成するレンズを本機に装着する
- 2 適切な照明（2000 lx、3200Kが望ましい）でグレースケールチャートを撮影する
- 3 WHITE BALスイッチを「A」の位置にする
- 4 グレースケールチャート中央の白ウィンドウが、80%程度になるようにレンズ絞りを調整する
- 5 AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押す
ホワイトバランスの自動調整が行われます。
- 6 ウェーブフォームモニター（WFM）でRGBの信号レベルを測定する
- 7 Gchの信号レベルを、6で得た信号レベルと同じになるようにレンズの絞りを微調整する
- 8 LENS FILE ADJ MODE項目を“ON”に設定する
LENS FILE ADJ MODE項目は、MAINTENANCEページの<LENS FILE ADJ>画面から選択できます。
- 9 LENS R GAIN OFFSET項目でRchの信号レベルがGchと同じになるように調整する
- 10 同様に、LENS B GAIN OFFSET項目でBchの信号レベルがGchと同じになるように調整する

レンズファイルを内蔵メモリーに書き込む

ファイルNo. を選択する

- 1 メニュー操作で、FILE ページから <LENS FILE> 画面を開く
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を FILE NO. 項目に移動する
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅するので、JOG ダイヤルボタンを回して記録するファイル（1～8）を選択する

```
< LENS FILE >
→ FILE NO.      ☼
  READ
  WRITE
  RESET ALL

TITLE:

1:           5:
2:           6:
3:           7:
4:           8:
```

- 4 JOG ダイヤルボタンを押し、ファイル番号を確定する

選択したファイルにタイトルを付ける

- 5 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を TITLE : 項目に移動する

```
< LENS FILE >
FILE NO.      :1
  READ
  WRITE
  RESET ALL
→ TITLE:

1:           5:
2:           6:
3:           7:
4:           8:
```

- 6 JOG ダイヤルボタンを押す
タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

```
< LENS FILE >
FILE NO.      :1
  READ
  WRITE
  RESET ALL
↓
TITLE:

1:           5:
2:           6:
3:           7:
4:           8:
```

- 7 再度 JOG ダイヤルボタンを押し、設定したい文字が現れるまで JOG ダイヤルボタンを回す
JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、—、..、x

の順に切り替わります。

- 8 JOG ダイヤルボタンを押し、文字を確定する

- 9 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、7・8の操作を繰り返して、文字を設定する（12文字以内）

- 10 タイトルの入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動する

```
< LENS FILE >
FILE NO.      :1
  READ
  WRITE
  RESET ALL
↓
TITLE:*****
1:           5:
2:           6:
3:           7:
4:           8:
```

- 11 JOG ダイヤルボタンを押す

矢印（カーソル）が TITLE : 項目に戻ります。

```
< LENS FILE >
FILE NO.      :1
  READ
  WRITE
  RESET ALL
→ TITLE:*****
1:           5:
2:           6:
3:           7:
4:           8:
```

- 12 JOG ダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）を WRITE 項目に移動する

```
< LENS FILE >
FILE NO.      :1
→ WRITE
  RESET ALL

TITLE:*****
1:           5:
2:           6:
3:           7:
4:           8:
```

13 JOGダイヤルボタンを押す

次のようなメッセージを表示します。



14 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「YES」に移動し、JOGダイヤルボタンを押す

現在のホワイトシェーディング補正值、フレア補正值、RBゲインオフセット補正值が、本機の内蔵メモリに記憶されます。

◆ NOTE:

「WRITE」を実行しないで他のメニュー画面に移動したり、メニューを終了したりしたときは、内蔵メモリには記憶されません。

15 MEMUボタンを押す

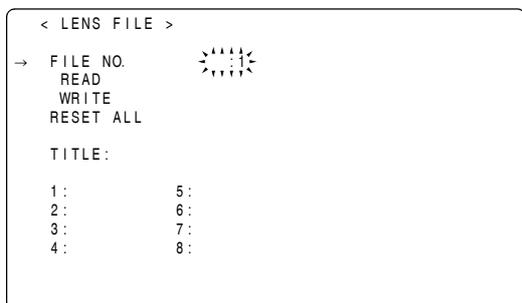
設定メニューが消え、本機の現在の状態を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

レンズファイルを内蔵メモリから読み出す

1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE>画面を開く

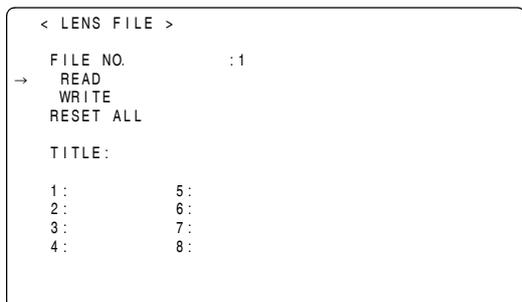
2 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をFILE NO項目に移動する

3 JOGダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅するので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択する



4 JOGダイヤルボタンを押し、ファイル番号を確定する

5 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をREAD項目に移動する



6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示する



7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す

記憶されているホワイトシェーディング補正值、フレア補正值、RBゲインオフセット補正值が読み出されます。

8 MEMUボタンを押す

設定メニューが消え、本機の現在の状態を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

レンズファイルのSDメモリーカードへの書き込みと読み出し

本機の内蔵メモリーに記憶された8個のレンズファイルの内容を、1タイトルのカードファイルとしてSDメモリーカードに書き込むことができます。SDメモリーカードには、8タイトル書き込むことができます。

また、SDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルは、書き込んだ1タイトル（8個のレンズファイル）を内蔵メモリーに読み出すことができます。

内蔵メモリーに記憶されたレンズファイルとSDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルの関係は次のようになっています。



内蔵メモリー

8個のレンズファイル

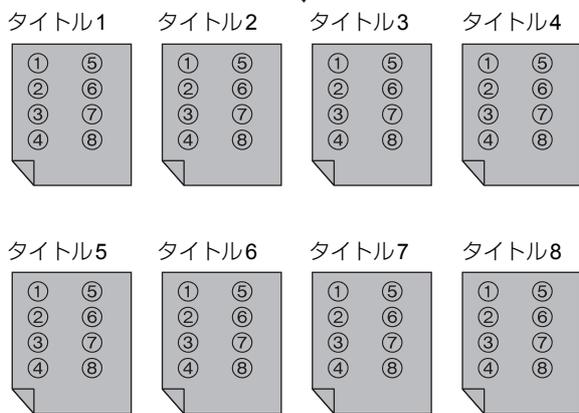


内蔵メモリーのレンズファイルは、8個まで記憶することができます。



8個のレンズファイルの内容を、1タイトルのカードファイルとしてSDメモリーカードに書き込むことや読み出すことができます。

カードファイル



8個のレンズファイル×8 = 64個のレンズファイルを書き込むことが可能です。

SDメモリーカードにレンズファイルを書き込むには

カードファイルNo. を選択する

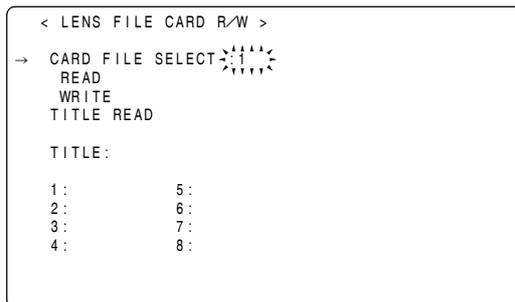
1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE CARD R/W>画面を開く

右上にFORMAT ERRORと表示した場合、本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。SDメモリーカードのフォーマットはCARD CONFIG項目で行うことができます。CARD CONFIG項目項目は、FILEページの<SD CARD READ/WRITE>画面から選択できます。

→「SDメモリーカードの操作」(92ページ) 参照

2 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をCARD FILE SELECT項目に移動する

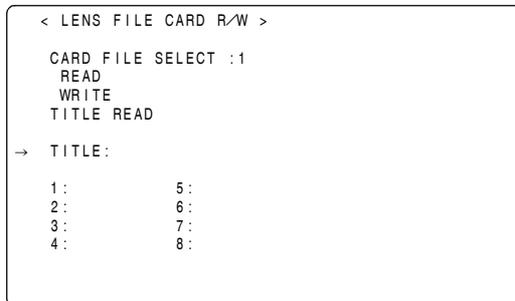
3 JOGダイヤルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅するので、JOGダイヤルボタンを回して書き込むファイル（1～8）を選択する



4 JOGダイヤルボタンを押し、ファイル番号を確定する

選択したカードファイルにタイトルを付ける

5 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をTITLE：の項目に移動する



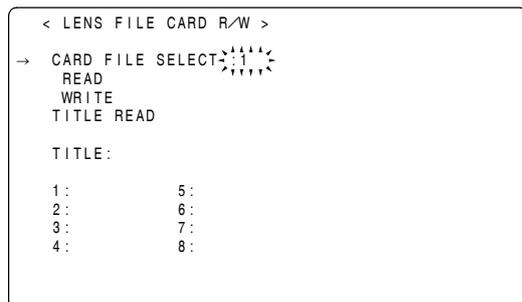
6 JOGダイヤルボタンを押す

タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

以降、101ページのステップ7から102ページのステップ15までの操作を行ってください。

SDメモリーカードからレンズファイルを読み出すには

- 1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE CARD R/W>画面を開く
- 2 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）をCARD FILE SELECT項目に移動する
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅するので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択する



- 4 JOGダイヤルボタンを押し、ファイル番号を確定する

以降、102 ページのステップ5からステップ8までの操作を行ってください。

◆NOTE:

SDメモリーカード上のカードファイルのタイトルは<LENS FILE CARD R/W>画面に表示しますが、中に含まれるレンズファイルのタイトルは、<LENS FILE CARD R/W>画面に表示しません。その都度、ファイルを読み出して、<LENS FILE>画面で確認してください。

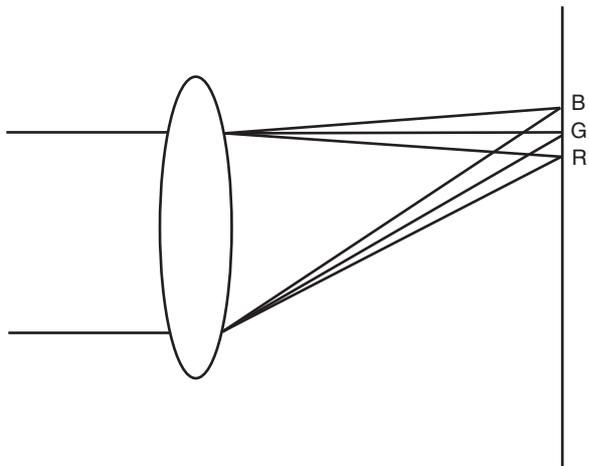
このとき、内蔵メモリーのレンズファイルが読み出したレンズファイルに書き換えられてしまいますので、一旦、内蔵メモリーのレンズファイルをSDメモリーカードに書き込んで、バックアップしてからSDメモリーカードのレンズファイルを読み出してください。

色収差補正機能 (CAC)

CACは、レンズ自体で補正しきれないわずかな色収差が主な原因で起るレジストレーションエラーをカメラレコーダー本体で自動的に補正し、画像の色にじみを最小限に抑える機能です。

レンズの色収差とは

ここで言う色収差とは倍率色収差です。倍率色収差は、レンズの屈折率が赤 (R)・緑 (G)・青 (B) によって異なるために発生します。レンズ自体で色収差の補正を行なっていますが、特に周辺では色収差が残留します。また、この色収差はズームレンズであればズーム倍率・絞り・焦点距離が複雑に関係して発生します。画像としてはレジストレーションエラーとなります。



色収差補正機能

色収差を補正するには、ズーム倍率・絞り・焦点距離に対するレンズの色収差特性をあらかじめカメラレコーダー本体に記憶させ、その収差特性に適合するレンズを接続し、レンズのズーム倍率・絞り・焦点距離に合致した補正を行ないます。

本機は工場出荷時に下記4種類のレンズのCACデータを記憶しています。

本機での表示	対応レンズ品番
HA16X 6.3BERM-M58	HA16x 6.3BERM-M58
HA22X 7.8BERM-M58	HA22x 7.8BERM-M58
HJ17EX 7.6B IASE	HJ17ex 7.6B IASE
HJ22EX 7.6B IASE	HJ22ex 7.6B IASE

◆ NOTE:

CAC対応レンズの追加、変更などに関しては、下記のウェブサイトのサポートサイトを参照してください。

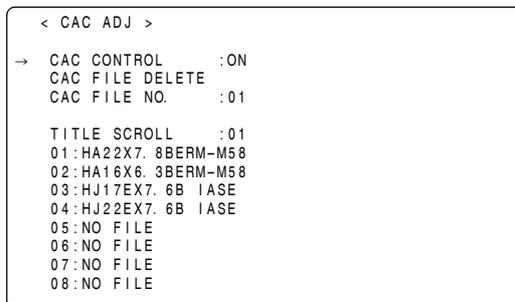
(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

CACの動作

左記4種類のレンズの場合

- 1 レンズを本機に装着し、レンズコネクタを本機に接続する
- 2 MAINTENANCE MENU画面のCAC ADJ MENUを開く
- 3 CAC CONTROLを“ON”にする
本機に記憶されているレンズ品番と接続されたレンズ品番が合致すれば、本機に記憶されているCACデータを自動で読み出します。

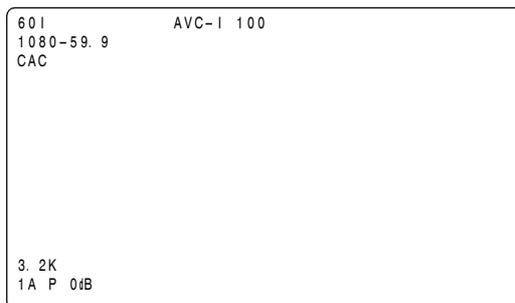


CAC動作状態の確認

- 1 MENUがVF画面に表示されていない状態でMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引く
ビューファインダー画面の左上にCACの文字が表示されればCACは動作中です。
CACの文字が表示されない場合はCAC動作をしていません。

- 2 CAC項目を“ON”にする

- CAC項目はVFページの<VF INDICATOR>画面より選択できます。
- ビューファインダー画面の左上にCACが表示されます。



CAC FILEをSDメモリーカードから読み込む

1 弊社サポートページでダウンロードしたCAC FILEを書き込んだSDメモリーカードを本機に挿入する

ダウンロードについては下記URLを参照してください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

2 メニュー操作でFILEページから<CAC FILE CARD READ>画面を開く

3 JOGダイヤルボタンで「TITLE READ」を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

TITLE部分にレンズ品番が表示されます。

```
→ < CAC FILE CARD READ >
CARD FILE SELECT:1
  READ
  DELETE
  TITLE READ
TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

4 JOGダイヤルボタンで「CARD FILE SELECT」を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

5 読み込むTITLE NOを選択し、JOGダイヤルボタンを押す

6 JOGダイヤルボタンでREADを選択し、JOGダイヤルボタンを押す

下記のような画面が表示されます。

```
FILE READ?
→ YES
  NO(CANCEL)
MEM STORE NO.  :EMPTY
TITLE SCROLL   :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

7 JOGダイヤルボタンでYESを選択し、JOGダイヤルボタンを押す

上記4で選択したレンズのCAC FILEが本機のメモリーに記憶されます。

また、このときMEM STORE NO : EMPTY/1/2...の設定でEMPTYを選択すれば、本機のCAC FILE 番号の空き部分に記憶します。1を選択すれば、CAC FILE 番号の1番に上書きします。

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	データのあるファイルを選択して、再度読み出しを行ってください。
READ NG ERROR (読み出しができません)	SDメモリーカードを挿入しなおし、再度読み出しを行ってください。
READ NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度読み出しを行ってください。
READ NG FILE DATA INVALID (ファイルデータが異常です)	書き込まれたファイルデータに異常があります。正しいファイルデータを使用してください。
READ NG FILE MEMORY FULL (メモリー一杯です)	CACデータが一杯で書き込めません。不要なCACデータを削除してから再び行ってください。

8 複数のCAC FILEを本機に記憶させるには、上記3~7を繰り返す

9 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押す

設定メニューが消え、本機の状態表示に戻ります。

◆ NOTE:

本機には32個のCAC FILEを記憶させることができます。CAC FILEが満杯になった場合には、いずれかのCAC FILEを消去してください。

CAC FILEを本機から消去する

1 メニュー操作でMAINTENANCEページから<CAC ADJ>画面を開く

下記のような画面が表示されます。

```
< CAC ADJ >
→ CAC CONTROL      :ON
  CAC FILE DELETE   :01
  CAC FILE NO       :01

TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

2 CAC CONTROL項目で、“OFF”を選択する

3 CARD FILE NOで、消去したいレンズ品番をJOGダイヤルボタンで選択する

4 JOGダイヤルボタンを押し、選択を確定する

5 JOGダイヤルボタンでCARD FILE DELETE項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

下記のような画面が表示されます。

```
DELETE?
  YES
→ NO
```

6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す

CAC FILEをSDメモリーカードから消去する

1 メニュー操作でFILEページから<CAC FILE CARD READ>画面を開く

下記のような画面が表示されます。

```
→ < CAC FILE CARD READ >

CARD FILE SELECT:01
  READ
  DELETE
  TITLE READ

TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17EX7. 6B IASE
04:HJ22EX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

2 JOGダイヤルボタンでTITLE READ項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

TITLE部分にレンズ品番が表示されます。

3 JOGダイヤルボタンでCARD FILE SELECT項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

4 消去するCAC FILEのTITLE NO項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押す

5 JOGダイヤルボタンでDELETEを選択し、JOGダイヤルボタンを押す

下記のような画面が表示されます。

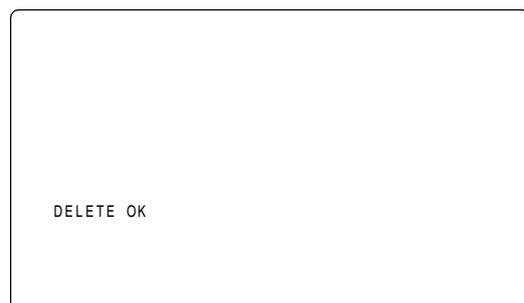
```
DELETE?
  YES
→ NO
```

6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押す

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを削除することができません。

エラーメッセージ	対策
DELETE NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
DELETE NG ERROR (削除ができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
DELETE NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
DELETE NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度削除を行ってください。
DELETE NG NO FILE (ファイルがありません)	収差ファイルがあるFILE NO.を選択して、削除を実行してください。

7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を**YES**に移動し、JOGダイヤルボタンを押すデータの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。



CAC FILEが正常に動作しないとき

CACが正常に動作しない時、またはCACファイルが正常に読み込めなかった時は、ビューファインダーに下記のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	意味	処置
FILE MEMORY FULL	SDメモリーカードから本機のメモリーにCAC FILEをEMPTYモードで読み込む際、内蔵メモリーがFULLの状態である。	EMPTYモード以外でCAC FILEの書き込みを行なってください。
CAC FILE DATA NOT FOUND	CAC補正：ONの時、接続されたレンズに該当するCAC FILEがないとき。電源投入時に表示します。	使用するレンズに該当するCAC FILEを本機に読み込んでください。
CAC LENS DATA INVALID	レンズからの応答データに対応できないとき、またはCAC FILEで定義している情報以外の応答があったとき。	CAC補正対応レンズではありません。CAC補正は行えませんがご使用に問題はありません。
LENS INITIALIZE NOT COMPLETED	レンズの位置検知（フォーカス・ズーム）がエンコーダタイプで初期化が完了していないとき。	フォーカス・ズームリングを回し動作範囲の中点を通過させてください。

◆ NOTE:

- レンズ光学系のアクセサリ（コンバータレンズ・アタッチメント）を取り付け時は、レンズの光学特性が変化するため、CAC機能が正しく動作しない場合があります。その場合はCAC：OFFでご使用ください。
- キヤノンレンズでフォーカスサーボ使用時、自動初期化モード時は初期化終了後に記録するようにしてください。フォーカスリングが動いている状態が記録されることがあります。
- CACが動作せず、かつエラーメッセージが表示されない場合は、レンズのソフトバージョンが古い恐れがあります。ご使用のレンズのメーカーにお問い合わせください。

準 備

電源の供給

本機の電源には、バッテリーパックまたは外部DC電源が使用できます。

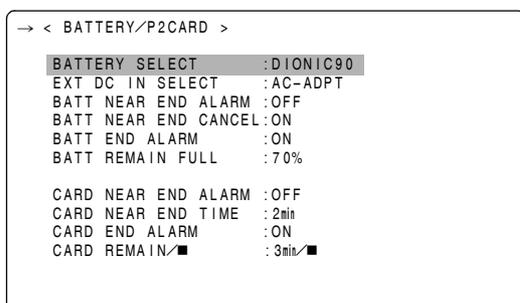
バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、以下のバッテリーが使用できます。

- ・アントンパワー製
- ・IDX製

バッテリーの種類はビューファインダーまたはモニター上のメニュー画面で確認・変更が可能です。

- 本機側面のMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引くと、ビューファインダー画面右上に、現在設定されているバッテリーの種類を表示します。
- BATTERY SELECT項目で確認・変更ができます。BATTERY SELECT項目は、MAIN OPERATIONページから<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。



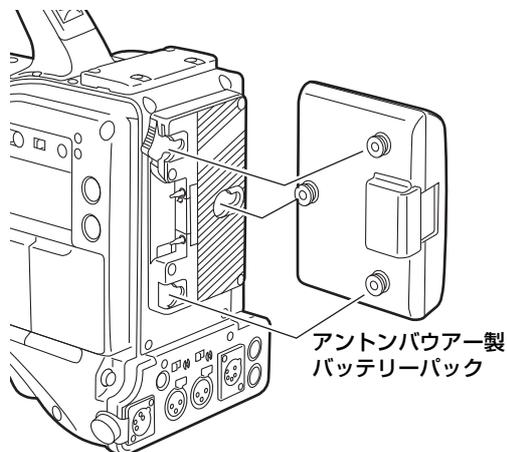
◆ NOTE:

- 他のバッテリーについても、設定メニュー（TYPE A項目、TYPE B項目、TYPE C項目の設定）を変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はしておりません。各項目は、MAIN OPERATIONページから<BATTERY SETTING>画面から選択できます。
- バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。（充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください）
- ライト（ウルトラライト2）使用時には、90 Wh以上のバッテリーの使用をお勧めします。
- スタジオシステム（AG-BS300、AG-CA300G）を使用してライトを点灯する場合は、AG-CA300Gにバッテリープレートを取り付け、バッテリーを装着して、バッテリープレートよりライト電源を供給してください。本機のライト端子からライト電源を供給すると、ライト点灯時の過大電流によってAG-BS300、AG-CA300Gの過電流保護により本機が起動しないことがあります。

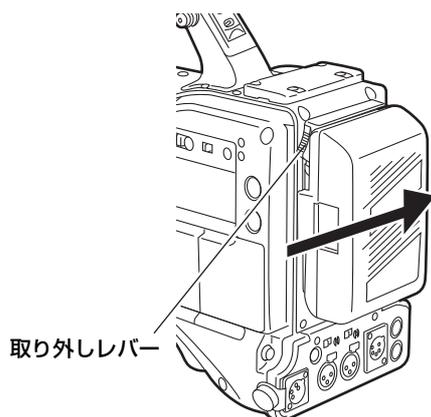
バッテリーの取り付け および設定

アントンパワー製バッテリーパックをご使用の場合

1 アントンパワー製バッテリーパックを取り付ける



矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



<ご参考> バッテリーパックを取り外すにはバッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

2 バッテリーの種類を設定する

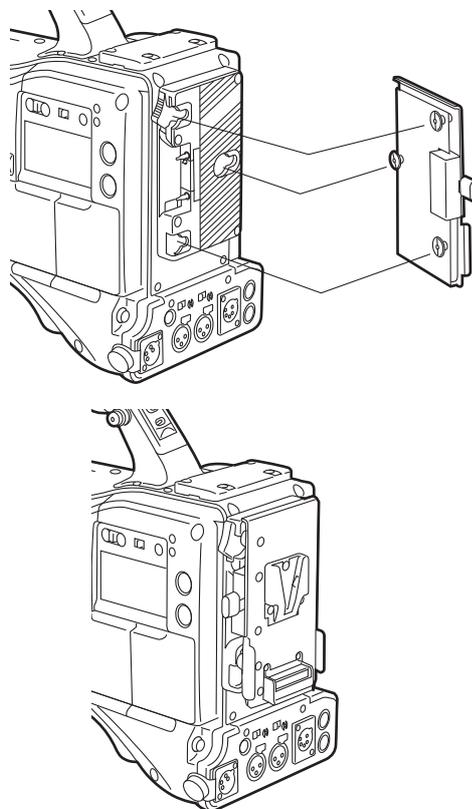
BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を選択します。BATTERY SELECT項目は、MAIN OPERATIONページから<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。

使用できるアントンパワー製バッテリー

- ・ HYTRON140
- ・ DIONIC90
- ・ DIONIC160

Vマウント式バッテリーパックをご使用の場合

1 V-マウントアダプタープレートを取り付ける



2 バッテリーの種類を設定する

BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を選択します。

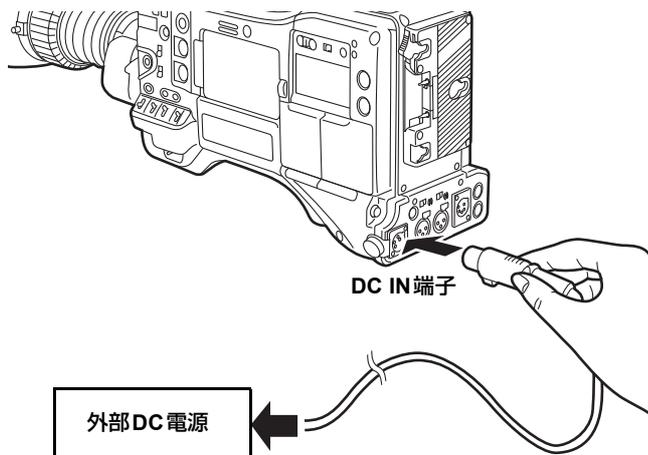
BATTERY SELECT項目にないバッテリーをご使用の場合、TYPE A、TYPE BまたはTYPE Cを選択して、特性に合わせて各項目を設定してください。各項目は、MAIN OPERATIONページから<BATTERY SETTING>画面から選択できます。

◆ NOTE:

V-マウントアダプタープレートに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までお願いします。

外部 DC 電源の使用

1 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続する



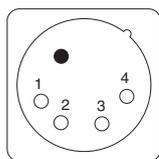
2 外部DC電源の電源スイッチをONにする (外部DC電源に電源スイッチがある場合)

3 本機のPOWERスイッチをONにする

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因になります。

本機および本機の電源投入と連動して電源投入される接続機器（ビューファインダーなど）の、総消費電力の2倍以上を確保できる外部DC電源のご使用をおすすめします。DCコードはAWG18（公称断面積0.824 mm²）以上の芯線の2芯シールドコードをご使用ください。

外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。



DC IN端子

ピン No.	信号
1	GND
2, 3	—
4	12V
CASE	Frame GND

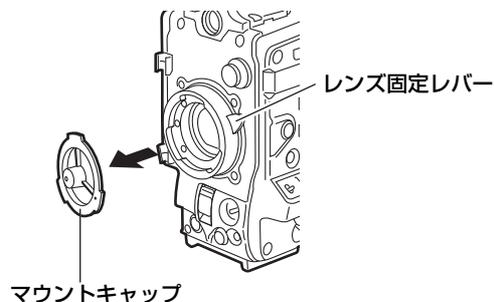
◆NOTE:

- バッテリーパックと外部DC電源の両方を接続した場合、外部DC電源からの電源供給が優先されます。外部DC電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- DC IN端子からの電源供給時は、ライト回路が動作しません。アントンパワー製バッテリープレートからの電源供給時のみライト回路を使用できます。

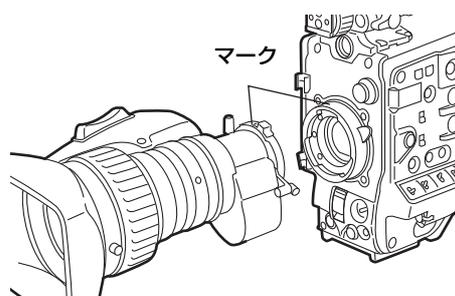
レンズの取り付けおよびフランジバック調整 とホワイトシェーディング調整

レンズの取り付け

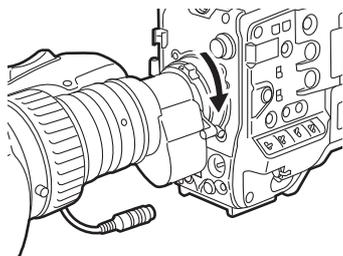
- 1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外す



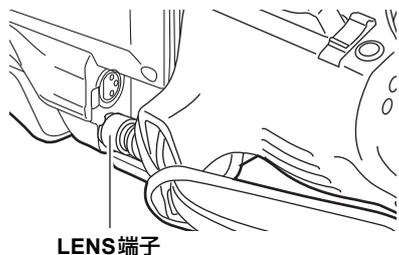
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付ける



- 3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定する



- 4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS端子に接続する



- 5 レンズのフランジバックの調整を行う

◆NOTE:

- レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をお読みください。
- レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

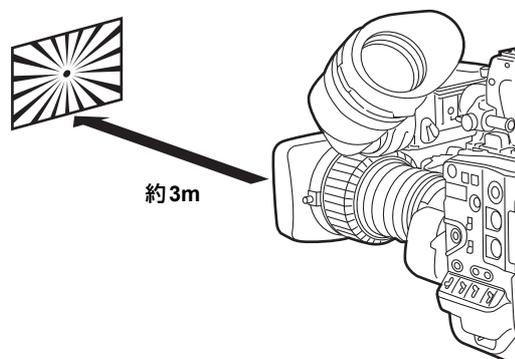
レンズのフランジバック調整

ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

◆NOTE:

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付ける
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にする



- 3 フランジバック調整用チャートから3mぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定する
映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。
- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめる

◆NOTE:

レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示している場合もあります。

- 5 手動または、電動でズームリングを望遠端の位置にする
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせる
- 7 ズームリングを広角端の位置にし、F.fリングを回して焦点を合わせる
このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返す

9 F.fリングの固定ネジを、しっかりと閉める

レンズのホワイトシェーディング調整

映像信号のR、G、Bそれぞれの波形を見ながら、ノコギリ歯状波形とパラボラ波形を組み合わせて、よりフラットな波形にして補正する方法

必ず、DS、GAINおよびD.ZOOMをOFFにしてからホワイトシェーディングの調整を以下のように行ってください。

◆NOTE:

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放(open)付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

- 1 カメラにレンズを取り付ける
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L(0dB)」にする
- 3 レンズにエクステンダーがついている場合は、エクステンダー機能を外す
- 4 メニュー操作でPAINTページから<GAMMA>画面を開き、GAMMA MODE SEL項目が「HD」であることを確認し、またVFページから<VF DISPLAY>画面を開き、ZEBRA1 DETECT項目、ZEBRA2 DETECT項目、ZEBRA2項目が下図の通りであるか確認し、違っている場合は変更してから、メニュー画面を閉じる

-> < VF DISPLAY >	
DISP CONDITION	: NORMAL
DISP MODE	: 3
VF OUT	: Y
VF DTL	: 05
ZEBRA1 DETECT	: 070%
ZEBRA2 DETECT	: 085%
ZEBRA2	: SPOT
LOW LIGHT LVL	: 35%
RC MENU DISP.	: OFF
MARKER/CHAR LVL	: 50%
SYNCHRO SCAN DISP.	: sec

- 5 ビューファインダーのZEBRAスイッチを「ON」にする

- 6 色ムラの無い白い紙を撮影する

◆NOTE:

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

- 7 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整する
レンズ絞りが、F4~F11の間になっていることを確認してください。

◆NOTE:

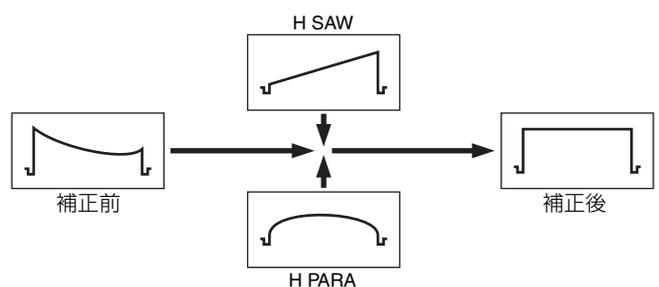
- 照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4~F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

- 8 ① WHITE BAL切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BALスイッチでオートホワイトバランス(AWB)を行う
② AUTO W/B BALスイッチでオートブラックバランス(ABB)を行う
③ 再度AUTO W/B BALスイッチでオートホワイトバランス(AWB)を行う

- 9 再度7の操作を行う

- 10 メニュー操作でMAINTENANCEページから<WHITE SHADING>画面を開き、R H SAW項目からB V PARA項目を調整して、よりフラットな波形にして補正を行う

< WHITE SHADING >	
CORRECT	: ON
→ R H SAW	: +000
R H PARA	: +000
R V SAW	: +000
R V PARA	: +000
G H SAW	: +000
G H PARA	: +000
G V SAW	: +000
G V PARA	: +000
B H SAW	: +000
B H PARA	: +000
B V SAW	: +000
B V PARA	: +000



11 レンズにエクステンダーがついている場合は、 エクステンダー機能を入れて、それぞれの場合 で再度7～9の操作を行う

レンズエクステンダーがある場合、ない場合の2パ
ターンの補正值が1つのレンズファイルデータとして
本機に記憶されます。

ホワイトシェーディングの補正を行うときは、水平方向お
よび垂直方向のR、G、B波形をウェーブフォームモニター
で観察しながら調整することをお勧めします。

以上でホワイトシェーディング調整が完了します。
調整値は、不揮発性メモリーに保存されますので、本機の
電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う
必要はありません。

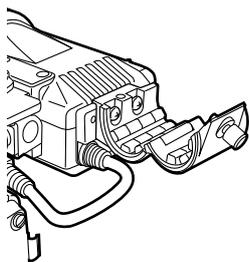
音声入力準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

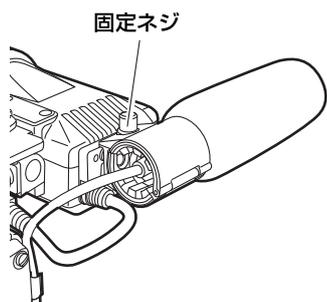
フロントマイクを使用する場合

ステレオマイクキットAJ-MC900G（別売品）を取り付けることができます。

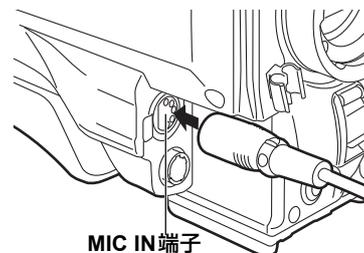
1 マイクホルダーを開く



2 マイクを取りつけ、固定ネジを締める マイクのUP表示を上にして取り付けてください。



3 マイクの接続ケーブルをカメラのMIC IN端子に接続する



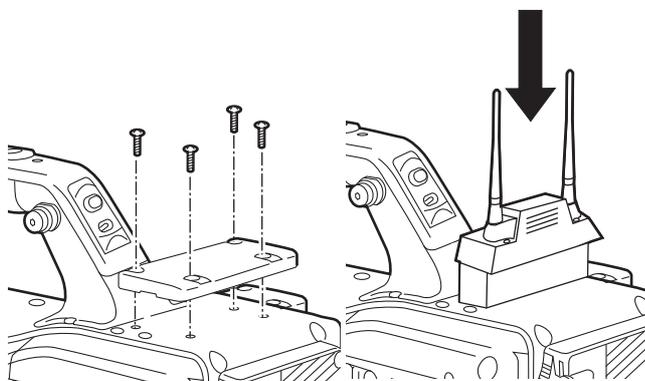
4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「FRONT」に切り替える



ワイヤレスレシーバーを使用する場合

Unislotワイヤレスレシーバーを使用する場合

1 ふたを取り外してワイヤレスレシーバーを挿入し、ビス止めする



2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「W.L.」に切り替える

3 2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーを使用する場合は、WIRELESS TYPE項目で“DUAL”を選択する WIRELESS TYPE項目はMAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO>画面から選択します。

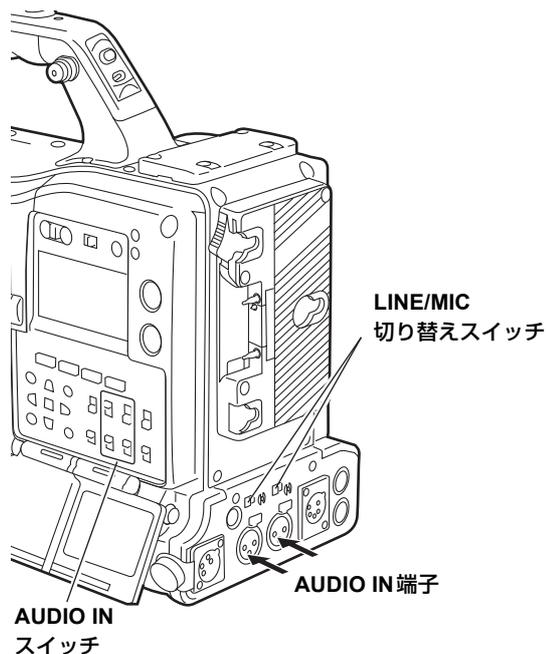
オーディオ機器を使用する場合

- 1 オーディオ機器とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続する
- 2 XLRケーブルを接続したチャンネルのAUDIO INスイッチを「REAR」に切り替える
- 3 後面のLINE/MIC切り替えスイッチを「LINE」に切り替える

◆NOTE:

AUDIO IN端子にコネクタが接続されていることを検出し、CH1/CH2、CH3/CH4への入力信号を自動で切り替える設定することも可能です。

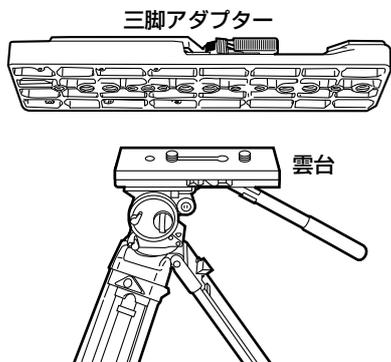
→ 「REAR XLR AUTO CH1/2」、「REAR XLR AUTO CH3/4」
(190 ページ) 参照



三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、付属の三脚アダプターを使います。

- 1 三脚アダプターを、三脚に取り付ける



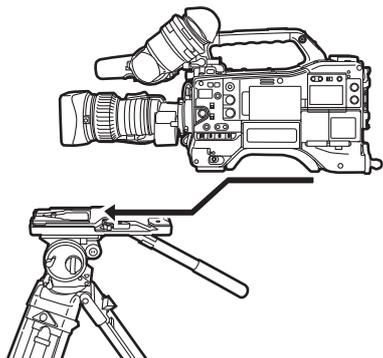
◆NOTE:

本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。

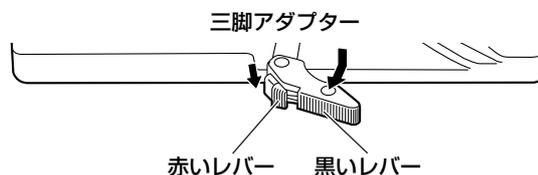
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

- 2 本機を三脚アダプターに取り付ける

溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へ滑らせます。



三脚アダプターから取り外す



赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方に滑らして外します。

◆NOTE:

本機を取り外した後、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。

ピンが中央に残ったままでは、本機の取付ができませんのでご注意ください。

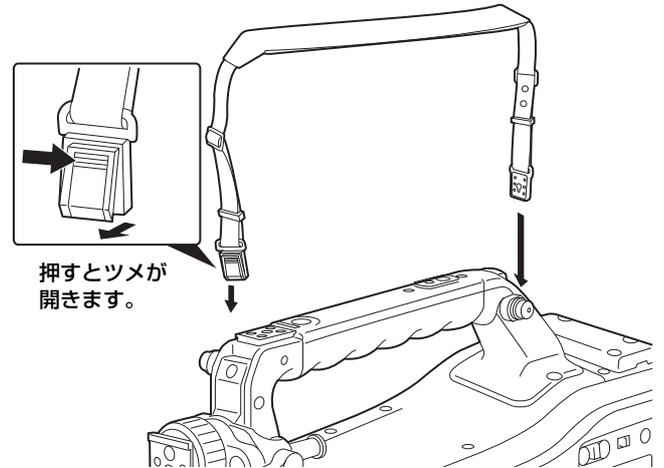
ショルダーベルトの取り付け

ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

◆NOTE:

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。

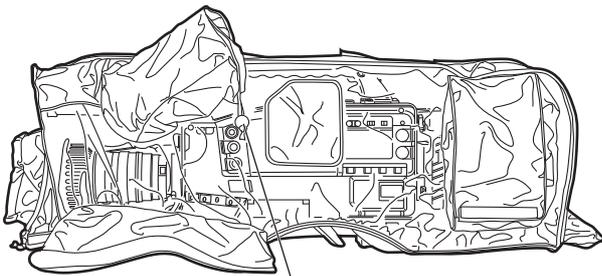
ショルダーベルト



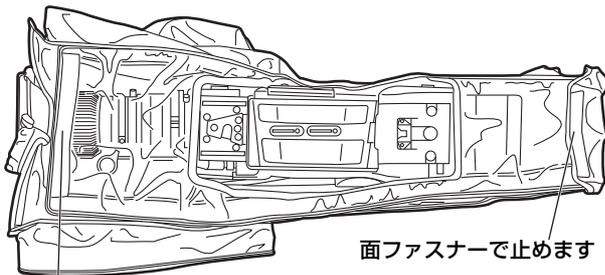
準備

レインカバーの取り付け

レインカバー SHAN-RC700の使用例



ひもを締めます



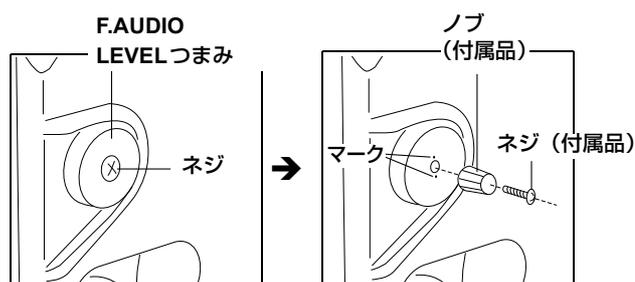
面ファスナーで止めます

面ファスナーで止めます

F.AUDIO LEVELつまみの取り付け

F.AUDIO LEVELつまみを頻繁に使用する場合、付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすくすることができます。

F.AUDIO LEVELつまみ中央のネジを外し、本機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合わせてください。



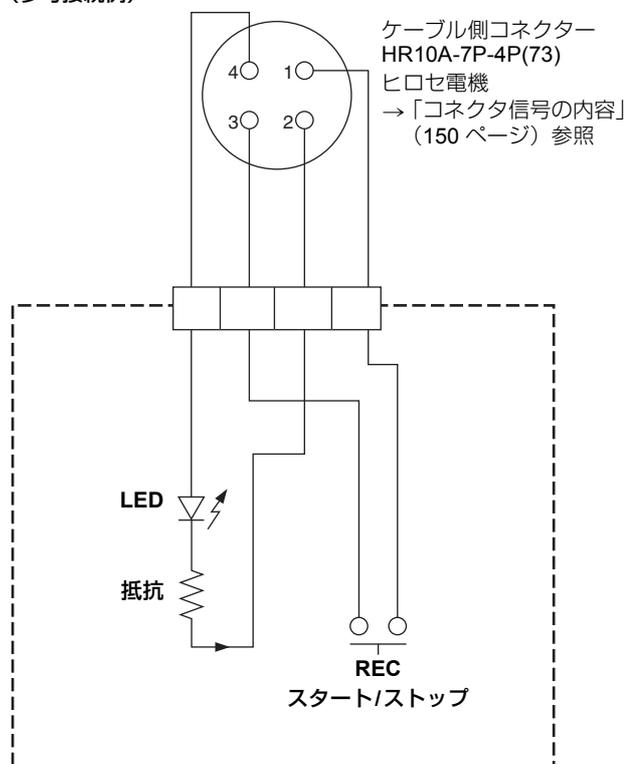
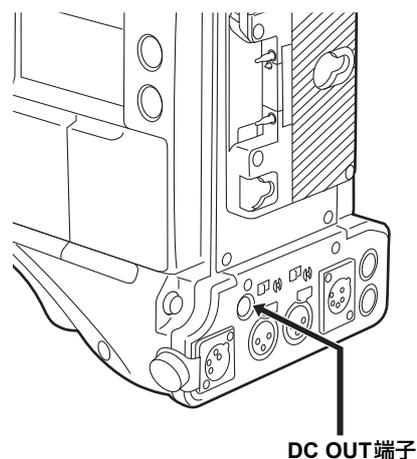
DC OUT端子と外部RECスタート/ストップスイッチの接続

本機のDC OUT端子からは、1.5 Aの電流を取り出すことが可能です。

この端子に外部スイッチを接続すると、RECスタート/ストップの制御が可能になります。

また、LEDを接続すると、タリールランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。

(参考接続例)



1 : GND

2 : TALLY OUT

本機側は、オープンコレクタ出力

TALLY ON : Lowインピーダンス

TALLY OFF : Highインピーダンス

3 : RECスタート/ストップスイッチ (DC 11 V~17 V)

本機のREC START ボタンやレンズのVTR ボタンと並列に接続されます。

4 : 12 V

◆ NOTE:

外部機器を接続する場合、極性を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因となります。

クリップのサムネール操作

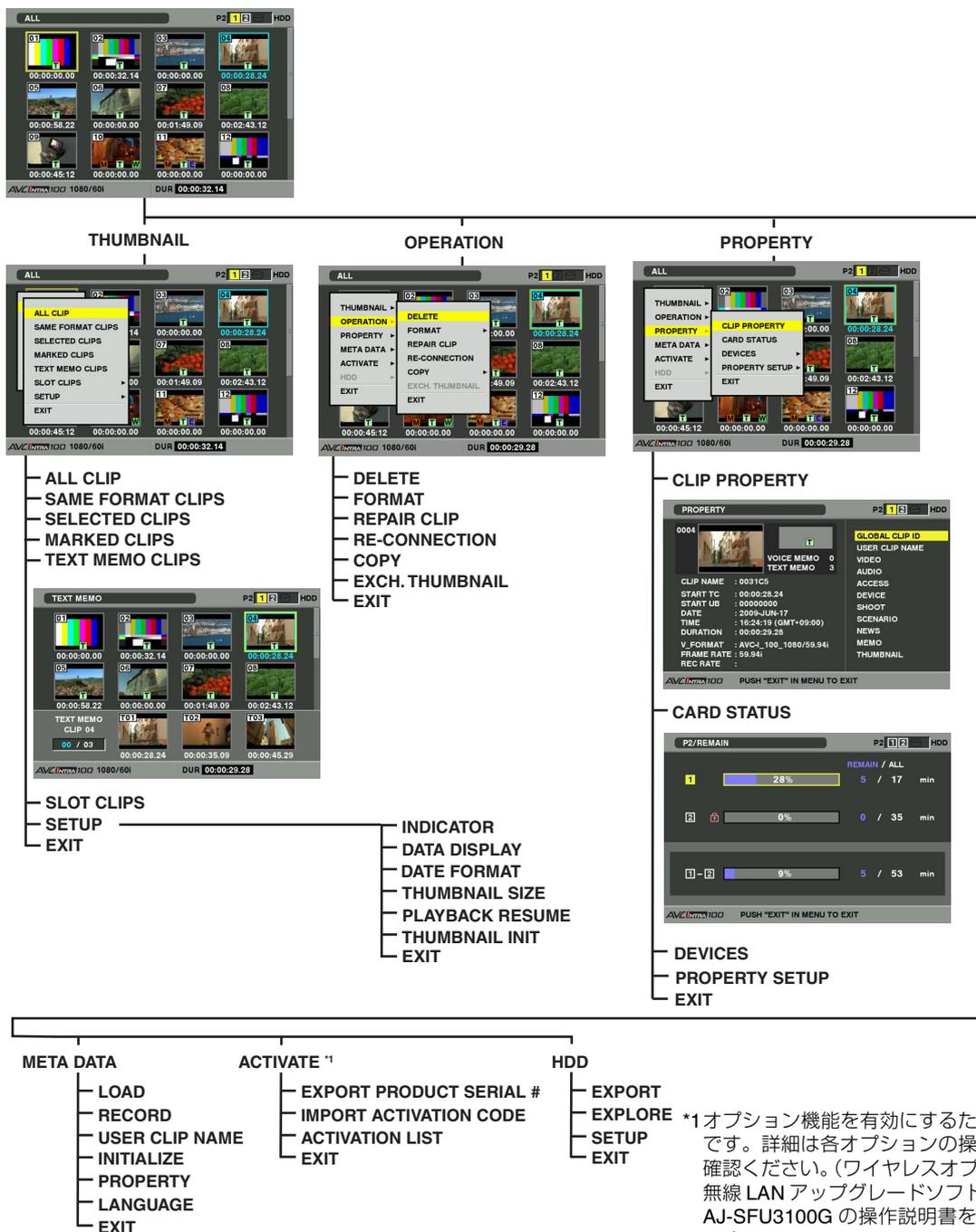
クリップとは、一回の撮影によって生成される画像、音声、およびテキストメモ・メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、カーソル・SETボタンを使って以下の操作を行うことができます。

- クリップの再生、削除、コピー、および修復
- クリップのサムネールにテキストメモ、ショットマークを付加、および消去する
- テキストメモを使用してクリップを部分コピーする
- テキストメモを使用してサムネール画像を変更する
- P2カード、SDメモリーカードのフォーマット
- クリップメタデータのSDメモリーカードからのアップロードおよび編集

サムネール操作について

サムネール操作の概要

サムネール画面は以下のような構成になっています。



*1 オプション機能を有効にするためのメニューです。詳細は各オプションの操作説明書をご確認ください。(ワイヤレスオプション機能は無線 LAN アップグレードソフトウェアキー：AJ-SFU3100G の操作説明書をご確認ください。)

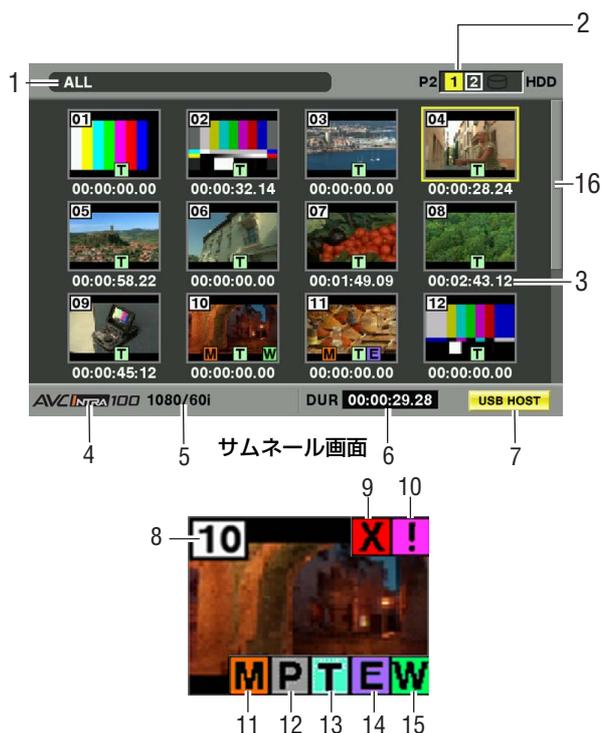
サムネイル画面

THUMBNAIL ボタンを押すと、液晶画面にサムネイル画面を表示します。もう一度THUMBNAIL ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。なお、通常の表示からサムネイル画面表示に変わったときは、すべてのクリップをサムネイル画面に表示します。

また、サムネイル画面からTHUMBNAIL MENU ボタンを押すと、サムネイルのメニュー操作が可能になります。

◆ NOTE:

TCGスイッチを「SET」にして、タイムコードやユーザーズビットを設定しているとき、またはカメラのメニューを操作しているときはTHUMBNAIL ボタンは受け付けません。



1. 表示状態

画面に表示するサムネイルの種類や、その他の情報画面の種類を表示します。

ALL: すべてのクリップを表示しています。

SAME FORMAT:

システムフォーマット (SYSTEM MODE 項目/REC FORMAT 項目/AUDIO SMPL RES 項目) と同じフォーマットのクリップを表示しています。

→ 各項目については「記録信号と記録方式の選択」(48 ページ) 参照

SELECT: SET ボタンで選択したクリップを表示しています。

MARKER: ショットマークが付加されたクリップを表示しています。

TEXT MEMO:

テキストメモデータがあるクリップを表示しています。

SLOT n: 特定のP2カード内のクリップを表示しています。(n: スロット番号の1~2が入ります)

UPDATING...:

画面更新などの処理中に表示しています。また更新中は回転するアイコンを表示します。

→ 「サムネイル表示の切り替え」(123 ページ) 参照

2. スロット番号・HDD状態

ポインターが合わされているクリップが、どのP2カードに記録されているかを表示します。クリップが記録されたP2カードのスロット番号を、黄色く表示します。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されている場合は、そのクリップが記録されたP2カードのスロット番号のすべてを表示します。また、P2カードが挿入されているスロット番号を白く表示します。以下のようなP2カードが挿入された場合、スロット番号を桃色で表示します。

● RUN DOWN CARD

(書き換え回数が規定回数を超えたP2カード)

● DIR ENTRY NG CARD

(ディレクトリ配置が不正なP2カード)

USB HDDの表示は以下のようになります。

● USB ホストモード以外: 「灰色」

● USB ホストモードで非接続の場合: 「灰色」

● USB ホストモードで HDD が接続され使用可能な場合: 「白色」

● USB ホストモードで HDD が接続されサムネイル表示している場合: 「黄色」

● USB ホストモードで HDD が接続されているが、使用可能な状態でない場合: 「赤色」

3. 時間表示

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード (TC) /クリップの記録開始時点のユーザーズビット (UB) /撮影時刻 (TIME) /撮影日 (DATE) /撮影日時 (DATE TIME) /クリップ名 (CLIP NAME) /ユーザークリップ名 (USER CLIP NAME) のいずれかを表示します。

4. 記録モード

ポインターの位置のクリップの記録モードを表示します。

5. システムフォーマット

ポインターの位置のクリップのフォーマットを表示します。

6. デュレーション

ポインターの位置のクリップのデュレーションを表示します。

7. USBホストモードインジケータ

USBホストモードに切り替わっている場合に表示します。

8. クリップ番号

P2カードに正しく認識されているすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、撮影日時が早い順に割り振られます。

記録フォーマットが異なるクリップなど、再生できないクリップは赤色で表示されます。

9. **❌ 不良クリップインジケータ**・
❓ 不明クリップインジケータ
記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示します。
黄色い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。
→「クリップの修復」(127 ページ) 参照
赤い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できない場合は、P2カードをフォーマットしてください。
P2 規格のフォーマットなどが異なるクリップの場合、**❓**を表示します。
10. **⚠ 不完全クリップインジケータ**
複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードがP2カードスロットに挿入されていない場合、表示します。
11. **📄 ショットマークインジケータ**
サムネールにショットマークが付加されたクリップに表示します。
→「ショットマーク」(124 ページ) 参照
12. **📄 プロキシ付きクリップインジケータ**
プロキシが付加記録されているクリップに表示します。
13. **📄 テキストメモインジケータ**
テキストメモデータがあるクリップに表示します。
14. **📄 エディットコピークリップインジケータ**
AJ-HPM200など、エディットコピー対応機種でエディットコピーを行ったクリップに表示します。エディットコピーについて、詳しくはエディットコピー対応機種取扱説明書を参照してください。
15. **📄 ワイドインジケータ**
16：9の画角で記録されたクリップに表示します。ただしHDのフォーマットのクリップでは表示しません。
16. **サムネールスクロールバー**
現在表示しているサムネールがサムネール全体のどの辺りかを示します。

サムネールの選択

サムネール画面では、複数のサムネールを任意に選択できます。

1 ポインター（黄色い枠）をカーソルボタンで動かして、選択したいクリップに合わせ、SETボタンを押す

選択されたクリップのサムネールには青色の枠を表示します。再度SETボタンを押すと、選択は解除されます。

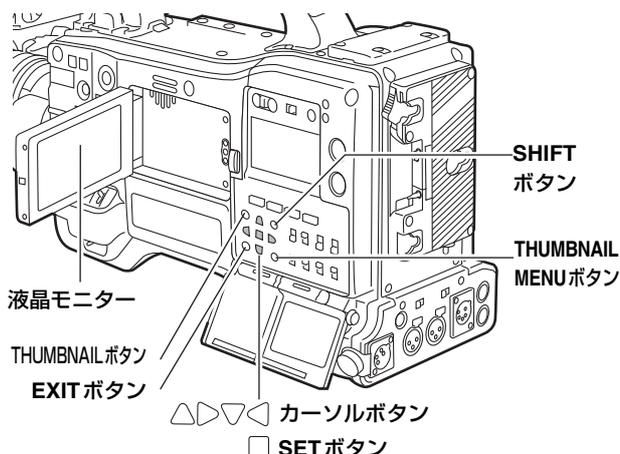
2 さらに選択したいクリップがある場合は、1の操作を繰り返す

選択したクリップのみをサムネール画面に表示し、再生することが可能です。

→「サムネール表示の切り替え」(123 ページ) 参照

◆NOTE:

- SHIFT ボタンを押しながらカーソルボタンの上下(△/▽)を押すと、ポインターを先頭クリップ/最終クリップへ移動できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにポインターを移動し、SHIFT ボタンを押しながらSET ボタンを押すと、直前に選択したクリップからポインター位置までのクリップをまとめて選択できます。
- SHIFT ボタンを押しながらEXIT ボタンを押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。



クリップの再生

1 THUMB NAIL ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 ポインターをカーソルボタンで動かして、再生したいクリップに合わせる

3 PLAY/PAUSE ボタンを押す

- ポインターが合わされたクリップが、液晶モニター上で再生されます。
- カーソルが合わされたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップがサムネール画面に表示されている順に再生され、最後のクリップの再生が終わった時点でサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

- クリップを再生する際は、クリップを選択する(サムネールに青色の枠を表示した状態にする) 必要はありません。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。

- クリップの再生中に、REW ボタンを押すと4倍速逆再生、FF ボタンを押すと4倍速再生を行います。通常の再生に戻すにはPLAY/PAUSE ボタンを押します。
- クリップの再生中に、PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生を一時停止します。再生の一時停止中、REW ボタンを押すと、そのクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。さらにREW ボタンを押すと、一つ前のクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。再生の一時停止中、FF ボタンを押すと一つ後のクリップの先頭で、再生を一時停止した状態になります。
- クリップの再生中にSTOP ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

- 再生を停止時、ポインターは再生開始時の位置にかかわらず、再生していたクリップの位置に移動します。
- 再度PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ポインターが合わされたクリップの先頭から再生を開始します。直前の停止位置から続けて再生したい場合は、「サムネールの表示設定」(133 ページ)のPLAYBACK RESUME 設定をON にしてください。

サムネール表示の切り替え

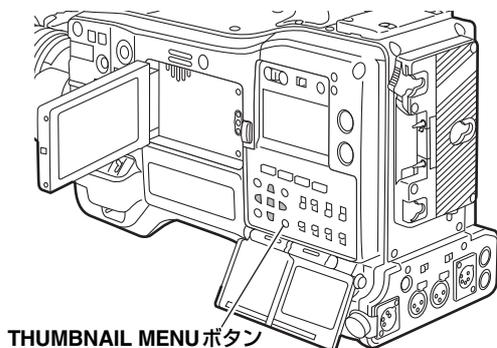
サムネール画面に表示するクリップを、特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることができます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 THUMBNAIL MENU ボタンを押す

サムネールメニューが開きます。



THUMBNAIL MENU ボタン

3 サムネールメニューより THUMBNAIL を選択する

それぞれの項目を選択して、サムネール表示を切り替えることができます。



ALL CLIP:

すべてのクリップを表示します。

SAME FORMAT CLIPS:

同じシステムフォーマットのクリップを表示します。

SELECTED CLIPS:

任意に選択したクリップを表示します。サムネールの並び順は、選択した順番となります。

MARKED CLIPS:

ショットマークが付加されたクリップを表示します。

TEXT MEMO CLIPS:

テキストメモデータがあるクリップを表示します。

SLOT CLIPS:

特定のスロットに挿入されたP2カードに記録されたクリップを表示します。この項目を選択すると、さらにサブメニューとしてSLOT1からSLOT2を表示しますので、表示したいスロットを選択します。

SETUP:

この項目については「サムネールの表示設定」(133ページ)を参照してください。

EXIT:

サブメニューを閉じます。

サムネールの変更

サムネールの映像を、あらかじめ記録中や再生中にテキストメモをつけたポイントの映像に置き換えることができます。

- 1 変更したい映像にテキストメモを付加する
テキストメモを付加する方法については「テキストメモ機能」(46 ページ)をご覧ください。
- 2 サムネールメニュー THUMBNAIL→TEXT MEMO CLIPS を選択し、テキストメモの付いたクリップのサムネール表示にする
- 3 サムネールを変更したいクリップにポインターを合わせて SET ボタンを押し、ポインターを下段のテキストメモ表示に移動させる
- 4 置き換えたいサムネールをテキストメモの中から選び、ポインターを合わせてサムネールメニューの OPERATION→EXCH. THUMBNAIL を選択する



- 5 SET ボタンを押すと、YES/NO 確認画面が表示されるので、カーソルボタンと SET ボタンで YES を選択する
メニューが閉じて、クリップのサムネールが置き換わります。



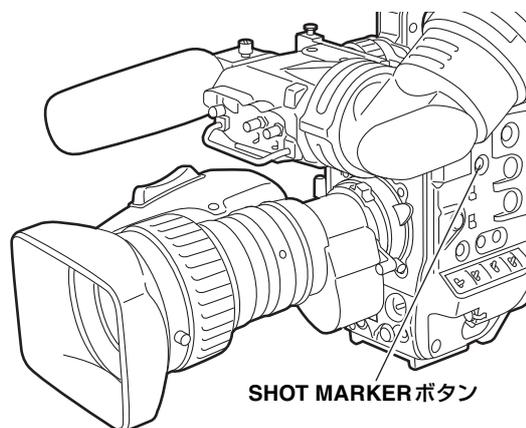
◆ NOTE:

サムネールメニュー PROPERTY→CLIP PROPERTY でクリッププロパティを表示させ、THUMBNAIL 項目でサムネールの位置(クリップ先頭からのフレーム数)を確認することができます。通常のサムネールはクリップの先頭ですので、0が表示されます。

ショットマーク

本機は、他のクリップと区別するために、クリップのサムネールにショットマークを付加することができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、ショットマークを付加したいクリップに合わせる
- 3 SHOT MARKER ボタンまたはショットマーク機能を割り当てたボタン(レンズの RET ボタン)を押す
 - ポインターが合わされたクリップのサムネールに、ショットマークが付加されます。
 - ショットマークを削除するには、もう一度ポインターを合わせて SHOT MARKER ボタンまたはショットマーク機能を割り当てたボタン(レンズの RET ボタン)を押します。



◆ NOTE:

- ショットマークは記録中にも付加することができます。
- 記録停止後にショットマークを付加すると、直前に記録したクリップにショットマークをつけることができます。
→「ショットマーク機能」(47 ページ) 参照
- 複数の P2 カードにまたがるクリップに、ショットマークを付加/削除する場合、そのクリップが記録されたすべての P2 カードを挿入した状態で行ってください。

テキストメモ

記録/再生中にテキストメモを付加することができます。またテキストメモを使うことにより、クリップ途中からの再生やクリップの分割コピーが可能になります。

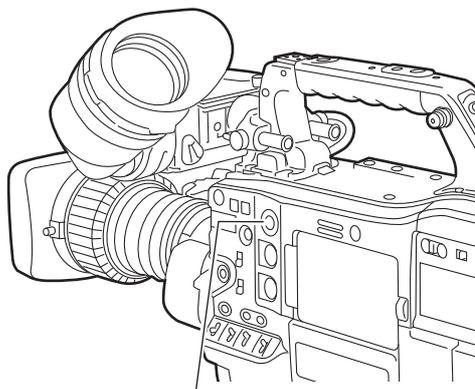
テキストメモを付加する

テキストメモを付加するには、以下の二つの方法があります。

- 記録/再生中にTEXT MEMOボタン、またはテキストメモ機能を割り当てたボタン（レンズのRETボタン）を押します。
ボタンを押したときの位置にテキストメモを付加します。
- サムネール画面を表示中にTEXT MEMOボタンまたはテキストメモ機能を割り当てたボタン（レンズのRETボタン）を押すと、クリップの先頭にテキストメモを付加します。

◆ NOTE:

テキストメモは1つのクリップにつき、ボイスメモと合わせて100個まで記録できます。ただし、本機ではボイスメモを記録・再生できません。



TEXT MEMO ボタン

テキストメモ位置からの再生

- 1 THUMBNAIL ボタンを押す
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネールメニューよりTHUMBNAIL →TEXT MEMO CLIPSを選択する

液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールを表示します。液晶モニター下段には、ポインターで選択されているクリップのテキストメモに関する情報を表示します。



サムネール表示部

テキストメモが関連付けられた静止画像を表示

テキストメモクリップの選択数（青色）と総数（白色）

- 3 ポインターを、再生したいテキストメモのあるクリップに合わせ、SET ボタンを押す
ポインターが液晶モニター下段に移ります。



ポインターが移動します

4 ポインターが下段にある状態のまま、カーソルボタンの左右 (</>) で、ポインターを再生したいテキストメモ番号に合わせ、PLAY/PAUSE ボタンを押す

- ポインターが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。
再生中にSTOP ボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了すると、サムネイル画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネイルにポインターは戻ります。
- SHIFT ボタンを押しながらカーソルボタンの上下 (Δ/▽) を押すと、ポインターは、テキストメモの先頭/最終へ移動できます。
- THUMBNAIL MENU ボタンを押し、EXIT を選択するか、EXIT ボタンを押すと、ポインターがサムネイル画面の上段に戻ります。

◆ NOTE:

- テキストメモの画面を表示中にREC ボタンを押しても撮影を開始することはできません。
- 再生できないAVC-Intraフォーマットのクリップの場合、テキストメモサムネイルは表示されず、 のマークアイコンになる場合があります。

テキストメモの削除

1 「テキストメモ位置からの再生」(125 ページ)の1~3の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択する

2 削除したいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押す

3 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、メニューよりOPERATION → DELETE と選択する

本当に削除するか、YES/NOで確認してきますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択すると、テキストメモが消去されます。

テキストメモによるクリップ分割コピー

1 「テキストメモ位置からの再生」(125 ページ)の1~3の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択する

2 コピーしたいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押す

テキストメモは複数選択できます。

3 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、OPERATION → COPY と選択する

4 カーソルボタンとSET ボタンでコピー先のスロットを選択し、YESを選択する

- コピーを実行します。
- 選択したテキストメモと、その次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後にテキストメモがない場合は、クリップの終端までをコピーします。
- 複数選択している場合は、それぞれ選択している区間のコピーを行います。
- コピー中は、コピーの進捗状況とキャンセルの表示を行います。コピーを途中で中断する場合は、SET ボタンを押します。YES/NO の確認画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。

◆ NOTE:

テキストメモによるクリップ分割、コピーは、クリップの記録方式に応じてコピー区間が自動的に補正され、コピーされることがあります。

クリップの削除

- 1 **THUMBNAIL ボタンを押す**
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、削除したいクリップに合わせ、**SET ボタン**を押して、クリップを選択する
- 3 **THUMBNAIL MENU ボタン**を押し、サムネールメニューから**OPERATION**→**DELETE**と選択する
- 4 下の画面が表示されるので、カーソルボタンと**SET ボタン**で**YES**を選択する



クリップが削除されます。このとき選択された（青色の枠で囲まれた）クリップはすべて削除されます。

◆ NOTE:

途中で削除を中止するには、**SHIFT+EXIT**または**SET**ボタンを押してキャンセルしてください。途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

クリップの修復

記録中、急に電源が切れる、またはアクセス中のP2カードを取り出したなどの原因で発生した、不具合のあるクリップを修復します。

◆ NOTE:

修復が可能なのは、黄色い不良クリップインジケーターがついたクリップのみです。赤い不良クリップインジケーターがついたクリップは削除してください。削除できない場合はP2カードをフォーマットしてください。ただし修復中に、不良クリップインジケーターが黄色から赤色になり、修復ができない場合があります。

- 1 **THUMBNAIL ボタンを押す**
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、修復したいクリップ(不具合のあるクリップには不良クリップマークが表示されています)に合わせ、**SET ボタン**を押して、クリップを選択する
- 3 **THUMBNAIL MENU ボタン**を押し、サムネールメニューから**OPERATION**→**REPAIR CLIP**と選択する
本当に修復を行うか確認してきますので、カーソルボタンと**SET**ボタンで**YES**を選択すると、クリップが修復されます。

不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップ（連結したクリップ）がカードごとに別々にコピーされるなどで、それぞれが不完全クリップになることがあります。このとき連結機能を使って、1つのクリップ（元の連結したクリップ）にすることができます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 カーソルボタンとSETボタンで、連結する不完全クリップを選択する

通常、不完全クリップ（表示のついたクリップ）のサムネールは並んで表示されています。

3 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→COPYと選択する

本当に連結を行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、不完全クリップが連結されます。

◆NOTE:

一部のクリップだけ連結しても、元の連結したクリップを構成するすべてのクリップがそろわない場合は、不完全クリップを示す表示がついたままになります。

クリップのコピー

クリップを選択し、任意のスロットのP2カードやSDメモリーカードにコピーすることができます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

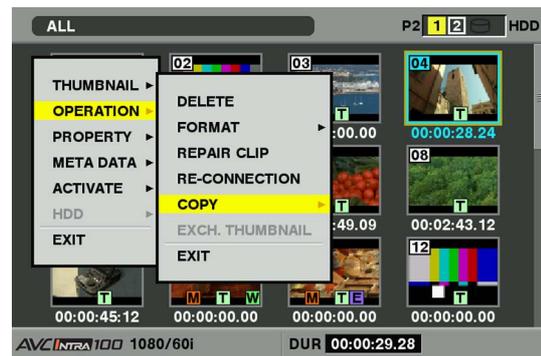
2 ポインターをカーソルボタンで動かして、コピーしたいクリップに合わせて、SETボタンを押してクリップを選択する

◆NOTE:

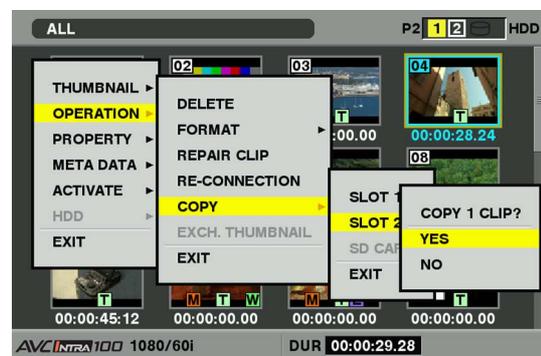
ワンクリップレックで前のクリップに連結して記録可能な状態のとき（「1*CLIP」と表示されているとき）は、クリップのコピー操作はできません。一度メニューを閉じた後、STOPボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結を終了させてから、再度操作してください。

3 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→COPYと選択する

- コピー先としてスロット1、2、またはSDメモリーカードを選択します。



- 本当にコピーを行うか確認してきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、クリップがコピーされます。



◆NOTE:

- P2カードの故障の原因になりますので、コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差しをしたりしないでください。誤って上記のような動作を行った場合、不良クリップができますので、削除してから、再度コピーを行ってください。
- P2カードへのコピーは、クリップの情報がすべてコピーされますが、SDメモリーカード*へのコピーは映像・音声情報はコピーされず、サムネール、クリップメタデータ、アイコン、ボイスメモ、プロキシ、リアルタイムメタデータのみのコピーとなります。
- コピー先の記憶容量が不足している場合、“LACK OF REC CAPACITY!”と表示され、コピーは行われません。コピーするクリップに不良クリップが含まれている場合は“CANNOT ACCESS!”と表示され、コピーは行われません。また選択したクリップの中に、コピー先のP2カードと同一のカードに記録されたものが含まれる場合もコピーは行われません。
- 途中でコピーを中止する場合は、SHIFTボタン+EXITボタンまたはSETボタンを押してください。コピー先でコピー中だったクリップは削除されます。
- コピー先に同一のクリップが存在するときは“OVERWRITE?”と表示されます。重ね書きを行う場合はYESを、行わない場合はNOを選択してください。

* 使用するSDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>（23ページ）を参照してください。

クリップメタデータの設定

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報をSDメモリーカードから読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。

クリップメタデータの読み込み (メタデータアップロード)

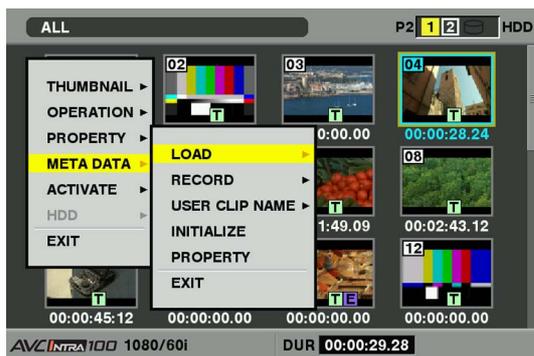
1 クリップメタデータを記述したファイル(メタデータアップロードファイル)が入ったSDメモリーカードを本機に挿入する

2 THUMBNAIL ボタンを押す
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。

◆ NOTE:

サムネイル画面を表示している状態で、MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCEL スイッチを手前に引きながら THUMBNAIL MENU ボタンを押すと手順 4へ移ります。

3 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネイルメニューから META DATA → LOAD と選択し、SET ボタンを押す



4 SDメモリーカードにあるメタデータアップロードファイルのメタデータ名を表示する
カーソルボタンで読み込むファイルを選択して YES を選択する

- 読み込みが開始されます。
- 読み込んだメタデータは電源を OFF にしても保持されます。
- 読み込んだデータの確認は「読み込んだメタデータの確認および修正」(130 ページ)を参照してください。

◆ NOTE:

- メタデータ名表示中にカーソルボタン(▷)を押すと、ファイル名の表示に切り替えることができます。カーソルボタン(◀)を押すとメタデータ名の表示へ戻ります。
- 日本語設定の場合でも、ファイルの一覧表示のメタデータ名に ASCII 表示文字以外は表示されず、「*」で表示されます。ただしカーソルをファイルに合わせると、右側に日本語で表示されます。

クリップメタデータ項目

クリップメタデータには下記の項目があります。下線の入った項目は、SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は、撮影時に自動的に設定されます。メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピュータ上で P2 ビューアー最新アップデート版を使用することで、SDメモリーカードに書き込むことができます。P2 ビューアー最新アップデート版は、下記ウェブサイトのサポートデスクからパーソナルコンピュータにインストールしてください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

また、使用する SDメモリーカードについては <SDメモリーカード使用上の注意> (23 ページ) を参照してください。

◆ NOTE:

P2 ビューアー以外で編集したファイルは、「UNKNOWN DATA!」と表示され、読み込めない場合があります。

GLOBAL CLIP ID:

クリップの撮影状態を示すグローバルクリップ ID を表示します。

USER CLIP NAME:

ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。*1

VIDEO: [FRAME RATE (フレームレート)] (クリップのフレームレート)、[PULL DOWN (プルダウン)] (プルダウン方式)、[ASPECT RATIO (アスペクト比)] (アスペクト比) を表示します。

AUDIO: [SAMPLING RATE (サンプリングレート)] (記録音声のサンプリング周波数)、[BITS PER SAMPLE (ビットレート)] (記録音声の量子化ビット数) を表示します。

ACCESS: [CREATOR (作成者)] (クリップの収録者名)、[CREATION DATE (作成日)] (クリップの収録日)、[LAST UPDATE DATE (最終更新日)] (クリップの最終更新日)、[LAST UPDATE PERSON (最終更新者)] (クリップの最終更新者) を表示します。

DEVICE: [MANUFACTURER (機材メーカー名)] (収録した機材のメーカー名)、[SERIAL NO. (シリアル番号)] (収録した機材のシリアルナンバー)、[MODEL NAME (モデル名)] (収録した機材のモデル名) を表示します。

SHOOT: [SHOOTER (撮影者)] (撮影者名)、[START DATE (撮影開始日)] (撮影開始日)、[END DATE (撮影終了日)] (撮影終了日)、[LOCATION (撮影地情報)] ALTITUDE (高度) / LONGITUDE (経度) / LATITUDE (緯度) / SOURCE/PLACE NAME (撮影地) (撮影地の高度/経度/緯度/それらを得た情報源/場所の名前) を表示します。

SCENARIO:

[PROGRAM NAME (プログラム名)] (番組名)、[SCENE NO. (シーン番号)] (シーンナンバー)、[TAKE NO. (テイク番号)] (テイクナンバー) を表示します。

NEWS: [REPORTER (リポーター)] (リポーター名)、[PURPOSE (取材目的)] (取材目的)、[OBJECT (取材対象)] (取材対象) を表示します。

MEMO²: [NO.] (テキストメモの番号)、[OFFSET (記録位置)] (テキストメモが附加されるクリップ先頭からのフレーム位置)、[PERSON (メモ入力者)] (クリップに附加されたテキストメモの記録者)、[TEXT (テキスト情報)] (テキストメモの内容) を表示します。

THUMBNAIL:

サムネールの元となる画像のフレーム位置 (フレームオフセット) や、サイズ (高さ、幅) を表示します。

- *1 USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは「USER CLIP NAME の記録方法の選択」(131 ページ) を参照してください。
- *2 MEMO を入力するときは TEXT を必ず入力してください。PERSON (メモ入力者)、OFFSET (記録位置) のみの記録はできません。

読み込んだメタデータの確認および修正

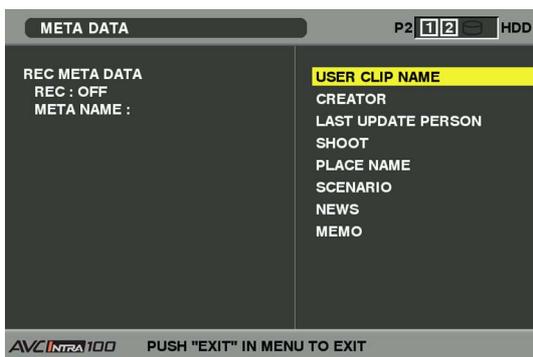
SDメモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

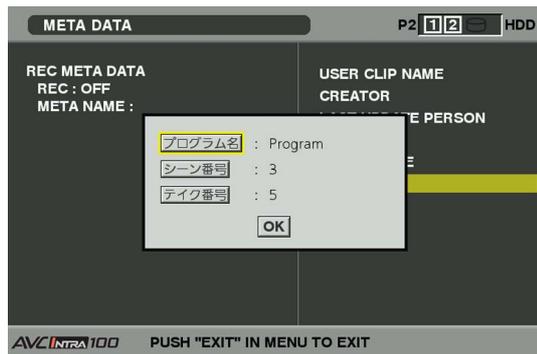
2 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネールメニューから META DATA → PROPERTY と選択する

下記の画面が表示されます。



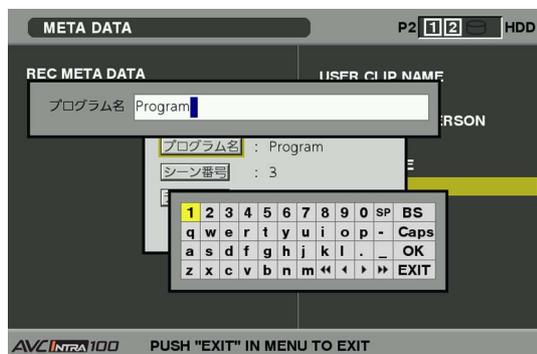
3 カーソルボタンでポインターを動かし、確認したい項目に合わせて SET ボタンを押す

読み込んだメタデータの各設定内容を確認できます。



4 またメタデータの各設定内容を確認中に、カーソルボタンでポインターを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせて SET ボタンを押す

- ソフトウェアキーボード画面が表示され、設定内容を変更することができます。



- SHIFT ボタンを押しながらカーソルボタンの上下 (Δ/▽) を押すと、変更する設定内容の先頭 / 最終へ移動できます。

読み込んだメタデータの記録する/しないを設定

サムネールメニューから META DATA → RECORD 項目で ON/OFF を設定します。工場出荷時は OFF に設定されています。

USER CLIP NAMEの記録方法の選択

サムネールメニューからMETA DATA→USER CLIP NAME項目で、USER CLIP NAMEの記録方法を、TYPE1とTYPE2の二通りから選択することができます。

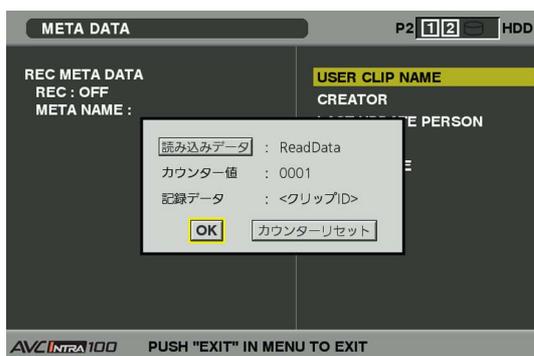
● TYPE1（工場出荷時の設定）

	記録されるUSER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	GLOBAL CLIP IDと同じ (UMIDデータ)

● TYPE2

	記録されるUSER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ + COUNT値*
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	CLIP NAMEと同じ

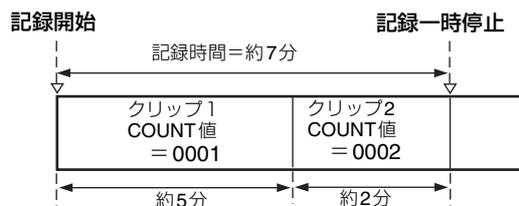
* COUNT値は、4桁の数字で表示されます。
COUNT値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法をTYPE2に設定した状態のとき、撮影を行って新しいクリップを生成するごとに、1ずつ増えます。またCOUNT値は、以下の方法でリセットできます。サムネールメニューからMETA DATA→PROPERTYと選択し、さらにUSER CLIP NAME項目を選択すると、下記の画面が表示されます。「カウンタリセット (COUNT RESET)」にカーソルを合わせ、SETボタンを押すと、COUNT値が1にリセットされます。



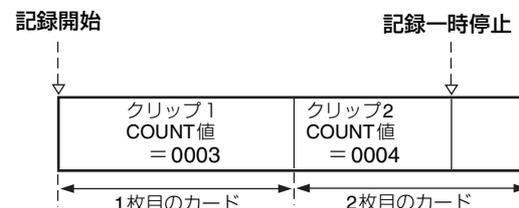
◆ NOTE:

本機で8 GB以上のP2カードを使用し、1回の連続記録時間が一定時間 (DVCPRO HD、およびAVC-Intra 100時:約5分/DVCPRO50、およびAVC-Intra 50時:約10分/DVCPROまたはDV時:約20分) を超える場合、また1回の記録が複数のP2カードにまたがって行われた場合、自動的に別のクリップとして記録されます。このとき、COUNT値はそれぞれのクリップにつけられます。

P2カード1枚での記録 (DVCPRO HD) の例



P2カード2枚にまたがって記録する例



なお、P2機器で上記例のようなクリップのサムネール表示、およびプロパティ表示を行った場合、クリップ1のサムネールおよびCOUNT値を表示します。

読み込んだメタデータのクリア

サムネールメニューからMETA DATA→INITIALIZEと選択し、SETボタンを押します。確認画面が表示されますのでYESを選択します。

メタデータの表示言語設定

メタデータを表示する時の表示言語を設定することができます。サムネールメニューからMETA DATA→LANGUAGEと選択し、表示言語を選択してからSETボタンを押します。言語は

ENGLISH: 英語
JAPANESE: 日本語

から選択します。

◆ NOTE:

- 表示言語の設定は使用地域が「NTSC (J)」に設定されているときのみ可能です。詳しくは「ご使用地域への設定 (フレーム周波数等の設定) (15 ページ) を参照してください。
- 日本語や中国語を英語で表示した場合や、英語の非表示文字などがある場合は正しく表示されず、「*」で表示します。
- 本機で入力できる文字は英数字のみです。日本語、中国語は入力できません。

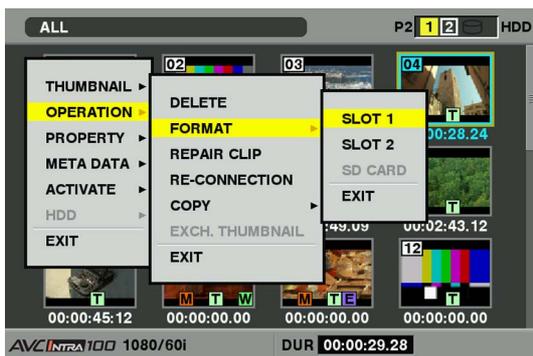
P2 カードのフォーマット

1 THUMBNAIL ボタンを押す

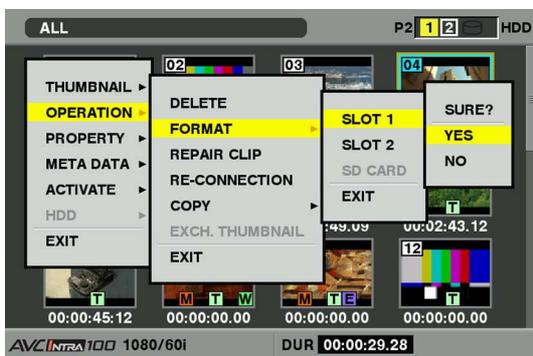
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。

2 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネイルメニューから OPERATION → FORMAT と選択する

- 下記の画面が表示されますので、フォーマットしたい P2 カードが挿入されたスロット番号を選び、SET ボタンを押します。
- フォーマットしない場合は EXIT を選択してください。



3 下記の画面が表示されるので、カーソルボタンとSET ボタンで YES を選択する



選択した P2 カードがフォーマットされます。

◆ NOTE:

フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

SD メモリーカードのフォーマット

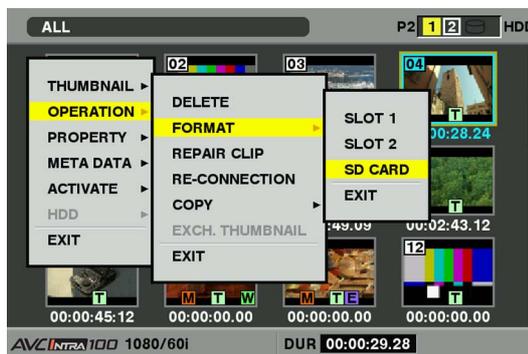
サムネイル画面から、SD メモリーカードをフォーマットすることもできます。本機に SD メモリーカードを挿入した状態で、以下の作業を行ってください。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

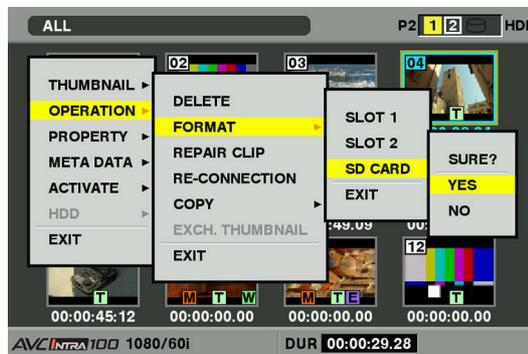
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。

2 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネイルメニューから OPERATION → FORMAT と選択する

- 下記の画面が表示されますので、「SD CARD」を選び、SET ボタンを押します。
- フォーマットしない場合は「EXIT」を選択してください。



3 下記の画面が表示されるので、カーソルボタンとSET ボタンで YES を選択する



SD メモリーカードがフォーマットされます。

◆ NOTE:

- SD メモリーカードは、メニュー画面からフォーマットすることもできます。
→ 「SD メモリーカードをフォーマットするには」(93 ページ) 参照
- フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

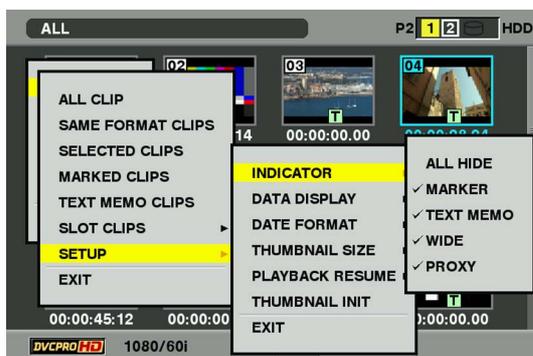
サムネールの表示設定

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズすることができます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネールメニューから THUMBNAIL → SETUP と選択する 下記の画面が表示されます。



INDICATOR:

サムネール上に表示される各種インジケータの表示/非表示状態を選択します。

• ALL HIDE:

ON : すべてのインジケータ (MARKER、TEXT MEMO、WIDE、PROXY) を非表示にします。

OFF : 以下のメニューにしたがって表示/非表示が設定されます。工場出荷時はこちらに設定されています。

• MARKER:

ショットマークインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

• TEXT MEMO:

テキストメモインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

• WIDE:

ワイドインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

• PROXY:

プロキシインジケータの表示・非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

DATA DISPLAY:

クリップの時間表示の部分、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時刻 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日および時刻 (DATE TIME) / クリップ名 (CLIP NAME) / ユーザークリップ名 (USER CLIP NAME) のいずれかから選択できます。工場出荷時はタイムコードに設定されています。

DATE FORMAT:

記録日時の表示順を、年月日 (Y-M-D) / 月日年 (M-D-Y) / 日月年 (D-M-Y) のいずれかから選択できます。工場出荷時は年月日に設定されています。この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、および DATA DISPLAY で DATE を選択したときに表示される記録日時に反映します。

THUMBNAIL SIZE:

1画面に表示されるサムネールを、LARGE (サムネールを3×2で表示) / NORMAL (サムネールを4×3で表示) のいずれかから選択できます。工場出荷時は NORMAL に設定されています。

PLAYBACK RESUME:

サムネール画面からの再生を STOP ボタンで停止させた後、再度再生を開始したときの再生位置を選択します。

ON : 停止位置から再生します。

OFF : ポインターが合わされたクリップの先頭から再生します。

なお、停止後にポインターを移動させると、この項目の設定にかかわらずポインターが合わされたクリップの先頭から再生します。また、すべての再生できるクリップの最後の位置で再び再生を行おうとすると、画面が一瞬フラッシュして再生できるクリップがないことを知らせます。

THUMBNAIL INIT:

上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態にします。カーソルをこの項目にあわせ、SET ボタンを押します。確認画面が表示されますので YES を選択します。

EXIT:

1つ前のメニューに戻ります。

プロパティ

クリップのプロパティ、P2カードの状態を表示します。またクリップのプロパティを表示中に、記録されたクリップメタデータを編集し、書き換えることができます。

クリップのプロパティ

サムネイルメニューからPROPERTY→CLIP PROPERTYを選択します。下記の画面が表示されます



1. クリップ番号
2. サムネイル
3. クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータ、付加されているテキストメモやボイスメモの数を表示します。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかけられているとき、マークが表示されます。

◆NOTE:

本機ではボイスメモの記録/再生は行えません。

4. クリップ情報

クリップに関するさまざまな情報を表示します。

CLIP NAME:

クリップ名を表示します。

START TC:

記録開始時のタイムコードの値を表示します。

START UB:

記録開始時のユーザーズビットの値を表示します。

DATE:

記録した日付を表示します。

TIME:

記録開始時の時刻を表示します。

DURATION:

クリップの長さを表示します。

V_FORMAT:

クリップの記録フォーマットを表示します。

FRAME RATE:

再生フレームレートを表示します。

REC RATE:

記録フレームレートを表示します。(VFR機能を使ってNative記録したクリップにのみ表示します)

5. クリップメタデータ

クリップに関する、より詳しいデータを表示します。ポインターをカーソルボタンで動かし、SETボタンを押して詳しい内容を確認できます。

→「クリップメタデータの設定」(129ページ) 参照

記録されたクリップメタデータの修正

- 1 クリップのプロパティ画面で、修正したいクリップメタデータの詳細画面を表示する

- 2 修正したい項目にカーソルボタンでカーソルを合わせる

変更可能なメタデータ項目は、下図の「CREATOR (作成者)」などのように表示しています。



- 3 SETボタンを押す

- メタデータ修正の入力画面(ソフトキーボード)が表示されます。
- キーボードから文字を入力し、メタデータを修正します。



キーボードの操作については、「読み込んだメタデータの確認および修正」(130ページ)と同様です。

- 4 キーボードの「OK」ボタンを押す

修正されたメタデータがクリップに書き込まれ、メタデータの詳細画面に戻ります。

◆ NOTE:

- SHOOTのLOCATION（撮影地情報）の各項目を削除する場合、単独では削除できません。ALTIITUDE（高度）項目を空白に設定することで、他のLONGITUDE（緯度）/LATITUDE（経度）項目も一括して削除されます。
- ！ 不完全クリップインジケータが付いたクリップは、メタデータを修正できません。複数枚のP2カードにまたがったクリップは、全てのP2カードが挿入された状態でメタデータの修正を行ってください。
- MEMO項目は101文字以上付加されている場合、修正できません。

P2カードの状態表示

■ P2カードの状態表示設定

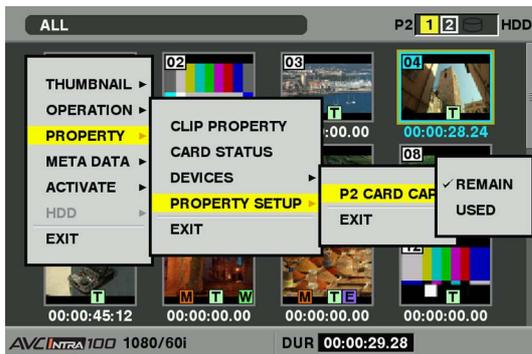
サムネールメニューからPROPERTY→CARD STATUSと選択することで表示するP2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示するか使用容量で表示するか選択できます。

1 THUMBNAIL ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

2 サムネールメニューよりPROPERTY→PROPERTY SETUP→P2 CARD CAPと選択する

下記の画面が表示されますので、P2 CARD CAP項目より、P2カードの状態表示の設定を選択します。



REMAIN:

P2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示します。（工場出荷時はこちらに設定されています）

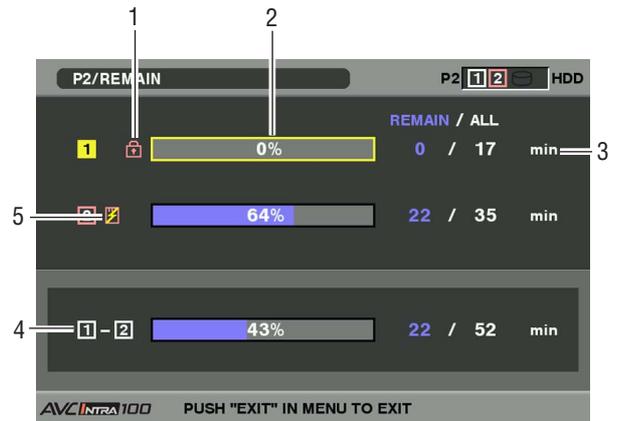
USED:

P2カードの状態表示を、P2カードの使用容量で表示します。

■ P2カードの状態表示設定内容

サムネールメニューからPROPERTY→CARD STATUSと選択します。下記のような画面が表示されます。

REMAINを選択した場合:



1. 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2. P2カード状態（記憶残量）

P2カードの記憶残量を、メーターとパーセントで表示します。記憶残量が減るとともに、メーターが左に減っていきます。

またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR:

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED:

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザーIDなどの固有情報を確認できます。

3. P2カード残量/総容量

P2カードの記憶残量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記憶残量の合計と総容量が一致しないことがあります。

4. スロット記憶残量合計

2つのスロットの記憶残量を総合計した数値を表示します。ただし、ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5. 警告カードマーク

P2カードが以下である場合にマークを表示します。

RUN DOWN CARD:

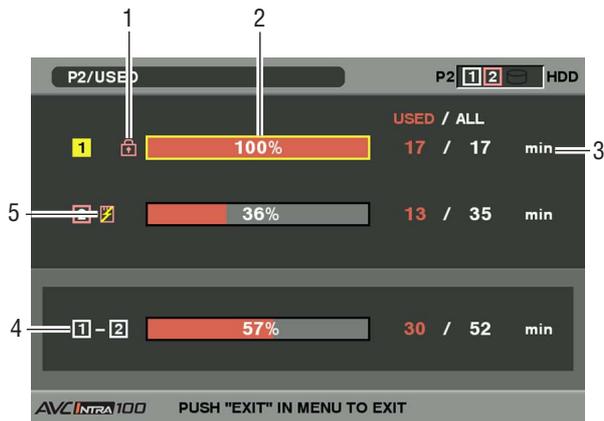
P2カードの規定の書き換え回数を超えています。

DIR ENTRY NG CARD:

P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。

警告内容は「2.P2カード状態（記憶残量）」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

USEDを選択した場合:



1. 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2. P2カード状態（使用容量）

P2カードの使用容量を、メーターとパーセントで表示します。使用容量が増えるとともに、メーターが右に増えていきます。

またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR:

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED:

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザーIDなどの固有情報を確認できます。

3. P2カード使用容量/総容量

P2カードの使用容量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの使用容量の合計と総容量が一致しないことがあります。また、ライトプロテクトがかかっているP2カードの使用容量は、100%使用したものと表示します。

4. スロット使用容量合計

2つのスロットの使用容量を総合計した数値を表示します。

5. 警告カードマーク

P2カードが以下である場合に  マークを表示します。

RUN DOWN CARD:

P2カードの規定の書き換え回数を超えています。

DIR ENTRY NG CARD:

P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。

警告内容は「2.P2カード状態（使用容量）」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

SDメモリーカードの状態表示

SDメモリーカードのフォーマットの状態や、空き容量などを確認できます。

サムネイルメニューからPROPERTY→DEVICES→SD CARDを選択します。

SD STANDARD:

SDメモリーカードがSD/SDHC準拠でフォーマットしているか表示します。

SUPPORTED：SD/SDHC準拠

NOT SUPPORTED：SD/SDHC非準拠

USED: 使用済み容量 [バイト]

BLANK: 空き容量 [バイト]

TOTAL: 全容量 [バイト]

NUMBER OF CLIP:

SDメモリーカードへクリップコピーを行ったときに、SDメモリーカードに入っているクリップ数

PROTECT:

書き込み禁止状態

外部機器との接続

USB2.0端子での接続機能

USB デバイスモードでのパーソナルコンピュータとの接続について

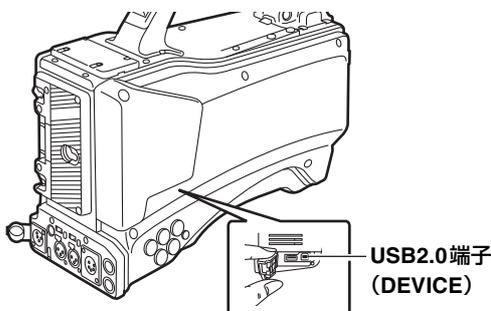
外部パーソナルコンピュータなどとUSB2.0で接続することにより、本機に接続されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。

パーソナルコンピュータとの接続手順

1 USB2.0端子にUSB2.0ケーブルを接続する

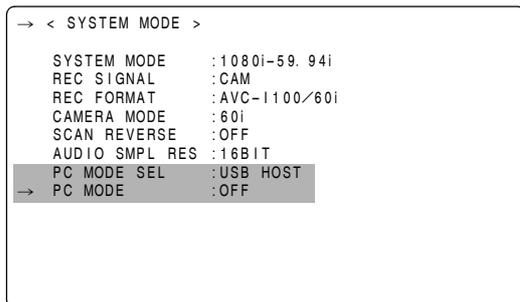
◆NOTE:

- 本機にUSB2.0ケーブルは同梱されていません。市販のUSB2.0対応ケーブル(シールド付き)をご用意ください。
- USB2.0ケーブルの長さは5メートルまで対応していますが、なるべく3メートル以内のケーブルを使用することをお勧めします。



2 メニュー操作でSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面を開く

PC MODE SELECT項目を“USB DEV.”に設定し、次にPC MODE項目を“ON”に設定します。



◆NOTE:

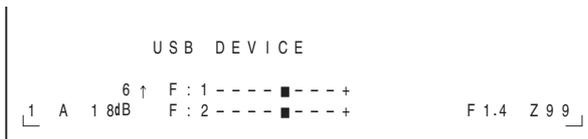
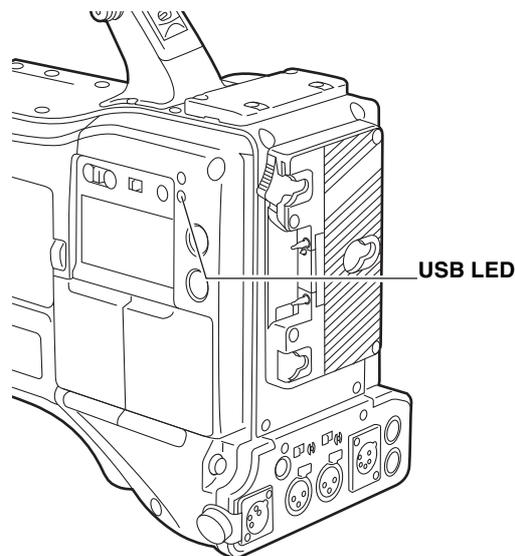
USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW/SHOT MARK (USER3)/TEXT MEMO (USER4)項目で、USB項目をそれぞれのUSERボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択します。

USB接続を初めて行うときには、本機付属のCD-ROMからP2ソフトウェアをパーソナルコンピュータにインストールしてください。USBドライバーは「AJ-HPX3100」を選択してください。USBドライバーはWindowsのみ対応しています。詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

◆NOTE:

- パーソナルコンピュータにはUSB専用ドライバーをインストールしている必要があります。
- 本機は、USB2.0にのみ対応しています。USB2.0対応のパーソナルコンピュータを使用してください。
- パーソナルコンピュータとUSB接続する場合は本機1台のみにしてください。
- USBを接続してご使用の際には、P2カードを抜かないでください。
- USB接続中はP2カードアクセスLEDは、アクセス中以外は消灯します。
- USBデバイスで動作中は、記録・再生動作やクリップのサムネール操作はできません。

USB接続状態中は、サイドパネルのUSB LEDが点灯します。また、ビューファインダー内のシステム情報/警告エリアに「USB DEVICE」と表示されます。なお、正常に接続できていない場合はこれらの表示は両方とも点滅になります。



3 USBモードを終了する

下記のいずれかの方法で終了してください。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにします。
- メニュー操作でPC MODE項目を“OFF”に設定します。
- PCモードを割り当てたUSERボタンを押す。

USB ホストモード

USB2.0対応のハードディスクドライブ（HDD）1台と接続して、カードデータの保存（EXPORT: 141 ページの「ハードディスクドライブへの書き込み」を参照）や、保存したクリップのサムネール閲覧（EXPLORE: 138 ページの「ハードディスクドライブ情報の表示」を参照）、P2カードへの書き戻し（IMPORT: 141 ページの「P2カードへの書き戻し方」を参照）を行うことができます。

USB ホストモードへの切り替え方

- 1 メニュー操作でSYSTEM SETTING ページ、<SYSTEM MODE>画面のPC MODE SELECT 項目を“USB HOST”に設定し、次にPC MODE項目を“ON”にする
 - USB HOST モードになります。
 - USB HOST モード中はビューファインダーに「USB HOST」と表示され、サイドパネルの USB LED が点灯します。ハードディスクドライブが正常に接続されていない場合は、どちらの表示も点滅します。
 - なお USER ボタンに PC MODE ON/OFF 機能を割り付けている場合、USER ボタンを押すことで USB HOST モードと通常モードの切替が可能です。
→「USER ボタンへの機能割り付け」（56 ページ）参照

- 2 THUMBNAIL ボタンを押す
 - サムネール画面に移行します。右下に「USB HOST」表示が出ていることを確認してください。
 - ハードディスクドライブが接続されている場合には右上の HDD マークが点灯します。ただし赤く点灯している場合は使用可能な状態ではないハードディスクドライブを示します。ハードディスクドライブの種類を確認してください。



◆ NOTE:

- USB HOSTモードでは、P2カードの再生はできませんが、カメラ映像や外部入力の記録はできません。またハードディスクに書き込まれたクリップは、P2カードに書き戻さなければ再生できません。
→「P2カードへの書き戻し方」（141 ページ）参照
- USB HOSTモードから通常モードに戻るには、サムネール画面を閉じた状態で、PC MODE項目をOFFにするか、PC MODE ON/OFF機能を割り付けたUSERボタンを押します。

USB ホストモードの使い方

使用できるハードディスクドライブ

- USB2.0で接続できるハードディスクドライブ
- 弊社製USB I/Fを持つストレージユニット
対応するユニットについては、下記のウェブサイトのサポートサイトを参照してください。
(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

◆ NOTE:

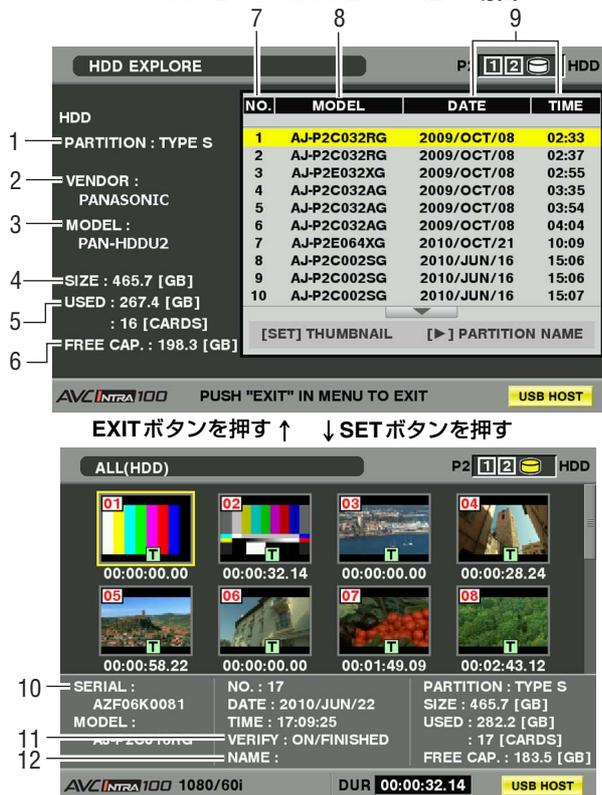
- USBバスパワー（5 V,0.5 A）にも対応していますが、ハードディスクドライブによっては起動できないものもあります。その場合はハードディスクドライブへ別途電力を供給してください。
- 電源が入っていないハードディスクドライブであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。またハードディスクドライブ以外の機器でも、ハブなどを介してハードディスクドライブと一緒に接続しないでください。
- 2 TB（2048 GB）以上のハードディスクドライブには対応していません。
- ハードディスク接続中は、コピーやフォーマットなどに支障がないよう、十分に充電されたバッテリーまたは外部DC電源を、本機に接続してください。
- P2 STORE（AJ-PCS060G）はVer 2.**以降のバージョンで本機のUSBホストモードに対応しています。
Ver 1.**の場合は接続できません。バージョンアップ後ご使用ください。

ハードディスクドライブ情報の表示

USB 接続したハードディスクドライブの情報を、以下の方法で見ることができます。

- 1 USB HOSTモードへ切り替える
→「USBホストモードへの切り替え方」（138 ページ）参照
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続する
- 3 THUMBNAIL ボタンを押す
サムネール画面を表示します。
- 4 THUMBNAIL MENU ボタンを押す、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択する
画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。

TYPE SまたはP2STOREの場合



FATの場合



1. PARTITION

ハードディスクドライブの種類を表示します。ハードディスクドライブのタイプによって、操作できる機能が異なります。

HDDタイプ	特徴	操作できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み/書き戻しするための特殊形式です。本機でFORMATを行うと、この形式になります。	サムネール表示、カード単位での書き込み/書き戻し、クリップ単位での書き戻し、フォーマット
P2STORE	P2 STORE (AJ-PCS060G) のことです。書き込みはできません。	サムネール表示、カード単位での書き戻し、クリップ単位での書き戻し
FAT	パーソナルコンピュータなどで先頭の基本パーティションがFAT16、またはFAT32になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」ディレクトリが必要なHDDです。	サムネール表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。
OTHER	上記以外のHDDです。※ ルートに「CONTENTS」ディレクトリがない場合やNTFSなどのFAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。

2. VENDOR

ハードディスクドライブのベンダー名を表示します。

3. MODEL

ハードディスクドライブのモデル名を表示します。

4. SIZE

ハードディスクドライブの総容量を表示します。

5. USED

ハードディスクドライブの使用量を容量 (単位: GB) と使用P2カード領域 (単位: 枚数) で表示します。

6. FREE CAP.

ハードディスクドライブの残量を容量 (単位: GB) で表示します。

7. パーティション番号

ハードディスクドライブ内のパーティション (P2 カード一枚分の単位) 番号を表示します。

◆ NOTE:

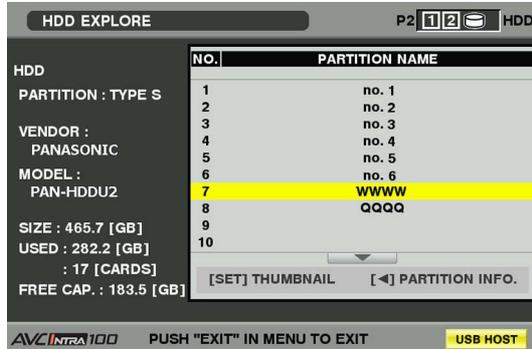
画面の表示は10個まで表示されます。パーティションが11個以上ある場合、カーソルボタン (▽) で下にスクロールして表示してください。

8. MODEL

パーティション内のデータがもともと記録されていたP2カードのモデル名を表示します。

◆ NOTE:

カーソルボタン (>) を押すと、PARTITION NAMEに切り替えることができます。カーソルボタン (<) ボタンで元のモデル名表示に戻ります。



9. DATE/TIME

パーティション内のデータが記録された日時を表示します。

10. SERIAL

パーティション内のデータがもともと記録されていたP2カードのシリアル番号を表示します。

11. VERIFY

パーティション内のデータを記録したときのベリファイの設定とベリファイ結果を表示します。

ON:FINISHED :

ベリファイを実施し、ベリファイ結果が一致しています。

ON:FAILED :

ベリファイを実施していますが、ベリファイ結果が一致していません。

OFF :

ベリファイを実施していません。

--- :

ベリファイの情報がありません。

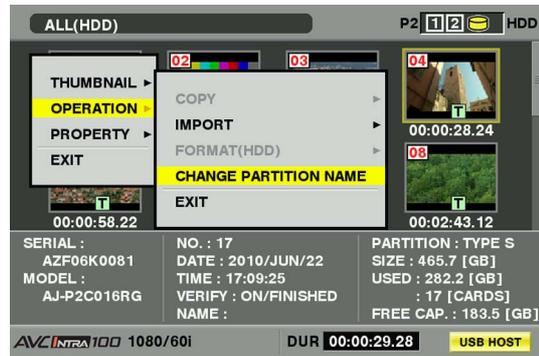
◆ NOTE:

- FATタイプのハードディスクドライブであっても、1001個目以降のクリップは表示されません。
- FATでフォーマットされたハードディスクドライブの場合、最初の1パーティションのみ、情報が表示されます。
- P2 STORE (AJ-PCS060G) に無効なパーティションがあるときは、パーティション情報がグレーで表示されます。

12. NAME

PARTITION NAMEを表示します。

PARTITION NAMEはハードディスクドライブのサムネール表示中にOPERATIONメニューのCHANGE PARTITION NAMEを選択し、ソフトウェアキーボードから入力することができます。(最大20文字)



ハードディスクドライブのフォーマット

1 USB HOSTモードへ切り替える

→「USBホストモードへの切り替え方」(138 ページ) 参照

2 ハードディスクドライブをUSB接続する

3 THUMBNAIL ボタンを押す

サムネール画面を表示します。

4 THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択する

画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。

5 メニューからOPERATION→FORMAT(HDD)を選択し、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、再度確認メッセージが出るので、そこでYESを選択する

ハードディスクドライブのフォーマットが行われます。フォーマット後は、「TYPE S」のハードディスクドライブとして扱えます。

◆ NOTE:

- ハードディスクドライブのフォーマットを行うとハードディスクドライブの内容はすべて消去されます。なお、一部のパーティションだけを選択して消去することはできません。
- 本機でフォーマットしたハードディスクドライブを、他のパーソナルコンピュータなどで書き換えた場合、以後の本機での動作、およびハードディスクドライブのデータは保証できません。
- フォーマットにより消去されたデータは、復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

ハードディスクドライブへの書き込み

- 1 **USB HOSTモードへ切り替える**
→「USBホストモードへの切り替え方」(138 ページ) 参照
- 2 **ハードディスクドライブをUSB接続する**
ハードディスクドライブを本機でフォーマットしていない場合は、「ハードディスクドライブのフォーマット」(140 ページ) に従って、ハードディスクドライブをフォーマットしてください。
- 3 **P2カードを挿入する**
- 4 **THUMBNAIL ボタンを押す**
サムネイル画面を表示します。
- 5 **THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネイルメニューよりHDD→EXPORTを選択する**
ハードディスクドライブへ書き込みたいデータが記録されたP2カードのスロットを指定します。
- 6 **YESを選択する**
 - 書き込みを開始します。
 - 書き込み中は進捗バーが表示されます。書き込みを中断したい場合は、SET ボタンを押し、CANCEL の確認に対して YES を選択すると処理を中断します。
 - 書き込みが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- 書き込み時のベリファイをやめる場合は、サムネイルメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き込み完了までの時間が早くなりますがデータの書き込み確認は行いません。
- ALL SLOTを選択すると、本機に挿入されている全てのP2カードを一括してハードディスクドライブに書き込みます。

◆NOTE:

- ハードディスクドライブタイプがTYPE Sである場合、カード単位で書き込みを行うことができます。最大23枚のP2カードをハードディスクドライブへ保存することができます。また、ハードディスクドライブに記録されたP2カードのデータは、パーソナルコンピューターなどでは、それぞれ別のドライブとして認識されます。
- 不良クリップを含むP2カードをハードディスクドライブに書き込むときは、書き込む前に不良クリップを修復することをお勧めします。
- ベリファイ中に処理を中断しても、そのP2カードからハードディスクドライブへの書き込みは終了しています。

P2カードへの書き戻し方

ハードディスクドライブからクリップを選択して書き戻しが行えます。

- 1 **USB HOSTモードへ切り替える**
→「USBホストモードへの切り替え方」(138 ページ) 参照
- 2 **ハードディスクドライブをUSB接続する**
- 3 **書き戻すP2カードをスロットへ挿入する**
- 4 **THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネイルメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SET ボタンで選択する**
- 5 **ハードディスクドライブからP2カードへ書き込むクリップをサムネイルから選択する**
- 6 **THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネイルメニューよりOPERATION→COPYと選択し、書き戻すP2カードのスロットを選択する**
- 7 **YESを選択する**
 - P2カードへの書き戻しを開始します。
 - 書き戻しが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- クリップを選択して書き込む場合はベリファイは実施しません。
- 異なる品番のP2カードへパーティション単位でのインポートはできません。クリップ単位でインポートを実施してください。

ハードディスクドライブタイプがTYPE SかP2STOREである場合、同一品番のP2カードへカード単位で書き戻しを行うこともできます。書き戻し先のP2カードはあらかじめフォーマットしておいてください。

- 1 **USB HOSTモードへ切り替える**
→「USBホストモードへの切り替え方」(138 ページ) 参照
- 2 **ハードディスクドライブをUSB接続する**
- 3 **書き戻すP2カードをスロットへ挿入する**
- 4 **THUMBNAIL MENU ボタンを押し、サムネイルメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SET ボタンで選択する**
- 5 **サムネイルメニューよりOPERATION→IMPORTと選択し、書き込みを行う空のP2カードが挿入されたスロットを選択する**

6 YESを選択する

- カードへの書き込みを開始します。
- 書き戻しが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

<参考>

書き戻し時のベリファイをやめる場合は、サムネールメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き戻し完了までの時間が早くなりますがデータの書き戻し確認は行いません。

◆NOTE:

クリップを、そのクリップが元々記録されていたP2カードではない別のP2カードに書き戻したとき、書き戻したクリップが不完全クリップになることがあります。この場合はクリップの連結を行ってください。

→「不完全クリップの連結」(128 ページ) 参照

ハードディスクドライブ使用時のご注意

- ハードディスクドライブ (P2 STORE (AJ-PCS060G) 含む) は以下の条件でご使用ください。
 - ◆ ハードディスクドライブの動作補償範囲内 (温度など) で使用する。
 - ◆ ハードディスクドライブを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ハードディスクドライブやケーブルによっては正しく動作しないことがあります。
- USB変換ケーブルで接続されたSATA (シリアルATA) やPATA (パラレルATA) インターフェースのハードディスクドライブは認識できない場合があります。
- コピーには十分な容量のハードディスクドライブをご使用ください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やハードディスクドライブの電源を切ったりしないでください。本機およびハードディスクドライブの電源の再起動が必要になります。なお、本機の電源には十分に充電されたバッテリーまたは外部DC電源をご使用ください。
- ハードディスクドライブは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
- ハードディスクドライブの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーで使用したハードディスクドライブを他のパソコンなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびハードディスクドライブのデータは保証できません。
- 下記URLで配布しているドライブマウントコンバーターを使用すると、ハードディスクドライブを接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

SDI IN端子での接続

- 1 接続先の機器と本機の信号フォーマットが同じであることを確認する
- 2 SDI IN端子から入力する場合、REC SIGNAL項目を“SDI”に設定する
REC SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

◆ NOTE:

- SDI IN端子に何も接続されていない場合や、入力信号がない場合は、記録される映像はブラックになり、音声は無音になります。設定メニューのSYSTEM MODE項目で設定したフォーマットと同じ信号を、SDI IN端子から入力してください。フォーマットが異なる場合、正しくP2カードに記録されません。SYSTEM MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。
- REC SIGNAL項目を“SDI”に設定する場合、下記のことにご注意してください。
 - ◆ 音声信号の入力は、SDI IN端子からの入力信号になります。
 - ◆ 音声信号は映像と同期した信号を入力してください。P2カードには48 kHz/4CH (16 bitあるいは24 bit) として記録されます。24 bitで記録するにはREC FORMAT項目を“AVC-I 100”または“AVC-I 50”に、AUDIO SMPL RES項目を“24BIT”に設定する必要があります。各項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。
 - ◆ REC SIGNAL項目を“SDI”に設定すると、SDI IN端子に何も接続されていなくてもGENLOCK IN端子から入力される信号は無効になります。
- SDI IN端子から入力されているタイムコード、ユーザーズビット、UMID情報を、P2カードに記録することはできません。

リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続

リモートコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

AJ-RC10Gを本機のREMOTE端子に接続して、本機およびAJ-RC10GのPOWERスイッチをONにすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。

AJ-RC10Gを取り外すか、AJ-RC10Gの電源をOFFにするとリモートコントロールモードは解除されます。

リモートコントロールモードのときの スイッチ機能

リモートコントロールモードのときは、本機の下記スイッチやボタンが機能しなくなります。

- SHUTTERスイッチ
- MENU ボタン
- JOGダイヤルボタン
- GAIN切り替えスイッチ
- OUTPUT/AUTO KNEEスイッチ
- WHITE BALスイッチ
- USER MAIN ボタン
- USER 1 ボタン
- USER 2ボタン

リモートコントロールモードのときの記録・再生 操作

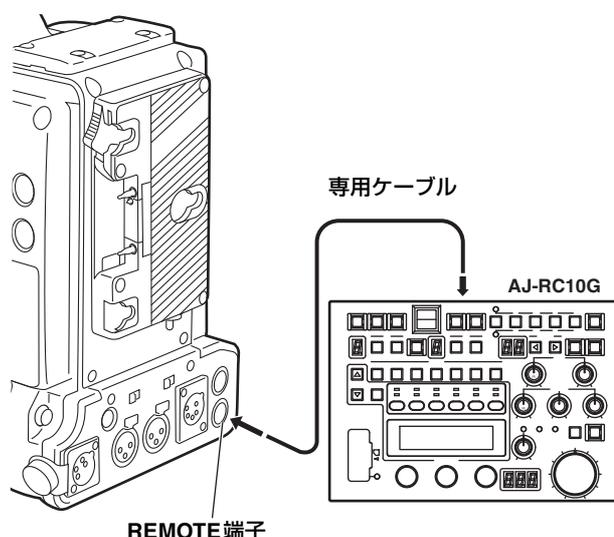
リモートコントロール接続時は、本機とAJ-RC10Gのどちらでも記録/再生の操作が可能です。

◆ NOTE:

- AJ-RC10Gを接続して調整した状態は、本機に記憶されません。調整した状態を本機に記憶させない場合は、AJ-RC10GのFUNCTION MENUを開き、RC DATA SAVE項目を“OFF”にします。
- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAJ-RC10GのPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- AJ-RC10GのソフトウェアバージョンはVer1.20以上のもをご使用ください。
- また、AJ-RC10Gのソフトウェアバージョンアップについては下記ウェブサイトよりP2サポートページをご覧ください。

日本語： <http://panasonic.biz/sav/>

英語： <http://pro-av.panasonic.net/>



本機に接続時のリモートコントロールユニット について

本機とAJ-RC10Gを接続した場合、以下の機能が、AJ-RC10Gに付属の取扱説明書の記述と異なります。

A.KNEE ONボタン

本機のメニュー AUTO KNEE SW 項目で“DRS”を選択すると、このボタンでDRSのON/OFFを切り替えることができます。DRSがONのときボタンが点灯し、OFFのときボタンは消灯します。

AUTO KNEE SW 項目はCAM OPERATION ページの<SW MODE>画面から選択します。

CHARA ONボタン

本機のMON OUT端子に出力される映像信号に、キャラクターを重畳するかどうかを選択します。AJ-RC10Gの接続時は本機のMON OUT CHARACTERスイッチは機能しません。

シーンファイル

他の機種で作成したシーンファイルを読み込むことはできません。読み出しを行おうとすると、AJ-RC10Gの液晶画面に「NG」と表示されます。

メニュー項目

GAMMAメニュー

- GAMMA-MODE-SEL の可変範囲が以下になります。
HD、SD、F-LIKE1、F-LIKE2、F-LIKE3、FILM REC、VIDEO REC
- 4階層目にDYMC-LVL、BSR-LVLが追加されます。
可変範囲は以下の通りです。
DYMC-LVL : 200%~600%
BSR-LVL : 00%~30%
ただし数値を変更できるのはGAMMA-MODE-SELでFILM-RECを選択しているときだけです。
- 5階層目にV-KNSLP、V-KNPNTが追加されます。
可変範囲は以下の通りです。
V-KNSLP : 150%~500%
V-KNPNT : 30%~107%
ただし数値を変更できるのはGAMMA-MODE-SELでVIDEO RECを選択しているときだけです。

WHITEメニュー

- COLR-TEMP-PRE、TEMP-A、TEMP-B の可変範囲が2300K↓~15000K↑になります。

KNEEメニュー

- 5階層目にCHROMA LEVELが追加されます。
可変範囲はOFF/-99%~+40%です。
- 6階層目にHI-COLOR-LVLが追加されます。
可変範囲は1~32です。
- 7階層目にDRS MODEが追加されます。
可変範囲はMODE1/MODE2です。
- 8階層目にDRS EFFECT DEPTHが追加されます。
可変範囲は1/2/3です。

SHUTTERメニュー

- MODEでFIXを選択しているとき、SPEDの可変範囲が以下になります。
1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、HALF、180.0d、172.8d、144.0d、120.0d、90.0d、45.0d
本機のSYSTEM MODE項目の設定により、SPEDで選択できる数値が変わります。SYSTEM MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。
- 2階層目にSYNCHRO SCAN DISPが追加されます。
MODEでS.Sを選択しているとき、SPEDで表示される数値の単位をSEC/DEGのいずれかから選択します。また、この単位の変更は本機にも反映されません。
- MODEでS.Sを選択しているとき、SPEDの可変範囲は以下の通りです。
SEC選択時： 1/24.7~1/7200（本機の設定により、選択できる数値が変わります）
DEG選択時： 3.0d~350.0d

SKIN DTLメニュー

- OUTPUTの可変範囲が以下になります。
MONI、SDI
- SDTLで選択したテーブルの色にゼブラが付きません。
- 3階層目のSCORGがSKIN-DTL-EFFECTに変わります。可変範囲は0~31です。

FUNCメニュー

- 4階層目のSELECTの可変範囲が以下になります。
INH、S.GAIN、DS.GAIN、S.IRIS、I.OVR、S.BLK、B.GAMMA、D.ZOOM、ATW、ATW LOCK、Y GET、DRS、ASSIST、C.TEMP、AUD CH1/3、AUD CH2/4、REC SW、RET SW、PRE REC、SLOT SEL、PC MODE、LCD B.L
ただしAJ-RC10GのUSERボタンにC.TEMPを割り付けても、動作しません。
- 5階層目のBLK-GAMMAの可変範囲が-8~OFF~8になります。
- 5階層目のBLK-GAMMAの隣にRANGEが追加されます。可変範囲は1~3です。

エクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) の接続

エクステンションコントロールユニットAG-EC4G(別売品)を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

AG-EC4G を本機の REMOTE 端子に接続して、本機およびAG-EC4GのPOWERスイッチをONにすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。

AG-EC4Gを取り外すか、AG-EC4Gの電源をOFFにするとリモートコントロールモードは解除されます。

リモートコントロールモードのときの スイッチ機能

リモートコントロールモードのときは、本機の下記スイッチやボタンが機能しなくなります。

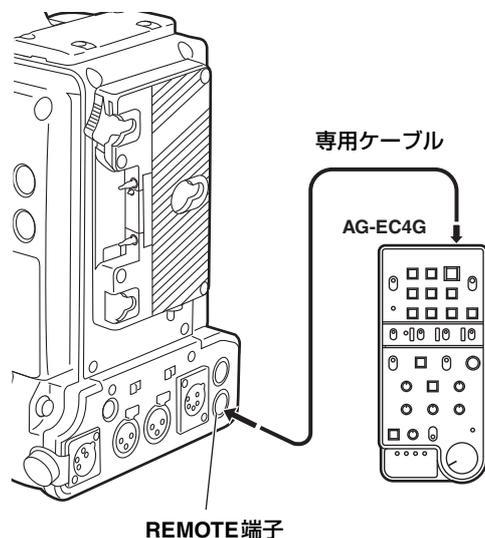
- SHUTTERスイッチ
- MENU ボタン
- JOGダイヤルボタン
- GAIN切り替えスイッチ
- OUTPUT/AUTO KNEEスイッチ
- WHITE BALスイッチ
- USER MAIN ボタン
- USER 1 ボタン
- USER 2ボタン

リモートコントロールモードのときの記録・再生 操作

リモートコントロール接続時は、本機とAG-EC4Gのどちらでも記録/再生の操作が可能です。

◆ NOTE:

- AG-EC4GのDATA SAVEスイッチをON側にすると、AG-EC4Gで設定した状態を本機に記憶させることができます。設定した状態を記憶させない場合は、AG-EC4GのDATA SAVEスイッチをOFF側にします。
- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAG-EC4GのPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- 詳しくはAG-EC4Gの取扱説明書を参照してください。



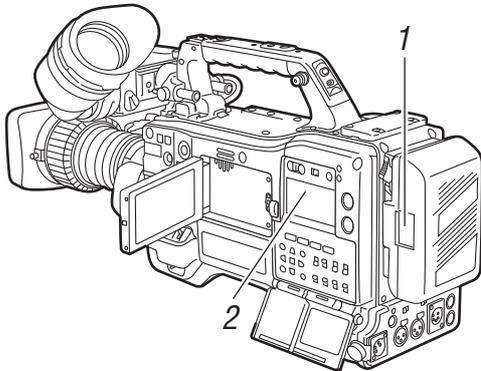
保守・点検

撮影前の点検

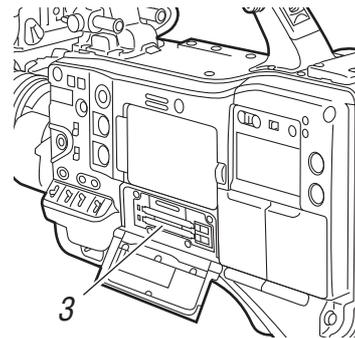
撮影に出発する前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

点検の準備

- 1 充電済みのバッテリーパックを取り付ける
- 2 POWERスイッチをONにし、BATT表示が5個以上点灯していることを確認する
 - BATT表示が5個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換します。



- 3 P2カードをスロットカバーに挿入し、スライドとびらを閉める
P2カードを挿入したカードスロットのP2カードアクセスLEDが、オレンジ色に点灯したか確認します。複数のカードスロットにP2カードを挿入した場合、最初に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDのみがオレンジ色に点灯し、それ以降に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDは、緑色に点灯します。P2カードを挿入したP2カードスロットのP2カードアクセスLEDが緑色に点滅したままか、あるいは消灯している場合、そのP2カードに記録を行うことはできません。



カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をする
画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をする
手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認する
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認する
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をする
 - ◆NOTE:
瞬間絞り自動調整機能がないレンズもあります。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAIN切り替えスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて次の点を確認する
 - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
 - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダ付きのレンズを装着しているときは、エクステンダを使用位置にし、正常に働くことを確認する

メモリー記録部の点検

「1. P2カード記録の点検」から「4. イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

1. P2カード記録の点検

- 1 ビューファインダー内の表示で、P2カードの記録残量が充分か確認する
→「P2カード残量/容量表示」(84 ページ) 参照
- 2 TCGスイッチを「R-RUN」にする
- 3 DISPLAYスイッチを「TC」にする
- 4 本機のRECボタンを押し、次の項目を確認する
 - P2 アクセス LED がオレンジ色に点滅する。
 - ビューファインダー内の REC ランプが点灯する。
 - ビューファインダー内にSYSTEM警告が表示されない。
- 5 本機のRECボタンをもう一度押す
P2アクセスLEDがオレンジ色の点灯になり、ビューファインダー内のRECランプが消えることを確認します。
- 6 ハンドル部のRECボタンを使って、4～5と同じ動作を確認する
レンズのVTRボタンについても同様に確認します。
- 7 LIGHTボタンを押して、表示窓の表示が明るくなることを確認する
- 8 THUMBNAILボタンを押して、サムネイル画面より今撮影したクリップを再生する
再生が正常に動作することを確認します。
- 9 P2カードを複数、P2カードスロットに挿入している場合は、SLOT SEL機能を割り当てたUSERボタンを押して、記録対象のP2カードを切り替える
4～5、8の動作を行い、記録・再生が正常に動作することを確認します。

2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4 スイッチを「AUTO」にする
- 2 AUDIO INスイッチを「FRONT」にする
- 3 MIC IN端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH 1/CH 2両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認する

3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO INスイッチを「FRONT」にする
- 2 AUDIO SELECT CH1/3 / CH2/4 スイッチを「MAN」にする
- 3 AUDIO LEVEL CH1/3 / CH2/4 つまみを回す
右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1 MONITORつまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認する
- 2 イヤホンをPHONES端子に接続する
スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 3 MONITORつまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認する

5. 外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクをAUDIO IN CH1/3、CH2/4 コネクタに接続する
- 2 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「REAR」にする
- 3 後面のマイク入力+48V ON/OFFスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「OFF」と「+48V」に切り替える
OFF： 内部電源供給方式のマイク
+48V： 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認する
1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

6. 時計、タイムコード、ユーザーズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザーズビットを設定する
→「ユーザーズビットの設定」(65 ページ) 参照
- 2 タイムコードを設定する
→「タイムコードの設定」(68 ページ) 参照
- 3 TCGスイッチを「R-RUN」にする
- 4 RECボタンを押す
記録が開始するとともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、RECボタンを押す
記録が停止し、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。

- 6 TCGスイッチを「F-RUN」にする
カウンター表示部の数値が、記録に関係なく変わることを確認します。
 - 7 DISPLAYスイッチを「UB」にする
HOLDボタンを押すごとにVTCG→DATE→TIME→無表示(タイムゾーン)→TCGの値を表示するか、またその数値が正確かを確認します。
DATE、TIME、タイムゾーンが正確でない場合は、「内蔵時計の日付/時刻の設定」(67 ページ)を参照して、正しく設定してください。
- ◆NOTE:
DATE、TIME、タイムゾーンの設定による日時データは、クリップに記録され、サムネール操作時の再生順などに影響しますのでご注意ください。

メンテナンス

ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。ゴミなどが付着しているときは、市販のエアーブローで取り除いてください。

- ◆NOTE:
野外でアイピースを上に向けたまま放置したり、カメラセットを持ち運んだりしないでください。太陽光線により、ビューファインダー内部が破損する恐れがあります。

CCD カメラ特有の現象について

スミア
高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど目立ちやすくなります。

バックアップ電池の交換

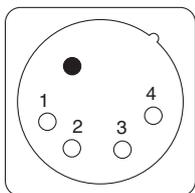
バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。
電池が消耗すると、POWERスイッチをONにしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示を5秒間表示します。
電池が消耗すると、内蔵された時計が動作しなくなります。また、TCGのタイムコード値が「00:00:00:00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。
販売店にご相談のうえ、新しい電池(CR2032)と交換してください。
なお、バックアップ電池は液晶モニターがある側(正面から見て右側)のパネルを外した裏側にあります。

- ◆NOTE:
電池交換の際は、必ず販売店にご相談ください。

コネクタ信号の内容

DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	12V

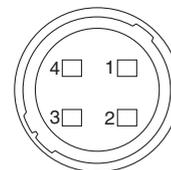
パナソニック品番 K1AA104H0038
メーカー品番 HA16RX-4P(SW1)
(ヒロセ電機)



DC OUT	
1	GND
2	R TALLY (オープンコレクタ)
3	REC START SW
4	12V OUT DC (11 V~17 V) (最大 1.5 A)

パナソニック品番 K1AY104J0001
メーカー品番 HR10A-7R-4SC(73)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-7P-4(73)
(ヒロセ電機)

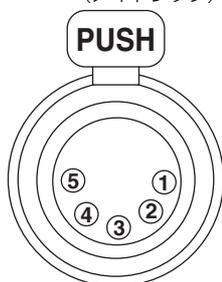


◆NOTE:

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

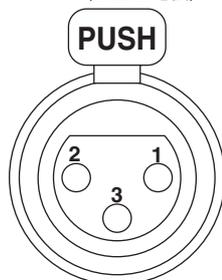
FRONT MIC IN	
1	GND
2	L CH IN (H)
3	L CH IN (C)
4	R CH IN (H)
5	R CH IN (C)

パナソニック品番 K1AB105B0002
メーカー品番 NC5FBH
(ノイトレック)



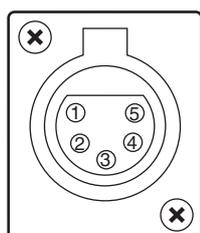
AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN(H)
3	AUDIO IN(C)

パナソニック品番 K1AB103A0011
メーカー品番 HA16PRM-3SG
(ヒロセ電機)



AUDIO OUT	
1	GND
2	L CH OUT (H)
3	L CH OUT (C)
4	R CH OUT (H)
5	R CH OUT (C)

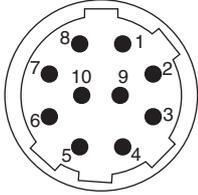
パナソニック品番 K1AA105H0016
メーカー品番 HA16RD-5P(76)
(ヒロセ電機)



REMOTE		
1	CAM DATA (H)	カメラからリモートコントロールへのデータ (H)
2	CAM DATA (C)	カメラからリモートコントロールへのデータ (C)
3	CAM CONT (H)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (H)
4	CAM CONT (C)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (C)
5	RC-ON	リモートコントロールの認識信号 Low : ON
6	RC VIDEO OUT	リモートコントロールへの映像信号出力
7	RC VIDEO GND	リモートコントロールへの映像信号のGND
8	NC	未使用
9	UNREG 12V	DC 12 V電源 (AJ-RC10G : 最大0.75A)
10	GND	GND

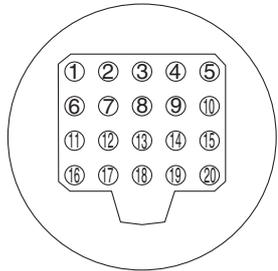
パナソニック品番 K1AY110JA001
メーカー品番 HR10A-10R-10SC(71)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-10P-10P(73)
(ヒロセ電機)

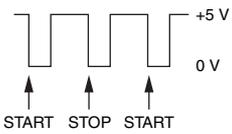


VF		
1	UNREG-12V	DC 12 V電源 (AJ-HVF21KG : 約0.35A)
2	UNREG-12V	DC 12 V電源
3	A9.0V	DC 9 V電源 (未使用)
4	VF-PB-GND	ビューファインダー P _B 信号のGND
5	VF-PR-GND	ビューファインダー P _R 信号のGND
6	VF-Y	ビューファインダー Y信号出力
7	VF-Y-GND	ビューファインダー Y信号のGND
8	VF-CLK	シリアルデータクロックパルス信号
9	VF-WR	シリアル-パラレル変換データ読み込み用パルス信号
10	VF-DATA	シリアル-パラレル変換用シリアルデータ信号
11	UNREG-GND	GND
12	ZEBRA-SW	ゼブラ信号のON/OFF
13	PEAKING	ピーキングの制御 (未使用)
14	SPARE	予備 (未使用)
15	VF-PR	ビューファインダー P _R 信号出力
16	VF-PB	ビューファインダー P _B 信号出力
17	MARKER-SW	マーカのON/OFF (未使用)
18	FRONT-VR	F.AUDIO LEVEL調整 (未使用)
19	VR-GND	F.AUDIO LEVELのGND (未使用)
20	UNREG-GND	GND

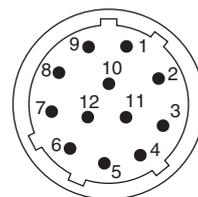
パナソニック品番 K1AB120H0001
メーカー品番 HR12-14RA-20SC
(ヒロセ電機)



◆ **NOTE:**
DC OUT、REMOTE、VF、LENSの各端子から取り出す電流の合計が、2.5Aを超えないようにしてください。

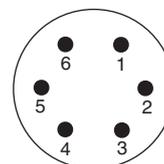
LENS		
1	RET-SW	リターンビデオのON/OFF RETURN ON: GND RETURN OFF: OPEN
2	REC-START/STOP	記録スタートとストップの制御 
3	GND	GND
4	IRIS-AUTO	強制アイリスサーボのON/OFF SERVO ON: 5V ± 0.5V SERVO OFF: OPEN
5	IRIS-CONT	レンズアイリスの制御出力 F2.8: -6.2V、F16: 3.4V、CLOSE: 2.5V
6	UNREG-12V	レンズ用12V電源 (最大1.5A)
7	IRIS-POSI	アイリスポジション信号 3.4V (F16) ~ 6.2V (F2.8)
8	IRIS-G-MAX	IRIS REMOTE/LOCAL (AUTO) 信号 REMOTE: 5V ± 0.5V LOCAL (AUTO): GND
9	EXT-POSI	内蔵エクステンダーのON/OFF EXTENDER ON: GND EXTENDER OFF: OPEN
10	ZOOM-POSI	ズームポジション信号
11	FOCUS-POSI	フォーカスポジション信号
12	SPARE	予備 (未使用)

パナソニック品番 K1AY112JA001
メーカー品番 HR10A-10R-12SC(71)
(ヒロセ電機)



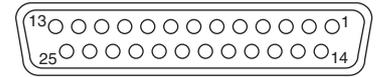
GPS		
1	GPS TXA	GPSユニットからカメラへの伝送データ
2	GPS RXA	カメラからGPSユニットへの伝送データ
3	GPS VBAT	GPSユニット用のバックアップ電源供給端子 (DC 3.3 V)
4	REC START SW	RECスタート/ストップの制御信号
5	GPS VCC	GPSユニット用の電源供給端子 (DC 3.3 V)
6	GPS GND	GND

パナソニック品番 K1AY106J0001
メーカー品番 HR10A-7R-6SC(73)
(ヒロセ電機)



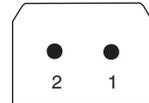
Unislot		
1	CH-1 SHIELD	GND
2	CH-1 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH1 HOT
3	CH-1 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH1 COLD
4	GND	GND
5	12V UNREG	ワイヤレスレシーバーへの電源
6	RX ON	ワイヤレスレシーバーへの電源リモート出力
7	RF WARN	ワイヤレスレシーバーからのRFワーニング入力
8	RM5	未使用
9	RM4	未使用
10	SPARE 1	未使用
11	SPARE 2	未使用
12	EXT CLK	未使用
13	CLK SHIELD	未使用
14	CH-2 SHIELD	GND
15	CH-2 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH2 HOT
16	CH-2 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH2 COLD
17	5.6V	ワイヤレスレシーバーへの電源
18	VIDEO OUT	未使用
19	VIDEO RET	未使用
20	VIDEO EN	未使用
21	RM 1 (RM CLK)	未使用
22	RM 2 (RM DATA)	未使用
23	RM 3 (RM WR)	未使用
24	RM 5V	未使用
25	RM GND	未使用

パナソニック品番 K1GB25A00010
 メーカー品番 HDBB-25S(05)
 (ヒロセ電機)



LIGHT		
1	12 V UNREG	ライトなどへの電源（バッテリーより供給）
2	GND	GND

パナソニック品番 VJS4444



警告システム

警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNINGランプ、ビューファインダー内のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

◆NOTE:

各項目はWARNINGランプ、タリーランプ、アラームの優先順となっていて、同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものを表示します。ただし「9. ワイヤレス受信低下」はメニュー設定により、表示しない場合があります。

1. システムエラー

表示窓内の表示	エラーコードが点灯します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	SYSTEM ERROR表示とエラーコードが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	基準信号や通信の異常です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	「エラーコード」(156ページ)を確認し、販売店にご相談ください。

2. カード取り出し異常

表示窓内の表示	エラーコードE-30が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	「TURN POWER OFF」表示が点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	アクセス中のP2カードを取り出したため、本機の内部メモリーに異常が発生しています。
記録・再生の動作	動作できません。
対 策	本機の電源を切ってください。取り出したP2カードのクリップに異常がある場合は、修復を行ってください。

3. バッテリーエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示が7つとも点滅します。
WARNINGランプ	点灯します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	バッテリーを交換します。

4. P2カードエンド

表示窓内の表示	MEDIA残量バーが7つとも点滅します。
WARNINGランプ	記録後に何らかの操作を行うまで点灯し続けます。
タリーランプ	記録後に何らかの操作を行うまで1秒間に4回点滅し続けます。
ビューファインダー	「END」表示が点滅します。
アラーム	記録後に何らかの操作を行うまで連続して鳴り続けます。
警告内容	P2カードの記録容量がなくなりました。
記録・再生の動作	記録を停止します。
対 策	P2カード内のクリップを消去するか、新しいP2カードを挿入してください。

5. 映像シーケンス異常

表示窓内の表示	エラーコードE-40が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	「REC WARNING」表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	24P、30P、25Pの映像シーケンスに異常があります。
記録・再生の動作	記録・再生は可能ですが、有効な映像が欠落したり、TC、UBのシーケンスがずれたりすることがあります。
対 策	一度電源をOFFにし、再度ONにして記録・再生の確認を行ってください。エラーが消えない場合は販売店にご相談ください。

6. 基準信号の乱れ

表示窓内の表示	エラーコードE-40が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	「TEMPORARY PAUSE」表示が点灯します。
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	基準になっているGENLOCK IN端子やSDI IN端子の入力信号の乱れなどで正常な記録が行えず、一時停止しています。クリップは分割されます。
記録・再生の動作	信号が正常に戻ると、自動的に記録は再開されます。ただしINTERVAL RECモード、LOOP RECモードのときは再開できません。
対 策	GENLOCK IN端子またはSDI IN端子の入力信号を確認してください。異常が続けて発生する場合は販売店にご相談ください。

7. 記録異常

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示します。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“REC WARNING”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	P2カード記録、または記録回路の設定の異常です。
記録・再生の動作	記録を継続する場合と、停止する場合があります。
対 策	一度電源をOFFにし、再びONにしてから記録/再生の確認を行ってください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。

8. クリップ数超過

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示します。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“OVER MAX# CLIPS”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	1枚のP2カードにクリップ総数の上限(1000個)を超えて記録しようとした場合に表示します。
記録・再生の動作	記録できません。記録中の場合は停止します。
対 策	P2カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。

9. ワイヤレス受信低下

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(待機中、記録中)
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	記録を継続中は“WIRELESS RF”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	ワイヤレスオーディオの受信状態が悪いことを示します。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、ワイヤレスマイク受信ができていません。
対 策	マイクの電源や、レシーバーの受信状態をチェックしてください。

10. バッテリーニアエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示のうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点滅します。
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

11. P2カードニアエンド

表示窓内の表示	MEDIA残量バーのうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	P2カード残量表示が点滅します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に1回鳴ります。
警告内容	すべてのP2カードの記憶残量の合計が残り2分以下です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	カードを交換します。カードスロットに空きがある場合は新しいカードを挿入してください。

12. P2カードエラー

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示します。記録や再生の停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNINGランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
タリーランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
ビューファインダー	“CARD ERR *”表示が点滅します。*には、エラーが発生したP2カードのスロット番号を表示します。
アラーム	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間鳴ります。再生時に発生した場合は、鳴りません。
警告内容	記録または再生中に、P2カードのエラーが発生しました。
記録・再生の動作	停止します。停止後は、エラーが発生したP2カードはライトプロテクト状態になっています。
対 策	P2カードを交換してください。

13. FAN STOP

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリールランプ	表示しません。
ビューファインダー	"FAN STOP"表示が点滅します。
アラーム	鳴りません。
警告内容	ファンに異常があり、停止しています。または、FAN MODE項目が"OFF"に設定されています。FAN MODE項目は、OPTION MENUページの<OPTION>画面から選択できます。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、ファンが停止した状態で動作を続けると本機内の温度が上昇しますので、記録/再生が正常に行われない場合があります。
対策	速やかに使用をやめ、販売店にご相談ください。

エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓のタイムコード表示部に下記のエラーコードを表示します。警告の種類を確認し、「警告内容一覧」(154 ページ)の内容にしたがって対処してください。

コードNo.	内容	警告の種類
E-11	ビデオ初期化異常	1. システムエラー
E-27	記録制御の異常	1. システムエラー
E-30	P2カードの取り出し異常	2. カード取り出し異常
E-34	LCDマイコンの異常	1. システムエラー
E-38	P2ストリームマイコンの異常	1. システムエラー
E-3F	カメラ部の異常	1. システムエラー
E-40	映像シーケンス、またはGENLOCK入力信号やSDI入力信号の異常	5. 映像シーケンス異常、6. 基準信号の乱れ
E-63	システムコントロールマイコンの異常	1. システムエラー
E-6F	基準信号の異常	1. システムエラー
00:00:00:11	P2カードへの記録異常など	7. 記録異常、8. クリップ数超過、12. P2カードエラー

カード警告コード

コードNo.	内容	記録動作	表示窓内の表示
E-70	P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。(ビューファインダーには「DIR NG CARD (スロット番号)」と表示します)	動作は継続しますが、速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後にご使用ください。	表示窓のタイムコード表示部に警告コードを2秒に1回の点滅で表示します。
E-71	P2カードの規格の書き換え回数を超えています。(ビューファインダーには「RUN DOWN CARD (スロット番号)」と表示します)	動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。P2カードの交換をお勧めします。	

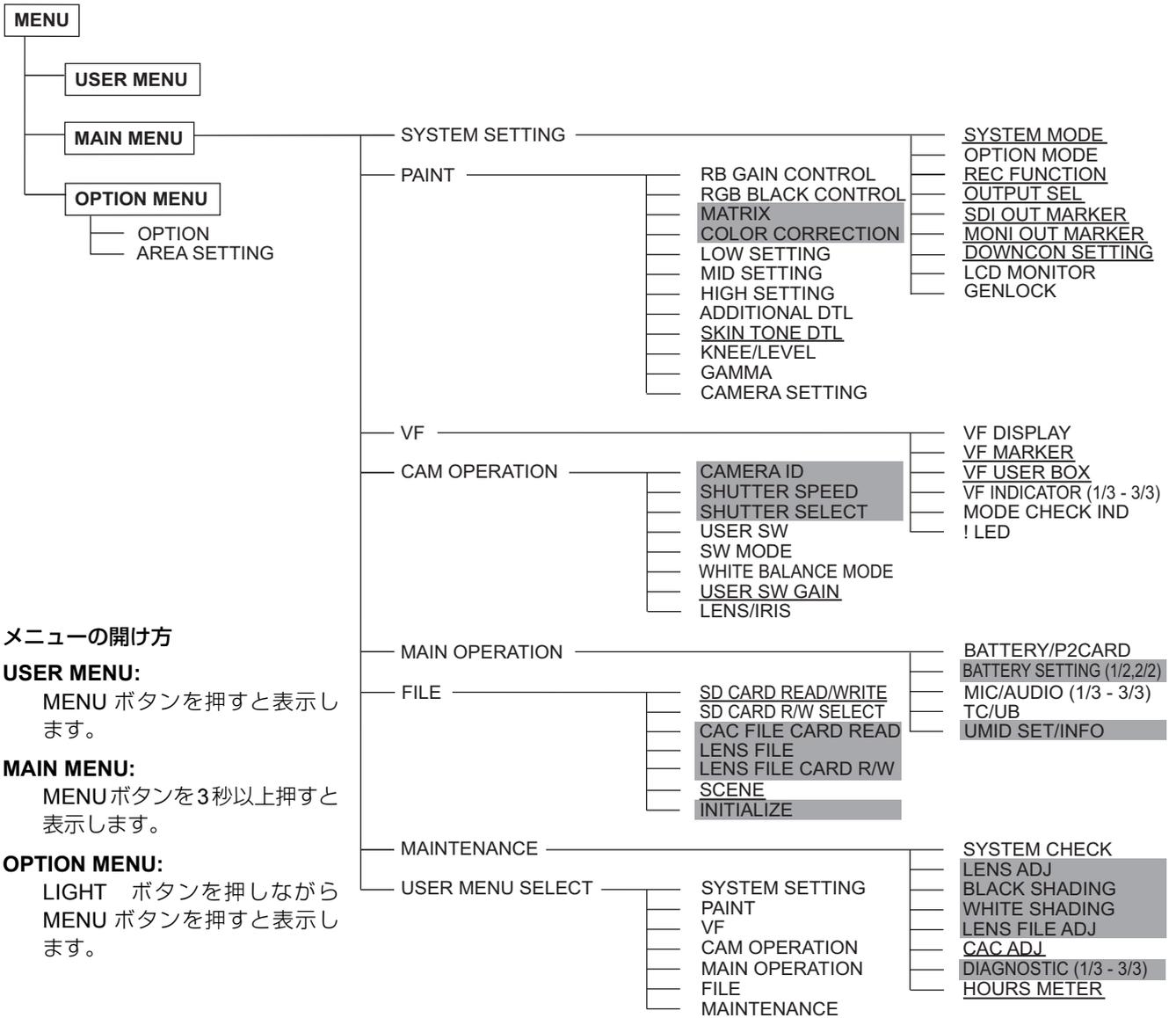
サムネール操作および USB ホストモードでの警告 / エラー表示

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	CANNOT CHANGE!	AVC-Intra100またはAVC-Intra50で、サムネールが生成できず  のマークアイコンが表示されたクリップは、テキストメモ位置のサムネール変更はできません。	SYSTEM MODE項目をクリップに合わせて設定してください。SYSTEM MODE項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。
	CANNOT COPY!	コピーができません。	コピーの条件を確認してください。
	CANNOT DELETE!	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	複数枚のP2カードにまたがって記録したクリップではないコンテンツを選んでいるなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選んでいるなどで修復ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。
	MISSING CLIP!	複数枚のP2カードにまたがって記録されたクリップに、すべてのP2カードが挿入されていない状態でショットマークをつけようとしている。	またがって記録されたすべてのP2カードを挿入し、クリップの  不完全クリップインジケータを表示しなくなるのを確認してからショットマークをつけてください。
	NO CARD!	P2、SDカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーができません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	NO FILE!	指定されたファイルが存在していません。	ファイルを確認してください。
	SAME CLIP IS SELECTED!	既にコピーしたクリップと元のクリップを選択しているため、コピーできません。	選択したクリップを確認し、コピー元のクリップか、コピーされたクリップのいずれかを選択から外してからコピーを実行してください。
	TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	コンテンツバージョンが不整合のときの警告です。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
	USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。
WRITE PROTECTED!	P2、SDカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。	
ソフト キー ボード	CANNOT CHANGE!	テキストメモがない状態で「PERSON (メモ入力者)」項目を入力しようとしている。	「TEXT (テキスト情報)」項目を先に入力してください。
	CANNOT SET! INVALID VALUE!	入力された値が異常です。	入力値を変更してください。

項目	メッセージ	内容	対応
HDD (USB ホスト モード)	CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	HDDの状態や接続を確認してください。
	CANNOT FORMAT!	初期化できません。	接続しているHDDを変更してください。
	CANNOT RECOGNIZE HDD!	接続先のターゲットが正しく認識できません。	HDDの電源を入れ直すか、接続するHDDを変更してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	FORMAT P2 CARD!	HDD→P2へのインポート時に、P2カードが記録済のためコピーできない警告です。	コピー先のP2カードが空でないため、コピーできません。P2機器でフォーマットした後に再度コピーを行ってください。
	HDD CAPACITY FULL!	HDDの空き容量が足りません。	接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	HDD DISCONNECTED!	HDDとの接続が切断されました。	USBを付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの品番が不一致のため、コピーできません。	同一品番のP2カードを使用するか、クリップ単位でインポートしてください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	HDDの最大パーティション数は23ですので、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	TOO MANY TARGETS!	複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
VERIFICATION FAILED!	コピー後のコンペアが不一致でした。	再度コピーを行ってください。	

メニュー

メニュー構成



メニューの開け方

USER MENU:

MENU ボタンを押すと表示します。

MAIN MENU:

MENU ボタンを3秒以上押すと表示します。

OPTION MENU:

LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示します。

◆ NOTE:

- 灰色で囲まれた項目は、<USER MENU SELECT> で選択できません。
- 下線のついた項目は、<USER MENU SELECT> で項目全体（1ページ分）でのみ選択できます。各項目別で個別に選択できません。

メニュー一覧の見方

メニュー変更した内容が、それぞれのデータに記憶、またはデータから読み出しがされるかどうかを示します。
 一の場合は、記憶/読み出しできません。
S = シーンファイルデータとして記憶/読み出し可能です。
C = SD CARD READ/WRITE で記憶/読み出し可能です。
U = ユーザーデータとして記憶/読み出し可能です。
 → 「SCENE」(196 ページ)、「INITIALIZE」(196 ページ) 参照
F = READ FACTORY DATA で読み出し可能です。「INITIALIZE」(196 ページ) を参照してください。
R = RC DATA SAVE で記憶が可能です。
 → 「リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続」(144 ページ)、「エクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) の接続」(146 ページ) 参照

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC SIGNAL - C U F R	CAM SDI	ビデオ入力信号を切り換えます。 CAM : カメラからの信号を記録 SDI : SDI IN端子からの入力を記録
この項目の設定値の可変範囲や、選択できる設定項目を示します。		この項目で設定できる内容の説明です。

USER MENU: 出荷時にUSER MENUを設定しています。
また、ユーザー独自にメニュー操作で、
MAIN MENUページから<USER MENU
SELECT>画面を開き、各項目について使
用目的や設定頻度に応じた項目を選択して、
ユーザー固有のメニュー構成にすることが
できます。
→「USER MENUの選択」(162 ページ)
参照
MENU ボタンを押すと表示します。

MAIN MENU: 設定メニューの全項目を設定できます。
使用目的や、設定頻度などに応じてカテゴ
リー別に階層化した構成にしています。
MENU ボタンを3秒以上押すと表示します。

SYSTEM SETTING:

本機の記録信号や、記録方式などを決める時
に使用する項目です。

PAINT: 波形モニターを使用してカメラの出力波形を
監視しながら、細かな画像調整をする場合の
項目です。通常ビデオエンジニアのサポート
が必要です。

このメニュー項目の設定は、外部のリモート
コントローラなどでも行えますが、本機を単
体で使用する場合に有効です。

VF: ビューファインダー画面上に表示する内容を
選択する場合の項目です。

CAM OPERATION:

本機を運用する時、被写体の条件などによっ
て設定を変更する項目です。

MAIN OPERATION:

オーディオやタイムコード、バッテリーや
P2カードの残量など、記録全般にかかわる
設定を行う項目です。

FILE: SDメモリーカードの読み書きや、レンズ
ファイルなどファイル関連操作を行う項目で
す。

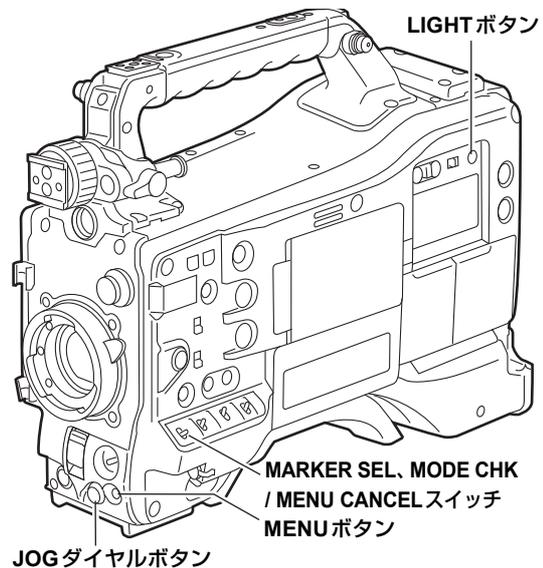
MAINTENANCE:

本機の保守点検を行う項目です。

USER MENU SELECT:

USER MENUを編集する時に使用する項目で
す。

OPTION MENU: 将来的な機能追加等を考慮したメニューを
準備しています。
LIGHT ボタンを押しながらMENU ボタンを
押すと表示します。
詳しくは販売店にご相談ください。



メニューの基本操作

メニュー設定の操作は、MENUボタンとJOGダイヤルボタンで操作します。

メニューは、メインメニューとサブメニュー、および設定項目メニューに分かれています。

設定されたデータは、本機の内部メモリーに書き込まれ、保存されます。

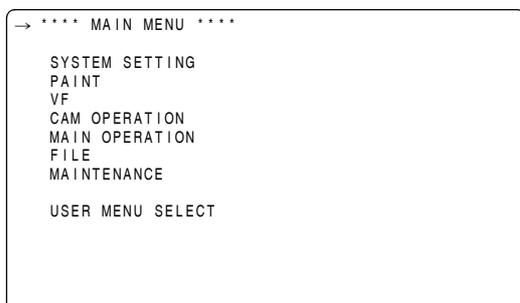
ここでは、MAIN MENUでの操作について説明しますが、メニュー画面の呼び出し方以外の操作方法は、他のメニューも同じです。

◆ NOTE:

サムネール操作中は、ビューファインダーに“THUMBNAIL OPEN”と表示され、メニュー操作はできません。

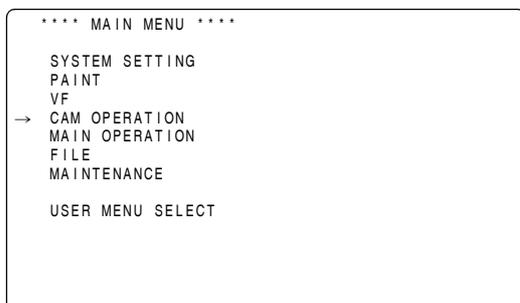
1 MENU ボタンを3秒間以上押す

各カテゴリー別のメニュー画面が表示されます。



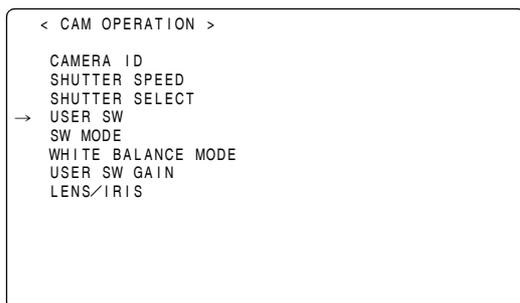
2 JOG ダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイヤルボタンを押す

サブメニュー画面が表示されます。



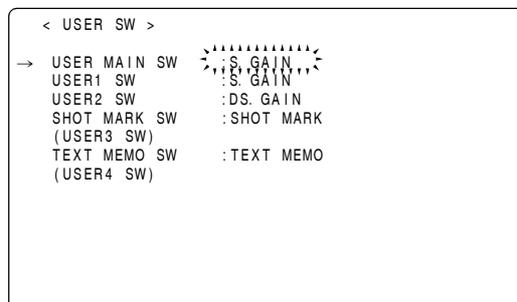
3 JOG ダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイヤルボタンを押す

設定項目メニュー画面が表示されます。



4 JOG ダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイヤルボタンを押す

設定値内容が点滅します。



5 JOG ダイヤルボタンを回して、設定値を変更する

設定値を増加させるには

JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

設定値を減少させるには

JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

変更した設定値を元に戻すには

変更した値を元に戻すには、設定値が点滅状態のとき MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCEL スイッチを手前に引くと、「PUSH CANCEL BACK TO PREV」と表示します。ここで再度 MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCEL スイッチを手前に引くと変更前の値に戻ります。

◆ NOTE:

以下のメニュー項目では MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCEL スイッチによるキャンセルができません。

- USER MENU SELECT 画面の各ページ
- FILE 画面の各ページ
- CAMERA ID
- USER SW GAIN
- WHITE BALANCE MODE ページの一部
- BATTERY SETTING
- UMID SET/INFO

6 JOGダイヤルボタンを押す

- 設定値の点滅が停止し、設定値が確定します。
- 続けて同じページの設定項目を変更する場合には、手順 4～6 を繰り返します。

7 設定が終了すると、MENUボタンを押す

メニュー設定モードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

◆NOTE:

4の設定項目メニュー画面が複数にわたっている場合、画面上部に↑、画面下部に↓が表示されています。このような画面ではJOGダイヤルボタンを回すと、上の項目から前のページに、下の項目から次のページにスクロールします。

```
< MIC/AUDIO 1/3 >
→ VR SELECT           :CH1/2
FRONT VR CH1          :OFF
FRONT VR CH2          :OFF
AUTO LEVEL CH3       :OFF
AUTO LEVEL CH4       :OFF
LVL CONTROL CH3      :070
LVL CONTROL CH4      :070
REAR XLR AUTO CH1/2  :OFF
REAR XLR AUTO CH3/4  :OFF
↓
```



JOGダイヤルボタンを回す

```
↑ < MIC/AUDIO 2/3 >
→ MIC LOWCUT CH1      :OFF
MIC LOWCUT CH2        :OFF
MIC LOWCUT CH3        :OFF
MIC LOWCUT CH4        :OFF
LIMITER CH1           :OFF
LIMITER CH2           :OFF
LIMITER CH3           :OFF
LIMITER CH4           :OFF
25M REC CH SEL        :OFF
TEST TONE              :NORMAL
↓
```



USER MENU の選択

メニュー操作で、MAIN MENUページから<USER MENU SELECT>画面を開き、さらに各設定項目メニュー画面を開き、USER MENUに必要な項目のみを選択します。設定された項目のみがUSER MENUとして表示されます。
→ 操作方法については、「メニューの基本操作」(161 ページ) 参照

```
< USER MENU SELECT >
                               (SELECT MODE)
→ SYSTEM SETTING
  PAINT
  VF
  CAM OPERATION
  MAIN OPERATION
  FILE
  MAINTENANCE
```

◆NOTE:

設定項目は「*」表示で有効になります。ただし設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、14×3=42項目と、メモリー記録部関連1ページ分14項目となります。

メニュー一覧

SYSTEM SETTING

可変範囲の____はプリセットモードです。

SYSTEM MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSTEM MODE	1080-59.94i 1080-50i 480-59.94i 576-50i	本機のシステム周波数と記録フォーマットを設定します。 この項目を切り替えたときは、本機の電源を一度OFFにしてから、再度ONにしてください。 ◆NOTE: ● リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) およびエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) を接続していると、この項目が表示されません。 この項目を切り替えるときは、本機単体で行ってください。 ● タイムコードをフリーランで使用しているとき、SYSTEM MODE項目を変更すると、タイムコードが正しく記録できない場合があります。 電源を再投入後、タイムコードを確認し、必要に応じて設定しなおしてください。 ● USB DEVICEモードのときは、この項目は変更できません。
REC SIGNAL	CAM SDI	ビデオ入力信号を切り換えます。 CAM: カメラからの信号を記録 SDI: SDI IN端子からの入力を記録 ◆NOTE: ● 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時は必ず“CAM”に設定されます。 ● “SDI”を選択すると、REC FORMAT項目の設定にかかわらず、60iまたは50iで記録されます。
REC FORMAT	1080-59.94i時: DVCPROHD/60i AVC-I100/60i AVC-I100/30PN AVC-I100/24PN AVC-I50/60i AVC-I50/30PN AVC-I50/24PN 1080-50i時: DVCPROHD/50i AVC-I100/50i AVC-I100/25PN AVC-I50/50i AVC-I50/25PN 480-59.94i時: DVCPRO50/60i DVCPRO/60i DV/60i 576-50i時: DVCPRO50/50i DVCPRO/50i DV/50i	記録のコーデック、または記録モードを選択します。 DVCPRO HD: DVCPRO HDコーデックで記録します。CAMERA MODE項目でさらに撮影モードを選択できます。 AVC-I 100: AVC-I 50: AVC-Intra100、AVC-Intra50コーデックで記録します。これらのAVC-Intraコーデックでは、撮影・記録は60i、50i、30PN、24PN、25PN (Native記録) から選択できます。 DVCPRO50: DVCPRO: DV: これらはSDモードで選択できるコーデックです。CAMERA MODE項目でさらに撮影モードを選択できます。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAMERA MODE	(1080-59.94i 480-59.94i) 60i 30P 24P 24PA (1080-50i 576-50i) 50i 25P	撮影時の映像方式を設定します。 ◆NOTE: 24PAはAVC-Intraでは選択できません。
ASPECT	16:9 4:3	記録する画角を選択します。(SDモード時のみ) 16:9: <16:9>の画角で記録します。 4:3: <4:3>の画角で記録します。
SCAN REVERSE	OFF ON	アナモフィックレンズや、フィルム用レンズを使用したときに、映像を補正する機能を使用するかどうかを設定します。 OFF: 映像を補正しません。 ON: 映像を補正します。映像の天地左右を反転します。
SETUP	0% 7.5%A	セットアップの切り換えを行います。(480-59.94i時のみ) 0%: カメラ出力、記録上ともセットアップ0%になります。 7.5%A: カメラ出力はセットアップ7.5%、記録上はセットアップ0%になります。
AUDIO SMPL RES	16BIT 24BIT	記録するオーディオデータのビット数を選択します。(AVC-Intraコーデック時のみ) 16BIT: 16ビットで記録します。 24BIT: 24ビットで記録します。 ◆NOTE: ● 24ビットで記録されたクリップは、24ビット対応のP2機器または、P2ビューアーで再生してください。24ビット未対応のP2機器ではクリップ番号が赤色に表示され、再生できません。24ビット未対応のP2ビューアーでは音声は正常に再生されません。最新版のP2ビューアーをご使用ください。 ● 24ビット対応のP2機器および、P2ビューアーの最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。 日本語: http://panasonic.biz/sav/ 英語: http://pro-av.panasonic.net/

REC FUNCTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
INTERVAL REC MODE	OFF ON ONE SHOT	INTERVAL REC機能を設定します。 OFF: INTERVAL RECを行いません。 ON: 本機の内蔵メモリーを使用して、間欠記録を行います。 ONE SHOT: REC TIMEに設定された時間、1回だけ記録し、停止します。 ◆NOTE: LOOP REC MODE項目で「ON」が選択されているとき、およびONE CLIP REC MODE項目で「ON」が選択されているときは、この項目は変更できません。また、Native記録モードや24P、24PAモードでは動作しません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
INTERVAL REC HOLD	ON OFF	一度電源をOFFにしたとき、INTERVAL REC MODEの設定を保持するかどうかを選択します。 ON: 保持します。 OFF: 保持しません。次に電源をONにしたとき、必ずINTERVAL REC MODEはOFFになります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
REC TIME *	00s01f : 59s29f	記録時間（1カット）を設定します。 ◆NOTE: 設定は1フレーム単位でできますが、記録方式により、実動作での最短時間および設定時間の切り捨て単位フレーム数は異なります。詳しくは「INTERVAL REC機能」（40ページ）を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
PAUSE TIME *	00h00m00s01f : 00h04m59s29f : 23h59m59s29f	記録の一時停止時間を設定します。 ◆NOTE: 設定は1フレーム単位でできますが、記録方式により、実動作での最短時間および設定時間の切り捨て単位フレーム数は異なります。詳しくは「INTERVAL REC機能」（40ページ）を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
TAKE TOTAL TIME	NONE : 5day	撮影に要する時間の設定をします。 NONE（手動で停止するまで続ける）から5day（5日間）の中から選択します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
TOTAL REC TIME *	00m00s01f : 99m59s29f OVER100min NONE	総記録時間を表示します。ここでの設定変更はできません。REC TIME、PAUSE TIME、TAKE TOTAL TIMEから計算した記録時間（必要なP2カードの記録時間）を表示します。 ◆NOTE: 実動作に基づいた値を表示します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
START DELAY	0SEC : 10SEC	INTERVAL RECでRECボタンを押してから、記録を開始するまでの時間を設定します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
PRE REC MODE	ON OFF	PRE RECORDINGを行うかどうかを選択します。 ON: PRE RECORDINGを行います。 OFF: PRE RECORDINGを行いません。 ◆NOTE: PRE RECORDINGを行う時間の設定は、PRE REC TIME項目で行います。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	

* この可変範囲は59.94 Hzでの数値です。50 Hzではフレーム桁は24fまでになります。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PRE REC TIME	1SEC : 8SEC : 15SEC	PRE RECORDINGの設定をします。 1-15SEC: RECボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間の設定をします。 ◆NOTE: SYSTEM MODE画面のSYSTEM MODE項目を“1080-59.94i”、“1080-50i”に設定している場合、または“480-59.94i”、“576-50i”を選択していてもREC FORMAT項目で“DVCPRO50”を選択している場合は選択範囲の上限は8秒になります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
LOOP REC MODE	ON OFF	LOOP RECを行うかどうかを選択します。 PRE RECORDINGと併用することもできます。 ON: LOOP RECを行います。 OFF: LOOP RECを行いません。 ◆NOTE: ●この項目は、一度電源をOFFにする、次回電源をONにしたときは必ずOFFに設定されます。 ●以下の場合、この項目は変更できません。 ◆ INTERVAL REC MODE項目で「ON」または「ONE SHOT」が選択されているとき ◆ ONE CLIP REC MODE項目で「ON」が選択されているとき ●Native記録モードや24P、24PAモードでは動作しません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
REC START	ALL NORMAL	記録開始の受け付けを選択します。 ALL: 停止中、記録一時停止中、再生中に記録開始を受け付けます。 NORMAL: 停止中、記録一時停止中に記録開始を受け付けます。 ◆NOTE: INTERVAL REC MODEを「ON」または「ONE SHOT」に設定しているときは、本項目を「ALL」に設定していても「NORMAL」の動作になります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
P.ON REC SLOT SEL	HOLD SLOT1	電源をONにしたとき、記録対象になるスロットの順序を選択します。 HOLD: 前回、電源をOFFにしたときの記録スロットから記録します。 SLOT1: 電源をONにするたびに、スロット1から順に記録対象カードになります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	

◆NOTE:

REC TIME、PAUSE TIMEおよびTOTAL REC TIMEは、ドロップフレーム動作中はドロップフレーム換算に、ノンドロップフレーム時はノンドロップフレーム換算になります。
TAKE TOTAL TIMEは実時間です。したがって設定によってはTOTAL REC TIMEに端数がつきます。

ドロップフレーム時の例

REC TIME	02s00f
PAUSE TIME	02s00f
TAKE TOTAL TIME	40min
TOTAL REC TIME	19m59s06f

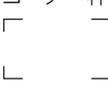
項目/ データ保存	可変範囲	備考
ONE CLIP REC MODE	ON OFF	ONE CLIP RECモードを選択します。 ON: ONE CLIP RECモードで動作します。 OFF: ONE CLIP RECモードは動作しません。 ◆ NOTE: 以下の場合、この項目は変更できません。 ● INTERVAL REC MODE項目で「ON」または「ONE SHOT」が選択されているとき ● LOOP REC MODE項目で「ON」が選択されているとき
- C U F -		

OUTPUT SEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	SDI OUT端子、およびMON OUT端子の出力信号に重畳するキャラクターの内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの時のみ表示します。通常は何も表示しません。 TC: タイムコードを表示します。(メニューの時はメニューを表示) ◆ NOTE: TC表示位置はカメラIDの位置に応じて上下します。 STATUS: ビューファインダーに表示しているキャラクターと同じものを全て表示します。(メニューの時はメニューを表示)
- C U F -		
SDI OUT MODE	MEM CAM	SDI OUT端子の出力信号を選択します。 MEM: 再生モードでは再生画になります。 CAM: 常にカメラ画像になります。 ◆ NOTE: この項目は<SYSTEM MODE>画面のREC SIGNAL項目が「CAM」のとき、有効です。「SDI」のときは、この設定にかかわらず、再生モードでは再生映像を出力します。
- C U F -		
SDI OUT CHAR	OFF ON	SDI OUT端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。 OFF: 重畳しません。 ON: 重畳します。 ◆ NOTE: 重畳されるキャラクターの内容は、MON OUT端子の映像に重畳されるキャラクターと同一になります。
- C U F -		
MONITOR OUT	HD (1080i) 時 HD SDI SD SDI VBS SD (480i/576i) 時 SD SDI VBS	MON OUT端子の出力信号形式を選択します。 HD SDI: HD SDI信号を出力します。 SD SDI: SD SDI信号を出力します。 VBS: コンポジット信号を出力します。 ◆ NOTE: HD時とSD時の設定値は別々に保存されます。
- C U F -		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MONITOR OUT MODE	MEM CAM	MON OUT端子の出力信号を選択します。SDI OUTとは独立して動作します。 MEM: 再生モードでは再生画になります。 CAM: 常にカメラ画像になります。 ◆ NOTE: この項目は<SYSTEM MODE>画面のREC SIGNAL項目が「CAM」のとき、有効です。「SDI」のときは、この設定にかかわらず、再生モードでは再生映像を出力します。
- C U F -		
VF/LCD CHAR	VF-OFF LCD-OFF ON	液晶モニター、およびビューファインダーの映像にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。 VF-OFF: ビューファインダーには重畳せず、液晶モニターには重畳します。 LCD-OFF: 液晶モニターには重畳せず、ビューファインダーには重畳します。 ON: ビューファインダー、液晶モニターとも重畳します。
- C U F -		
VF MODE	MEM CAM	ビューファインダーの画像を選択します。 MEM: 再生モードでは再生画になります。 CAM: 常にカメラ画像になります。 ◆ NOTE: この項目は<SYSTEM MODE>画面のREC SIGNAL項目が「CAM」のとき、有効です。「SDI」のときは、この設定にかかわらず、再生モードでは再生映像を出力します。
- C U F -		
THUMBNAIL OUT	ON OFF	液晶モニターに表示するクリップのサムネールをSDI OUT端子やMON OUT端子からも出力するか選択します。 ON: 出力します。 OFF: 出力しません。 ◆ NOTE: HD SDI信号を出力しているときはサムネールは出力されません。
- C U F -		

SDI OUT MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MARKER SW	OFF ON	マーカの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 ON: 表示します。
- C U F R		
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
- C U F R		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セーフティゾーンマーカの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
- C U F R		

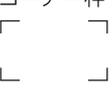
項目/ データ保存	可変範囲	備考
SAFETY AREA	80% : 90% : 100%	セーフティーゾーンマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
— C U F R		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカのON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FRAME SIG	4:3 : 13:9 : 14:9 : VISTA : CNSCO	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは16 : 8.65、CNSCOは16 : 6.81です。
— C U F R		
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをSDI OUT端子からの信号に表示するかどうかの設定を行います。
— C U F R		
USER BOX WIDTH	001 : 013 : 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
— C U F R		
USER BOX HEIGHT	001 : 013 : 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
— C U F R		
USER BOX H POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
— C U F R		
USER BOX V POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRAME SIG	4:3 : 13:9 : 14:9 : VISTA : CNSCO	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは16 : 8.65、CNSCOは16 : 6.81です。
— C U F R		
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをMON OUT端子からの信号に表示するかどうかの設定を行います。
— C U F R		
USER BOX WIDTH	001 : 013 : 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
— C U F R		
USER BOX HEIGHT	001 : 013 : 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
— C U F R		
USER BOX H POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
— C U F R		
USER BOX V POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
— C U F R		

◆ NOTE:

HDモードで、DOWNCON MODE項目を“LT-BOX”か“S-CROP”に設定すると、MON OUT端子から出力されるSD SDI、またはVBS出力では、セーフティーゾーンマーカ、ユーザーボックスは表示されません。

MONI OUT MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
— C U F R		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セーフティーゾーンマーカの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
— C U F R		
SAFETY AREA	80% : 90% : 100%	セーフティーゾーンマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
— C U F R		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカのON/OFFの選択を行います。
— C U F R		

DOWNCON SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DOWNCON MODE	SQUEEZE LT-BOX S-CROP	ダウンコンバーター出力信号のモードを設定します。 ◆NOTE: この項目で“LT-BOX”を選択した場合に、ダウンコンバーター出力映像の上下端の一部が乱れることがあります。故障ではありません。
—C U F R—		
DETAIL	ON OFF	ダウンコンバーター出力信号に対するディテール機能のON/OFFを設定します。 ダウンコンバーター出力信号には、HD信号処理時に設定されたディテール成分が含まれます。 本設定は、その信号にダウンコンバーター出力専用のディテール成分を重畳するものです。 本設定をOFFにしても、HD信号処理時に設定されたディテール成分をOFFにすることができません。
—C U F R—		
H.DTL LEVEL	00 : 08 : 31	ダウンコンバーター出力信号に対する水平ディテール補正レベルの設定を行います。
—C U F R—		
V.DTL LEVEL	00 : 04 : 31	ダウンコンバーター出力信号に対する垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
—C U F R—		
DTL CORING	00 01 : 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
—C U F R—		
H.DTL FREQ.	1 : 3 : 5	水平ディテール周波数の選択を行います。 1: 2.5 MHz 4: 4 MHz 2: 3 MHz 5: 4.5 MHz 3: 3.5 MHz
—C U F R—		
2D LPF	ON OFF	クロスカラーを低減する2次元ローパスフィルターの設定を行います。 ON: クロスカラーの低減を行います。 OFF: クロスカラーの低減を行いません。
—C U F R—		
SETUP	0% 7.5%	ダウンコンバーター出力信号に対するセットアップレベルの設定を行います。(1080-59.94i時のみ) ◆NOTE: システム周波数を50Hzに設定しているときは、セットアップレベルが0%になります。
—C U F R—		

◆NOTE:

<DOWNCON SETTING>画面はSYSTEM MODE項目が1080-59.94i、1080-50i (HDモード) のとき表示します。

LCD MONITOR

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BRIGHTNESS	-7 : +0 : +7	液晶モニターの輝度を調整します。
—C U F—		
COLOR LEVEL	-7 : +0 : +7	液晶モニターの色の濃度を調整します。
—C U F—		
CONTRAST	-7 : +0 : +7	液晶モニターのコントラストを調整します。
—C U F—		
BACKLIGHT	OFF LOW NORMAL HIGH	バックライトのOFF、あるいはバックライトの輝度調整を行います。 OFF: バックライトをOFFにします。 LOW: NORMALより暗くなります。 NORMAL: 通常使用するモードです。 HIGH: NORMALより明るくなります。
—C U F—		
SELF SHOOT	NORMAL MIRROR	液晶モニターの画像を左右反転するかかどうかを選択します。 NORMAL: 左右反転しません。 MIRROR: 左右反転します。
—C U F—		

GENLOCK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GENLOCK	INT GL IN SDI IN	カメラ信号の同期信号を切り換えます。 INT: GENLOCK IN端子やSDI IN端子に入力された基準信号に関係なく、内部の基準信号に同期します。 GL IN: GENLOCK IN端子に入力された基準信号に同期します。 SDI IN: SDI IN端子に入力された基準信号に同期します。 ◆NOTE: <SYSTEM MODE>画面のREC SIGNAL項目が“SDI”のときは、この設定にかかわらず、SDI IN端子に入力された基準信号に同期します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	GENLOCK IN端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。(1080-59.94i、1080-50i時のみ) HD SDI: HD SDI出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 ダウンコンバーター出力信号は、映像のスタート位置が約90ライン遅れます。 COMPOSIT: ダウンコンバーター出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 HD SDI出力信号は、映像のスタート位置が約90ライン進みます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
H PHASE COARSE	-100 : +000 : +100	システムを組む際に水平同期の位相合わせの粗調整を行ないます。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
H PHASE FINE	-100 : +000 : +100	システムを組む際に水平同期の位相合わせの微調整を行ないます。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
RETURN SIGNAL	HD SDI HD-Y	HDモード時、ビューファインダーおよび液晶モニターに表示するリターンビデオを選択します。 HD SDI: SDI IN端子に入力されたHD SDI入力信号を表示します。 HD-Y: GENLOCK IN端子に入力されたHDのY信号を表示します。 ◆NOTE: SDモードでは、この項目は表示されません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

PAINT

可変範囲の____はプリセットモードです。

RB GAIN CONTROL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R GAIN AWB PRE *	-200 : +000	WHITE BALスイッチがPRSTの位置の ときのRchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
B GAIN AWB PRE *	-200 : +000	WHITE BALスイッチがPRSTの位置の ときのBchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
R GAIN AWB A *	-200 : +000	WHITE BALスイッチがAの位置のとき のRchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
B GAIN AWB A *	-200 : +000	WHITE BALスイッチがAの位置のとき のBchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
R GAIN AWB B *	-200 : +000	WHITE BALスイッチがBの位置のとき のRchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
B GAIN AWB B *	-200 : +000	WHITE BALスイッチがBの位置のとき のBchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
AWB A GAIN OFFSET *	ON OFF	WHITE BALスイッチをAの位置にして オートホワイトバランスを行ったとき の、RchゲインとBchゲインの値を設定 します。 ON: R GAIN AWB A項目とB GAIN AWB A項目で設定した値を保持 したままにします。 OFF: RchゲインとBchゲインの値を 「0」にします。
S C U F R		
AWB B GAIN OFFSET *	ON OFF	WHITE BALスイッチをBの位置にして オートホワイトバランスを行ったとき の、RchゲインとBchゲインの値を設定 します。 ON: R GAIN AWB B項目とB GAIN AWB B項目で設定した値を保持 したままにします。 OFF: RchゲインとBchゲインの値を 「0」にします。
S C U F R		

RGB BLACK CONTROL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED *	-200 : +015	マスターペDESTALのレベルを設定しま す。
S C U F R	+200	
R PEDESTAL *	-100 : +000	RchのペDESTALレベルを設定します。
S C U F R	+100	
G PEDESTAL *	-100 : +000	GchのペDESTALレベルを設定します。
S C U F R	+100	
B PEDESTAL *	-100 : +000	BchのペDESTALレベルを設定します。
S C U F R	+100	
PEDESTAL OFFSET *	ON OFF	オートブラックバランスの調整を行っ たときの、Rch、Gch、BchのペDESTAL レベルを設定します。 ON: R PEDESTAL、G PEDESTAL、 B PEDESTALの各項目で設定し た値を保持したままにします。 OFF: Rch、Gch、BchのペDESTALレ ベルを「0」にします。
S C U F R		
R FLARE *	-100 : +000	Rchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフ レア調整値に対して、この項目の調整値 が加算されます。
S C U F R	+100	
G FLARE *	-100 : +000	Gchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフ レア調整値に対して、この項目の調整値 が加算されます。
S C U F R	+100	
B FLARE *	-100 : +000	Bchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフ レア調整値に対して、この項目の調整値 が加算されます。
S C U F R	+100	

* リモートコントロールユニット、およびエクステンションコン
トロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定がで
きなくなります。(設定値の表示は行います。)

MATRIX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MATRIX TABLE	A B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
MATRIX R-G	A時 B時	リニアマトリックスの調整を行います。 (赤 - 緑)
	-63 -63 +31 +24	
S C U F R	+63 +63	
MATRIX R-B	-63 -63	リニアマトリックスの調整を行います。 (赤 - 青)
	-04 +09	
S C U F R	+63 +63	
MATRIX G-R	-63 -63	リニアマトリックスの調整を行います。 (緑 - 赤)
	-01 +03	
S C U F R	+63 +63	
MATRIX G-B	-63 -63	リニアマトリックスの調整を行います。 (緑 - 青)
	+04 +14	
S C U F R	+63 +63	
MATRIX B-R	-63 -63	リニアマトリックスの調整を行います。 (青 - 赤)
	+01 +05	
S C U F R	+63 +63	
MATRIX B-G	-63 -63	リニアマトリックスの調整を行います。 (青 - 緑)
	-01 +18	
S C U F R	+63 +63	
■L MATRIX TABLE	OFF A	GAINスイッチがLの位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R	B	
■M MATRIX TABLE	OFF A	GAINスイッチがMの位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R	B	
■H MATRIX TABLE	OFF A	GAINスイッチがHの位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R	B	

◆ NOTE:

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。
■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

→ 「SD CARD R/W SELECT」(194 ページ) 参照

COLOR CORRECTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R (SAT)	-63 +50	赤の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
R-Mg (SAT)	-63 +25	赤とマゼンタの間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
Mg (SAT)	-63 +08	マゼンタの色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
Mg-B (SAT)	-63 +00	マゼンタと青の間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
B (SAT)	-63 +00	青の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
B-Cy (SAT)	-63 +00	青とシアンの間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
Cy (SAT)	-63 -10	シアンの色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
Cy-G (SAT)	-63 -10	シアンと緑の間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
G (SAT)	-63 +00	緑の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
G-YI (SAT)	-63 +00	緑と黄の間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
YI (SAT)	-63 +19	黄の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
YI-R (SAT)	-63 +34	黄と赤の間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	

- マスターゲインを“-6dB”または“-3dB”に設定して撮影を行うと、高輝度部の映像に着色現象が発生することがあります。OUTPUT/AUTO KNEEスイッチを「CAM/AUTO KNEE OFF」に切り替え、<KNEE/LEVEL>画面のMANUAL KNEE項目を“ON”に設定後、以下のメニュー項目を変更することで着色現象を軽減することができます。

- ◆ <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“HD”、“SD”、“FILMLIKE1”、“FILMLIKE2”、“FILMLIKE3”を選択している場合は、<KNEE/LEVEL>画面のKNEE MASTER SLOPE項目の値を小さくします。
- ◆ <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“FILM-REC”を選択している場合は、<GAMMA>画面のF-REC DYNAMIC LVL項目の値を小さくします。
- ◆ <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“VIDEO-REC”を選択している場合は、<GAMMA>画面のV-REC KNEE SLOPE項目の値を小さくします。

MID SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-6dB : 6dB	マスターゲインを-6、-3、0、3、6、9、12、15、18、21、24、27、30 dBから選択します。
S C U F	30 dB	
H.DTL LEVEL	00 : 08	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F	63	
V.DTL LEVEL	00 : 12	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F	31	
DTL CORING	00 : 08	ディテールのノイズ除去レベルを設定します。
S C U F	60	
H.DTL FREQ.	00 : 18	水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F	31	
LEVEL DEPEND.	0 : 1 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。 Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。 数値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.45	マスターガンマの設定を行います。 (0.01ステップ)
S C U F	0.75	
BLACK GAMMA	-8 : OFF	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -8~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+8: 暗部を伸張します。
S C U F	+8	
B.GAMMA RANGE	1 : 2 : 3	圧縮 / 伸張を行う上限レベルの設定を行います。 1: 20%程度 2: 30%程度 3: 40%程度
S C U F R		
■MATRIX TABLE	OFF : A : B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F		
■COLOR CORRECT	ON : OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F		

HIGH SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-6dB : 12dB : 30dB	マスターゲインを-6、-3、0、3、6、9、12、15、18、21、24、27、30 dBから選択します。
S C U F		
H.DTL LEVEL	00 : 06 : 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
V.DTL LEVEL	00 : 10 : 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
DTL CORING	00 : 12 : 60	ディテールのノイズ除去レベルを設定します。
S C U F		
H.DTL FREQ.	00 : 18 : 31	水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F		
LEVEL DEPEND.	0 : 3 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。 Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。 数値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.55 : 0.75	マスターガンマの設定を行います。 (0.01ステップ)
S C U F		
BLACK GAMMA	-8 : OFF : +8	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -8~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+8: 暗部を伸張します。
S C U F		
B.GAMMA RANGE	1 2 3	圧縮 / 伸張を行う上限レベルの設定を行います。 1: 20%程度 2: 30%程度 3: 40%程度
S C U F R		
■MATRIX TABLE	OFF A B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F		
■COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F		

ADDITIONAL DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
KNEE APE LVL	OFF 1 : 5	高輝度部のディテールレベルを変えません。
S C U F R		
DTL GAIN(+)	-31 : +00 : +31	ディテールの+ (上) 方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL GAIN(-)	-31 : +00 : +31	ディテールの- (下) 方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL CLIP	00 : 63	ディテール信号をクリップするレベルを設定します。
S C U F R		
DTL SOURCE	(R+G)/2 (G+B)/2 2G+R+B/4 (3G+R)/4 R G	ディテールを作成するRGB信号成分の比率を設定します。
S C U F R		
MASTER DTL	-31 : +00 : +31	マスターディテールレベルを変えます。
S C U F R		

◆ NOTE:

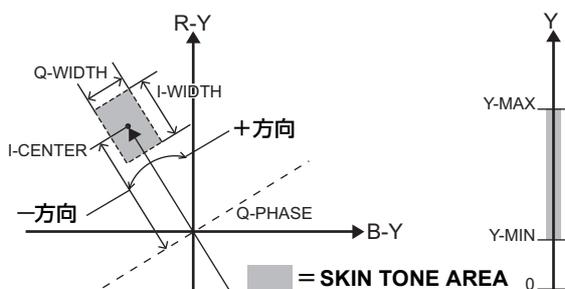
名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

→ 「SD CARD R/W SELECT」(194 ページ) 参照

SKIN TONE DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■SKIN TONE DTL	OFF A B AB	スキントーンディテールを効かせる肌色テーブルを選択します。 肌色テーブルは、DETECT TABLE 項目で作成します。 スキントーンディテールを効かせることで、人物の肌をより滑らかに撮影することができます。
S C U F R		
■ZEBRA VF	ON OFF	ビューファインダー画面に表示されるスキントーンエリアに、ゼブラパターンを表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL>画面を開いているときにゼブラパターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE DTL 項目で選択されたエリアを表示します。
S C U F R		
■ZEBRA SDI OUT	ON OFF	SDI OUT 信号にスキントーンゼブラを表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL>画面を開いているときにゼブラパターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE DTL 項目で選択されたエリアを表示します。
S C U F R		
■ZEBRA MONI	ON OFF	MON OUT 信号にスキントーンゼブラを表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL>画面を開いているときにゼブラパターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE DTL 項目で選択されたエリアを表示します。
S C U F R		
DETECT TABLE	A B	スキントーンテーブルを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。
S C U F R		
SKIN TONE GET		DETECT TABLE 項目で選択された A または、B の色情報をセンターマーカー付近で取得します。 実行すると I CENTER ~ Q PHASE のデータが自動で取得されます。 取得したデータは、DETECT TABLE 項目で選択された A または、B のテーブルデータになります。 A と B の両方を同時に色情報を得ることはできません。
SKIN DTL EFFECT	0 : 16 : 31	スキントーンディテールの効果レベルを設定します。
S C U F R		
Y MAX	000 : 190	スキントーンを効かせる輝度信号最大値の設定を行います。
S C U F R		
Y MIN	000 : 010	スキントーンを効かせる輝度信号最小値の設定を行います。
S C U F R		
I CENTER	000 : 035	I 軸上の中心位置の設定 (スキントーンを効かせるエリアの設定) を行います。
S C U F R		
I WIDTH	000 : 055	I CENTER を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅の設定を行います。
S C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
Q WIDTH	00 : 10 : 90	I CENTER を中心とした Q 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅の設定を行います。
S C U F R		
Q PHASE	-180 : +000	Q 軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相の設定を行います。
S C U F R		



◆ NOTE:

- 名前の先頭に ■ が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT> 画面の PAINT MENU SW (■) R/W 項目の設定対象です。■ が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。
→ 「SD CARD R/W SELECT」(194 ページ) 参照
- ■ SKIN TONE DTL 項目は LOW SETTING、MID SETTING、HIGH SETTING、ADDITION DTL、CAMERA SETTING の各項目で設定するディテールとは独立して動作します。

KNEE/LEVEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 : +015 : +200	マスターペダスタルの設定を行います。
S C U F R		
■MANUAL KNEE	ON OFF	AUTO KNEE スイッチが OFF 時のモード設定を行います。ON 時に KNEE MASTER POINT/SLOPE の設定値が有効になります。
S C U F R		
KNEE MASTER POINT	70.0% : 93.0% : 107.0%	二点の位置設定を 0.5% ステップで行います。
S C U F R		
KNEE MASTER SLOPE	00 : 85 : 99	二の傾き設定を行います。
S C U F R		
■WHITE CLIP	ON OFF	ホワイトクリップ機能の ON/OFF を選択します。ON 時に WHITE CLIP LVL の設定値が有効になります。
S C U F R		

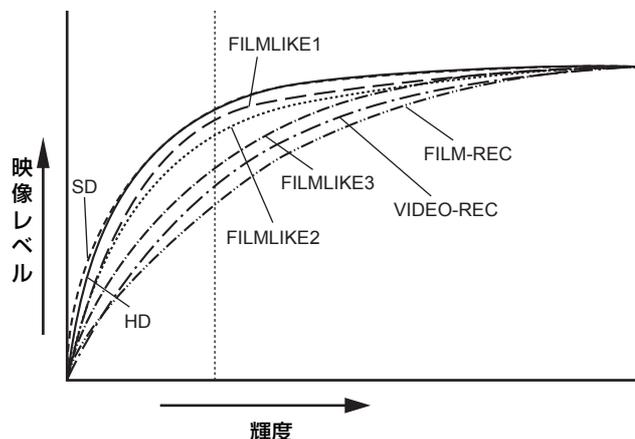
項目/ データ保存	可変範囲	備考
WHITE CLIP LVL	90% :109%	ホワイトクリップレベルの設定を行います。
S C U F R		
A.KNEE POINT	80% :93% :107%	オートニーポイントの位置設定を1%ステップで行います。 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチがCAM/AUTO KNEE ONの時に有効になります。
S C U F R		
A.KNEE LVL	100 :107 :109	オートニーレベルの設定を行います。
S C U F R		
A.KNEE RESPONSE	1 :4 :8	AUTO KNEE 応答速度の設定を行います。設定値が小さいほど応答速度が速くなります。
S C U F R		
CHROMA LEVEL	OFF -99% :100% +40%	Pr信号とPb信号のクロマレベルを設定します。 OFFに設定したときは、映像信号のカラー成分を除去します。
S C U F R		
DRS MODE	MODE1 MODE2	DRSの色保存の効きを設定します。 MODE1: 高輝度部の色合いを自然な状態にします。 MODE2: 高輝度部の色合いを、より鮮やかにします。
S C U F R		
DRS EFFECT DEPTH	1 2 3	DRSの高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。
S C U F R		
■HI-COLOR SW	ON OFF	色のダイナミックレンジを拡大するモードのON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
HI-COLOR LVL	1 :32	色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベル選択を行います。
S C U F R		

◆ NOTE:

- 名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。
■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。
詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(194 ページ) を参照してください。
- <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“FILM-REC”、または“VIDEO-REC”を選択している場合、KNEE MASTER SLOPE項目、KNEE MASTER POINT項目の設定は無効になります。

GAMMA

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAMMA	0.30 :0.45	マスターガンマの設定を0.01ステップで行います。
S C U F R		
R GAMMA	-15 :00 +15	Rchのガンマ設定を行います。
S C U F R		
B GAMMA	-15 :00 +15	Bchのガンマ設定を行います。
S C U F R		
GAMMA MODE SEL	HD SD FILMLIKE1 FILMLIKE2 FILMLIKE3 FILM-REC VIDEO-REC	ガンマモードの選択を行います。 HD: HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。 SD: HDガンマよりも暗部のゲインがアップしています。 FILMLIKE1: HDガンマに比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILMLIKE2: FILMLIKE1に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILMLIKE3: FILMLIKE2に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILM-REC: フィルム用シネガンマ特性です。 VIDEO-REC: ビデオ用シネガンマ特性です。
S C U F R		



- GAMMA MODE SEL項目をFILMLIKE3で使用するとき、下記の設定をお勧めします。
MANUAL KNEE : ON
KNEE MASTER POINT : 85.0%
KNEE MASTER SLOPE : 50
- GAMMA MODE SEL項目をFILM-RECまたはVIDEO-RECに設定時、AUTO KNEEは動作しません。また、AJ-RC10G接続時もAUTO KNEEは動作しませんが、A.KNEE ONボタン操作により、AJ-RC10GのボタンのLEDは点灯します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
F-REC DYNAMIC LVL	200% 300% 400% 500% 600%	GAMMA MODE SEL項目でFILM-RECを選択しているとき、ダイナミックレンジを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を変更することはできません。
S C U F R		
F-REC BLACK STR LVL	00% 30%	GAMMA MODE SEL項目でFILM-RECを選択しているとき、ブラックストレッチを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を変更することはできません。
S C U F R		
V-REC KNEE SLOPE	150% 200% 250% 300% 350% 400% 450% 500%	GAMMA MODE SEL項目でVIDEO-RECを選択しているとき、ニースロープを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を変更することはできません。
S C U F R		
V-REC KNEE POINT	30% 107%	GAMMA MODE SEL項目でVIDEO-RECを選択しているとき、ニーポイントを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を変更することはできません。
S C U F R		

■CAMERA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DETAIL	ON OFF	ディテール信号のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		
2D LPF	ON OFF	クロスカラーを低減する2次元ローパスフィルターの設定を行います。 ON: クロスカラーの低減を行います。 OFF: クロスカラーの低減を行いません。 ◆NOTE: 480-59.94iのときのみ動作します。
— C U F R		
GAMMA	ON OFF	ガンマ補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
TEST SAW	ON OFF	テスト信号のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
FLARE	ON OFF	フレア補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
H-F COMPE.	ON OFF	アパチャー補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
DNR	ON OFF	DNR (Digital Noise Reduction) 機能のON/OFFの選択を行います。
S C U F R		

◆NOTE:

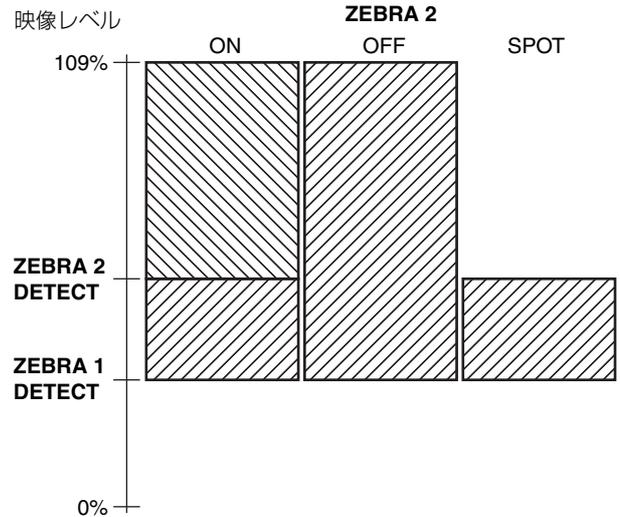
CAMERA SETTINGは、すべての項目が<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象になります。

可変範囲の____はプリセットモードです。

VF DISPLAY

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DISP CONDITION	NORMAL HOLD	NORMAL: ステータスを常時表示 HOLD: MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手 前に引いた時のみ表示
— C U F R		
DISP MODE	1 2 3	DISP MODEの設定を行います。 カメラの警告/通報表示を切り替えます。 詳しくは「表示モードと設定変更/調整 結果メッセージ」(86 ページ) を参照し てください。
— C U F R		
VF OUT	Y NAM R G B	ビューファインダー画面に表示する映像 信号の選択を行います。 Y: 輝度信号 NAM: R,G,Bの中で一番レベルの大きい 信号を出力します R: Rch信号 G: Gch信号 B: Bch信号
— C U F R		
VF DTL	00 : 05 : 10	ビューファインダー画面の詳細レ ベルを設定します。 ビューファインダー用信号の詳細 をさらに強調します。00の場合は本線 と同じディテールになります。
— C U F R		
ZEBRA1 DETECT	0% : 70% : 109%	ZEBRA1検出レベル(IRE値)の設定を行 います。
— C U F R		
ZEBRA2 DETECT	0% : 85% : 109%	ZEBRA2検出レベル(IRE値)の設定を行 います。
— C U F R		
ZEBRA2	ON SPOT OFF	ZEBRA2のON/OFF切換え、および SPOTの選択を行います。
— C U F R		
LOW LIGHT LVL	OFF 10% 15% 20% 25% 30% 35%	カメラの入力光量がどのくらい低い時 に、"LOW LIGHT"を表示するかの設定 を行います。
— C U F R		
RC MENU DISP.	ON OFF	リモートコントロールユニット、または エクステンションコントロールユニット 接続時、ビューファインダー画面にメ ニューを表示する設定を行います。
— C U F R		
MARKER CHAR LVL	50% 60% 70% 80% 90% 100%	VFのマーカーとキャラクターの輝度設 定を行います。
— C U F R		
SYNCHRO SCAN DISP.	sec deg	SYNCHRO SCANモードを表示する単 位を設定します。 sec: 時間で表示します。 deg: シャッターの開口角度で表示し ます。
— C U F R		

ゼブラパターンの表示



VF MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TABLE	A B	VF MARKER設定テーブルの選択を行います。 以下の項目で選択した A/B の現在の値と設定を行います。
— C U F R		
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
— C U F R		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セーフティゾーンマーカークの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 「 ┌ ┐ └ ┘
— C U F R		
SAFETY AREA	80% : 90% : 100%	セーフティゾーンマーカークの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1% ずつの設定が可能です。
— C U F R		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカークの ON/OFF の選択を行います。
— C U F R		
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO	フレームマーカークの設定を行います。 VISTAは 16 : 8.65 (1.85 : 1)、CNSCOは 16 : 6.81 (2.35 : 1) です。
— C U F R		
FRAME LVL	0 : 15	フレームマーカークの外側のレベルの設定を行います。 0: 信号 OFF に相当 (ブランキング状態) 15: 中央部と同じ明るさになります。
— C U F R		

VF USER BOX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをビューファインダーに表示するかどうかの設定を行います。
— C U F R		
USER BOX WIDTH	001 : 013 : 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
— C U F R		
USER BOX HEIGHT	001 : 013 : 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
— C U F R		
USER BOX H POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
— C U F R		
USER BOX V POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
— C U F R		

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。

VF INDICATOR (1/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
EXTENDER	ON OFF	エクステンダー表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
SHUTTER	ON OFF	シャッタースピード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルター No. 表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
WHITE	ON OFF	AWB PRE/A/B 表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
GAIN	ON OFF	現在の選択ゲイン、S.GAIN、DS.GAIN 表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
IRIS	OFF IRIS S+IRIS S	OFF: スーパーアイリスON状態、スーパーブラックON状態、および絞り値を表示しません。 IRIS: 絞り値のみを表示します。 S+IRIS: スーパーアイリスON状態、スーパーブラックON状態、および絞り値を表示します。 S: スーパーアイリスON状態、およびスーパーブラックON状態を表示します。 ● 絞り値の表示とアイリスオーバーライドの表示は連動します。アイリスオーバーライドを変更したときは、3秒間強制的に表示します。
— C U F R		
CAMERA ID	BAR OFF	カメラIDを記録する設定を行います。 BAR: カラーバー信号を記録するときに、カメラIDを記録します。 OFF: 記録しません。
— C U F R		
ID POSITION	UPPER R UPPER L LOWER R LOWER L	カメラIDを表示する場所を設定します。 UPPER R: 右上 UPPER L: 左上 LOWER R: 右下 LOWER L: 左下
— C U F R		
DATE/TIME	ON OFF	カメラIDを表示するとき、年月日、時分秒を同時に表示する選択を行います。
— C U F R		
ZOOM LVL	ON OFF	ズームポジション表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
SYSTEM MODE	ON OFF	システムモード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
REC FORMAT	ON OFF	記録フォーマット表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
CAMERA MODE	ON OFF	カメラモード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		

VF INDICATOR (2/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COLOR TEMP	ON OFF	色温度表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
CAC	ON OFF	色収差補正表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
GAMMA MODE	ON OFF	ガンマモード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
DRS	ON OFF	ダイナミックレンジストレッチャー機能が動作していることを示す、DRS表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		

VF INDICATOR (3/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
P2CARD REMAIN	OFF ONE-CARD TOTAL	P2カードの記録残量をどう表示するか選択します。 OFF: 残量を表示しません。 ONE-CARD: 現在記録対象になっているP2カードの残量を表示します。 TOTAL: スロットに挿入された、すべてのP2カードの残量を合計して表示します。
— C U F R		
BATTERY	ON OFF	バッテリー電圧表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
AUDIO LVL	ON OFF	オーディオレベルメーター表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
TC ON COLOR BAR	ON OFF	カラーバー時に、タイムコードを表示するかどうかを選択します。 ◆ NOTE: カラーバー時に、タイムコードを表示していても記録はされません。
— C U F R		
TC	OFF TCG TCR TCG/TCR	表示するタイムコードの選択を行います。 OFF: タイムコードを表示しません。 TCG: 記録時にタイムコードジェネレーター値を表示します。 TCR: 再生時にタイムコードリーダー値を表示します。 TCG/TCR: 記録時はタイムコードジェネレーター値を表示し、再生時はタイムコードリーダー値を表示します。
— C U F R		
SYSTEM INFO	OFF ALWAYS NORMAL	システム情報と警告の表示方法を選択します。 OFF: “TURN POWER OFF” と “SYSTEM ERROR” 以外は表示しません。 ALWAYS: 警告情報が常に表示します。 NORMAL: 発生したときのみ、3秒間警告情報を表示します。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SAVE LED	OFF P2CARD	SAVEランプの動作を設定します。 OFF: 常に消灯し、使用しません。 P2CARD: P2カードの記録残量がわずかになると、警告メッセージに連動して点滅します。
— C U F R		
REC STATUS	ON OFF	本機の記録中、ビューファインダーおよび液晶モニターに“REC”表示を行うかどうかを選択します。 ON: REC表示を行います。 OFF: REC表示を行いません。 ◆NOTE: この項目が“OFF”でも、<OPTION MODE>画面のREC TALLY項目で“CHAR”を選択しているときはREC表示を行います。
— C U F R		
P-REC/i-REC	ON OFF	INTERVAL REC、PRE RECORDINGなどの表示ON/OFFを切り替えます。 ON: i-REC (INTERVAL REC)、1-CLIP (ONE CLIP REC)の状態、およびP-REC点滅(アクセス継続状態)を表示します。 OFF: i-REC、1-CLIP、P-REC点滅を行いません。なお、このときi-REC、1-CLIPの状態はMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引くことで確認できます。 ◆NOTE: PRE RECORDINGの切り替え情報や、ONE CLIP RECのSTART/END情報はこのメニュー設定によらず表示されます。
— C U F R		

MODE CHECK IND

項目/ データ保存	可変範囲	備考
STATUS	ON OFF	MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引いたとき、ステータス画面を表示する設定を行います。
— C U F R		
!LED	ON OFF	MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引いたとき、ビューファインダーのランプが点灯している要因を表示する設定を行います。のランプが点灯している要因は、 ! で表示します。
— C U F R		
FUNCTION	ON OFF	MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引いたとき、FUNCTION画面を表示する設定を行います。
— C U F R		
AUDIO	ON OFF	MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引いたとき、AUDIO画面を表示する設定を行います。
— C U F R		
CAC	ON OFF	MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引いたとき、CAC画面を表示する設定を行います。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER SW STATUS	ON OFF	MARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引いたとき、各ユーザースイッチに割り付けている機能を表示するかどうかの選択を行います。
— C U F R		
P.ON IND	ON OFF	本機の電源を入れた直後にステータス画面を表示する設定を行います。 ◆NOTE: この項目でONを選択していても、STATUS項目がOFFになっていると電源を入れた直後にステータス画面は表示しません。
— C U F R		

!LED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GAIN(0dB)	ON OFF	GAINが0dB以外有的时候に、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
DS.GAIN	ON OFF	DS.GAIN (蓄積ゲイン) が機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
SHUTTER	ON OFF	電子シャッターが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
WHITE PRESET	ON OFF	WHITE BALスイッチがPRSTの位置のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
EXTENDER	ON OFF	レンズエクステンダーが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
B.GAMMA	ON OFF	BLACK GAMMAが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
MATRIX	ON OFF	リニアマトリックス用の色補正テーブルが選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
COLOR CORRECTION	ON OFF	12軸独立色補正が選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルターが3200KとCLEARの組合せ以外有的时候に、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		
ATW	ON OFF	オートトラッキングホワイトバランス(ATW)機能が動作しているときにビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
— C U F R		

CAM OPERATION

可変範囲の____はプリセットモードです。

CAMERA ID

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ID1 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定1です。10文字まで設定できます。
ID2 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定2です。10文字まで設定できます。
ID3 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定3です。10文字まで設定できます。

◆NOTE:

READ FACTORY DATAを選択すると、内容がクリアされます。

SHUTTER SPEED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYNCHRO SCAN — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッター速度としてSYNCHRO SCANを割り付けます。
POSITION1 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION1 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
POSITION2 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION2 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
POSITION3 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION3 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
POSITION4 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION4 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
POSITION5 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION5 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
POSITION6 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION6 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。

SHUTTER SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
POSITION1 SEL	1/100 * 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION1のシャッタースピードを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION2 SEL	1/100 * 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION2のシャッタースピードを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION3 SEL	1/100 * 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION3のシャッタースピードを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION4 SEL	1/100 * 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION4のシャッタースピードを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
POSITION5 SEL	1/100 * 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION5のシャッタースピードを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
POSITION6 SEL	1/100 * 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	POSITION6のシャッタースピードを設定します。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

◆ **NOTE:**

リモートコントロールユニット (AJ-RC10G)、およびエクステンションコントロールユニット (AG-EC4G) を接続したリモートコントロール時は、シャッターの設定は各ユニットに記憶された設定値になります。

* 1/100はシステム周波数が59.94 Hzのときの設定値です。システム周波数が50 Hzのときは1/60になります。

USER SW

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER MAIN SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA D.ZOOM ATW ATW LOCK Y GET DRS ASSIST C.TEMP AUD CH1/3 AUD CH2/4 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE LCD B.L	USER MAIN ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(56 ページ)を参照してください。
	C U F R	
USER1 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA D.ZOOM ATW ATW LOCK Y GET DRS ASSIST C.TEMP AUD CH1/3 AUD CH2/4 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE LCD B.L	USER1 ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(56 ページ)を参照してください。
	C U F R	
USER2 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA D.ZOOM ATW ATW LOCK Y GET DRS ASSIST C.TEMP AUD CH1/3 AUD CH2/4 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE LCD B.L	USER2 ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(56 ページ)を参照してください。
	C U F R	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SHOT MARK SW (USER3 SW)	INH Y GET ASSIST REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE LCD B.L	SHOT MARK ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(56 ページ)を参照してください。
	C U F R	
TEXT MEMO SW (USER4 SW)	INH Y GET ASSIST REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE LCD B.L	TEXT MEMO ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(56 ページ)を参照してください。
	C U F R	

SW MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RET SW	INH R.REVIEW CAM RET D.ZOOM TEXT MEMO SHOT MARK	<p>レンズのRET ボタンやRET SW 機能を割り付けた本機のUSER ボタンを押したときの機能を設定します。</p> <p>INH: RET ボタンの機能は動作しません。</p> <p>R.REVIEW: レックレビュー機能 撮影した最後の数秒間の記録を確認することができます。</p> <p>CAM RET: リターンビデオ機能 本機のGENLOCK IN 端子、またはSDI IN 端子に供給されたリターンビデオ信号(アナログHD-Y 信号、SDI 信号)をビューファインダー、液晶モニターで確認することができます。</p> <p>◆NOTE: ●本機の映像方式と異なる映像信号を入力した場合、リターンビデオ映像は正しく表示されません。</p> <p>●GENLOCK 項目 (SYSTEM SETTING ページのGENLOCK 画面)をINT に設定しているときは、リターンビデオ映像が水平方向に小さく揺れて表示される場合があります。</p> <p>●カメラ映像とリターンビデオ映像とを切り換えた時に、ビューファインダーおよび液晶モニターの映像が一瞬乱れますが故障ではありません。</p> <p>D.ZOOM: デジタルズーム機能 デジタルズームのON/OFF を切り替えることができます。</p> <p>TEXT MEMO: テキストメモ機能 押した時点のフレームに、テキストメモを記録できます。</p> <p>SHOT MARK: ショットマーク機能 押すとショットマークを付加、再度押すと消去することができます。</p>
	C U F R	

WHITE BALANCE MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
S.BLK LVL	OFF -10 -20 -30	スーパーブラックのレベルを設定します。
— C U F R		
AUTO KNEE SW	OFF ON DRS	AUTO KNEE 機能の ON/OFF および DRS 機能を選択します。 OFF に設定すると AUTO KNEE スイッチ ON の位置にしても、AUTO KNEE が機能しません。 DRS に設定すると、AUTO KNEE スイッチを ON の位置にしたときに DRS 機能が ON になります。
S C U F R		
SHD.ABB SW CTL	ON OFF	AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に 8 秒以上押し続けたとき、ブラックシェーディングを自動調整する設定を行います。
— C U F R		
COLOR BARS	SMPTE FULL BARS SPLIT ARIB	使用するカラーバーの選択を行います。 SMPTE: SMPTE 規格のカラーバー FULL BARS: フルカラーバー SPLIT: SNG (Satellite News Gathering) 用 SPLIT カラーバー ARIB: ARIB 規格のカラーバー
— C U F R		
S.GAIN OFF	L/M/H S.GAIN	スーパーゲインモードを解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化と S.GAIN スイッチ (USER ボタン) で解除します。 S.GAIN: S.GAIN スイッチ (USER ボタン) でのみ解除します。
— C U F		
DS.GAIN OFF	L/M/H DS.GAIN	デジタルスーパーゲインモード (蓄積ゲイン) を解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化と DS.GAIN スイッチ (USER ボタン) で解除します。 DS.GAIN: DS.GAIN スイッチ (USER ボタン) でのみ解除します。
— C U F		
D.ZOOM x2	ON OFF	本機の USER ボタンにデジタルズームが割り当てられているとき、×2 を有効にするかどうかを選択します。
— C U F R		
D.ZOOM x3	ON OFF	本機の USER ボタンにデジタルズームが割り当てられているとき、×3 を有効にするかどうかを選択します。
— C U F R		
D.ZOOM x4	ON OFF	本機の USER ボタンにデジタルズームが割り当てられているとき、×4 を有効にするかどうかを選択します。
— C U F R		
RC CHECK SW	R.REVIEW PLAY	リモートコントロールユニット、およびエクステンションコントロールユニットの REC チェックボタンを押したときの本機の動作を選択します。 R.REVIEW: レックレビュー動作 PLAY: 再生動作
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILTER INH	ON OFF	各 CC フィルターごとにホワイトバランスメモリー (Ach, Bch) のデータを持つか持たないかの選択を行います。 ON: CC フィルターに関係なく、Ach と Bch のメモリー (2 メモリー) のデータを持ちます。 OFF: 各 CC フィルターごとに、Ach と Bch のメモリー (8 メモリー) のデータを持ちます。
— C U F R		
SHOCKLESS AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	WHITE BAL スイッチの位置を切り替えたとき、その位置のホワイトバランスの状態に移行するまでの時間を設定します。 OFF: 瞬時に移行します。 FAST: 約 1 秒 NORMAL: 約 2 秒 SLOW1: 約 3 秒 SLOW2: 約 10 秒 SLOW3: 約 20 秒
— C U F R		
AWB AREA	25% 50% 90%	ホワイトバランスの自動調整を行う検出エリアを切り替えます。 25%: 画面中央付近 25% のエリアを検出します。 50%: 画面中央付近 50% のエリアを検出します。 90%: 画面の 90% のエリアを検出します。
— C U F R		
AWB B	MEM ATW	WHITE BAL スイッチの B に割り当てる機能を選択します。 MEM: ホワイトバランスの自動調整を行ったときに設定値を記憶して、WHITE BAL スイッチを「B」にすることで、その値で動作します。 ATW: 自動追尾式のホワイトバランス機能を割り付けます。
— C U F R		
ATW SPEED	NORMAL SLOW FAST	自動追尾式のホワイトバランス機能の制御スピードを切り替えます。
— C U F R		
TEMP PRE SEL SW	VAR 3.2K/5.6K	PRESET の色温度を、可変にするか 3200K/5600K の切り替えにするかを選択します。値を変更した直後は PRESET の色温度は 3200K (フィルタ A のとき) に設定されます。 VAR: 2300K ↓ ~ 15000K ↑ までで切り換え可能 3.2K/5.6K: 3200K または 5600K の切り換え。
— F		

USER SW GAIN

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COLOR TEMP PRE	2300K ↓ : 3200K : 15000K ↑ 3200K 5600K	WHITE BALスイッチをPRSTの位置にしたときの色温度を設定します。 TEMP PRE SEL SW項目で選択されたPRESETの色温度を設定を行います。 2300K ↓ ~ 15000K ↑: TEMP PRE SEL SW項目でVAR選択時 3200K/5600K: TEMP PRE SEL SW項目で3200K/5600K選択時。 ● CCフィルターの位置により、設定できる色温度の範囲が異なり、高い色温度で設定時に色温度を変化させても数値が変化しない場合があります。
AWB A TEMP	2300K ↓ : 3200K : 15000K ↑	WHITE BALスイッチをAの位置にしたときの色温度を設定します。 Aの位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度がWHITE BALスイッチAの位置にメモリーされます。
AWB B TEMP	2300K ↓ : 3200K : 15000K ↑	WHITE BALスイッチをBの位置にしたときの色温度を設定します。 Bの位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度がWHITE BALスイッチBの位置にメモリーされます。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
S.GAIN 30 dB	* ·	SUPER GAINに、30 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
36 dB	* ·	SUPER GAINに、36 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
42 dB	* ·	SUPER GAINに、42 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
DS.GAIN 6 dB ↑	* ·	DS.GAINに、6 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
10 dB ↑	* ·	DS.GAINに、10 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
12 dB ↑	* ·	DS.GAINに、12 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
15 dB ↑	* ·	DS.GAINに、15 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
20 dB ↑	* ·	DS.GAINに、20 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
24 dB ↑	* ·	DS.GAINに、24 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
28 dB ↑	* ·	DS.GAINに、28 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		
34 dB ↑	* ·	DS.GAINに、34 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 * : 有効にします。 · : 無効にします。
— C U F R		

◆ NOTE:

DS.GAIN機能が動作しているときは、シャッターモードがOFFの状態になります。

LENS/IRIS

項目/ データ保存	可変範囲	備考
A.IRIS LEVEL — C U F R	000 : 045 : 100	オートアイリスの目標値の設定を行います。
A.IRIS PEAK/ AVE — C U F R	000 : 030 : 100	オートアイリスの基準に対するピークの占める割合を決定します。 大きいほど、IRIS検出ウィンドウ内のピークに対して反応し、小さいほど、IRIS検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。
A.IRIS WINDOW — C U F R	NORM1 NORM2 CENTR	オートアイリス検出ウィンドウを選択します。 NORM1: 画面中央よりのウィンドウ NORM2: 画面下よりのウィンドウ CENTR: 画面中央のスポット状のウィンドウ
S.IRIS LEVEL — C U F R	000 : 080 : 100	スーパーアイリス（逆光補正機能）の目標値を設定します。
IRIS GAIN — C U F R	CAM LENS	IRIS GAIN調整側の選択を行います。 ◆NOTE: FUJINON製のDIGI POWERタイプ以前に発売されたエクステンダー付き（×2、×0.8など）のレンズでは、エクステンダーを入れた状態のままレンズ側でIRIS補正制御を動作させるため、CAM側に設定すると本機のIRIS制御が正常に動作しなくなります。
IRIS GAIN VALUE — C U F R	01 : 10 : 20	IRIS GAIN調整値の設定を行います。 IRIS GAINがCAMを選択時、この設定は有効になります。

MAIN OPERATION

可変範囲の____はプリセットモードです。

BATTERY/P2CARD

項目/ データ保存	可変範囲	備考						
BATTERY SELECT	HYTRON140 DIONIC90 DIONIC160 ENDURA10 PAG L95 TYPE A TYPE B TYPE C BAT STAT	<p>使用するバッテリーを選択します。アントンパワー製HYTRON 140、DIONIC 90、DIONIC 160、IDX製 ENDURA 10(E-10)、およびPAG製 PAG L95 を選択した場合、選択したバッテリーに合わせた残量検出が行われます。上記以外のバッテリーを使用する場合は、TYPE A、TYPE B、TYPE Cのいずれかを選択します。このとき「BATTERY SETTING」(189 ページ)で、選択したバッテリータイプのFULL (満電圧)、NEAR END (ニアエンド警告電圧)、END (エンド電圧)を、ご使用のバッテリーに合わせて設定してください。</p> <p>なお、TYPE Aの初期値はIDX製 ENDURA ELITE-Sに、TYPE Bの初期値はアントンパワー製HYTRON 140 に合わせて設定されています。</p> <p>BAT STAT: バッテリー残量がパーセント値で検出されるバッテリーをご使用の場合、BAT STATを選択すると、バッテリー残量のパーセント値に従ったニアエンドとエンド動作が行われます。</p> <p>「BATTERY SETTING」(189 ページ)でBAT STATのNEAR END (ニアエンド)、END (エンド)のパーセント値をご使用のバッテリーに合わせて設定してください。</p> <p>◆NOTE: BAT STATに設定しても、バッテリー残量のパーセント値が検出できない場合は、TYPE A (189 ページ)の設定値に従います。TYPE AのFULL (満充電)、NEAR END (ニアエンド)、END (エンド)の設定値をご使用のバッテリーに合っていることをご確認ください。</p>						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
EXT DC IN SELECT	AC_ADPT HYTRON140 DIONIC90 DIONIC160 ENDURA10 PAG L95 TYPE A TYPE B TYPE C	DC IN端子にバッテリーを接続する場合に、残量検出の種類を設定します。また、選択した種類に合わせた残量検出が行われます。バッテリーの種類選択については、上記 BATTERY SELECT項目と同様です。(BAT STATを除く)ビューファインダー画面には、アナログ電圧を表示します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	バッテリーニアエンドで警告音を鳴らすかどうかを選択します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	ONに設定すると、バッテリーニアエンドでMARKER SEL、MODE CHK / MENU CANCELスイッチを手前に引くことにより、出力されている警告音や警告表示をキャンセルすることができます。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
BATT END ALARM	ON OFF	バッテリーエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						

項目/ データ保存	可変範囲	備考						
BATT REMAIN FULL	70% 100%	残量表示機能のあるバッテリー使用時に、表示窓のバッテリー残量表示バーの表示内容を設定します。 70%: 70%でFULL表示します。 100%: 100%でFULL表示します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
CARD NEAR END ALARM	ON OFF	P2カードニアエンドで、警告音を出力するかどうかを設定します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
CARD NEAR END TIME	2min 3min	P2カードニアエンド警告を出す残量時間を設定します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
CARD END ALARM	ON OFF	P2カードエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
CARD REMAIN	3min/■ 5min/■	表示窓のP2カード残量表示バーの1セグメント (■) の時間を設定します。 3min/■: 1セグメントが3分 5min/■: 1セグメントが5分						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						

BATTERY SETTING (1/2)

項目/ データ保存	可変範囲	備考						
HYTRON140	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可						
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手で設定します。						
	11.0 13.5 15.0	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						
DIONIC90	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可						
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手で設定します。						
	11.0 13.4 15.0	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。						
		<table border="1"> <tr><td>C</td><td>U</td><td>F</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	C	U	F			
C	U	F						

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DIONIC160	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : 13.6 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		
ENDURA10	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : 13.4 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		
PAG L95	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : 13.6 : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		

BATTERY SETTING (2/2)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TYPE A	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	FULL	12.0 : 15.3 : 17.0 FULL表示する電圧を0.1Vステップで選択します。
	NEAR END	11.0 : 13.6 : 15.0 ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
	END	11.0 : 13.2 : 15.0 エンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TYPE B	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	FULL	12.0 : 15.5 : 17.0 FULL表示する電圧を0.1Vステップで選択します。
	NEAR END	11.0 : 13.5 : 15.0 ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
	END	11.0 : 13.1 : 15.0 エンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		
TYPE C	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	FULL	12.0 : 15.6 : 17.0 FULL表示する電圧を0.1Vステップで選択します。
	NEAR END	11.0 : 13.9 : 15.0 ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
	END	11.0 : 13.6 : 15.0 エンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		
BAT STAT	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	NEAR END	4% 5% :(1% step) 10% 12% :(2% step) 20% ニアエンドのパーセント値を選択します。 ◆NOTE: ● バッテリー残量のパーセント値が検出できない場合、TYPE Aで設定したニアエンド電圧値に従います。 ● 残量が10%単位で表示されるバッテリーをご使用の場合は、設定値と実際のニアエンド警告とが多少異なる場合があります。
	END	1% :(1% step) 10% エンドのパーセント値を選択します。 ◆NOTE: ● バッテリー残量のパーセント値が検出できない場合、TYPE Aで設定したエンド電圧値に従います。 ● バッテリー残量が10%単位で表示されるバッテリーをご使用の場合、エンドの判定は、1%~5%のいずれかに設定したときと6%~10%のいずれかに設定したときの2段階のみになります。
C U F		

- 残量表示機能のあるバッテリーを本機に取り付けたときは、バッテリー残量を%で表示します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VR SELECT	CH1/2 CH3/4	AUDIO LEVEL調整つまみとF.AUDIO LEVELつまみに、どのチャンネルに割り当ててするかを選択します。 CH1/2: チャンネル1/2のレベル調整を割り当てます。チャンネル3/4は自動調整、またはメニューのLVL CONTROL CH4項目で調整を行うことができます。 CH3/4: チャンネル3/4のレベル調整を割り当てます。チャンネル1/2は自動調整、またはメニューのLVL CONTROL CH1項目、LVL CONTROL CH2項目で調整を行うことができます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
FRONT VR CH1 (CH3)	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH1 (CH3) に選択された入力信号に対して、F.AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 OFF: どの入力を選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 FRONT: FRONTが選択された時のみ有効です。 W.L.: ワイヤレスマイクレシーバーが選択された時のみ有効です。 REAR: REARが選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力を選択されても有効です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
FRONT VR CH2 (CH4)	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH2 (CH4) に選択された入力信号に対して、F.AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 OFF: どの入力を選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 FRONT: FRONTが選択された時のみ有効です。 W.L.: ワイヤレスマイクレシーバーが選択された時のみ有効です。 REAR: REARが選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力を選択されても有効です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
AUTO LVL CH3 (CH1)	ON OFF	オーディオCH3 (CH1) のレベル調整方法を自動調整にするかどうかを選択します。 ON: 自動調整が有効となります。 OFF: 自動調整は無効となります。このときメニューのLVL CONTROL CH3 (CH1)項目で調整できます
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
AUTO LVL CH4 (CH2)	ON OFF	オーディオCH4 (CH2) のレベル調整方法を自動調整にするかどうかを選択します。 ON: 自動調整が有効となります。 OFF: 自動調整は無効となります。このときメニューのLVL CONTROL CH4 (CH2)項目で調整できます
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
LVL CONTROL CH3 (CH1)	000 : 070 : 100	オーディオCH3 (CH1) のレベル自動調整がOFFのとき、この項目で手動調整できます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
LVL CONTROL CH4 (CH2)	000 : 070 : 100	オーディオCH4 (CH2) のレベル自動調整がOFFのとき、この項目で手動調整できます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
REAR XLR AUTO CH1/2	ON OFF	リアのAUDIO IN端子のXLRにコネクタが接続されているかどうかを、自動検出する機能をCH1、CH2に対して選択します。 ON: 自動検出が働きます。リア部のAUDIO IN CH1/3端子に接続されたとき、CH1が自動的にREAR選択になり、AUDIO IN CH2/4端子に接続されたとき、CH2が自動的にREAR選択になります。 OFF: 自動検出は無効となります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
REAR XLR AUTO CH3/4	ON OFF	リアのAUDIO IN端子のXLRにコネクタが接続されているかどうかを、自動検出する機能をCH3、CH4に対して選択します。 ON: 自動検出が働きます。リア部のAUDIO IN CH1/3端子に接続されたとき、CH3が自動的にREAR選択になり、AUDIO IN CH2/4端子に接続されたとき、CH4が自動的にREAR選択になります。 OFF: 自動検出は無効となります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

◆ NOTE:

VR SELECT項目で“CH3/4”を選択すると、以下の6項目もチャンネル1/2と3/4が入れ替わります。()内が入れ替わったときのチャンネルです。なお入れ替わったチャンネル間で、各々のメニュー項目の設定値は引き継がれます。

- FRONT VR CH1 → (CH3)
- FRONT VR CH2 → (CH4)
- AUTO LEVEL CH3 → (CH1)
- AUTO LEVEL CH4 → (CH2)
- LVL CONTROL CH3 → (CH1)
- LVL CONTROL CH4 → (CH2)

→ 「録音レベルの調整」(59 ページ) 参照

MIC/AUDIO (2/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MIC LOWCUT CH1	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル1に対するマイクロ カットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイク ローカットフィルターは働きま せん。 FRONT: フロントマイクが選択されてい るときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ 有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ 有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
MIC LOWCUT CH2	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル2に対するマイクロ カットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイク ローカットフィルターは働きま せん。 FRONT: フロントマイクが選択されてい るときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ 有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ 有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
MIC LOWCUT CH3	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル3に対するマイクロ カットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイク ローカットフィルターは働きま せん。 FRONT: フロントマイクが選択されてい るときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ 有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ 有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
MIC LOWCUT CH4	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル4に対するマイクロ カットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイク ローカットフィルターは働きま せん。 FRONT: フロントマイクが選択されてい るときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ 有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ 有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
LIMITER CH1	ON OFF	リミッターを選択します。 録音レベルの自動調整が選択されてい るときは、無効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
LIMITER CH2	ON OFF	リミッターを選択します。 録音レベルの自動調整が選択されてい るときは、無効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
LIMITER CH3	ON OFF	リミッターを選択します。 録音レベルの自動調整が選択されてい るときは、無効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
LIMITER CH4	ON OFF	リミッターを選択します。 録音レベルの自動調整が選択されてい るときは、無効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
25M REC CH SEL	2CH 4CH	DVCPRO、およびDVフォーマット時、 記録するオーディオCHを選択します。 2CH: CH1、CH2のみを記録します。 4CH: 1~4チャンネルすべてを記録し ます。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
TEST TONE	OFF NORMAL ALWAYS CHSEL	テスト信号を選択します。 OFF: テストトーンは出力しません。 NORMAL: OUTPUT/AUTO KNEE選択ス イッチをBARSに、AUDIO IN スイッチのCH1をFRONTに 切り替えたとき、CH1~4す べてにテストトーンを出力し ます。 ALWAYS: OUTPUT/AUTO KNEE選択ス イッチをBARSに切り替え たとき、常にCH1~4すべてに テストトーンを出力します。 CHSEL: OUTPUT/AUTO KNEE選択ス イッチをBARSに切り替え たとき、AUDIO INスイッチの CH1、またはCH2がFRONT に設定されているチャンネル にテストトーンを出力します。 CH3、CH4には出力しません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

◆ NOTE:

マイクロカットフィルターを適用したときの周波数特性は、200 Hz~10 kHzになります。

MIC/AUDIO (3/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	フロントマイクのファントム電源の選択をします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
REAR MIC POWER	ON OFF	リアマイクのファントム電源の選択をします。 OFFを選択すると、REAR AUDIO CH1 およびCH2スイッチを+48 Vにしても、ファントム電源は出力されません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
MONITOR SELECT	STEREO MIX	MONITORスイッチがST（ステレオ）に設定されているときに、モニターに出力する信号形式を選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
FRONT MIC LEVEL	-40dB -50dB	フロントマイクの入力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
REAR MIC CH1/3 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
REAR MIC CH2/4 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
REAR LINE IN LVL	+4dB 0dB -3dB	リアライン入力のレベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
AUDIO OUT LVL	+4dB 0dB -3dB	オーディオ出力レベルを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
HEADROOM	18dB 20dB	ヘッドルーム（基準レベル）を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
WIRELESS WARN	ON OFF	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪い時、警告を出すかどうかを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
WIRELESS TYPE	SINGLE DUAL	ワイヤレスレシーバーのタイプを選択します。 SINGLE: 1チャンネル式のワイヤレスレシーバーを選択します。 DUAL: 2チャンネル式のワイヤレスレシーバーを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

TC/UB

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC MODE	DF NDF	タイムコードモードを選択します。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム ◆ NOTE: 本機が50 Hzで動作時、および24P、24PAで動作時は、この項目に関係なく、常にノンドロップフレームで動作します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
UB MODE	USER TIME DATE EXT TCG FRM RATE REGEN	ユーザーズビットモードを選択します。 USER: LCD部で設定したUB値を選択します。 TIME: ローカル時刻を選択します。（時、分、秒） DATE: ローカル日時を選択します。（西暦下2桁、月、日、時） EXT: TC IN端子に入力されているユーザーズビットを記録します。 TCG: TCGの値がそのままUBに入ります。 FRM RATE: カメラの撮像情報（フレームレートなど）を選択します。詳しくは「ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報」（65 ページ）を参照してください。 なお、Native記録されたクリップの再生では、VITCのユーザーズビットに記録されたフレームレート情報を出力します。 REGEN: カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VITC UB MODE	USER/EXT TIME DATE TCG FRM RATE REGEN	VITCのユーザースピットモードを選択します。 USER/EXT: UB MODE項目が“EXT”で動作しているときはその値に従い、EXT以外の場合はUBで設定されたUSER値を記録します。 TIME: ローカル時刻を選択します。(時、分、秒) DATE: ローカル日時を選択します。(西暦下2桁、月、日、時) TCG: TCGの値がそのままUBに入ります。 FRM RATE: カメラの撮像情報(フレームレートなど)を選択します。詳しくは「ユーザースピットに記録されるフレームレート情報」(65ページ)を参照してください。 REGEN: カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。 ◆NOTE: 本機が24P、24PA、30P (AVC-I) や25P (AVC-I) で動作時は、FRM RATE固定になります。
TCG SET HOLD	ON OFF	電源OFFする前にTCGを設定した場合、再度電源ONして記録した時、必ずその設定した値から記録する機能のON/OFFを切り換えます。
FIRST REC TC	PRESET REGEN	電源ON、P2カード挿入、記録対象のP2カード切り替え後の最初の記録で、タイムコードをP2カード上の値にリジエネさせるかどうかを選択します。 PRESET: 本機内部のタイムコードを使用します。 REGEN: 記録対象のP2カードに記録されたクリップのうち、日時が最も新しいクリップのタイムコードにリジエネします。 ◆NOTE: ●日時の設定は正確に行ってください。設定方法は「内蔵時計の日付/時刻の設定」(67ページ)を参照してください。 ●本機が24P、24PAで動作時は、ドロップフレームで記録されたカードの値には、リジエネできません。
P.OFF LCD DISPLAY	ON OFF	電源OFF状態で、液晶表示のタイムコード設定やカウント表示を行うかどうかを選択します。 ON: 電源OFF中でもタイムコードの設定や表示をします。 OFF: 電源OFF中は液晶モニターをパワーダウンします。設定や表示はできません。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC OUT	TCG TCG/TCR	タイムコード出力端子に出力されるタイムコードを選択します。 TCG: 常にタイムコードジェネレーター値を出力します。 TCG/TCR: 記録時はタイムコードジェネレーター値を出力し、再生時はタイムコードリーダー値を出力します。
TC DISP SEL	30F 24F	タイムコードのフレーム桁の表示形式を選択します。(1080-59.94i、480-59.94i時のみ) 詳しくは「ユーザースピットに記録されるフレームレート情報」(65ページ)を参照してください。 30F: タイムコードのフレーム桁を30フレームで表示します。 24F: タイムコードのフレーム桁を24フレームに変換して表示します。
TC VIDEO SYNCHRO	0 1 2 3	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0: 補正しません。 1: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2: 映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。 詳しくは、「タイムコードを外部ロックさせる」(69ページ)を参照してください。
REC REVIEW REGEN	ON OFF	SW MODE画面のRET SW項目をR.REVIEWに設定して、レンズのRETボタンやRET SW機能を割り付けた本機のUSERボタンを押した後、次の記録を開始したときにP2カード上のタイムコードにリジエネするかどうかを選択します。 ON: リジエネします。 OFF: リジエネしません。

UMID SET/INFO

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COUNTRY	NO-INFO	ユーザーの属する国家を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示されません。
ORGANIZATION	NO-INFO	ユーザーの属する組織名・会社名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示されます。
USER	NO-INFO	ユーザー名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示します。
DEVICE NODE		製品のID番号を表示します。

◆NOTE:

UMID情報の設定は「UMID情報の設定」(74ページ)を参照してください。

FILE

可変範囲の____はプリセットモードです。

SD CARD READ/WRITE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R.SELECT	1 : 8	読み出す (READ) ファイルの番号を選択します。
READ		SDメモリーカードのデータを読み出します。
W.SELECT	1 : 8	書き込む (WRITE) ファイルの番号を選択します。
WRITE		本機のメニューデータをSDメモリーカードへ書き込みます。
CARD CONFIG		SDメモリーカードをフォーマットします。
TITLE READ		SDメモリーカードのデータに付けられているタイトルを読み出します。
TITLE1-8	**** ****	8文字までのタイトル名が設定できます。

◆ NOTE:

- **USB DEVICE**モードのときは、**SD CARD READ/WRITE**の各項目を実行しても、SDメモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。**PC MODE**項目を“OFF”にしてから実行してください。
- **ONE CLIP REC**モードで、前のクリップに連結して記録可能な状態（ビューファインダーおよび液晶モニター右下に「1*CLIP」が表示されている状態）のとき、**SD CARD READ/WRITE**画面の各項目を操作できません。一度メニューを閉じた後、**STOP**ボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結状態を終了させてから、再度操作してください。
- **INTERVAL REC**の待機中は、**SD CARD READ/WRITE**画面の各項目を操作できません。**STOP**ボタンを押して**INTERVAL REC**を終了させてから、再度操作してください。

SD CARD R/W SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSTEM MODE R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 SYSTEM MODE 画面の各項目の設定を、取り扱うかどうかを選択します。
ID READ/WRITE	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 CAMERA ID を、取り扱うかどうかを選択します。
USER MENU SELECT R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 USER MENU SELECT ページの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
SYSTEM MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 SYSTEM MODE 画面を除く SYSTEM SETTING ページの設定値と OPTION MENU ページの設定値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU LEVEL R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 PAINT ページの調整値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU SW(■) R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 PAINT MENU ページの設定値を、取り扱うかどうかを選択を行います。
VF MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 VF ページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
CAM OPE MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 CAM OPERATION ページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
MAINTENANCE MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 MAINTENANCE ページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
MAIN OPE MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、 MAIN OPERATION ページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。

CAC FILE CARD READ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD FILE SELECT	1 : 32	SDメモリーカードに記録された色収差補正データ操作 (READ/DELETE) を行う番号を選択します。
READ		SDメモリーカードからCAC FILEを読み込みます。選択すると下記のFILE READ画面に移動します。
DELETE		SDメモリーカード内のCAC FILEを削除します。
TITLE READ		SDメモリーカード内のCAC FILEの名前を読み出します。
TITLE SCROLL	1 : 25	SDメモリーカード内のCAC FILEをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
01 - 32		01～32のファイル名を27文字まで表示します。

FILE READ 画面

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TITLE		CAC FILE CARDのREAD項目で選択されたCAC FILEの名前が表示されます。
YES		SDメモリーカードから読み込んだCAC FILEを、本機の内部メモリーに記憶します。
NO (CANCEL)		SDメモリーカードから読み込んだCAC FILEを、本機の内部メモリーに記憶しません。
MEM STORE NO	EMPTY 1 : 32	EMPTY: 本機の内部メモリーに書き込む際、番号順にサーチして記録されていない箇所に記憶する。 1~32: 選択した番号に記憶します。すでにCAC FILEが記録されている場合は上書きされます。
TITLE SCROLL	1 : 25	本機の内部メモリー内のCAC FILEをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
01 - 32		01～32のファイル名を27文字まで表示します。

LENS FILE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILE NO.	1 : 8	レンズファイルの番号を選択します。
READ		レンズファイルのデータを読み込みます。
WRITE		レンズファイルのデータを書き込みます。
RESET ALL		すべてのレンズファイルのデータをリセットします。
TITLE1 - 8	***** *****	12文字までのタイトル名が設定できません。

LENS FILE CARD R/W

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD FILE SELECT	1 : 8	SDメモリーカードのレンズファイルの番号を選択します。
READ		SDメモリーカードのレンズファイルデータを読み出します。
WRITE		レンズファイルのデータをSDメモリーカードへ書き込みます。
TITLE READ		SDメモリーカードのレンズファイルのタイトルを読み出します。
TITLE1 - 8	***** *****	12文字までのタイトル名が設定できません。

◆ NOTE:

- **USB DEVICE**モードのときは、LENS FILE CARD R/Wの各項目を実行しても、SDメモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。PC MODE項目を“OFF”にしてから実行してください。
- **ONE CLIP REC**モードで、前のクリップに連結して記録可能な状態 (ビューファインダーおよび液晶モニター右下に「1*CLIP」が表示されている状態) のとき、CAC FILE CARD READ画面、およびLENS FILE CARD R/W画面の各項目を操作できません。一度メニューを閉じた後、STOPボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結状態を終了させてから、再度操作してください。
- **INTERVAL REC**の待機中は、CAC FILE CARD READ画面、およびLENS FILE CARD R/W画面の各項目を操作できません。STOPボタンを押してINTERVAL RECを終了させてから、再度操作してください。

SCENE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ USER DATA		メモリーのユーザーエリアデータを読み込みます。
SCENE SEL	1 : 4	シーンファイルを選択します。
READ		シーンファイルを読み込みます。
WRITE		シーンファイルを書込みます。
RESET		シーンファイルの値を初期値に戻します。
TITLE 1-4		シーンファイルのタイトルを作成します。

◆ NOTE:

- **USB DEVICE** モードのときは、**READ USER DATA** 項目を実行しても、SDメモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。**PC MODE** 項目を“OFF” にしてから実行してください。
- **ONE CLIP REC** モードで、前のクリップに連結して記録可能な状態（ビューファインダーおよび液晶モニター右下に「1*CLIP」が表示されている状態）のとき、**SCENE** 画面の **READ USER DATA** 項目、**READ** 項目を操作できません。一度メニューを閉じた後、**STOP** ボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結状態を終了させてから、再度操作してください。
- **INTERVAL REC** の待機中は、**SCENE** 画面の **READ USER DATA** 項目、**READ** 項目を操作できません。**STOP** ボタンを押し続けて **INTERVAL REC** を終了させてから、再度操作してください。

INITIALIZE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ FACTORY DATA		MENU（MAIN MENU、OPTION MENU）値がすべて工場出荷状態になります。 ◆ NOTE: ただし以下のデータは工場出荷値に戻りません。 ● シーンファイル ● USER データ ● レンズファイル ● ブラックシェーディングデータ
WRITE USER DATA		ユーザー固有のメニューデータを本機の内部メモリーにセーブします。

◆ NOTE:

- **USB DEVICE** モードのときは、**READ FACTORY DATA** 項目を実行してもエラーになります。**PC MODE** 項目を“OFF” にしてから実行してください。
- **ONE CLIP REC** モードで、前のクリップに連結して記録可能な状態（ビューファインダーおよび液晶モニター右下に「1*CLIP」が表示されている状態）のとき、**INITIALIZE** 画面の **READ FACTORY DATA** 項目を操作できません。一度メニューを閉じた後、**STOP** ボタンを約2秒間押し続けてクリップ連結状態を終了させてから、再度操作してください。
- **INTERVAL REC** の待機中は、**INITIALIZE** 画面の **READ FACTORY DATA** 項目を操作できません。**STOP** ボタンを押し続けて **INTERVAL REC** を終了させてから、再度操作してください。

MAINTENANCE

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

SYSTEM CHECK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COLOR CHECK	ON OFF	カメラレコーダーが正常かどうかのチェックのON/OFFを切り換えます。画面中央付近のRGBのレベルをビューファインダーに表示し、それぞれの系統が正常に光学系からデジタル系まで伝送され処理されているかどうかを示します。
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—

LENS ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
F2.8 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF2.8にします。(レンズ側でF2.8になるよう調整を行います)
—	—	—
—	—	—
—	—	—
F16 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF16にします。(レンズ側でF16になるよう調整を行います)
—	—	—
—	—	—
—	—	—

BLACK SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT	ON OFF	デジタルブラックシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。
— C U F R	—	—
DETECTION (DIG)	—	デジタルブラックシェーディング補正を実行します。
—	—	—
—	—	—
—	—	—

WHITE SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考		
CORRECT	ON OFF	ホワイトシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。		
— C U F R	—	—		
R H SAW	-255 : +000 : +255	ホワイトシェーディングの補正を手動で行います。 RGB各チャンネルのノコギリ歯状波形とパラボラ波形を、水平方向と垂直方向に調整します。		
R H PARA				
R V SAW				
R V PARA				
G H SAW				
G H PARA				
G V SAW				
G V PARA				
B H SAW				
B H PARA				
B V SAW				
B V PARA				
—			—	—
—			—	—
—	—	—		

LENS FILE ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
LENS FILE ADJ MODE	ON OFF	ON: <RB GAIN CONTROL> 画面で調整されたRchとBchのゲインをリセットします。また、<RGB BLACK CONTROL> 画面で調整されたRch、Gch、Bchのフレアレベルもリセットされます。 OFF: <RB GAIN CONTROL> 画面で調整されたRchとBchのゲインが有効になります。また、<RGB BLACK CONTROL> 画面で調整されたRch、Gch、Bchのフレアレベルも有効になります。
—	—	—
—	—	—
—	—	—
LENS R GAIN OFFSET	-200 : +000 : +200	使用するレンズのRch感度を補正します。
—	—	—
—	—	—
LENS B GAIN OFFSET	-200 : +000 : +200	使用するレンズのBch感度を補正します。
—	—	—
—	—	—
LENS R FLARE	000 : 100	Rchのフレアレベルを調整します。
—	—	—
—	—	—
LENS G FLARE	000 : 100	Gchのフレアレベルを調整します。
—	—	—
—	—	—
LENS B FLARE	000 : 100	Bchのフレアレベルを調整します。
—	—	—
—	—	—

- LENS FILE ADJ画面で調整されたデータは、レンズファイルとしてSDメモリーカードに保存することが可能です。

CAC ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAC CONTROL	ON OFF	ON: 色収差補正を行います。 OFF: 色収差補正を行いません。
□□□□ U F R		
CAC FILE DELETE	—	本機内部のメモリーに記憶された、かつ CAC FILE NO項目で選択された色収差補正ファイルを削除します。
□□□□□□		
CAC FILE NO.	1 : 32	CAC FILE DELETE項目で色収差補正ファイルを削除するときは、削除する色収差補正ファイルを選択します。
□□□□□□		
TITLE SCROLL	1 : 25	色収差補正ファイルをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
□□□□□□		
01 - 32		01～32の色収差補正ファイル名を27文字まで表示します。
□□□□□□		

DIAGNOSTIC (1/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VERSION		本機の全ファームウェアのバージョン(代表バージョン)を表示します。
□□□□□□		
MODEL NAME		本機の製品名を表示します。
□□□□□□		
SERIAL NO.		本機の製造番号を表示します。
□□□□□□		

DIAGNOSTIC (2/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAM SOFT		カメラマイコンソフトウェアのバージョンを表示します。
□□□□□□		
CAM TABLE		カメラブロック設定テーブルのバージョンを表示します。
□□□□□□		
PULSE FPGA		CCD駆動用のプログラムバージョンを表示します。
□□□□□□		
FMUC FPGA		フレームメモリー制御と、マイコンインターフェイスFPGAのプログラムバージョンを表示します。
□□□□□□		
CHAR FPGA		キャラジェネと、信号入出力制御FPGAのプログラムバージョンを表示します。
□□□□□□		

DIAGNOSTIC (3/3)

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSCON SOFT		システム制御マイコンのソフトバージョンを表示します。
□□□□□□		
LCD SOFT		LCDマイコンのソフトバージョンを表示します。
□□□□□□		
P2CS BL2-1		P2制御マイコンのブートプログラム1バージョンを表示します。
□□□□□□		
P2CS BL2-2		P2制御マイコンのブートプログラム2バージョンを表示します。
□□□□□□		
P2CS KR		P2制御マイコンのカーネルバージョンを表示します。
□□□□□□		
P2CS AP		P2制御マイコンのアプリケーションプログラムバージョンを表示します。
□□□□□□		
VUP		本機のファームウェア全体をアップデートするシステムのソフトウェアバージョンを表示します。
□□□□□□		
VUP FS		本機のアップデートのファイルシステムバージョンを表示します。
□□□□□□		
PQCNT FPGA		バックエンドのPQコントロールFPGAのバージョンを表示します。
□□□□□□		

HOURS METER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
OPERATION		本機の電源が入っていた時間の総合計を表示します。
□□□□□□		
P.ON TIMES		本機の電源を入れた回数の総合計を表示します。
□□□□□□		

OPTION MENU

可変範囲の____はプリセットモードです。

OPTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ENG SECURITY	ON OFF	メニュー画面の開閉に制限をかけるかどうかの選択をします。 ON: MENU画面が開けなくなります。解除するには、販売店にご相談ください。 OFF: 開閉に制限はありません。
FRM RATE UB	FRM RATE MENU	映像方式を24Pや24PAに設定しているときに記録するユーザズピットを設定します。詳しくは「タイムコードおよびユーザズピットの記録」(64ページ)を参照してください。 FRAME RATE: カメラの撮像情報(フレームレートなど)を記録します。 MENU: <TC/UB>画面のUB MODE項目とVITC UB MODE項目の設定に従います。ただしNative記録時は、常にカメラの撮像情報を記録します。
FAN MODE	OFF AUTO	ファンの動作モードを設定します。 OFF: ファンは常に回りません。FAN STOP警告が表示されます。 AUTO: 本機内部の温度が上昇すると、自動的にファンが回転します。 ◆NOTE: 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時には、この項目は必ず“AUTO”に設定されます。ファンが停止した状態で動作を続けると、本機内の温度が上昇し、正常に記録・再生が行えないことがあります。通常は“AUTO”のまま使用してください。

AREA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
AREA SELECT	NTSC NTSC (J) PAL	NTSC: 日本以外のNTSC地域を選択します。 NTSC (J): 日本を選択します。 PAL: PAL地域を選択します。
■AREA SET	—	AREA SELECT項目で選択された地域向けの設定に変更されます。詳しくは「ご使用地域への設定(フレーム周波数等の設定)」(15ページ)を参照してください。

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデート方法には下記の2通りがあります。

1. 専用ツールP2 Status Loggerで確認し、アップデートする方法

PASS (P2 Asset Support System) に会員登録をいただいたお客様のみ、ご利用することができます。

PASSにログインして専用ツール (P2_Status_Logger) を使用すると、お使いの機器のバージョン情報の確認や、必要なファームウェアのページへリンクしてのダウンロードが可能になります。

P2_Status_Loggerのダウンロードおよび使い方については、PASSにログイン後のページを参照ください。

その他、会員登録をいただくといろいろな特典を受けることができます。詳細はPASS (P2 Asset Support System) のサイト (http://panasonic.biz/sav/pass_j/) をご確認ください。

2. ご使用機器本体でバージョンを確認しアップデートする方法

設定メニューのDIAGNOSTIC画面で本機のバージョンを確認のうえ、下記NOTEに記載されたサイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

◆NOTE:

- アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。
(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>
- 本機で使用するSDメモリーカードは、SDまたはSDHC規格に準拠したものをお使いください。
また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

保障とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い

などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

*内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品 **8年**

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

*補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。
- 保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

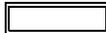
■ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AJ-HPX3100G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

総合

電源：
DC 12 V (11.0 V～17.0 V)
消費電力：
34 W (本体のみ)

 は安全項目です。

動作温度： 0 °C～40 °C
保存温度： -20 °C～60 °C
動作湿度： 10%～85% (相対湿度)
連続動作時間： 約150分 (アントンバウアー製
DIONIC90使用時)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)：
140 mm×270.5 mm×335.8 mm
(突起部を除く)
質量： 約3.9 kg (付属品含まず)

カメラ部

撮像素子： 2/3型 220万画素 IT CCD×3
撮像方式： RGB 3CCD方式
総画素数： 2010 (H) ×1120 (V)
CCフィルター： A：3200K
B：4300K
C：5600K
D：6300K
NDフィルター： 1：CLEAR
2：1/4ND
3：1/16ND
4：1/64ND
量子化： 14ビット
水平駆動周波数： 74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.25 MHz (50 Hz)
サンプリング周波数：
74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.25 MHz (50 Hz)
デジタル信号処理：74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.25 MHz (50 Hz)
プログラマブルゲイン：
-6/-3/0/3/6/9/12/15/18/21/24/27/30 dB
デジタルスーパーゲイン (DS.GAIN)：
6/10/12/15/20/24/28/34 dBから選択可
能
スーパーゲイン (S.GAIN)：
30/36/42 dBから選択可能

シャッタースピード：
1/60 (50 Hz)、1/100 (59.94 Hz)、
1/120、1/250、1/500、1/1000、
1/2000、HALF
180.0 deg、172.8 deg、144.0 deg、
120.0 deg、90.0 deg、45.0 deg

シンクロスキャンシャッター：
1/61.7～1/7200
(1080/59.94i・480/59.94i)
1/30.9～1/3600
(1080/29.97p・480/29.97p)
1/24.7～1/2880
(1080/23.98p・480/23.98p)
1/51.4～1/6000
(1080/50i・576/50i)
1/25.7～1/3000
(1080/25p・576/25p)

レンズマウント： 2/3型バヨネット式
色分解光学系： プリズム方式 (F1.4)
感度： F11 (1080/59.94i)、
F12 (1080/50i)
(2000 lx、89.9%反射)

最低被写体照度： 0.005 lx
(F1.4、42 dB (S.GAIN)、34 dB
(DS.GAIN))

映像S/N： 54 dB (DNR OFF) (標準)
59 dB (DNR ON) (標準)

レジストレーションエラー：
0.03%以下 (全域、レンズ歪みを除く)

水平解像度： 1000TV本以上 (中心)

メモリーカード部

記録メディア :	P2カード
記録ビデオ信号 :	1080/59.94i, 1080/50i, 1080/29.97p, 1080/29.97pN, 1080/23.98p, 1080/ 23.98pN, 1080/23.98pA, 1080/25p, 1080/25pN 480/59.94i, 480/29.97p, 480/23.98p, 480/23.98pA, 576/50i, 576/25p
記録フォーマット :	AVC-Intra100/AVC-Intra50/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DVより切り 換え
記録オーディオ信号 :	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50 : 48 kHz/16bits, 4CHと48 kHz/24bits, 4CHの切換
	DVCPRO HD/DVCPRO50 : 48 kHz/16bits, 4CH
	DVCPRO/DV : 48 kHz/16bits, 2CH/4CH 切換
記録再生時間	AVC-Intra 100/DVCPRO HD :
	8 GB × 1 約8分
	16 GB × 1 約16分
	32 GB × 1 約32分
	64 GB × 1 約64分
	AVC-Intra 50/DVCPRO50 :
	8 GB × 1 約16分
	16 GB × 1 約32分
	32 GB × 1 約64分
	64 GB × 1 約128分
	DVCPRO/DV :
	8 GB × 1 約32分
	16 GB × 1 約64分
	32 GB × 1 約128分
	64 GB × 1 約256分

◆ NOTE:

上記の時間は、1クリップとして連続記録したときのものです。
記録するクリップ数によっては、全体の記録時間は上記より短く
なる場合があります。

* P2 カードについて、取扱説明書に記載された情報以外の
最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポー
トページをご覧ください。

日本語 : <http://panasonic.biz/sav/>
英語 : <http://pro-av.panasonic.net/>

デジタルビデオ

サンプリング周波数 :	
Y :	74.1758 MHz (59.94 Hz) 74.2500 MHz (50 Hz) (AVC-Intra100/DVCPRO HD)
PB/PR :	37.0879 MHz (59.94 Hz) 37.1250 MHz (50 Hz) (AVC-Intra100/DVCPRO HD)
Y :	13.5 MHz (DVCPRO50)
PB/PR :	6.75 MHz (DVCPRO50)
Y :	13.5 MHz (DVCPRO)
PB/PR :	3.375 MHz (DVCPRO)
量子化 :	10ビット (AVC-Intra100/AVC-Intra50) 8ビット (DVCPRO HD/DVCPRO50/ DVCPRO/DV)
圧縮方式 :	MPEG-4 AVC/H.264イントラプロファ イル (AVC-Intra100/AVC-Intra50) DVベース (SMPTE370M) (DVCPRO HD) DVベース (SMPTE314M) (DVCPRO50/DVCPRO) DV (IEC61834-2) (DV)
デジタルオーディオ	
周波数特性 :	20 Hz~20 kHz ± 1.0 dB (基準レベル にて)
ダイナミックレンジ :	85 dB以上 (1 kHz、AWTDにて、16 bit時) 93 dB以上 (1 kHz、AWTDにて、24 bit時)
歪率 :	0.1%以内 (1 kHz、基準レベルにて、16 bit時) 0.05%以内 (1 kHz、基準レベルにて、24 bit時)
ヘッドルーム :	18/20 dB (メニュー選択可)

入出力部

GENLOCK IN :	BNC × 1、1.0 V [p-p]、75 Ω (メニュー切替でリターンビデオ入力端子として使用可能)	AUDIO IN CH1/CH2 :	XLR × 2、3ピン LINE/MIC/MIC + 48 V切り換え方式
SDI OUT :	BNC × 1	LINE:	4 dBu (-3/0/4 dBu、 メニュー選択可)
HD:	0.8 V [p-p]、75 Ω (SMPTE292M/299M規格に準拠)	MIC:	-60 dBu (-60/-50 dBu、 メニュー選択可)
SD:	0.8 V [p-p]、75 Ω (SMPTE259M-C/272M-A/ITU- R.BT656-4規格に準拠)	MIC + 48 V:	ファントム + 48 V対応 -60 dBu (-60/-50 dBu、 メニュー選択可)
MON OUT :	BNC × 1 (メニューでHD-SDI/SD-SDI/コンポ ジットに切替可能)	MIC IN :	XLR × 1、5ピン ファントム + 48 V (メニュー選択でON/OFF可) -40 dBu (-50/-40 dBuのメニュー選択可)
HD:	0.8 V [p-p]、75 Ω	WIRELESS IN :	25ピン、D-SUB、-40 dBu
SD:	0.8 V [p-p]、75 Ω (SMPTE259M-C/272M-A/ITU- R.BT656-4規格に準拠)	AUDIO OUT CH1/CH2 :	XLR × 1、5ピン、4 dBu (-3/0/4 dBu、メニュー選択可)、 平衡ローインピーダンス
コンポジット:	1.0 V [p-p]、75 Ω	PHONES OUT:	ステレオミニジャック × 2
TC IN :	BNC × 1、0.5 V [p-p] ~ 8 V [p-p]、10 kΩ	DC IN :	XLR × 1、4ピン、DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)
TC OUT :	BNC × 1、ローインピーダンス、 2.0 ± 0.5 V [p-p]	DC OUT :	4ピン、DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)、 最大出力電流 1.5 A
SDI-IN :	BNC × 1 (メニュー切替で、VIDEO IN 端子/ リターンビデオ入力端子/GENLOCK IN 端子として使用可能)	LENS :	12ピン
HD:	0.8 V [p-p]、75 Ω (SMPTE292M/299M規格に準拠)	ライト端子 :	2ピン、DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V) 最大出力電流 4.5 A (50 W相当まで)
SD:	0.8 V [p-p]、75 Ω (SMPTE259M-C/272M-A/ITU- R.BT656-4規格に準拠)	EVF :	20ピン
		REMOTE :	10ピン
		GPS :	6ピン
		USB2.0 :	HOST: Type-Aコネクタ、4ピン DEVICE: Type-Bコネクタ、4ピン
		液晶モニター :	3.2型液晶カラーモニター、 約92.1万ドット、(16 : 9)

付属品

ショルダーベルト
F.AUDIO LEVELつまみ (ねじ付き)
CD-ROM
マウントキャップ*
AUDIOコネクターキャップ*
XLRコネクターキャップ*
GPSコネクターキャップ*

* 製品本体にあらかじめ取り付けられています。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

さくいん

Symbols

MENU !LED..... 181

0

MENU 01 - 32 195, 198

2

MENU 25M REC CH SEL 191

MENU 2D LPF 168, 177

A

MENU A.IRIS LEVEL 187

MENU A.IRIS PEAK/AVE 187

MENU A.IRIS WINDOW 187

MENU A.KNEE LVL 176

MENU A.KNEE POINT 176

MENU A.KNEE RESPONSE 176

ABB 53

MENU ACCESS LED 164

MENU AREA SELECT 199

MENU AREA SET 199

MENU ASPECT 163

ATW 51

MENU ATW 181

MENU ATW SPEED 185

MENU AUDIO 181

MENU AUDIO LVL 180

MENU AUDIO OUT LVL 192

MENU AUDIO SMPL RES 163

MENU AUTO KNEE SW 185

MENU AUTO LVL CH3 (CH1) 190

MENU AUTO LVL CH4 (CH2) 190

MENU AUTO REC 164

MENU AWB A GAIN OFFSET 170

MENU AWB A TEMP 186

MENU AWB AREA 185

MENU AWB B 185

MENU AWB B GAIN OFFSET 170

MENU AWB B TEMP 186

B

MENU B (PHASE)..... 172

MENU B (SAT)..... 171

MENU B FLARE..... 170

MENU B GAIN AWB A..... 170

MENU B GAIN AWB B..... 170

MENU B GAIN AWB PRE..... 170

MENU B GAMMA..... 176

MENU B PEDESTAL 170

MENU B.GAMMA..... 181

MENU B.GAMMA RANGE..... 172, 173, 174

MENU BACKLIGHT 168

MENU BAT STAT 189

MENU BATT END ALARM 188

MENU BATT NEAR END ALARM 188

MENU BATT NEAR END CANCEL 188

MENU BATT REMAIN FULL..... 188

MENU BATTERY 180

MENU BATTERY SELECT 188

MENU B-Cy (PHASE) 172

MENU B-Cy (SAT)..... 171

MENU BLACK GAMMA 172, 173, 174

MENU BRIGHTNESS..... 168

C

CAC 105

MENU CAC 180, 181

MENU CAC CONTROL..... 198

MENU CAC FILE DELETE..... 198

MENU CAC FILE NO. 198

MENU CAM OPE MENU R/W..... 194

MENU CAM SOFT 198

MENU CAM TABLE..... 198

MENU CAMERA ID..... 180

MENU CAMERA MODE..... 163, 180

MENU CARD CONFIG..... 194

MENU CARD END ALARM..... 188

MENU CARD FILE SELECT 195

MENU CARD NEAR END ALARM..... 188

MENU CARD NEAR END TIME..... 188

MENU CARD REMAIN/■..... 188

MENU CENTER MARK..... 166, 167, 179

MENU CHAR FPGA..... 198

MENU CHROMA LEVEL..... 176

MENU COLOR BARS 185

MENU COLOR CHECK..... 197

MENU COLOR CORRECT 172, 173, 174

MENU COLOR CORRECTION..... 181

MENU COLOR LEVEL 168

MENU COLOR TEMP 180

MENU COLOR TEMP PRE..... 186

MENU CONTRAST 168

MENU CORRECT 197

MENU COUNTRY 193

MENU Cy (PHASE) 172

MENU Cy (SAT) 171

MENU Cy-G (PHASE)..... 172

MENU Cy-G (SAT) 171

D

MENU D.ZOOM x2..... 185

MENU D.ZOOM x3..... 185

MENU D.ZOOM x4..... 185

MENU DATE/TIME..... 180

DC 電源..... 111

MENU DETAIL 168, 177

MENU DETECT TABLE 175

MENU DETECTION (DIG) 197

MENU DEVICE NODE 193

MENU DIONIC160 189

MENU DIONIC90 188

MENU DISP CONDITION 178

MENU DISP MODE 178

MENU DNR 177

MENU DOWNCON MODE..... 168

DRS 56

MENU DRS 180

MENU DRS EFFECT DEPTH 176

MENU DRS MODE..... 176

MENU DS.GAIN 181, 186

MENU DS.GAIN OFF	185
MENU DTL CLIP	174
MENU DTL CORING	168, 172, 173, 174
MENU DTL GAIN(+)	174
MENU DTL GAIN(-)	174
MENU DTL SOURCE	174

E

MENU ENDURA10	189
MENU ENG SECURITY	199
MENU EXT DC IN SELECT	188
MENU EXTENDER	180, 181

F

F.AUDIO LEVEL つまみ	60, 118
MENU F16 ADJ	197
MENU F2.8 ADJ	197
MENU FAN MODE	199
MENU FILE NO.	195
MENU FILTER	180, 181
MENU FILTER INH	185
MENU FIRST REC TC	193
MENU FLARE	177
MENU FMUC FPGA	198
MENU FRAME LVL	179
MENU FRAME MARK	167, 179
MENU FRAME RATE UB	199
MENU FRAME SIG	167, 179
MENU F-REC BLACK STR LVL	177
MENU F-REC DYNAMIC LVL	177
MENU FRONT MIC LEVEL	192
MENU FRONT MIC POWER	192
MENU FRONT VR CH1 (CH3)	190
MENU FRONT VR CH2 (CH4)	190
MENU FUNCTION	181

G

MENU G (PHASE)	172
MENU G (SAT)	171
MENU G FLARE	170
MENU G PEDESTAL	170
MENU GAIN	180
MENU GAIN(0dB)	181
MENU GAMMA	177
MENU GAMMA MODE	180
MENU GAMMA MODE SEL	176
MENU GENLOCK	169
MENU GL PHASE	169
MENU G-YI (PHASE)	172
MENU G-YI (SAT)	171

H

MENU H MATRIX TABLE	171
MENU H PHASE COARSE	169
MENU H PHASE FINE	169
MENU H.DTL FREQ.	168, 172, 173, 174
MENU H.DTL LEVEL	168, 172, 173, 174
MENU HDSDI REMOTE	164
MENU HEADROOM	192
MENU H-F COMPE	177
MENU HI-COLOR LVL	176
MENU HI-COLOR SW	176
MENU HYTRON140	188

I

MENU I CENTER	175
MENU I WIDTH	175
MENU ID POSITION	180
MENU ID READ/WRITE	194
MENU ID1	182
MENU ID2	182
MENU ID3	182
INTERVAL REC	40
MENU INTERVAL REC HOLD	165
MENU INTERVAL REC MODE	165
MENU IRIS	180
MENU IRIS GAIN	187
MENU IRIS GAIN VALUE	187

K

MENU KNEE APE LVL	174
MENU KNEE MASTER POINT	175
MENU KNEE MASTER SLOPE	175

L

MENU L MATRIX TABLE	171
MENU LCD SOFT	198
MENU LENS B FLARE	197
MENU LENS B GAIN OFFSET	197
MENU LENS FILE ADJ MODE	197
MENU LENS G FLARE	197
MENU LENS R FLARE	197
MENU LENS R GAIN OFFSET	197
MENU LEVEL DEPEND.	172, 173, 174
MENU LIMITER CH1	191
MENU LIMITER CH2	191
MENU LIMITER CH3	191
MENU LIMITER CH4	191
LOOP REC	40
MENU LOOP REC MODE	165
MENU LOW LIGHT LVL	178
MENU LVL CONTROL CH3 (CH1)	190
MENU LVL CONTROL CH4 (CH2)	190

M

MENU M MATRIX TABLE	171
MENU MAIN OPE MENU R/W	194
MENU MAINT MENU R/W	194
MENU MANUAL KNEE	175
MENU MARKER SW	166
MENU MARKER CHAR LVL	178
MENU MASTER DTL	174
MENU MASTER GAIN	172, 173, 174
MENU MASTER GAMMA	172, 173, 174, 176
MENU MASTER PED	170, 175
MENU MATRIX	181
MENU MATRIX B-G	171
MENU MATRIX B-R	171
MENU MATRIX G-B	171
MENU MATRIX G-R	171
MENU MATRIX R-B	171
MENU MATRIX R-G	171
MENU MATRIX TABLE	171, 172, 173, 174
MENU MEM STORE NO	195
MENU Mg (PHASE)	172
MENU Mg (SAT)	171

MENU Mg-B (SAT).....	171
MENU MIC LOWCUT CH1	191
MENU MIC LOWCUT CH2	191
MENU MIC LOWCUT CH3	191
MENU MIC LOWCUT CH4	191
MODE CHK	76
MENU MODEL NAME	198
MENU MONITOR OUT	166
MENU MONITOR OUT MODE	166
MENU MONITOR SELECT.....	192

N

Native 記録.....	38
----------------	----

O

ONE CLIP REC	43
MENU ONE CLIP REC MODE	166
ONE SHOT モード	42
MENU OPERATION	198
MENU ORGANIZATION	193
MENU OUTPUT ITEM	166

P

MENU P.OFF GPS DATA.....	164
MENU P.OFF LCD DISPLAY.....	193
MENU P.ON IND.....	181
MENU P.ON REC SLOT SEL	165
MENU P.ON TIMES	198
MENU P2CARD REMAIN	180
MENU P2CS AP	198
MENU P2CS BL2-1.....	198
MENU P2CS BL2-2.....	198
MENU P2CS KR	198
P2 カード.....	33
入れる.....	33
書き戻し	141
状態	34
状態表示	135
取り出す	34
フォーマット	132
MENU PAG L95	189
MENU PAINT MENU LEVEL R/W	194
MENU PAINT MENU SW(■) R/W.....	194
MENU PAUSE TIME.....	165
MENU PC MODE.....	164
MENU PC MODE SELECT.....	164
MENU PEDESTAL OFFSET.....	170
MENU POSITION1	182
MENU POSITION1 SEL.....	183
MENU POSITION2	182
MENU POSITION2 SEL.....	183
MENU POSITION3	182
MENU POSITION3 SEL.....	183
MENU POSITION4	182
MENU POSITION4 SEL.....	183
MENU POSITION5	182
MENU POSITION5 SEL.....	183
MENU POSITION6	182
MENU POSITION6 SEL.....	183
MENU PQCNT FPGA	198
MENU PRE REC MODE.....	165
PRE RECORDING	39
MENU P-REC/i-REC	181
MENU PULSE FPGA	198

Q

MENU Q PHASE	175
MENU Q WIDTH	175

R

MENU R (PHASE).....	172
MENU R (SAT).....	171
MENU R FLARE.....	170
MENU R GAIN AWB A	170
MENU R GAIN AWB PRE.....	170
MENU R GAMMA.....	176
MENU R PEDESTAL.....	170
MENU R.SELECT	194
MENU RC CHECK SW	185
MENU RC MENU DISP.....	178
MENU READ FACTORY DATA	196
MENU READ USER DATA	196
MENU REAR LINE IN LVL	192
MENU REAR MIC CH1/3 LVL.....	192
MENU REAR MIC CH2/4 LVL.....	192
MENU REAR MIC POWER.....	192
MENU REAR XLR AUTO CH1/2.....	190
MENU REAR XLR AUTO CH3/4.....	190
MENU REC FORMAT	163, 180
REC REVIEW	45
MENU REC REVIEW REGEN	193
MENU REC SIGNAL	163
MENU REC START.....	165
MENU REC STATUS	181
MENU REC TALLY	164
MENU REC TIME.....	165
MENU RET SW.....	184
MENU RETURN SIGNAL.....	169
MENU R-Mg (PHASE).....	172
MENU R-Mg (SAT).....	171

S

MENU S.BLK LVL	185
MENU S.GAIN.....	186
MENU S.GAIN OFF.....	185
MENU S.IRIS LEVEL	187
MENU SAFETY AREA	167, 179
MENU SAFETY MARK.....	166, 167, 179
MENU SAVE LED	181
MENU SCAN REVERSE.....	163
MENU SCENE SEL.....	196
MENU SDI EDH	164
MENU SDI METADATA	164
MENU SDI OUT CHAR	166
MENU SDI OUT MODE.....	166
SD メモリーカード.....	92
入れる	92
取り出す	92
フォーマット.....	93
MENU SEEK SELECT	164
MENU SELF SHOOT	168
MENU SERIAL NO.....	198
MENU SETUP.....	163, 168
MENU SHD.ABB SW CTL.....	185
MENU SHOCKLESS AWB.....	185
MENU SHOT MARK SW (USER3 SW).....	184
MENU SHUTTER.....	180, 181
MENU SKIN DTL EFFECT	175
MENU SKIN TONE DTL.....	175

MENU SKIN TONE GET	175
MENU START DELAY	165
MENU START TEXT MEMO	164
MENU STATUS	181
SYNCHRO SCAN	55
MENU SYNCHRO SCAN	182
MENU SYNCHRO SCAN DISP	178
MENU SYSCON SOFT	198
MENU SYSTEM INFO	180
MENU SYSTEM MENU R/W	194
MENU SYSTEM MODE	163, 180
MENU SYSTEM MODE R/W	194

T

MENU TABLE	179
MENU TAKE TOTAL TIME	165
MENU TC	180
MENU TC DISP SEL	193
MENU TC MODE	192
MENU TC ON COLOR BAR	180
MENU TC OUT	193
MENU TC VIDEO SYNCHRO	193
MENU TCG SET HOLD	193
MENU TEMP PRE SEL SW	185
MENU TEST SAW	177
MENU TEST TONE	191
MENU TEXT MEMO SW (USER4 SW)	184
THUMBNAIL	120
MENU THUMBNAIL OUT	166
MENU TITLE	195
MENU TITLE 1-4	196
MENU TITLE READ	194, 195
MENU TITLE SCROLL	195, 198
MENU TITLE1 - 8	194, 195
MENU TOTAL REC TIME	165
MENU TYPE A	189
MENU TYPE B	189
MENU TYPE C	189

U

MENU UB MODE	192
USB	137
MENU USER	193
MENU USER BOX	167, 179
MENU USER BOX H POS	167, 179
MENU USER BOX HEIGHT	167, 179
MENU USER BOX V POS	167, 179
MENU USER BOX WIDTH	167, 179
MENU USER MAIN SW	184
MENU USER MENU SELECT R/W	194
MENU USER SW STATUS	181
MENU USER1 SW	184
MENU USER2 SW	184

V

MENU V.DTL LEVEL	168, 172, 173, 174
MENU VERSION	198
MENU VF DTL	178
MENU VF MENU R/W	194
MENU VF MODE	166
MENU VF OUT	178
MENU VF/LCD CHAR	166
MENU VITC UB MODE	193
MENU VR SELECT	190

MENU V-REC KNEE POINT	177
MENU V-REC KNEE SLOPE	177
MENU VUP	198
MENU VUP FS	198

W

MENU W.SELECT	194
MENU WHITE	180
MENU WHITE CLIP	175
MENU WHITE CLIP LVL	176
MENU WHITE PRESET	181
MENU WIRELESS TYPE	192
MENU WIRELESS WARN	192
MENU WRITE USER DATA	196

Y

MENU Y MAX	175
MENU Y MIN	175
MENU YI (PHASE)	172
MENU YI (SAT)	171
MENU YI-R (PHASE)	172
MENU YI-R (SAT)	171

Z

MENU ZEBRA MONI	175
MENU ZEBRA SDI OUT	175
MENU ZEBRA VF	175
MENU ZEBRA1 DETECT	178
MENU ZEBRA2	178
MENU ZEBRA2 DETECT	178
MENU ZOOM LVL	180

あ

アップデート	200
頭出し	46

え

エラーコード	156
--------------	-----

お

オートトラッキングホワイトバランス	51
-------------------------	----

き

記録フォーマット	49
----------------	----

く

クリップ	119
コピー	128
再生	122
削除	127
修復	127
連結	128

け

ゲンロック	62
-------------	----

さ

再生	46
サムネール	120
切り替え	123
選択	122
変更	124

し

シーンファイル	97
シャッターモード	54
ショットマーク	47
シンクロスキャンモード	55

た

タイムコード	63
タイムゾーン	67

て

テキストメモ	46
--------------	----

は

バッテリー	109
-------------	-----

ひ

表示窓	29
ビューファインダー画面	77

ふ

ファームウェア	200
ブラックバランス	53
ブルダウン記録	38

へ

変速再生	46
------------	----

ほ

ホットスワップ	10
---------------	----

ま

マイク	115
-----------	-----

め

メタデータ	129
メニューの基本操作	161

ゆ

ユーザズビット	65
---------------	----

ら

ライトプロテクト	34
----------------	----

れ

レンズ	112
レンズファイル	100

ろ

録音レベル	59
-------------	----

わ

ワイヤレスレシーバー	115
------------------	-----

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2010